

令和 6 年度

当初予算(案)事業別概要

(一般会計・特別会計)

鳥 取 市

令和6年度当初予算(案) 事業別概要目次(一般会計)

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【総務部】		
総務課	外部監査費……………	31
総務課	鳥取市史編さん事業費……………	31
総務課	情報公開制度運用事業費……………	32
総務課	農林業センサス費……………	32
行財政改革課	予算事務費……………	33
行財政改革課	行財政改革大綱等推進事業費……………	33
行財政改革課	長期借入金元金償還金……………	34
行財政改革課	長期借入金利子償還金……………	34
職員課	退職手当……………	35
検査契約課	鳥取市建設優良工事表彰経費……………	35
財産経営課	総合支所整備事業費……………	36
財産経営課	気高法面崩壊復旧事業費……………	36
財産経営課	車両維持管理費……………	37
財産経営課	財産管理事務費……………	37
財産経営課	国土調査事業費……………	38
資産活用推進課	ファンリティマネジメント推進事業費……………	38
資産活用推進課	ふるさと納税推進事業費……………	39
【税務・債権管理局】		
市民税課	賦課徴収費……………	40
市民税課	令和6年度定額減税補足給付金事業費(物価高騰対応 臨時交付金)……………	40
固定資産税課	賦課事務費……………	41
固定資産税課	土地評価事務費……………	41
収納推進課	賦課徴収費……………	42

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
収納推進課	債権管理運営費	42
収納推進課	納付催告センター運営費	43
【人権政策局】		
人権推進課	市民啓発推進費	44
人権推進課	市人権情報センター補助金	44
人権推進課	人権の花運動事業費	45
人権推進課	犯罪被害者支援事業費	45
人権推進課	地域福祉事業費	46
人権推進課	人権交流プラザ内部改修事業費	46
人権推進課	生活困窮者自立相談支援事業費	47
人権推進課	地域共生社会推進・包括的支援事業費	47
人権推進課	孤独・孤立対策推進事業費	48
人権推進課	地域食堂ネットワーク運営費	48
人権推進課	子どもの居場所づくり推進事業費	49
男女共同参画課	女と男とのハーモニーフェスタ事業費	49
男女共同参画課	男女共同参画登録団体補助金	50
男女共同参画課	男女共同参画啓発事業費	50
男女共同参画課	男女共同参画に関する意識調査事業費	51
男女共同参画課	男女共同参画かがやき企業認定事業費	51
男女共同参画課	女性応援つながりサポート事業費	52
男女共同参画課	女性デジタル人材育成事業費	52
【危機管理部】		
危機管理課	総合防災対策事業費	53
危機管理課	自主防災会連合会補助金	53
危機管理課	自主防災会関係費	54

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
危機管理課	防災行政無線整備事業費 ……………	54
危機管理課	防災情報統合DX化事業費 ……………	55
危機管理課	総合防災訓練費 ……………	55
危機管理課	防災備蓄事業費 ……………	56
危機管理課	国民保護訓練費 ……………	56
危機管理課	防災ラジオ整備事業費 ……………	57
危機管理課	消防ポンプ車購入費 ……………	57
【企画推進部】		
政策企画課	若者定住促進事業費 ……………	58
政策企画課	総合計画策定事業費 ……………	58
政策企画課	若者による地方創生政策推進事業費 ……………	59
政策企画課	麒麟のまち創生推進事業費 ……………	59
政策企画課	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金 ……………	60
政策企画課	シティセールス推進事業費 ……………	60
政策企画課	環境大学運営費交付金 ……………	61
政策企画課	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費 ……………	61
秘書課	市政広報費 ……………	62
秘書課	鳥取市知名度アップ大作戦事業費 ……………	62
文化交流課	国際交流費 ……………	63
文化交流課	国内都市交流総合推進費 ……………	63
文化交流課	文化振興費 ……………	64
文化交流課	文化芸術推進事業補助金 ……………	64
文化交流課	文化施設のあり方に関する検討事業費 ……………	65
文化交流課	舞台芸術X地域活性化事業費 ……………	65
文化交流課	麒麟のまち鳥取市美術展開催費 ……………	66

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
文化交流課	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費 ……………	66
文化交流課	市民会館施設管理費 ……………	67
国際交流プラザ	国際交流プラザ管理運営費 ……………	67
国際交流プラザ	在住外国人支援事業費 ……………	68
国際交流プラザ	市民国際理解推進事業費 ……………	68
情報政策課	地域情報化推進費 ……………	69
情報政策課	超高速情報通信基盤整備事業費 ……………	69
情報政策課	次期基幹システム構築事業費 ……………	70
情報政策課	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費 ……………	70
情報政策課	自治体行政スマート事業推進費 ……………	71
【市民生活部】		
地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費 ……………	72
地域振興課	とっとり・つながり創出事業費 ……………	72
地域振興課	輝く中山間地域創出事業費 ……………	73
地域振興課	過疎地域振興事業費 ……………	73
地域振興課	中山間地域・買い物支援事業費 ……………	74
地域振興課	中山間地域・地域遊休施設活用支援事業費 ……………	74
地域振興課	地域の魅力創出事業費 ……………	75
地域振興課	グリーンツーリズム推進事業費 ……………	75
地域振興課	地域おこし協力隊定住・定着支援事業費 ……………	76
地域振興課	小さな拠点整備事業費 ……………	76
協働推進課	地域づくり懇談会開催費 ……………	77
協働推進課	自治基本条例推進事業費 ……………	77
協働推進課	交通安全対策費 ……………	78
協働推進課	鳥取市自治連合会補助金 ……………	78

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
協働推進課	コミュニティ支援事業費	79
協働推進課	防犯灯設置費	79
協働推進課	安全安心まちづくり推進助成費	80
協働推進課	地区公民館改修等事業費	80
市民総合相談課	消費生活対策費	81
市民総合相談課	コールセンター設置運営費	81
市民課	総合窓口管理事務費	82
市民課	コンビニ交付関連事務費	82
市民課	個人番号カード関連事務費	83
【環境局】		
生活環境課	生活衛生営業許可・監督指導事業費	84
生活環境課	名木・古木保存費	84
生活環境課	環境教育推進費	85
生活環境課	家庭ごみ有料化事業費	85
生活環境課	ごみ減量化推進事業費	86
生活環境課	ふれあい収集事業費	86
生活環境課	ごみ収集委託費	87
生活環境課	大型ごみ戸別有料収集事業費	87
生活環境課	施設維持管理費	88
環境保全課	産業廃棄物適正処理推進事業費	88
環境保全課	廃棄物不法投棄対策強化事業費	89
環境保全課	水質・土壌対策費	89
環境保全課	騒音・振動・悪臭対策費	90
環境保全課	大気汚染物質調査事業費	90
環境保全課	湖山池浄化対策費	91

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【福祉部】		
地域福祉課	民生委員事業費	92
地域福祉課	地域福祉計画策定事業費	92
地域福祉課	地域の「話し愛・支え愛」推進事業費	93
地域福祉課	地域共生社会推進事業費	93
地域福祉課	福祉事業所指導監督事業費	94
地域福祉課	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	94
地域福祉課	令和6年度新たに低所得となった世帯への支援給付金 事業費(物価高騰対応臨時交付金)	95
長寿社会課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費	95
長寿社会課	地域医療介護総合確保事業補助金	96
長寿社会課	とっとり東部権利擁護支援センター運営事業費	96
長寿社会課	市民後見人養成事業費	97
長寿社会課	高齢者介護予防・地域活動等支援バス運行事業費	97
長寿社会課	養護老人ホーム入所事業費	98
長寿社会課	単位老人クラブ活動補助金	98
長寿社会課	eスポーツを活用した高齢者等の社会参加推進事業費	99
長寿社会課	外国人介護人材確保支援事業費	99
長寿社会課	包括支援センター運営事業費(事業運営費)	100
長寿社会課	地域ふれあい事業費	100
長寿社会課	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	101
長寿社会課	生活支援体制整備事業費(事業運営費)	101
長寿社会課	老人の明るいまち推進事業費	102
長寿社会課	ねんりんピック推進事業費	102
長寿社会課	高齢者虐待保護事業費	103
長寿社会課	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	103

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
障がい福祉課	身体・知的・精神障害者相談員設置事業費	104
障がい福祉課	低所得者等への光熱費助成事業費(特別障害者手当等 受給世帯分)	104
障がい福祉課	重症心身障がい児・者等受入事業所看護師配置助成事 業費	105
障がい福祉課	重症心身障がい児者等日中支援事業費	105
障がい福祉課	医療的ケアを要する重度障がい者の地域生活推進事業 費	106
障がい福祉課	医療的ケア児等送迎支援事業費	106
障がい福祉課	相談支援事業費	107
障がい福祉課	日常生活用具給付事業費	107
障がい福祉課	コミュニケーション支援事業費	108
障がい福祉課	障がい施設サービス利用コーディネート機能強化事業費	108
障がい福祉課	国民健康保険団体連合会負担金等	109
障がい福祉課	社会福祉施設等施設整備事業費	109
障がい福祉課	国民健康保険団体連合会負担金(障がい児対象分)	110
生活福祉課	生活困窮者自立支援事業費	110
生活福祉課	低所得者等への光熱費助成事業費(生活保護受給世帯 分)	111
生活福祉課	扶助費	111
保険年金課	重度障害者医療助成費	112
保険年金課	後期高齢者医療広域連合運営費	112
保険年金課	小児特別医療助成費	113
保険年金課	ひとり親家庭医療助成費	113
保険年金課	未熟児養育医療助成費	114
【こども家庭局】		
こども未来課	低所得者等への光熱費助成事業費(児童扶養手当受給 世帯分)	115
こども未来課	児童手当費	115
こども未来課	子どもの貧困対策推進事業費	116

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
こども未来課	子ども第3の居場所事業費 ……………	116
こども未来課	こども・子育て支援制度事務費 ……………	117
こども未来課	ひとり親家庭自立支援給付金事業費 ……………	117
こども未来課	ひとり親家庭学習支援事業費 ……………	118
幼児保育課	ファミリーサポートセンター事業費 ……………	118
幼児保育課	私立保育園運営費 ……………	119
幼児保育課	保育所緊急整備事業費補助金 ……………	119
幼児保育課	病児・病後児保育事業費 ……………	120
幼児保育課	保育体制強化事業費 ……………	120
幼児保育課	こども誰でも通園制度事業費 ……………	121
こども家庭相談センター	子育て支援短期利用事業費 ……………	121
こども家庭相談センター	こども家庭支援事業費 ……………	122
こども家庭相談センター	妊娠・出産包括支援事業費 ……………	122
こども家庭相談センター	ヤングケアラー支援事業費 ……………	123
こども家庭相談センター	子育て世帯訪問支援事業費 ……………	123
こども家庭相談センター	母子生活支援施設運営費 ……………	124
こども発達支援センター	児童発達支援事業費 ……………	124
こども発達支援センター	親子通所療育事業費 ……………	125
こども発達支援センター	小集団療育事業費 ……………	125
こども発達支援センター	若草学園管理運営費 ……………	126
こども発達支援センター	障害児等地域療育支援事業費 ……………	126
こども発達支援センター	インクルーシブ教育システム推進事業費 ……………	127

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【鳥取市保健所】		
保健総務課	災害医療対策費 ……………	128
保健総務課	中山間地域の医療人材確保対策事業費 ……………	128
保健医療課	ひきこもり対策支援事業費 ……………	129
保健医療課	夜間休日急患診療所運営委託費等 ……………	129
保健医療課	休日急患歯科診療所運営費負担金 ……………	130...
保健医療課	自死対策強化事業費 ……………	130
保健医療課	A類疾病予防接種費 ……………	131
保健医療課	B類疾病予防接種費 ……………	131
保健医療課	感染症対策推進事業費 ……………	132
健康・子育て推進課	小児慢性特定疾病対策等事業費 ……………	132
健康・子育て推進課	施設管理費 ……………	133
健康・子育て推進課	健康診査費 ……………	133
健康・子育て推進課	健康教育・健康相談・訪問指導事業費 ……………	134
健康・子育て推進課	栄養改善指導事業費 ……………	134
健康・子育て推進課	母子保健訪問指導事業費 ……………	135
健康・子育て推進課	妊婦健康診査費 ……………	135
健康・子育て推進課	産後健康診査費 ……………	136
健康・子育て推進課	ブックスタート事業費 ……………	136
健康・子育て推進課	子育て世代包括支援センター運営費 ……………	137
健康・子育て推進課	不妊治療費等支援事業費 ……………	137
健康・子育て推進課	希望をかなえる妊娠・出産支援事業費 ……………	138
健康・子育て推進課	特定不妊治療助成事業費 ……………	138
健康・子育て推進課	不育症検査費等助成事業費 ……………	139
健康・子育て推進課	健やかな妊娠・出産のための応援事業費 ……………	139

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
健康・子育て推進課	2歳児歯科健診事業費 ……………	140
健康・子育て推進課	子育て支援アプリ活用推進事業費 ……………	140
健康・子育て推進課	出産・子育て応援交付金事業費 ……………	141
生活安全課	野良猫不妊・去勢手術費補助金 ……………	141
生活安全課	動物愛護管理推進事業費 ……………	142
生活安全課	食品衛生指導事業費 ……………	142
【経済観光部】		
経済・雇用戦略課	シルバー人材センター運営補助金 ……………	143
経済・雇用戦略課	学校給食計画栽培支援事業費 ……………	143
経済・雇用戦略課	商店街にぎわい形成促進事業費 ……………	144
経済・雇用戦略課	中心市街地活性化推進事業補助金 ……………	144
経済・雇用戦略課	スマートエネルギータウン構想推進事業費 ……………	145
経済・雇用戦略課	国際経済交流推進事業費 ……………	145
経済・雇用戦略課	関西情報発信拠点推進事業費 ……………	146
経済・雇用戦略課	SDGs未来都市推進事業費 ……………	146
経済・雇用戦略課	雇用促進協議会支援事業費 ……………	147
経済・雇用戦略課	障がい者雇用奨励金 ……………	147
経済・雇用戦略課	人材確保推進事業費 ……………	148
経済・雇用戦略課	働き方改革推進事業費 ……………	148
経済・雇用戦略課	伝統工芸等後継者育成支援事業費 ……………	149
経済・雇用戦略課	ふるさと起業家支援プロジェクト事業費 ……………	149
経済・雇用戦略課	物産振興事業費 ……………	150
経済・雇用戦略課	物産振興体制強化事業費 ……………	150
企業立地・支援課	制度融資資金(新型コロナウイルス感染症対策) ……………	151
企業立地・支援課	各種金融対策利子補助金(新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金) ……………	151

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
企業立地・支援課	コロナ克服特別金融支援資金利子補助金(物価高騰対応臨時交付金) ……	152
企業立地・支援課	企業誘致推進費 ……	152
企業立地・支援課	企業立地促進補助金 ……	153
企業立地・支援課	労働力確保対策企業支援事業費 ……	153
企業立地・支援課	事業承継推進事業費 ……	154
企業立地・支援課	関係人口推進事業費 ……	154
企業立地・支援課	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費 ……	155
観光・ジオパーク推進課	文化芸術観光創造事業費 ……	155
観光・ジオパーク推進課	周遊観光促進事業費(物価高騰対応臨時交付金) ……	156
観光・ジオパーク推進課	大阪・関西万博誘客アクション事業費 ……	156
観光・ジオパーク推進課	しゃんしゃん祭振興会補助金 ……	157
観光・ジオパーク推進課	砂の美術館管理運営費 ……	157
観光・ジオパーク推進課	砂丘管理事業費 ……	158
観光・ジオパーク推進課	広域観光開拓・推進事業費 ……	158
観光・ジオパーク推進課	山陰海岸ジオパーク事業費 ……	159
観光・ジオパーク推進課	まちなか観光推進事業費 ……	159
観光・ジオパーク推進課	観光地再生・高付加価値化事業費 ……	160
【農林水産部】		
農政企画課	新規就農推進事業費 ……	161
農政企画課	新規就農営農支援事業費 ……	161
農政企画課	農業公社運営事業補助金 ……	162
農政企画課	果樹振興対策事業費 ……	162
農政企画課	新嘗祭献穀米事業費 ……	163
農政企画課	みんなでやらいや農業支援事業費 ……	163
農政企画課	産地主体型就農支援モデル確立事業費 ……	164

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
農政企画課	農産物販路拡大支援事業費	164
農政企画課	次世代農業推進事業費	165
農政企画課	スマート農業実装加速化促進事業費	165
農政企画課	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	166
農政企画課	鳥取市戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業費	166
農政企画課	鳥の農場文化交流創造事業費	167
農政企画課	畑地化促進支援事業費	167
農政企画課	畜産振興対策事業費	168
農政企画課	和牛再生促進事業費	168
農政企画課	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	169
農政企画課	農地集積等対策事業費	169
農政企画課	中山間地域を支える水田農業支援事業補助金	170
農政企画課	大規模飼料作経営基盤強化対策事業費	170
農政企画課	野生鳥獣被害防止事業費	171
農政企画課	減容化施設管理運営費	171
農政企画課	射撃場管理運営費	172
林務水産課	市行造林維持管理費	172
林務水産課	林業労働者確保育成対策事業負担金	173
林務水産課	林業労働者雇用条件改善事業費	173
林務水産課	林業新規就業者支援対策事業費	174
林務水産課	森林経営管理事業費	174
林務水産課	林道改良事業費	175
林務水産課	造林事業費	175
林務水産課	間伐搬出支援事業費	176
林務水産課	豊かな森づくり推進事業費	176

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
林務水産課	単県斜面崩壊復旧事業費 ……………	177
林務水産課	森づくり作業道整備事業費 ……………	177
林務水産課	林業・木材産業強化総合対策事業費 ……………	178
林務水産課	森林産業イノベーション推進事業費 ……………	178
林務水産課	危険木等事前伐採推進事業費 ……………	179
林務水産課	水産資源維持増殖事業費 ……………	179
林務水産課	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金 ……………	180
林務水産課	漁港施設維持管理事業費 ……………	180
林務水産課	栽培漁業推進支援事業費 ……………	181
林務水産課	漁港施設機能保全事業費 ……………	181
林務水産課	港整備推進事業費 ……………	182
林務水産課	漁業研修事業費 ……………	182
林務水産課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】 ……………	183
農村整備課	水道事業会計へ繰出 ……………	183
農村整備課	環境保全型農業直接支払交付金 ……………	184
農村整備課	農道舗装補修等事業費 ……………	184
農村整備課	県営事業負担金 ……………	185
農村整備課	排水機場維持管理費 ……………	185
農村整備課	農業競争力強化基盤整備事業促進事業費 ……………	186
農村整備課	多面的機能支払交付金 ……………	186
農村整備課	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費 ……………	187
農村整備課	農業水利施設保全高度化事業費 ……………	187
農村整備課	土地改良施設維持管理適正化事業費 ……………	188
農村整備課	危険ため池廃止事業費 ……………	188
農村整備課	ため池ハザードマップ作成事業費 ……………	189

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
農村整備課	ため池改修事業費	189
農村整備課	ため池監視システム管理費	190
農村整備課	中山間地域等直接支払交付金	190
農村整備課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	191
【都市整備部】		
都市企画課	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金	192
都市企画課	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金	192
都市企画課	要望活動事務費	193
都市企画課	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	193
都市企画課	景観計画策定費	194
都市企画課	移動等円滑化促進事業費	194
都市企画課	県営街路事業負担金	195
交通政策課	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金	195
交通政策課	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金	196
交通政策課	地方バス路線維持対策補助金	196
交通政策課	バス代替タクシー運賃補助金	197
交通政策課	市町村有償運送事業費	197
交通政策課	地域主体型生活交通確保支援事業費	198
交通政策課	共創型交通モデル事業費	198
交通政策課	鳥取港振興会対策費	199
まちなか未来創造課	街なか居住推進事業費	199
まちなか未来創造課	遊休不動産利活用推進事業費	200
まちなか未来創造課	中心市街地活性化助成事業費	200
まちなか未来創造課	中心市街地活性化推進事業費	201
まちなか未来創造課	まち歩き推進事業費	201

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
まちなか未来創造課	鳥取駅前太平洋線再生プロジェクト事業費 ……………	202
まちなか未来創造課	鳥取駅周辺再整備推進事業費 ……………	202
都市環境課	治水対策事業費 ……………	203
都市環境課	小規模急傾斜地崩壊対策事業費 ……………	203
都市環境課	緑化推進事業費 ……………	204
都市環境課	公園整備事業費 ……………	204
都市環境課	公園芝生化推進事業費 ……………	205
都市環境課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】 ……………	205
都市環境課	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】 ……………	206
道路課	道路管理費 ……………	206
道路課	一般道補修費 ……………	207
道路課	除雪費 ……………	207
道路課	社会資本整備総合交付金事業費 ……………	208
道路課	防災・安全交付金事業費 ……………	208
道路課	交通安全施設事業工事費 ……………	209
道路課	補助災害復旧費 ……………	209
道路課	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】 ……………	210
建築指導課	福祉のまちづくり推進事業費 ……………	210
建築指導課	石綿改修支援事業費 ……………	211
建築指導課	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費 ……………	211
建築指導課	土砂災害特別区域内住宅建替等事業費 ……………	212
建築指導課	空家対策事業費 ……………	212
建築住宅課	定期借地権付土地分譲事業費 ……………	213
建築住宅課	住宅セーフティネット事業費 ……………	213
建築住宅課	市営住宅長寿命化対策費 ……………	214

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
建築住宅課	市営住宅屋根改修事業費 ……………	214
【下水道部】		
下水道企画課	下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業) ……………	215
下水道企画課	下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業) ……………	215
【教育委員会】		
教育総務課	鳥取市グローバル人材育成事業費 ……………	216
教育総務課	鳥取市立学校区再編推進事業費 ……………	216
学校教育課	放課後児童対策事業費 ……………	217
学校教育課	語学指導等外国青年招致事業費 ……………	217
学校教育課	小学校外国語教育支援事業費 ……………	218
学校教育課	外国人等児童生徒編入学支援事業費 ……………	218
学校教育課	特別支援教育推進事業費 ……………	219
学校教育課	児童生徒交流体験事業費 ……………	219
学校教育課	児童生徒支援事業費 ……………	220
学校教育課	魅力と徹底の学力向上推進事業費 ……………	220
学校教育課	学校安全推進事業費 ……………	221
学校教育課	学校働き方改革推進事業費 ……………	221
学校教育課	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費 ……………	222
学校教育課	GIGAスクール構想事業費 ……………	222
学校教育課	小学校少人数学級実施事業費 ……………	223
学校教育課	部活動推進事業費 ……………	223
学校教育課	中学校少人数学級実施事業費 ……………	224
学校教育課	放課後子ども教室推進事業費 ……………	224
学校教育課	人権教育推進事業費 ……………	225
学校保健給食課	遠距離通学費補助金(小学校) ……………	225

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
学校保健給食課	遠距離通学費補助金(中学校) ……………	226
学校保健給食課	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校) ……………	226
学校保健給食課	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校) ……………	227
学校保健給食課	特別支援学級教育就学奨励費(小学校) ……………	227
学校保健給食課	特別支援学級教育就学奨励費(中学校) ……………	228
学校保健給食課	準要保護児童・生徒給食扶助費(小学校) ……………	228
学校保健給食課	準要保護児童・生徒給食扶助費(中学校) ……………	229
学校保健給食課	学校給食センター整備費 ……………	229
学校保健給食課	学校給食運営事業費 ……………	230
文化財課	重要文化財仁風閣保存整備事業費 ……………	230
文化財課	鳥取城跡保存修理事業費 ……………	231
文化財課	上寺地遺跡管理事業費 ……………	231
文化財課	埋蔵文化財体験・活用事業費 ……………	232
文化財課	歴史博物館管理費 ……………	232
生涯学習・スポーツ課	生涯学習推進事業費 ……………	233
生涯学習・スポーツ課	地域学校協働活動推進事業費 ……………	233
生涯学習・スポーツ課	鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費 ……	234
生涯学習・スポーツ課	子育てネットワーク推進事業費 ……………	234
生涯学習・スポーツ課	若者応援プロジェクト事業費 ……………	235
生涯学習・スポーツ課	集会所管理費 ……………	235
生涯学習・スポーツ課	さじアストロパーク企画イベント等事業費 ……………	236
生涯学習・スポーツ課	さじアストロパーク30周年記念事業費 ……………	236
生涯学習・スポーツ課	スポーツ推進委員活動費 ……………	237
生涯学習・スポーツ課	市民総スポーツ運動費 ……………	237
生涯学習・スポーツ課	市民体育祭開催費 ……………	238

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
生涯学習・スポーツ課	スポレク祭開催費	238
生涯学習・スポーツ課	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	239
生涯学習・スポーツ課	ガイナレ鳥取力向上事業費	239
生涯学習・スポーツ課	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費	240
生涯学習・スポーツ課	インターハイ運営事業費	240
生涯学習・スポーツ課	東京オリ・パラレガシー継承事業費	241
生涯学習・スポーツ課	スポーツ指導者バンク支援事業費	241
生涯学習・スポーツ課	体育施設管理費	242
生涯学習・スポーツ課	市民体育館管理費	242
市立図書館	地域社会教育活動総合事業費	243
市立図書館	図書館情報管理システム処理費	243
【各種委員会】		
市議会事務局	議会報発刊費	244
市議会事務局	運営経費(市議会運営)	244
市議会事務局	議会中継・放映費	245
市議会事務局	政務活動費交付金	245
出納室	出納事務費	246
監査委員事務局	監査費	246
選挙管理委員会事務局	選挙啓発推進費	247
農業委員会事務局	機構集積支援事業費	247
【総合支所】		
国府町総合支所 地域振興課	国府地域活性化推進事業費	248
国府町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費	248
国府町総合支所 地域振興課	国府フィッシングフェスタ補助金	249
国府町総合支所 地域振興課	万葉フェスティバル開催事業費	249

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
国府町総合支所 地域振興課	こくふまつり開催費 ……………	250
福部町総合支所 地域振興課	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費 ……………	250
福部町総合支所 産業建設課	らっきょう生産振興大会助成事業費 ……………	251
河原町総合支所 地域振興課	地域プロジェクトマネージャー事業費 ……………	251
河原町総合支所 地域振興課	河原城イベント企画事業費 ……………	252
河原町総合支所 産業建設課	あゆ祭補助金 ……………	252
用瀬町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費 ……………	253
用瀬町総合支所 地域振興課	ジゲおこし事業費 ……………	253
用瀬町総合支所 産業建設課	用瀬流しびな行事 ……………	254
佐治町総合支所 地域振興課	ふるさとの味祭り事業費補助金 ……………	254
佐治町総合支所 地域振興課	文化振興費 ……………	255
気高町総合支所 地域振興課	芸術によるまちづくり推進事業費 ……………	255
気高町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費 ……………	256
気高町総合支所 地域振興課	貝がら節の郷づくり協議会補助金 ……………	256
鹿野町総合支所 地域振興課	地域おこし協力隊事業費 ……………	257
鹿野町総合支所 地域振興課	文化交流拠点周辺整備事業費 ……………	257
鹿野町総合支所 地域振興課	わったいな祭事業費 ……………	258
鹿野町総合支所 地域振興課	町民音楽祭開催費 ……………	258
鹿野町総合支所 産業建設課	鹿野城跡公園管理費 ……………	259
青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域活性化推進事業費 ……………	259
青谷町総合支所 地域振興課	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費 ……………	260
青谷町総合支所 地域振興課	青谷地域にぎわい創出事業補助金 ……………	260

<u>担当課</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
【債務負担行為の概要】		
財産経営課	青谷町総合支所整備事業費 ……………	263
資産活用推進課	鳥取市公共施設包括管理委託事業 ……………	264
人権推進課	人権交流プラザ内部改修工事費 ……………	265
政策企画課	第12次鳥取市総合計画策定支援業務費 ……………	266
文化交流課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世 界おもちゃ館の管理運営費 ……………	267
文化交流課	鳥取世界おもちゃ館の中央熱源機器改修工事委託費 ……………	268
生活環境課	佐治用瀬一般廃棄物処理施設施工監理・解体工事 ……………	269
生活環境課	神谷清掃工場調査設計業務費 ……………	270
長寿社会課	社会福祉施設改修事業費 ……………	271
企業立地・支援課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償 ……………	272
農政企画課	射撃場管理運営費 ……………	273
林務水産課	指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市 出合いの森公園の管理運営費 ……………	274
農村整備課	土地改良施設維持管理適正化事業費 ……………	275
建築住宅課	市営住宅水道料金各戸計量・徴収事業費 ……………	276
建築住宅課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償 ……………	277
建築住宅課	鳥取市土地開発公社借入金の損失補償 ……………	278
青谷町総合支所 地域振興課	青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 ……………	279

令和6年度当初予算(案) 事業別概要目次(特別会計)

会計名	項目名	ページ
土地区画整理費	保留地処分事務費	283
公設地方卸売市場事業費	業務委託費	283
国民健康保険費(事業勘定)	ジェネリック医薬品利用促進事業費	284
国民健康保険費(事業勘定)	一般被保険者療養給付費	284
国民健康保険費(事業勘定)	一般被保険者高額療養費	285
国民健康保険費(事業勘定)	出産育児一時金	285
国民健康保険費(事業勘定)	一般被保険者医療給付費分	286
国民健康保険費(事業勘定)	一般被保険者後期高齢者支援金等分	286
国民健康保険費(事業勘定)	介護納付金分	287
国民健康保険費(事業勘定)	糖尿病性腎症重症化予防事業費	287
国民健康保険費(事業勘定)	医療費適正化強化推進事業費	288
国民健康保険費(事業勘定)	特定健康診査等事業費	288
国民健康保険費(直診勘定)	医科運営費	289
国民健康保険費(直診勘定)	医科保健事業費	289
国民健康保険費(直診勘定)	歯科運営費	290
国民健康保険費(直診勘定)	歯科保健事業費	290
国民健康保険費(直診勘定)	長期借入金元金償還金	291
国民健康保険費(直診勘定)	長期借入金利子償還金	291

<u>会計名</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費(高齢者住宅勘定)	高齢者住宅整備資金貸付事業費	292
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費(障害者住宅勘定)	障害者住宅整備資金貸付事業費	292
土地取得費	土地取得費事務費	293
墓苑事業費	墓地管理費	293
介護保険費	介護サービス等諸費	294
介護保険費	介護予防サービス等諸費	294
介護保険費	訪問型・通所型サービス事業費	295
介護保険費	高齢者健康教室事業費	295
介護保険費	介護予防普及啓発事業費	296
介護保険費	おたつしゃ教室事業費	296
介護保険費	地域リハビリテーション活動支援事業費	297
介護保険費	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)	297
介護保険費	認知症地域支援・ケア向上事業費	298
介護保険費	認知症初期集中支援推進事業費	298
介護保険費	介護給付等費用適正化事業費(事業運営費)	299
介護保険費	成年後見人報酬負担金	299
介護保険費	介護相談員派遣事業費	300
介護保険費	認知症サポーター等養成事業費	300
財産区管理事業費	一般管理事務費(国府)	301

<u>会計名</u>	<u>項目名</u>	<u>ページ</u>
温泉事業費	維持管理費	301
温泉事業費	温泉事業基金積立金	302
観光施設運営事業費	観光施設管理費	302
観光施設運営事業費	温泉施設管理費	303
後期高齢者医療費	後期高齢者医療広域連合納付金	303
電気事業費	青谷町いかり原維持管理費	304
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	304
【債務負担行為の概要】		
母子父子寡婦福祉 資金貸付事業費	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	307

(参考)第11次鳥取市総合計画 体系図兼コード表

まちづくりの目標・方針		政策	基本施策 コード	基本施策		
00	計画推進における基本方針		0001	多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化		
			0002	時代の変化に即応できる組織体制の構築		
			0003	将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立		
			0004	自治体間の広域的な連携の推進		
01	誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち	01 未来を創る人材を育むまちづくり	1101	結婚・出産・子育て支援		
			1102	教育の充実・郷土愛の醸成		
			1103	生涯学習の推進		
		02 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり	1201	安心できる社会保障制度の運営		
			1202	超高齢社会に向けたまちづくりの推進		
			1203	障がいのある人の自立支援		
		03 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	1301	健康づくり・疾病予防・介護予防の推進		
			1302	安全・安心のための保健衛生と医療の推進		
			1303	スポーツ・レクリエーションの振興		
		04 人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成		
			1402	男女共同参画社会の形成		
			1403	地域福祉の推進		
			1404	多文化共生のまちづくりの推進		
			1405	協働のまちづくりの推進		
		02	人が行きかい、にぎわいあふれるまち	01 ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり	2101	持続可能な経済成長の実現
					2102	工業の振興
2103	商業とサービス業等の振興					
2104	農林水産業の成長産業化					
02 人が集う交流と連携のまちづくり	2201			ふるさと・いなか回帰の促進		
	2202			滞在型観光の推進		
	2203			シティセールスの推進		
	2204			自治体間連携の推進		
	2205			他都市との交流の推進		
03 文化芸術の薫りあふれるまちづくり	2301			文化芸術によるまちづくりの推進		
	2302			文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成		
04 快適で暮らしやすい生活環境づくり	2401			生活基盤の充実		
	2402			中心市街地の活性化		
	2403			魅力ある中山間地域の振興		
	2404			交通ネットワークの充実		
	2405			地域情報化の推進		
03	豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち			01 安全・安心に暮らせるまちづくり	3101	地域防災力の向上
					3102	防犯・交通安全対策の充実
					3103	安全・安心な消費生活の確保
				02 環境にやさしいまちづくり	3201	循環型社会の形成
		3202	環境保全活動の推進			

一 般 会 計

(予算事業別概要)

総001	項目名	外部監査費	新規事業
予算書項目	外部監査費	ページ	169
年度	R6	所 属 名	総務部 総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 行政係 0857-30-8102		
款 総務費	【1次総の施策体系】 0001		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い必須となった包括外部監査に要する経費。普通地方公共団体の財務管理や事業の経営管理等に優れた識見を有する「弁護士」、「公認会計士」、「監査実務精通者」、「税理士」のいずれかの者を外部監査人として契約する。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 外部監査制度は、地方分権の推進に資するとともに、監査委員制度とは別に、地方公共団体の組織に属さない外部の専門知識を有する者による監査によって、監査機能の強化と独立性を確保するもの。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷		
前年度当初予算額	7,337	【事業の実績】 令和3年度 7,342千円 令和4年度 7,342千円 令和5年度 7,337千円（見込）	
本年度要求額	7,340		
総務部長段階査定額	7,340	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷	
市長段階査定額	7,340	【事業の実績】 令和3年度 7,342千円 令和4年度 7,342千円 令和5年度 7,337千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 7,342千円 令和4年度 7,342千円 令和5年度 7,337千円（見込）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 7,342千円 令和4年度 7,342千円 令和5年度 7,337千円（見込）	
その他	0	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷	
一般財源	7,340	【事業の実績】 令和3年度 7,342千円 令和4年度 7,342千円 令和5年度 7,337千円（見込）	
計	7,340	【事業の内容】 ・包括外部監査に係る委託料 ・外部監査報告書印刷	
備考欄			

総002	項目名	鳥取市史編さん事業費	新規事業
予算書項目	市史編さん費	ページ	171
年度	R6	所 属 名	総務部 総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 市史編さん室 0857-21-0860		
款 総務費	【1次総の施策体系】 0001		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新修鳥取市史編さん事業は、近代までを編さん対象とし、昭和49年度から事業着手し、以下のとおり、刊行した。 新修鳥取市史第1巻（古代・中世篇）…昭和58年刊行 第2巻（近世篇）…昭和63年刊行 第3巻（資料篇）…昭和60年刊行 第4巻（明治/政治・経済篇）…平成25年刊行（100周年事業） 第5巻（明治/社会・教育篇）…平成19年刊行（100周年事業）		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 鳥取市の歴史の編さんを通じて、郷土のなりたちや先人の足跡について市民の理解を深め、郷土への愛着を深める目的で実施している。 新修鳥取市史第6巻（大正篇）の令和7年度刊行に向けて、執筆者への原稿提出の督促を行うとともに、編さん委員及び編さんアドバイザーと連携し、編集作業を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など		
前年度当初予算額	9,919	【事業の実績】 令和3年度 7,656千円 令和4年度 8,892千円 令和5年度 10,917千円（見込）	
本年度要求額	13,244	※その他財源の諸収入は、鳥取市史、記念誌等頒布料	
総務部長段階査定額	12,314	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など	
市長段階査定額	12,314	【事業の実績】 令和3年度 7,656千円 令和4年度 8,892千円 令和5年度 10,917千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 7,656千円 令和4年度 8,892千円 令和5年度 10,917千円（見込）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 7,656千円 令和4年度 8,892千円 令和5年度 10,917千円（見込）	
その他	56	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など	
一般財源	12,258	【事業の実績】 令和3年度 7,656千円 令和4年度 8,892千円 令和5年度 10,917千円（見込）	
計	12,314	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費 編さん委員・編さんアドバイザー謝金 市史編さん室利用料や事務費など	
備考欄			

総003	項目名	情報公開制度運用事業費	新規事業
予算書項目	情報公開制度関連事務費	ページ	171
年度	R6	所属名	総務部 総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公文書管理室 0857-30-8106		
款 総務費	【1次総の施策体系】0001		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成11年10月に情報公開制度、平成15年4月に個人情報保護制度の条例に基づく運用を開始した。その後、個人情報保護制度は、個人情報の保護に関する法律の改正により、令和5年4月より同法に基づき運用することとなった。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 情報公開制度及び行政不服審査制度の運用により、公正で開かれた市政を推進する。また、個人情報保護制度の運用により、個人情報の適正な取扱いを確保するとともに、個人の権利利益を保護する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①情報公開制度・個人情報保護制度の運用 市民からの開示等請求に基づき、開示等決定の処分を行う。決定処分に対して審査請求がある場合は、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、審査を行う。また、制度の見直しを行う場合は、情報公開制度等審議会を開催し、検討を行う。 個人情報に関しては、国のガイドラインに基づき適切な安全管理措置を行う。 ②行政不服審査法に基づく審査 行政処分に対して審査請求がある場合は、審理員による審理を経た後、行政不服審査会を開催し、審査を行う。 ○情報公開・個人情報保護審査会、行政不服審査会等委員報酬 ○市民総合賠償補償（個人情報漏えい特約）保険料（新規） ○情報公開制度及び個人情報保護制度の運用のための事務費用		
前年度当初予算額	548	【事業の実績】 令和3年度 298千円、令和4年度 249千円、令和5年度 548千円（見込み）	
本年度要求額	1,060	※その他財源の諸収入は、情報公開制度等実施に伴う文書の写し等の交付に係る経費	
総務部長段階査定額	928	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	928	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	65	寄付金	0
一般財源	863	繰入金	0
計	928	贈収金	65
		その他	0
備考欄			

総004	項目名	農林業センサス費	新規事業
予算書項目	農林業センサス費	ページ	191
年度	R6	所属名	総務部 総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】統計係 0857-30-8104		
款 総務費	【1次総の施策体系】0001		
項 統計調査費	【事業の経過及び背景】 農林業センサスは、統計法に基づく基幹統計として、農林業の実態とその変化を明らかにするため、5年ごとに実施される。法定受託事務であり、県を通じて国から委託金が交付される。		
目 指定統計調査費	【事業の目的及び効果】 農林業の生産構造や就業構造、農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業行政施策の基礎資料とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・2025年農林業センサスの実施 ・調査対象：農林業経営体の世帯・組織 ・調査期日：2月1日		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和元年度 13,598千円	
本年度要求額	17,859		
総務部長段階査定額	17,859	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	17,859	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	17,859	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	0
計	17,859	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

総005	項目名	予算事務費	新規事業
予算書項目	予算事務費	ページ	173
年度	R6	所 属 名	総務部 行財政改革課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】財務係 0857-30-8111		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 総務管理費	【事業の目的及び効果】 予算編成等に要する事務費及び統一的な基準による公会計制度の運用に要する経費。		
目 財政管理費	【事業の内容】 ①当初予算書、補正予算書（6月、9月、12月、2月）、専決補正予算書、前年度主要施策の成果説明書の作成。 ②令和5年度決算における統一的な基準による財務書類の作成。		
(単位：千円)	【事業の実績】 令和3年度 6,745千円 令和4年度 7,357千円 令和5年度 7,325千円（見込み）		
前年度当初予算額	7,325	分担金	0
本年度要求額	6,547	負担金	0
総務部長段階査定額	6,547	使用料	0
市長段階査定額	6,547	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収金	0
その他	0	その他	0
一般財源	6,547		
計	6,547		
備考欄			

総006	項目名	行財政改革大綱等推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	総務部 行財政改革課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】行政経営係 0857-30-8112		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 昭和61年度（第1次）から継続し、現在、第7次（構想期間：令和2～6年度）の行財政改革に取り組んでいる。実施計画の進行管理は、外部機関として設置する鳥取市市政改革推進市民委員会（市民の有識者と公募委員の10名で構成）で審議し、見直しに係る意見・提言をいただいている。 なお、第7次の計画期間が最終年度を迎えることから、次期計画（構想期間：令和7年度～11年度）の策定に取り組む必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和2年3月に策定した鳥取市市政改革プラン（第7次鳥取市行財政改革大綱）に基づき、さらなる行財政改革を強力に推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①市政改革プランの進行管理 市政改革推進市民委員会の開催（年7回） ②第8次行財政改革大綱の策定 先進地視察の実施、大綱策定		
前年度当初予算額	374	【事業の実績】 令和3年度 259千円 令和4年度 283千円 令和5年度 374千円（見込み）	
本年度要求額	1,401	分担金	0
総務部長段階査定額	1,401	負担金	0
市長段階査定額	1,401	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	贈収金	0
一般財源	1,401	その他	0
計	1,401		
備考欄			

総007	項目名	長期借入金元金償還金		新規事業
予算書項目	長期借入金元金償還金	ページ	303	所属名
年度	R6	総務部 行財政改革課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】財務係 0857-30-8111			
款 公債費	【1次総の施策体系】0003			
項 公債費	【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債の元金償還金。			
目 元金	【事業の内容】 起債の元金償還			
(単位：千円)	【事業の実績】 令和3年度 9,290,297千円 ※猶予特例債含む 令和4年度 9,195,831千円 令和5年度 10,606,417千円 (2月補正後決算見込)			
前年度当初予算額	9,247,321	※その他財源の繰入金は、漁港整備推進基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、地域総合整備資金貸付金元利収入		
本年度要求額	9,251,185			
総務部長段階査定額	9,251,185	その他財源の内訳		
市長段階査定額	9,251,185	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	40,043	
		諸収入	346,616	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	12,286			
地方債	0			
その他	386,659			
一般財源	8,852,240			
計	9,251,185			
備考欄				

総008	項目名	長期借入金利子償還金		新規事業
予算書項目	長期借入金利子償還金	ページ	303	所属名
年度	R6	総務部 行財政改革課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】財務係 0857-30-8111			
款 公債費	【1次総の施策体系】0003			
項 公債費	【事業の目的及び効果】 道路及び公共施設等の整備のために借り入れた起債に係る利子償還金。			
目 利子	【事業の内容】 起債の利子償還金			
(単位：千円)	【事業の実績】 令和3年度 523,855千円 令和4年度 496,874千円 令和5年度 499,903千円 (2月補正後決算見込)			
前年度当初予算額	497,125	※その他財源の使用料は、住宅使用料等		
本年度要求額	508,373			
総務部長段階査定額	508,373	その他財源の内訳		
市長段階査定額	508,373	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	173,623	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	928			
地方債	0			
その他	173,623			
一般財源	333,822			
計	508,373			
備考欄				

総009	項目名	退職手当	新規事業
予算書項目	退職手当	ページ	167
年度	R6	所属名	総務部 職員課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】給与係 0857-30-8117		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 総務管理費	【事業の目的及び効果】 職員の退職に伴い、当該職員の鳥取市在職期間等に応じて退職手当を支給するもの。		
目 一般管理費	【事業の内容】 ○退職手当 令和6年度当初予算 定年退職等 一般職 11人分、特別職 1人分 令和5年度当初予算 一般職 中途退職分		
(単位：千円)	※その他財源の諸収入は、退職手当負担金		
前年度当初予算額	42,000		
本年度要求額	223,498		
総務部長段階査定額	223,498	その他財源の内訳	
市長段階査定額	223,498	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	12,918
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	12,918		
一般財源	210,580		
計	223,498		
備考欄			

総010	項目名	鳥取市建設優良工事表彰経費	新規事業
予算書項目	鳥取市建設優良工事表彰費	ページ	253
年度	R6	所属名	総務部 検査契約課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】契約制度係 0857-30-8122		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 平成17年4月から施行された「公共工事の品質確保に関する法律」によって、公共工事の発注者には価格と品質のどちらにも優れた工事契約を締結することが求められており、優秀な施工技術を持つ請負業者の育成が課題となっている。		
目 土木総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取市発注建設工事のうち、優良な施工をした建設業者を表彰することで建設業者の施工意欲及び施工能力の向上を図り、工事品質を確保していく。 また、指名審査及び次回（令和7・8年度）の格付に反映させる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	57	・対象：鳥取市が発注した建設工事で、表彰実施年度の前年度に完成した工事	
本年度要求額	57	・選考：副市長、総務部長、都市整備部長、農林水産部長、下水道部長及び外部委員2名で組織する「優良建設工事審査委員会」で決定する。	
総務部長段階査定額	57	・表彰時期：9～12月頃	
市長段階査定額	57	・その他：HP等での表彰工事の紹介	
		【事業の実績】	
		令和3年度 8工事（10業者）	
		令和4年度 6工事（7業者）	
		令和5年度 7工事（9業者）	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	57		
計	57		
備考欄			

総011	項目名	総合支所整備事業費	新規事業
予算書項目	庁舎管理費	ページ	173
年度	R6	所属名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 財産政策第一係 0857-30-8131		
款 総務費	【1 1次総の施策体系】 3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 総合支所は地域振興・防災の拠点となる施設であり、それらの拠点として必要となる耐震性能を備えた施設として、充実・強化を図っていく必要がある。		
目 財産管理費	【事業の目的及び効果】 地域防災の拠点としての機能を果たすため、青谷町総合支所庁舎の大規模改修（非常用発電設備・受水槽の整備、バリアフリー改修）を行い、安心安全な住民生活を確保する。 令和5年度末の旧国府町総合支所解体工事の完了に際し、周辺家屋の工事による影響調査を実施し、損害に対する費用負担額の算出、説明業務を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 青谷町総合支所大規模改修工事：H5建築 RC造 2階 2,571.77㎡ 旧国府町総合支所解体に係る工損調査（事後調査）：6世帯24棟		
前年度当初予算額	151,908	【事業の実績】 令和3年度実績 0千円 令和4年度実績 33,680千円 令和5年度見込 150,608千円	
本年度要求額	249,077		
総務部長段階査定額	249,077	【事業の内訳】	
市長段階査定額	249,077	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	228,700		
その他	0		
一般財源	20,377		
計	249,077		
備考欄			

総012	項目名	気高法面崩壊復旧事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	173
年度	R6	所属名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 財産政策第一係 0857-30-8131		
款 総務費	【1 1次総の施策体系】 3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 令和5年7月の大雨により、気高町津津地区の法面（普通財産）の一部が崩落し、土砂、樹木が民地敷地に流出した。令和5年度に仮復旧を行い、測量設計業務に着手している。		
目 財産管理費	【事業の目的及び効果】 被害箇所を復旧を行い、安心安全な住民生活を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 気高町津津地区の法面（普通財産）崩壊復旧工事		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度実績 9,811千円 令和4年度実績 64,525千円 令和5年度見込 17,215千円	
本年度要求額	37,100		
総務部長段階査定額	37,100	【事業の内訳】	
市長段階査定額	37,100	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	37,100		
その他	0		
一般財源	0		
計	37,100		
備考欄			

総013	項目名	車両維持管理費	新規事業
予算書項目	車両管理費	ページ	173
年度	R6	所 属 名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 財産政策第二係 0857-30-8132		
款 総務費	【1次総の施策体系】 3102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 公用車は集中管理を行い、調達時にはリース・レンタカー契約を組み合わせることで効率的な利用を図るとともに、より環境負荷の少ない電気自動車の導入を進めている。		
目 財産管理費	【事業の目的及び効果】 公用車の適切な管理を行いながら、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金等を活用し、今後リースアップする車両を順次電気自動車に切り替えていくことで、温室効果ガス削減に取り組んでいく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 電気自動車の購入費（3台）・充電設備導入のための施設修繕費 公用車の燃料費・修繕費・リース料（110台）等 公用車予約システムの保守委託料		
前年度当初予算額 56,693	【事業の実績】 令和3年度実績 41,945千円（管理台数115台 うちリース113台） 令和4年度実績 46,314千円（管理台数115台 うちリース113台） 令和5年度見込 55,919千円（管理台数115台 うちリース110台）		
本年度要求額 53,928	※その他財源の諸収入は、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金、自動車損害賠償保険金、広告料収入		
総務部長段階査定額 53,427	その他財源の内訳		
市長段階査定額 53,427	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	5,148	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	6,300		
その他	5,148		
一般財源	41,979		
計	53,427		
備考欄			

総014	項目名	財産管理事務費	新規事業
予算書項目	事務費等	ページ	173
年度	R6	所 属 名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 財産政策第二係 0857-30-8132		
款 総務費	【1次総の施策体系】 3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市有地の除草など市有財産の適切な維持管理を行っている。		
目 財産管理費	【事業の目的及び効果】 市有財産の適切な維持管理を行うことにより、住民サービスを確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 賀露地内擁壁改修測量設計費（法定外公共物） 円護寺地内水路改修工事費（普通財産） 市有地の除草・伐採委託費		
前年度当初予算額 25,095	【事業の実績（事業統合後）】 令和3年度実績 19,415千円 令和4年度実績 19,046千円 令和5年度見込 25,758千円		
本年度要求額 36,429	※その他財源の使用料は、法定外公共物占用料 ※その他財源の手数料は、土地境界証明手数料 ※その他財源の財産収入は、普通財産土地貸付料		
総務部長段階査定額 35,787	その他財源の内訳		
市長段階査定額 35,787	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	4,122	
	手数料	55	
	財産収入	453	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	15,800		
その他	4,630		
一般財源	15,357		
計	35,787		
備考欄			

総015	項目名	国土調査事業費	新規事業
予算書項目	国土調査事業費	ページ	241
年度	R6	所属名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地籍調査係 0857-30-8133		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2401		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 国土調査法に基づく調査であり、一筆ごとの土地について地目・境界を確認し測量を行い、正確な地図と簿冊を作成し、所有者の閲覧後、法務局に登録するもの。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 土地登記簿と公図がより精度の高いものに更新されることで、土地境界紛争の防止、土地取引や公共事業の円滑化、地震等の災害の際の迅速な復旧等につながる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 実施面積 1.35km ² (国府地域 0.43km ² 用瀬地域 0.67km ² 青谷地域 0.25km ²)		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 (繰越分含む) 実施面積 1.48km ² 事業費 75,002千円 進捗率 24.23% 令和4年度 (繰越分含む) 実施面積 1.74km ² 事業費 115,965千円 進捗率 24.50% 令和5年度 (見込・繰越分) 実施面積 1.93km ² 事業費 120,493千円 進捗率 24.81%	
本年度要求額	97,378	(参考：令和6年度見込 (繰越分含む)) 実施面積 1.80km ² 事業費 120,792千円 進捗率 25.07%	
総務部長段階査定額	97,378	【事業の目的及び効果】	
市長段階査定額	97,378	土地登記簿と公図がより精度の高いものに更新されることで、土地境界紛争の防止、土地取引や公共事業の円滑化、地震等の災害の際の迅速な復旧等につながる。	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		実施面積 1.35km ² (国府地域 0.43km ² 用瀬地域 0.67km ² 青谷地域 0.25km ²)	
国・県支出金	71,615	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 (繰越分含む)	
その他	0	実施面積 1.48km ² 事業費 75,002千円 進捗率 24.23%	
一般財源	25,763	令和4年度 (繰越分含む)	
計	97,378	実施面積 1.74km ² 事業費 115,965千円 進捗率 24.50%	
備考欄		令和5年度 (見込・繰越分)	
		実施面積 1.93km ² 事業費 120,493千円 進捗率 24.81%	
		(参考：令和6年度見込 (繰越分含む))	
		実施面積 1.80km ² 事業費 120,792千円 進捗率 25.07%	

総016	項目名	ファシリティマネジメント推進事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	173
年度	R6	所属名	総務部 資産活用推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設経営係 0857-30-8136		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 高度経済成長並びに人口増加を背景に整備された公共施設が老朽化し、今後、一斉に更新時期を迎えることから多額の更新経費が必要となる。人口減少や少子高齢化等によって財政規模の縮減、市民ニーズの変化が予測されるため、長期的かつ総合的な視点から施設経営 (ファシリティマネジメント) の推進が求められている。		
目 財産管理費	【事業の目的及び効果】 本市におけるファシリティマネジメント (FM) は、「公共サービスの維持・向上」「安全・安心な市民生活」「次世代の負担軽減」を主目的に、総合的かつ経営的な視点から、これまでの公共施設の維持管理・活用・更新等について見直しを図る。FMを推進することで、新しい公民連携やコンパクトなまちづくり等につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○効率的な施設の維持管理 ・施設管理業務等の一括予算要求、一括発注 (清掃、消防用設備保守点検、建築基準法に基づく点検 (建物・防火)、屋外広告物定期点検) など ○経営基本方針、再配置基本計画、取組方針に基づくFMの推進 ・研修会開催、施設カルテを活用した所管課との連携による再配置の検討など ○PPP (公民連携) 導入指針による民間活力を利用した施設整備等の推進 ・施設整備等に関するPPPの検討、民間提案制度の実施など ○未利用資産売却推進 ・売却の推進 (鑑定・測量・販売委託)、官公庁オークション利用 (物品等) など ○債務負担行為 ・複数施設ESCO導入事業償還、エネルギー削減補償サービス導入事業償還		
前年度当初予算額	59,922	【事業の実績】 ○建築基準法に基づく点検一括契約 (R3:72棟 (建物) 42棟 (防火)、R4:62棟 (建物) 51棟 (防火)、R5:71棟 (建物) 51棟 (防火)) ○清掃業務一括契約 (R3:29施設、R4:29施設、R5:30施設) ○消防用設備点検一括契約 (R3:81施設、R4:83施設、R5:86施設) ○屋外広告物一括契約 (R4:64箇所) ※隔年実施 ○未利用資産売却 (R3:5件110,030千円、R4:7件159,750千円、R5:4件10,958千円 (R5.12時点))	
本年度要求額	66,140		
総務部長段階査定額	61,186	【事業の目的及び効果】	
市長段階査定額	61,186	本市におけるファシリティマネジメント (FM) は、「公共サービスの維持・向上」「安全・安心な市民生活」「次世代の負担軽減」を主目的に、総合的かつ経営的な視点から、これまでの公共施設の維持管理・活用・更新等について見直しを図る。FMを推進することで、新しい公民連携やコンパクトなまちづくり等につなげる。	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		○効率的な施設の維持管理	
国・県支出金	0	・施設管理業務等の一括予算要求、一括発注 (清掃、消防用設備保守点検、建築基準法に基づく点検 (建物・防火)、屋外広告物定期点検) など	
地方債	0	○経営基本方針、再配置基本計画、取組方針に基づくFMの推進	
その他	0	・研修会開催、施設カルテを活用した所管課との連携による再配置の検討など	
一般財源	61,186	○PPP (公民連携) 導入指針による民間活力を利用した施設整備等の推進	
計	61,186	・施設整備等に関するPPPの検討、民間提案制度の実施など	
備考欄		○未利用資産売却推進	
		・売却の推進 (鑑定・測量・販売委託)、官公庁オークション利用 (物品等) など	
		○債務負担行為	
		・複数施設ESCO導入事業償還、エネルギー削減補償サービス導入事業償還	
		【事業の実績】	
		○建築基準法に基づく点検一括契約 (R3:72棟 (建物) 42棟 (防火)、R4:62棟 (建物) 51棟 (防火)、R5:71棟 (建物) 51棟 (防火))	
		○清掃業務一括契約 (R3:29施設、R4:29施設、R5:30施設)	
		○消防用設備点検一括契約 (R3:81施設、R4:83施設、R5:86施設)	
		○屋外広告物一括契約 (R4:64箇所) ※隔年実施	
		○未利用資産売却 (R3:5件110,030千円、R4:7件159,750千円、R5:4件10,958千円 (R5.12時点))	

総017	項目名	ふるさと納税推進事業費		新規事業
予算書項目	税務事務費	ページ	185	所属名
年度	R6	総務部 資産活用推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】ふるさと納税係 0857-30-8137			
款 総務費	【1次総の施策体系】0003 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 徴税費	【事業の経過及び背景】			
目 税務総務費	「ふるさと納税」制度は、都市部と地方の税収格差是正を目的に平成20年度創設。納税者がふるさとや応援する地方公共団体に寄附した際、所得税及び住民税から寄附金の一部が控除される。「企業版ふるさと納税」制度は、地方創生の取組活性化を目的に平成28年度創設。企業が、地方公共団体の行う地方創生の取組に対し寄附した際、法人関係税から税額控除される。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	301,530	ふるさと納税制度を利用した本市への寄附者及び寄附金額の増加を図るため、パンフレット作成や各種PRを行い、寄附者への返礼品の提供を通じ、地元産品のPRを行うことで地場産業の振興に繋げる。また、令和3年度より国の認定を受けて「企業版ふるさと納税」の受付を開始した。制度のPRを行い、企業からの寄附を募ることで地方創生の推進を図る。		
本年度要求額	304,530	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	304,530	○ふるさと納税制度を利用した本市への寄附者及び寄附金額の増加を図るため、パンフレット作成や各種PRを行い、寄附者への返礼品の提供を通じ、地元産品のPRを行うことで地場産業の振興に繋げる。また、令和3年度より国の認定を受けて「企業版ふるさと納税」の受付を開始した。制度のPRを行い、企業からの寄附を募ることで地方創生の推進を図る。		
市長段階査定額	304,530	○魅力ある返礼品開拓のための企業・事業者訪問		
区分	本年度予算額	○寄附者の利便性向上と事務負担軽減のためワンストップ特例申請のオンライン化		
国・県支出金	1,941	○企業版ふるさと納税のPR（支援サービス業務委託など）		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	33,480	＜ふるさと納税による寄附件数及び寄附金額＞		
一般財源	269,109	令和3年度 26,938件 605,468千円 令和4年度 28,944件 902,926千円		
計	304,530	令和5年度 29,000件 830,000千円（見込）		
		＜企業版ふるさと納税による寄附件数及び寄附金額＞		
		令和3年度 6件 18,200千円 令和4年度 6件 22,300千円		
		令和5年度 10件 106,500千円（見込）		
備考欄		※その他財源の諸収入は、出店料		

税001	項目名	賦課徴収費	新規事業
予算書項目	賦課事務費	ページ	185
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 市民税課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 税制係 0857-30-8142		
款 総務費	【1次総の施策体系】 0003		
項 徴収費	【事業の経過及び背景】 市税の賦課は法令等に基づき、決められた期限内に適正かつ公正に行われることが求められている。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 個人市民税、法人市民税及び軽自動車税等の適正かつ公正な賦課を行うため、税制改正などに適切に対応した正確かつ安定したシステムを維持していく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 会計年度任用職員の人件費、納税通知書等の印刷・封入・送付に必要な経費、システム運営費など。		
前年度当初予算額	73,397	【事業の実績】 令和3年度 54,292千円 令和4年度 89,245千円 令和5年度 84,420千円（見込）	
本年度要求額	67,760	※その他財源の手数料は、自動車臨時運行許可手数料 ※その他財源の諸収入は、申告会場借上代、広告料収入	
総務部長段階査定額	66,893	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	66,893	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	195
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	432
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	64,568		
地方債	0		
その他	627		
一般財源	1,698		
計	66,893		
備考欄			

税002	項目名	令和6年度定額減税補足給付金事業費(物価高騰対応臨時交付金)	新規事業
予算書項目	令和6年度定額減税補足給付金事業費	ページ	185
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 市民税課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 税制係 0857-30-8142		
款 総務費	【1次総の施策体系】 1201		
項 徴収費	【事業の経過及び背景】 令和6年度の税制改正大綱にて、納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき、令和6年分の所得税3万円、令和6年度分の個人住民税1万円の定額減税を行うことが示された。この定額減税において、減税しきれないと見込まれる方に対しては、定額減税可能額と各税額の差額の合計額を給付することとしている。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 国民の可処分所得を増やし、賃金上昇・消費拡大・投資拡大の好循環を生み出すことを目的として、定額減税と併せて減税の恩恵が十分に及ばない方に対して給付を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 定額減税可能額と令和6年分推計所得税額・令和6年度分個人住民税額の差額を給付する。給付事務に係る人件費、各書類の印刷・封入・送付に必要な経費、給付にかかるシステム導入費など。		
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	1,499,941		
総務部長段階査定額	1,499,941	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,499,941	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	1,499,941		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	1,499,941		
備考欄			

税003	項目名	賦課事務費	新規 事業																				
予算書項目	賦課事務費	ページ	185																				
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 固定資産税課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】償却資産係 0857-30-8156																						
款 総務費	【1 1次総の施策体系】0003																						
項 徴税費	【事業の経過及び背景】 固定資産税・都市計画税は、賦課期日（1月1日）現在において、土地・家屋及び償却資産を所有している者（都市計画税については、市街化区域に所在する土地・家屋を所有している者）に対し、固定資産の価格を基に算定して課税する財産税であり、市税の中で市民税と並ぶ基幹税目である。																						
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 土地・家屋及び償却資産の適正な評価により決定した価格に基づき、固定資産税・都市計画税の賦課を行うことで、安定した税収を確保する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 賦課期日の固定資産の所有者に対し、その所有する土地、家屋の課税明細を明示した固定資産税・都市計画税納税通知書を送付する。家庭裁判所へ相続財産清算人の選任申立てを行うことで、相続人が不存在で納税通知書を送達できない案件の解消にも努めている。																						
前年度当初予算額	18,359	【事業の実績】																					
本年度要求額	20,459	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度 (見込)</th> <th>令和4年度 (実績)</th> <th>令和3年度 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・固定資産税 納税義務者数(人)</td> <td>76,982</td> <td>76,964</td> <td>76,710</td> </tr> <tr> <td>現年調定額(千円)</td> <td>11,259,811</td> <td>10,166,920</td> <td>10,719,243</td> </tr> <tr> <td>・都市計画税 納税義務者数(人)</td> <td>47,841</td> <td>47,763</td> <td>47,644</td> </tr> <tr> <td>現年調定額(千円)</td> <td>548,446</td> <td>542,580</td> <td>523,370</td> </tr> </tbody> </table>			令和5年度 (見込)	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)	・固定資産税 納税義務者数(人)	76,982	76,964	76,710	現年調定額(千円)	11,259,811	10,166,920	10,719,243	・都市計画税 納税義務者数(人)	47,841	47,763	47,644	現年調定額(千円)	548,446	542,580	523,370
	令和5年度 (見込)	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)																				
・固定資産税 納税義務者数(人)	76,982	76,964	76,710																				
現年調定額(千円)	11,259,811	10,166,920	10,719,243																				
・都市計画税 納税義務者数(人)	47,841	47,763	47,644																				
現年調定額(千円)	548,446	542,580	523,370																				
総務部長段階査定額	19,430	※その他財源の諸収入は、相続財産清算人の選任申立てに係る予納金の清算金等																					
市長段階査定額	19,430	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>502</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	502	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	502																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	502																						
一般財源	18,928																						
計	19,430																						
備考欄																							

税004	項目名	土地評価事務費	新規 事業																				
予算書項目	評価事務費	ページ	185																				
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 固定資産税課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】土地係 0857-30-8157																						
款 総務費	【1 1次総の施策体系】0003																						
項 徴税費	【事業の経過及び背景】 固定資産税・都市計画税は市税の基幹税目であり、適正な評価と税収の確保は市政の重要課題である。課税内容に対する納税者の関心は高く、公平で適正な評価が求められる。																						
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 固定資産税（土地）の適正かつ公正な評価を行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 登記済通知書により課税客体を的確に把握した上で、GIS地番現況図等の関係資料をもとに現況調査等を実施し、評価する。 ○固定資産（宅地）評価システム基礎資料作成業務委託 ○標準宅地の時点修正に関する業務委託：地価下落に対応 ○公図の分合筆の照合及び修正業務委託：公図整備																						
前年度当初予算額	33,482	【事業の実績】																					
本年度要求額	30,912	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価総筆数</td> <td>379,497筆</td> <td>379,784筆</td> <td>379,635筆</td> </tr> <tr> <td>異動処理件数</td> <td>21,839件</td> <td>18,415件</td> <td>17,717件</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年度	令和3年度	令和2年度	評価総筆数	379,497筆	379,784筆	379,635筆	異動処理件数	21,839件	18,415件	17,717件								
	令和4年度	令和3年度	令和2年度																				
評価総筆数	379,497筆	379,784筆	379,635筆																				
異動処理件数	21,839件	18,415件	17,717件																				
総務部長段階査定額	30,912	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	30,912																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	30,912																						
計	30,912																						
備考欄																							

税005	項目名	賦課徴収費	新規事業
予算書項目	徴収事務費	ページ	185
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 収納推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 管理・企画係 0857-30-8161		
款 総務費	【1 1次総の施策体系】 0003		
項 徴収費	【事業の経過及び背景】 自主財源等の安定確保により市政の効率的運用を図る。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 市税及び国民健康保険料の収納率向上に努める。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	20,196	1 徴収、滞納整理事務経費 滞納整理のための催告書等の印刷費及び郵送料他	
本年度要求額	21,510	2 徴収・研修会参加旅費 (1) 徴収旅費 県外に在住している市税滞納者の徴収・調査・滞納処分を実施するための旅費 (2) 研修会参加旅費 税務行政の円滑な運営及び滞納整理を効率的に実施するための研修会参加旅費	
総務部長段階査定額	20,892	3 滞納事案現地調査委託料 遠隔地における現地調査を実施するための委託料	
市長段階査定額	20,892	【事業の実績】 (過去3年間の収納率)	
区分	本年度予算額	年度 市税(現年) 市税(滞繰) 市税(合計) 国保(現年) 国保(滞繰) 国保(合計)	
財源内訳		令和2年度 98.0% 23.6% 96.2% 94.6% 28.8% 87.1%	
国・県支出金	0	令和3年度 99.4% 50.7% 97.7% 95.1% 30.4% 88.1%	
地方債	0	令和4年度 99.2% 21.6% 97.7% 95.7% 31.2% 89.7%	
その他	14,100	※その他財源の手数料は、市税督促手数料 ※その他財源の諸収入は、市税延滞金	
一般財源	6,792		
計	20,892		
備考欄			

税006	項目名	債権管理運営費	新規事業
予算書項目	徴収事務費	ページ	185
年度	R6	所 属 名 総務部税務・債権管理局 収納推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 管理・企画係 0857-30-8161		
款 総務費	【1 1次総の施策体系】 0003		
項 徴収費	【事業の経過及び背景】 歳入の確保及び市民負担の公平性と公正な市政運営を図るため、債権の適正な管理と的確な回収を進める取組みを実施している。		
目 賦課徴収費	【事業の目的及び効果】 全庁的な債権管理の進捗を統括するとともに、徴収職員のスキルアップや意識の向上を図り、未収金の縮減を推進する。また、コンビニ納付やスマートフォンアプリ・QRコードを利用したキャッシュレス納付、ペイジーによる口座振替手続きの周知により、納期内納付の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	14,072	1 徴収事務経費 (1) 債権管理事務 滞納整理のための支払督促、差押等にかかる印紙代及び切手代他 (2) 検収事務 口座振替通知書等の印刷製本費及びコンビニ収納取扱手数料他	
本年度要求額	12,590	2 債権管理研修経費 債権管理研修会の開催経費	
総務部長段階査定額	12,590	【事業の実績】 主な未収金の推移 令和2年度 2,804百万円 令和3年度 2,296百万円 令和4年度 2,141百万円	
市長段階査定額	12,590		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	12,590		
計	12,590		
備考欄			

税007	項目名	納付催告センター運営費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	徴収事務費	ページ	185
-------	-------	-----	-----

所 属 名	総務部税務・債権管理局 収納推進課
-------	----------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	徴税費
目	賦課徴収費

事業の概要

【問合せ先】 管理・企画係 0857-30-8161

【1 1次総の施策体系】 0003

【事業の経過及び背景】
市税及び国保料の未納者に対する電話催告の取り組みを強化する。

【事業の目的及び効果】
新規滞納の発生や滞納の累積化を防ぎ、徴収率の向上を図る。

【事業の内容】
未納市税等について、電話オペレーターによる電話催告の実施。
電話オペレーター 5名
管理者 2名（うち1名はオペレーター兼務）

【事業の実績】

(1) 市税	[架電件数]	[勧奨金額]	[入金額]	[入金率]
令和2年度	24,424件	115,002千円	80,307千円	69.8%
令和3年度	22,083件	105,001千円	84,011千円	80.0%
令和4年度	21,374件	112,095千円	95,522千円	85.2%

(2) 国保料	[架電件数]	[勧奨金額]	[入金額]	[入金率]
令和2年度	12,688件	47,589千円	35,937千円	75.5%
令和3年度	12,651件	41,580千円	30,173千円	72.5%
令和4年度	12,383件	39,034千円	29,900千円	76.6%

(単位：千円)	
前年度当初予算額	23,424

本年度要求額	22,874
--------	--------

総務部長段階査定額	22,874	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	22,874	分担金	0
---------	--------	-----	---

区分	本年度予算額	手数料	
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	贈収	0
一般財源	22,874	その他	0
計	22,874		

備考欄	
-----	--

人001	項目名	市民啓発推進費	新規事業
予算書項目	市民啓発推進費	ページ	203
年度	R6	所 属 名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【1 1次総の施策体系】 1401 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】		
目 人権推進総務費	平成23年4月から「鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり条例」を施行し、すべての人の人権が尊重され、差別や偏見、人権侵害のない人権尊重都市鳥取市の実現をめざし、人権施策をより一層推進していく。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	2,808	「鳥取市人権施策基本方針」等に基づき、あらゆる人権問題の解決をめざして市民の人権意識の高揚を図るため、市民への人権啓発を推進する。	
本年度要求額	3,090	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,090	市民への人権啓発活動経費	
市長段階査定額	3,090	①人権啓発放送 : FM鳥取を利用して人権啓発放送を行う。	
区分	本年度予算額	②人権とっとり講座 : さまざまな人権をテーマに市民への学習機会を提供する。	
国・県支出金	896	③世界人権宣言推進事業 : 人権週間に人権フォーラムを開催する。	
地方債	0	④ネットモニタリング : ネット上の差別書き込みの実態の把握、拡散を防止する。	
その他	0	⑤啓発冊子発行事業 : 啓発・教育のための資料を作成、発行する。	
一般財源	2,194	人権啓発放送 : 年6回、人権とっとり講座 : 7講座を実施予定	
計	3,090	【事業の実績】	
備考欄		令和3年度 2,772千円 令和4年度 2,821千円 令和5年度 2,808千円(見込)	
		【事業の経緯及び背景】	
		近年の社会情勢の変化による人権課題(ネット上の人権侵害・災害時における人権問題など)に対応するため、啓発手法や情報についての調査・研究、教材づくりなどの人権情報センターの業務は、ますます重要となっている。	
		【事業の目的及び効果】	
		人権情報センターの特色である市民参画型の手法を取り入れながら、人権情報センターが行う人権教育・啓発の取組を支援することで、差別のない人権尊重都市鳥取市の実現をめざし、市民の人権意識の醸成を図る。	
		【事業の内容】	
		(公財)鳥取市人権情報センターと連携を図り、人権施策を実施する。	
		(公財)鳥取市人権情報センターへの運営補助金	
		(公財)鳥取市人権情報センターの事業	
		(1)情報の収集・提供事業	
		機関紙『ライツ』・『架橋』の発行、『情報ファイル』の作成、書籍や視聴覚教材等の閲覧・貸出し、ホームページによる情報発信など	
		(2)調査・研究事業	
		研究部会の開催、研修講師の派遣、人権関係の各種資料の収集・記録・保存ならびに研究会・研修会等への参加	
		(3)啓発・相談事業	
		「人権の集い」の開催、教育・啓発に関する相談への対応、人権相談への対応	
		(4)市民活動等との協働及び支援事業	
		人権市民活動支援事業、人権市民団体等との協働	
		(5)関係機関・団体等との連携	
		ネットワーク化団体への加盟と連携、関係機関と連携したパネル展の開催等	
		【事業の実績】	
		令和3年度 30,447千円 令和4年度 32,200千円 令和5年度 32,110千円(見込)	

人002	項目名	市人権情報センター補助金	新規事業
予算書項目	市民啓発推進費	ページ	203
年度	R6	所 属 名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【1 1次総の施策体系】 1401 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】		
目 人権推進総務費	近年の社会情勢の変化による人権課題(ネット上の人権侵害・災害時における人権問題など)に対応するため、啓発手法や情報についての調査・研究、教材づくりなどの人権情報センターの業務は、ますます重要となっている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	32,110	人権情報センターの特色である市民参画型の手法を取り入れながら、人権情報センターが行う人権教育・啓発の取組を支援することで、差別のない人権尊重都市鳥取市の実現をめざし、市民の人権意識の醸成を図る。	
本年度要求額	33,310	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	33,310	(公財)鳥取市人権情報センターと連携を図り、人権施策を実施する。	
市長段階査定額	33,310	(公財)鳥取市人権情報センターへの運営補助金	
区分	本年度予算額	(公財)鳥取市人権情報センターの事業	
国・県支出金	0	(1)情報の収集・提供事業	
地方債	0	機関紙『ライツ』・『架橋』の発行、『情報ファイル』の作成、書籍や視聴覚教材等の閲覧・貸出し、ホームページによる情報発信など	
その他	0	(2)調査・研究事業	
一般財源	33,310	研究部会の開催、研修講師の派遣、人権関係の各種資料の収集・記録・保存ならびに研究会・研修会等への参加	
計	33,310	(3)啓発・相談事業	
備考欄		「人権の集い」の開催、教育・啓発に関する相談への対応、人権相談への対応	
		(4)市民活動等との協働及び支援事業	
		人権市民活動支援事業、人権市民団体等との協働	
		(5)関係機関・団体等との連携	
		ネットワーク化団体への加盟と連携、関係機関と連携したパネル展の開催等	
		【事業の実績】	
		令和3年度 30,447千円 令和4年度 32,200千円 令和5年度 32,110千円(見込)	

人003	項目名	人権の花運動事業費	新規事業
予算書項目	市民啓発推進費	ページ	203
年度	R6	所 属 名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1401 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 本事業は、人権啓発活動地方委託事業として、小学校を対象に継続して実施している。		
目 人権推進総務費	【事業の目的及び効果】 次代を担う小学生が相互に協力しながら植物を育てることを通じて、生命の大切さや友達への思いやりといった基本的な人権尊重の精神を身につけ豊かな情操の養成を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 学校に花の種子や球根を配布し、児童が協力して育てることにより、生命の尊さなど人権意識を身につける運動。人権擁護委員も参加して学校単位で贈呈式を行う。 市内10校で実施（予定）		
前年度当初予算額	500	【事業の実績】 令和3年度 495千円 令和4年度 493千円 令和5年度 500千円（見込）	
本年度要求額	844		
総務部長段階査定額	500	【事業の内容】	
市長段階査定額	500	学校に花の種子や球根を配布し、児童が協力して育てることにより、生命の尊さなど人権意識を身につける運動。人権擁護委員も参加して学校単位で贈呈式を行う。 市内10校で実施（予定）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 495千円 令和4年度 493千円 令和5年度 500千円（見込）	
国・県支出金	500	令和3年度 495千円 令和4年度 493千円 令和5年度 500千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	500		
備考欄			

人004	項目名	犯罪被害者支援事業費	新規事業
予算書項目	犯罪被害者支援事業費	ページ	203
年度	R6	所 属 名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 政策推進・啓発係 0857-30-8071		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1401		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 犯罪被害者やその家族または遺族（犯罪被害者等）の人権は、誰もが犯罪被害者となる可能性がある中で社会全体として守り、支えていく必要がある。犯罪被害者等の権利利益の保護のため、平成16年の「犯罪被害者基本法」の制定、平成20年の「犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律」の改正、令和2年の第4次犯罪被害者等基本計画の改訂など、地方公共団体において犯罪被害者等への充実した支援が求められている。		
目 人権推進総務費	【事業の目的及び効果】 「犯罪被害者等見舞金」を支給することで、犯罪被害者等が受けた犯罪被害直後の予期しない経済的負担を軽減し、即応的な生活支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金・傷害見舞金） ・遺族見舞金 30万円 1件 ※支給経費は「鳥取県犯罪被害者等見舞金給付補助金」により補助率1/2で措置。 （鳥取県犯罪被害者等見舞金給付補助金） 事業主体：市町村 補助率：1/2（遺族見舞金／上限15万円、傷害見舞金／上限5万円）		
前年度当初予算額	373	【事業の実績】 令和4年度 66千円 令和5年度 523千円（見込）	
本年度要求額	405		
総務部長段階査定額	355	【事業の内容】	
市長段階査定額	355	犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金・傷害見舞金） ・遺族見舞金 30万円 1件 ※支給経費は「鳥取県犯罪被害者等見舞金給付補助金」により補助率1/2で措置。 （鳥取県犯罪被害者等見舞金給付補助金） 事業主体：市町村 補助率：1/2（遺族見舞金／上限15万円、傷害見舞金／上限5万円）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和4年度 66千円 令和5年度 523千円（見込）	
国・県支出金	150	令和4年度 66千円 令和5年度 523千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	205		
計	355		
備考欄			

人005	項目名	地域福祉事業費	新規事業
予算書項目	地域福祉事業費	ページ	205
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241		
款 民生費	【1次総の施策体系】1401 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 地域における様々な生活上の課題解決を図るため、平成11年度から実施。		
目 人権福祉センター管理費	【事業の目的及び効果】 人権福祉センターは、地域福祉の一翼を担うことが求められており、様々な生活課題を抱える人に対して、アウトリーチによる相談支援活動をさらに推進していく必要がある。「単身低所得高齢者」などの問題は、経済的な困窮状態もさることながら社会的孤立状態にあることが重要な側面であり、福祉部局と連携をはかりながら、地域包括ケアシステムに関与する活動や社会的に孤立している人の自立と社会参加を促す新たな活動を展開していく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 各人権福祉センターが実施する地域福祉事業経費（補助対象事業・国補助率：1/2） ・地域福祉デイサービス ・介護予防教室 ・家族介護教室 ・手話教室 ・健康福祉教室		
前年度当初予算額	2,848	【事業の実績】 令和3年度 2,664千円（高草ほか7人権福祉センター） 令和4年度 2,822千円（高草ほか7人権福祉センター） 令和5年度 2,848千円（高草ほか7人権福祉センター）（見込）	
本年度要求額	3,161		
総務部長段階査定額	2,847	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,847	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	1,423		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,424		
計	2,847		
備考欄			

人006	項目名	人権交流プラザ内部改修事業費	新規事業
予算書項目	人権交流プラザ改修事業費	ページ	205
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241		
款 民生費	【1次総の施策体系】1401		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 人権交流プラザは、人権啓発を推進し市民の交流を促進する重要な拠点施設として役割を果たしている。建築後40年以上経過した施設のため、施設の老朽化や時代の経過とともに変化する市民ニーズに対応できなくなっている。		
目 人権交流プラザ管理費	【事業の目的及び効果】 内装改修等を行いプライバシーが確保できる相談スペースをはじめ、トイレやエアコンを整備し利便性の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 内装改修工事（内装及びトイレ、エアコン改修）		
前年度当初予算額	11,640	【事業の実績】 （過去の経過） 平成30年度 屋上防水改修実施設計及び工事費 13,088千円 令和元年度 外壁改修実施設計 3,212千円 令和2年度 外壁改修工事 62,530千円 （当該事業実績） 令和5年度 内部改修実施設計 11,640千円（見込）	
本年度要求額	187,652		
総務部長段階査定額	187,652	その他財源の内訳	
市長段階査定額	187,652	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	33,790		
地方債	146,100		
その他	0		
一般財源	7,762		
計	187,652		
備考欄			

人007	項目名	生活困窮者自立相談支援事業費		新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	205	所属名
年度	R6	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241			
款 民生費	【1次総の施策体系】1201 ●実施計画 ●明るい未来プラン			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成27年度から実施。令和元年度まで生活福祉課、令和2年度から人権推進課予算。令和4年度から重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施している。			
目 人権交流プラザ管理費	【事業の目的及び効果】 生活保護に至る前に自立強化を図るため、生活困窮者（就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）からの相談に応じ、必要な支援を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名			
前年度当初予算額	16,378	【事業の実績】 令和4年度 16,051千円 令和5年度 16,378千円(見込) ※令和4年度より重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。		
本年度要求額	18,729			
総務部長段階査定額	18,729	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名		
市長段階査定額	18,729	【事業の実績】 令和4年度 16,051千円 令和5年度 16,378千円(見込) ※令和4年度より重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名		
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 16,051千円 令和5年度 16,378千円(見込) ※令和4年度より重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。		
国・県支出金	14,046	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名		
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 16,051千円 令和5年度 16,378千円(見込) ※令和4年度より重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。		
その他	0	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名		
一般財源	4,683	【事業の実績】 令和4年度 16,051千円 令和5年度 16,378千円(見込) ※令和4年度より重層的支援体制整備事業の包括的相談支援事業として実施。		
計	18,729	【事業の内容】 自立相談支援事業(国：3/4負担) 就労その他の自立に関する様々な相談支援、情報提供、事業利用のための計画の策定等を行う。中央人権福祉センターの「パーソナルサポートセンター」に相談支援員を配置し、自立のための相談支援等を実施する。 ・相談支援員5名		
備考欄				

人008	項目名	地域共生社会推進・包括的支援事業費		新規事業
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	205	所属名
年度	R6	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241			
款 民生費	【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●明るい未来プラン			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 重層的支援体制整備事業の各種事業として、令和4年度から取り組んでいるもの。			
目 人権交流プラザ管理費	【事業の目的及び効果】 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制を整備する。重層的支援体制整備事業の生活困窮分野。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。			
前年度当初予算額	9,195	【事業の実績】 令和4年度 6,869千円 令和5年度 9,195千円(見込)		
本年度要求額	13,001			
総務部長段階査定額	12,351	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。		
市長段階査定額	12,351	【事業の実績】 令和4年度 6,869千円 令和5年度 9,195千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。		
財源内訳		【事業の実績】 令和4年度 6,869千円 令和5年度 9,195千円(見込)		
国・県支出金	8,476	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。		
地方債	0	【事業の実績】 令和4年度 6,869千円 令和5年度 9,195千円(見込)		
その他	0	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。		
一般財源	3,875	【事業の実績】 令和4年度 6,869千円 令和5年度 9,195千円(見込)		
計	12,351	【事業の内容】 ①生活困窮者等のための地域づくり事業(補助1/2) 世代や属性を超えて住民同士が交流できる場や居場所を整備する。 また、地域で実施されている個別の活動や人をつなぎ、コーディネートすることで地域活動の活性化を図る。 ②多機関協働事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 複雑化・複合化した事例等に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の方向性を調整する。 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、各種会議・支援関係機関との連携や地域住民とのつながりを通じて、課題を抱える相談者を見つけ、継続した支援に繋げる(つながりサポーター養成講座、シンポジウム)。 ④参加支援事業(補助3/4 ※国2/4、県1/4) 既存の社会参画に向けた事業では対応できない狭間にいる人に対応するため、本人のニーズ(希望)と地域の資源との丁寧なマッチングを行い、社会とのつながりをつくるための支援を行う。 ※職員2名(地域共生活動参加支援員・相談支援包括化推進員)を配置し、包括的支援体制の整備を図り、各種事業を実施する。		
備考欄				

人009	項目名	孤独・孤立対策推進事業費	新規事業	○
予算書項目	地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費	ページ	205	所 属 名
年度	R6	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241			
款 民生費	【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】			
目 人権交流プラザ管理費	(1) 孤独・孤立対策推進員設置事業（新規） 本市は、令和4年度に地域食堂（こども食堂）を基盤とした「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を立ち上げ、令和5年度には麒麟のまち連携中核圏事業として対象地域の拡大を図った。令和6年4月の『孤独・孤立対策推進法』施行にあたりさらに組織体系・取組を強化する必要がある。			
(単位：千円)	(2) フードサポート事業 コロナ禍に伴う収入減や物価高騰等による生計維持困難者に対して食料等を提供。また、地域食堂の運営に必要な食材等を提供する。 (令和6年度～地域食堂ネットワーク運営費から本事業移行)			
前年度当初予算額	0	(3) 食品アクセス確保対策事業（新規） 地域食堂や生活困窮者への食料等の円滑な調達～分配に向けて、関係者間の調整役となるコーディネーターを配置することが必要である。		
本年度要求額	12,147	【事業の目的及び効果】 支援を要する方への孤独・孤立を防ぎ、支援対策の推進を図る。		
総務部長段階査定額	12,147	【事業の内容】		
市長段階査定額	12,147	(1) 孤独・孤立対策推進員設置事業（委託） 推進員を配置し、社会的孤立の防止・当事者等への切れ目ない支援の強化を図る。		
区分	本年度予算額	(2) フードサポート事業（委託） 食品ロスや地域食堂支援の観点から、食品を提供する企業・団体の拡大及びフードドライブへの市民の協力を促進する。		
国・県支出金	7,756	(3) 食品アクセス確保対策事業（委託） コーディネーターを配置し、食料支援の現状や課題調査及び課題解決に向けた計画の策定・実行につなげる。		
地方債	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
その他	3,036			
一般財源	1,355			
計	12,147			
備考欄				

人010	項目名	地域食堂ネットワーク運営費	新規事業	
予算書項目	地域食堂ネットワーク運営費	ページ	205	所 属 名
年度	R6	総務部人権政策局 人権推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241			
款 民生費	【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】			
目 人権交流プラザ管理費	平成29年11月に「鳥取市地域食堂ネットワーク」として、鳥取市内の地域食堂とそれを支援する団体が一つとなり、ネットワークを設立。 平成30年12月から、鳥取県東部地区で実施している「地域食堂（こども食堂）」にも食料を提供するなど支援を拡大している。 (フードサポート事業は、令和6年度から孤独・孤立対策推進事業費へ移行。)			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地域食堂ネットワーク： 連携中核都市圏ビジョンとして、圏域内の地域食堂（こども食堂）に食材提供や開設に関する支援などを行うほか、支援団体の拡大を目的に、事務局に人員を配置して機能強化を図る運営の委託を行う。			
前年度当初予算額	6,858	【事業の内容】 地域食堂ネットワーク事務局の委託 (令和6年度～補助事業から委託事業へ変更)		
本年度要求額	4,115	【事業の実績】 令和3年度 3,557千円 令和4年度 3,647千円 令和5年度 6,858千円（見込）		
総務部長段階査定額	4,115	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
市長段階査定額	4,115			
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	4,115			
一般財源	0			
計	4,115			
備考欄				

人011	項目名	子どもの居場所づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	子どもの貧困対策推進事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 人権推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241		
款 民生費	【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 さまざまな困難な背景を抱える子どもたちの中には、食生活の乱れや孤食の環境にあり、家庭的にも経済的な困難や孤立状況にあるなどの課題を抱えていることも多い。こうした子どもたちの健全育成を支えるため、地域との継続的な交流の場を通して子どもたちに安全安心な居場所を提供し、子どもを取り巻く環境を改善する。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 生活困窮世帯等を中心にすべての世帯を対象とした、子どもの居場所づくりに取り組む民間団体等の立ち上げ・運営を支援し、団体の育成・取組の推進を図ると共に、様々な課題を抱える世帯の子どもの将来が、経済的な環境によって左右されることなく、夢と希望を持って成長していけるよう支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○立ち上げ支援 補助上限額 2,000千円(県2/3、市1/3) ○運営費補助 補助上限額 2,000千円(県1/2、市1/2)		
前年度当初予算額	21,237	令和6年度実施予定 ○立ち上げ支援 2食堂 ○運営補助対象 24食堂	
本年度要求額	18,085	【事業の実績】 令和3年度 6,708千円 令和4年度 6,682千円 令和5年度 21,237千円(見込)	
総務部長段階査定額	18,085	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	18,085	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	9,792	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	8,293	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	18,085	繰入金	8,293
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

人012	項目名	女と男とのハーモニーフェスタ事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076		
款 総務費	【1次総の施策体系】1402 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 男女共同参画社会を実現するためには、市民一人ひとりの性別による固定的役割分担意識の払拭が不可欠であり、それに向けた市民への啓発活動が重要である。 平成4年度から「とっとり女性フェスタ」を開催、平成13年度からは「女(ひと)と男(ひと)とのハーモニーフェスタ」に名称を変更し、本市恒例のイベントとして定着している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 男女共同参画の推進活動を行う個人や団体が連携・交流・友好を深め、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的に、公募や男女共同参画登録団体で構成する実行委員会が開催することにより、積極的な社会参画意識の高揚と、男女共同参画に関する市民意識の醸成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・日程：令和6年10月(予定) ・内容：活動展示・即売・講演会等		
前年度当初予算額	600	【事業の実績】 令和3年度 参加数：15団体 令和4年度 参加数：13団体 令和5年度 参加数：14団体	
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	600	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	600	繰入金	0
計	600	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

人013	項目名	男女共同参画登録団体補助金		新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177	所属名
年度	R6	総務部人権政策局 男女共同参画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076			
款 総務費	【1次総の施策体系】1402 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、鳥取市男女共同参画推進条例を平成14年に制定し、男女共同参画の推進を目的に活動を行う団体を登録するとともに、育成や支援を行っている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 男女共同参画登録団体の自主的な活動を促すことを目的に、男女共同参画の研修や広報等を行うための事業費を助成することにより、本市における男女共同参画社会の実現に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）			
前年度当初予算額	570	【事業の実績】 令和3年度 9件 411千円 令和4年度 11件 456千円 令和5年度 14件 570千円（見込）		
本年度要求額	570			
総務部長段階査定額	570	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）		
市長段階査定額	570	【事業の実績】 令和3年度 9件 411千円 令和4年度 11件 456千円 令和5年度 14件 570千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 9件 411千円 令和4年度 11件 456千円 令和5年度 14件 570千円（見込）		
国・県支出金	0	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）		
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 9件 411千円 令和4年度 11件 456千円 令和5年度 14件 570千円（見込）		
その他	0	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）		
一般財源	570	【事業の実績】 令和3年度 9件 411千円 令和4年度 11件 456千円 令和5年度 14件 570千円（見込）		
計	570	【事業の内容】 対象者：市男女共同参画登録団体及び新市域を活動範囲とする支部等 対象事業：男女共同参画に関する研修事業等（参加者旅費、食糧費を除く） 金額：10万円を限度（補助対象経費の3/4） 回数：1団体が年間3事業まで（登録団体の支部は、年間2事業まで）		
備考欄				

人014	項目名	男女共同参画啓発事業費		新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177	所属名
年度	R6	総務部人権政策局 男女共同参画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076			
款 総務費	【1次総の施策体系】1402 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 だれもが性別にかかわらず個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、継続した取組を行っている。 鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」では、男女共同参画かがやきプランに基づき、幅広い男女共同参画推進のための啓発講座を開催している。 「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」の1市6町で連携した講座の開催も令和3年度から行っており、圏域全体の男女共同参画を推進していく。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 市民の男女共同参画意識の醸成を図ることを目的に、男女共同参画センターにおける啓発講座の開催や図書貸出しなどによる情報提供の充実を図り、男女共同参画の推進に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）			
前年度当初予算額	955	【事業の実績】 講座の参加者数 令和3年度 21講座 448人 ※智頭町、若桜町、八頭町、参加 令和4年度 26講座 651人 ※岩美町、若桜町、八頭町、参加 令和5年度 31講座 630人（見込）連携講座参加町含む		
本年度要求額	1,034			
総務部長段階査定額	952	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）		
市長段階査定額	952	【事業の実績】 講座の参加者数 令和3年度 21講座 448人 ※智頭町、若桜町、八頭町、参加 令和4年度 26講座 651人 ※岩美町、若桜町、八頭町、参加 令和5年度 31講座 630人（見込）連携講座参加町含む		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）		
財源内訳		【事業の実績】 講座の参加者数 令和3年度 21講座 448人 ※智頭町、若桜町、八頭町、参加 令和4年度 26講座 651人 ※岩美町、若桜町、八頭町、参加 令和5年度 31講座 630人（見込）連携講座参加町含む		
国・県支出金	0	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）		
地方債	0	【事業の実績】 講座の参加者数 令和3年度 21講座 448人 ※智頭町、若桜町、八頭町、参加 令和4年度 26講座 651人 ※岩美町、若桜町、八頭町、参加 令和5年度 31講座 630人（見込）連携講座参加町含む		
その他	0	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）		
一般財源	952	【事業の実績】 講座の参加者数 令和3年度 21講座 448人 ※智頭町、若桜町、八頭町、参加 令和4年度 26講座 651人 ※岩美町、若桜町、八頭町、参加 令和5年度 31講座 630人（見込）連携講座参加町含む		
計	952	【事業の内容】 令和6年度の主な取組事項 ・年間27講座を開催及び図書貸出など ・公募による市民自主企画事業の実施（1団体）		
備考欄				

人015	項目名	男女共同参画に関する意識調査事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076		
款 総務費	【1次総の施策体系】1402		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市の男女共同参画施策を総合的・体系的に推進するための新たな指針となる「第5次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」(R8~R12)策定の基礎資料とするため、市民・企業を対象とした男女共同参画意識調査を実施する。前回調査は、令和元年度。		
目 企画費	【事業目的及び効果】 前回調査から5年経過し、その間の市民の意識の推移と現在の状況を把握することにより「第5次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」策定の基礎資料及び今後の施策に利用することを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和元年度実績 市民意識調査回答率：35.5% (709人) 企業意識調査回答率：38.8% (194社)	
本年度要求額	2,430		
総務部長段階査定額	2,430	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)	
市長段階査定額	2,430	【事業の実績】 令和元年度実績 市民意識調査回答率：35.5% (709人) 企業意識調査回答率：38.8% (194社)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)	
財源内訳		【事業の実績】 令和元年度実績 市民意識調査回答率：35.5% (709人) 企業意識調査回答率：38.8% (194社)	
国・県支出金	0	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)	
地方債	0	【事業の実績】 令和元年度実績 市民意識調査回答率：35.5% (709人) 企業意識調査回答率：38.8% (194社)	
その他	0	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)	
一般財源	2,430	【事業の実績】 令和元年度実績 市民意識調査回答率：35.5% (709人) 企業意識調査回答率：38.8% (194社)	
計	2,430	【事業の内容】 男女共同参画審議会により、調査項目等を精査して行う。 対象：市民意識調査 2,000人 企業意識調査 500社 時期：令和6年11月調査(予定)	
備考欄			

人016	項目名	男女共同参画かがやき企業認定事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076		
款 総務費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 企業における子育てしやすい環境づくりの促進を目的として、平成20年度から実施していた「鳥取市次世代育成優秀企業認定」事業を、平成28年度から「鳥取市男女共同参画かがやき企業認定」事業とし、仕事と家庭の両立に配慮した働きやすい職場環境の整備や、だれもが個性と能力を活かして働くことのできる職場環境づくりを企業等に向けて働きかけている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 企業における男女共同参画や女性の活躍推進を図り、ワーク・ライフ・バランスを推進することを目的に、男女共に働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を認定し、市報やホームページ等で広く周知することにより、男女共同参画意識の醸成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。		
前年度当初予算額	139	【事業の実績】 認定企業数(※3年更新) 令和3年度 44社(うち、新規企業数8社) 令和4年度 45社(うち、新規企業数2社) 令和5年度 55社(うち、新規企業数10社)(見込)	
本年度要求額	365		
総務部長段階査定額	354	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。	
市長段階査定額	354	【事業の実績】 認定企業数(※3年更新) 令和3年度 44社(うち、新規企業数8社) 令和4年度 45社(うち、新規企業数2社) 令和5年度 55社(うち、新規企業数10社)(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。	
財源内訳		【事業の実績】 認定企業数(※3年更新) 令和3年度 44社(うち、新規企業数8社) 令和4年度 45社(うち、新規企業数2社) 令和5年度 55社(うち、新規企業数10社)(見込)	
国・県支出金	100	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。	
地方債	0	【事業の実績】 認定企業数(※3年更新) 令和3年度 44社(うち、新規企業数8社) 令和4年度 45社(うち、新規企業数2社) 令和5年度 55社(うち、新規企業数10社)(見込)	
その他	0	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。	
一般財源	254	【事業の実績】 認定企業数(※3年更新) 令和3年度 44社(うち、新規企業数8社) 令和4年度 45社(うち、新規企業数2社) 令和5年度 55社(うち、新規企業数10社)(見込)	
計	354	【事業の内容】 (1) 認定証を交付することにより、安心して働くことのできる企業として認知されるほか、認定ロゴマークの使用、市報や機関紙、ホームページ等での公表、鳥取市建設工事入札参加資格者格付要綱による加点の付与などがある。 認定企業数 58社(予定) (2) 民間企業と共催セミナーを開催し、民間の知見やネットワークを活用することで、会社経営者や人事担当者に直接、男女共同参画を働きかけ女性活躍や職場環境の改善につなぐ。	
備考欄			

人017	項目名	女性応援つながりサポート事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076		
款 総務費	【1次総の施策体系】1402 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では生理に関する悩みや困りごとについて、令和3年度にアンケートを実施した。その結果、生理に関する悩みをはじめ、女性のライフステージにおける様々な悩み事や課題があることが分かった。 女性がいきいきと活躍するためには、性別や年代に関わらず、社会全体の理解が進むことが求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 女性の社会との絆やつながりの回復、不安を抱えている女性を支援することを目的に、悩みなどを自由に話せる機会や場所を提供することにより、悩みの解消や社会とのつながりの回復につなげていく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・鳥取市男女共同参画センターを活用した相談窓口・居場所づくり ・参加者の相互援助を促す取組（同じような悩みを持つ人々が集まる場所づくり） ・SNS等を活用した「相談につながるきっかけ」づくり		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】 令和4年度 600千円 令和5年度 1,000千円（見込）	
本年度要求額	1,600		
総務部長段階査定額	1,000	【事業の内容】	
市長段階査定額	1,000	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	750	【事業の内容】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	250	【事業の実績】	
計	1,000	【事業の実績】	
備考欄			

人018	項目名	女性デジタル人材育成事業費	新規事業
予算書項目	男女共同参画推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	総務部人権政策局 男女共同参画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】男女共同参画課 0857-30-8076		
款 総務費	【1次総の施策体系】1402 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 令和4年4月26日、政府は「女性デジタル人材育成プラン」を取りまとめ、就労に直結するデジタルスキルの習得や、柔軟な働き方を促す就労環境の整備の両面から支援し、女性のデジタルスキル人材育成の加速化を目指すことを示した。 育児や介護は、男性に比べて女性が担っている場合が多い現状を踏まえ、フルタイム勤務を求められる職場では継続的に働くことが難しく、就労につながりにくいといった現状がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 女性のデジタル人材を育成し就労につなげることを目的に、時間や場所を効果的に活用することのできる在宅ワークの始め方や、就労に必要なデジタルスキルを学ぶ機会を提供することにより、「自分らしい働き方を見つける」ことや女性の就労機会の創出につなぐことができる。 また、会場受講やSNSの活用により、受講者同士の交流が可能となり、女性の孤独を防止し社会とのつながりの回復が期待できる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・デジタルスキル講座（初級者対象）やWebデザインスキル講座の開催 ・県等関係機関と連携した就業支援		
前年度当初予算額	2,000	【事業の実績】 令和5年度 2,000千円（見込） ※令和5年から事業実施	
本年度要求額	3,000		
総務部長段階査定額	2,000	【事業の内容】	
市長段階査定額	2,000	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		【事業の実績】	
国・県支出金	1,500	【事業の内容】	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	500	【事業の実績】	
計	2,000	【事業の実績】	
備考欄			

危001	項目名	総合防災対策事業費	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	179
年度	R6	所属名 危機管理部 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】危機対策係・防災支援係 0857-30-8033・8034		
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する必要がある。 また、地域における防災体制の整備強化を行うことにより、災害時の被害軽減が可能となるため、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく必要がある。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 ①鳥取市防災会議 鳥取市地域防災計画の改定及びその実施を推進する。また、市長の諮問に応じて地域の防災に関する重要事項を審議する。 ②住民への防災情報伝達 災害時における住民への情報伝達について、多種多様な手段により情報の発信を行い、住民へ情報提供を行う必要がある。（鳥取市防災アプリ、メール配信等） ③総合防災マップ等の活用 地域防災計画、総合防災マップ等を活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。 ④災害時応援協定都市との交流 災害時相互応援協定締結都市と情報の共有を行い、連携強化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・職員参集システム、鳥取市防災アプリ、メール配信システムの運用 ・災害時応援協定都市との連携強化 ・防災啓発ラジオ番組制作、放送 ・市民による地区防災マップ作成・更新の取組支援 2地区		
前年度当初予算額	11,064	【事業の実績】 令和3年度 18,271千円 令和4年度 17,333千円 令和5年度 11,064千円（見込み） ※令和5年度より「災害対策本部室維持管理費」を別事業に分割	
本年度要求額	19,677		
総務部長段階査定額	9,350	【事業の概要】	
市長段階査定額	9,350	【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●明るい未来プラン	
財源内訳		【事業の経過及び背景】 平成20年5月に組織統合を行い、自主防災組織の活性化を図っていく。	
国・県支出金	1,657	【事業の目的及び効果】 地域防災力の向上、災害に強いまちづくりを推進するため、地域に根ざした防災活動の育成、強化を図ることを目的とする。 また、「自助・共助」による災害に強いまちづくりの一層の強化を図るため、防災資機材や避難所備品の購入費を支援する制度、及び小型可搬式ポンプの新規購入や更新を支援する制度を設け、地域の更なる防災力の強化を図る。	
地方債	0	【事業の内容】 自主防災会が担う役割 ＜平常時＞○防災訓練、講習会の実施 ○防災広報、啓発活動の実施 ○防災資機材の整備等 ＜災害時＞○初期消火 ○避難誘導、避難所運営 ○救出・救護等	
その他	0	①鳥取市自主防災会連合会を通じた各自主防災会の活動等に対する助成。 防災ポスターの作成、個人団体の表彰、啓発資料の購入・貸出	
一般財源	7,693	②地域防災力強化補助金（防災資機材整備補助）H30～R2 わがまち防災支援補助金（防災資機材、避難所備品整備補助）R3～R4 地域防災力向上支援補助（訓練で使用する備品、消耗品等）R5～R6	
計	9,350	③小型可搬式ポンプ整備補助	
備考欄		【事業の実績】 令和3年度 ①13,206千円 ②+③ 24,696千円 ②29地区自主防災会 ②3自主防災会 令和4年度 ①13,838千円 ②+③ 18,835千円 ②30地区自主防災会 ③2自主防災会 令和5年度 ①15,911千円 ②+③ 8,088千円（見込み） ②42地区自主防災会 ③2自主防災会	

危002	項目名	自主防災会連合会補助金	新規事業
予算書項目	総合防災対策費	ページ	179
年度	R6	所属名 危機管理部 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034		
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成20年5月に組織統合を行い、自主防災組織の活性化を図っていく。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 地域防災力の向上、災害に強いまちづくりを推進するため、地域に根ざした防災活動の育成、強化を図ることを目的とする。 また、「自助・共助」による災害に強いまちづくりの一層の強化を図るため、防災資機材や避難所備品の購入費を支援する制度、及び小型可搬式ポンプの新規購入や更新を支援する制度を設け、地域の更なる防災力の強化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 自主防災会が担う役割 ＜平常時＞○防災訓練、講習会の実施 ○防災広報、啓発活動の実施 ○防災資機材の整備等 ＜災害時＞○初期消火 ○避難誘導、避難所運営 ○救出・救護等		
前年度当初予算額	24,680	①鳥取市自主防災会連合会を通じた各自主防災会の活動等に対する助成。 防災ポスターの作成、個人団体の表彰、啓発資料の購入・貸出	
本年度要求額	24,680	②地域防災力強化補助金（防災資機材整備補助）H30～R2 わがまち防災支援補助金（防災資機材、避難所備品整備補助）R3～R4 地域防災力向上支援補助（訓練で使用する備品、消耗品等）R5～R6	
総務部長段階査定額	24,680	③小型可搬式ポンプ整備補助	
市長段階査定額	24,680	【事業の実績】 令和3年度 ①13,206千円 ②+③ 24,696千円 ②29地区自主防災会 ②3自主防災会 令和4年度 ①13,838千円 ②+③ 18,835千円 ②30地区自主防災会 ③2自主防災会 令和5年度 ①15,911千円 ②+③ 8,088千円（見込み） ②42地区自主防災会 ③2自主防災会	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	3,861		
地方債	4,800		
その他	0		
一般財源	16,019		
計	24,680		
備考欄			

危003	項目名	自主防災会関係費	新規事業
------	-----	----------	------

予算書項目	総合防災対策費	ページ	179
-------	---------	-----	-----

所属名	危機管理部 危機管理課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

事業の概要

【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034

【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
本市は、平成8年に鳥取市自主防災会連合会を発足させ、市町村合併に伴い平成20年度に旧市町村毎の自主防災会を統合した。自主防災会の会長は自治会の会長を兼ね1年で交代する事が多いため、防災に精通したリーダーが地域に少ないのが課題であった。

【事業の目的及び効果】
地区公民館を単位として、地域の防災事情に詳しい者を防災指導員（委嘱）及び防災リーダー（登録制）として養成し、防災知識等修得後は、当該リーダー等が中心となった各地域内での防災講習会などを通じて普及・啓発活動を実施する。これにより、地域の「自助」「共助」の取り組みと、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進し、地域防災力の向上を図る。

【事業の内容】
①防災リーダー養成研修の開催
大学教授や防災関係機関職員等を講師に迎え、地域の防災リーダーとして必要な研修を3日間にわたり開催し、全講座修了者を防災リーダーとして登録する。
②防災リーダーフォローアップ研修の開催
新たな知識や技能を修得、リーダーとしての資質向上を図る。
③自主防災会訓練・研修への防災指導員、防災リーダーの派遣
防災指導員、防災リーダーを危機管理課の防災コーディネーターの依頼により自主防災会の訓練・研修に派遣する。

【事業の実績】
令和6年1月現在 防災指導員 54名 防災リーダー登録者 762名
・防災リーダー養成研修（R3…3回、R5…3回）
・自主防災会訓練・研修への防災指導員、防災リーダーの派遣
・防災リーダーフォローアップ研修（R3…2回、R4…2回、R5…1回）
・女性防災リーダー研修（R4…1回、R5…1回）

前年度当初予算額	1,232
----------	-------

本年度要求額	1,202
--------	-------

総務部長段階査定額	1,202	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,202	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	366
地方債	0
その他	0
一般財源	836
計	1,202

備考欄

危004	項目名	防災行政無線整備事業費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	総合防災対策費	ページ	179
-------	---------	-----	-----

所属名	危機管理部 危機管理課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	諸費

事業の概要

【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033

【1次総の施策体系】3101

【事業の経過及び背景】
平成18年より運用を開始した本市の防災行政無線（同報系）は、J-ALERT情報や避難情報など、災害時の緊急情報を迅速かつ確実に伝達する重要設備である。令和2年度には全市のデジタル化整備が完了し、屋外拡声子局を384基設置しているが、初期に整備した機器は経年劣化により故障し、安定的な運用ができない恐れがあるため、計画的な更新整備を行う。

【事業の目的及び効果】
防災行政無線が故障停止した場合、市民に適切に緊急情報を伝達することができず、市民の避難行動を支援することができなくなるため、機器の故障を未然に防止する必要がある。また、停電などにより他の通信手段が断絶した場合などにも、市民に情報を伝達することが可能であるため、設備を健全な状態に保つことが市民の安全安心に直結する。

【事業の内容】
屋外拡声子局更新（20基） 小中義務教育学校戸別受信機更新（57台）

【事業の実績】
令和3年度 重要拠点無線設備更新（中継局等）
令和4年度 屋外拡声子局更新（20基）
令和5年度 屋外拡声子局更新・新設（16基）

前年度当初予算額	145,800
----------	---------

本年度要求額	128,700
--------	---------

総務部長段階査定額	128,700	その他財源の内訳	
市長段階査定額	128,700	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	128,700
その他	0
一般財源	0
計	128,700

備考欄

危005	項目名	防災情報統合DX化事業費	新規事業	○
予算書項目	総合防災対策費	ページ	179	所属名
年度	R6	危機管理部 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033			
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●明るい未来プラン			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 諸費	本市では、防災行政無線や鳥取市防災アプリなど、市民の置かれている環境やニーズに合わせた複数の緊急情報伝達手段を整備している。しかし、緊急情報伝達手段の多様化は配信業務の増加と直結しており、情報配信の遅延リスクが生じている。			
(単位：千円)	ダムの緊急放流や津波などの僅かな時間の余裕もない災害の状況下では、避難情報の配信が遅れた場合、市民の生命に危険が及ぶ恐れがあり、災害情報が遅滞なく確実に市民に届くよう、緊急情報伝達の基盤の機能向上を図る必要がある。			
前年度当初予算額	0	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	106,300	複数の緊急情報伝達手段の一元的な配信を可能とするシステムを構築することで、緊急情報の取得を求める市民に対して迅速かつ確実な情報発信を実現する。		
総務部長段階査定額	106,300	また、システム入力の工程を大幅に削減する事が可能となるため、災害時の人材運用を効率的に行うことができるほか、人的ミスを防止する効果が期待できる。		
市長段階査定額	106,300	併せて、市民が災害時に適切な行動をとれるよう、平時から防災を学べるコンテンツを鳥取市防災アプリに追加整備することで、誰もが手軽に分かりやすい方法で防災学習の機会を得ることができる。		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳		・複数ある既存緊急情報伝達手段を一元的に制御できる一斉配信システムの整備		
国・県支出金	0	・今後の多様な市民ニーズにきめ細かく対応できるよう将来的な情報伝達手段の拡充を見越した基盤構築		
地方債	106,300	・文字情報を自動で多言語化、かつ、音声ファイルを同時に作成し、一斉配信システムに連携して配信できる自動翻訳機能の整備		
その他	0	・鳥取市防災アプリのマイタイムライン等機能追加		
一般財源	0			
計	106,300			
備考欄				

危006	項目名	総合防災訓練費	新規事業	
予算書項目	総合防災訓練費	ページ	179	所属名
年度	R6	危機管理部 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033			
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 諸費	本市では、鳥取大地震（昭和18年）が発生した9月10日（鳥取市防災の日）に、鳥取市総合防災訓練を毎年実施している。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	2,226	本事業は、地震災害を想定し、防災関係機関及び地域住民の参加協力を得て、地域の防災体制が十分その機能を発揮するよう訓練するものであり、本訓練の実施により、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関との連携強化を図るとともに、地域の災害対応力の向上に資するものである。		
本年度要求額	2,017	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	1,909	訓練会場：東郷小学校、鹿野学園流沙川学舎（予定）		
市長段階査定額	1,909	・防災行政無線による情報伝達訓練		
区分	本年度予算額	・防災関係機関による装備品展示等		
財源内訳		・避難所運営訓練、被災者救出訓練ほか		
国・県支出金	0	・「鳥取市防災の日啓発展示」（イオン鳥取店、市民交流棟情報スペース）		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	0	令和3年度 コロナ禍のため実動訓練を規模縮小、避難所開設運営訓練及び防災啓発展示を実施		
一般財源	1,909	令和4年度 コロナ禍のため実動訓練を中止、防災啓発展示を実施		
計	1,909	令和5年度 被災者救出訓練・自衛隊炊出訓練・避難所運営訓練ほか（大正小学校） 物資輸送訓練・避難所運営訓練・起震車体験ほか（国府東小学校） 防災啓発展示（イオン鳥取店ほか）		
備考欄				

危007	項目名	防災備蓄事業費	新規事業
予算書項目	防災備蓄事業費	ページ	181
年度	R6	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033		
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成12年に発生した鳥取県西部地震をきっかけに、県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定め全県で共同して備蓄を行うこととなった物資（連携備蓄）のほか、災害時に必要となる物資を備蓄する。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 災害時に必要となる物資の備蓄。県内市町村が共同して備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互救援体制をとることにより、効率的に備蓄することができる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 市町村連携備蓄品の更新及び市民の需要が高い物資について独自に備蓄を行う。		
前年度当初予算額	5,360	【事業の実績】	
本年度要求額	11,727	①災害時に必要となる連携備蓄品が、保存期限切れ等により本市に割り当てられた目標数量を割り込むことのないよう定期的に調達・更新する。	
総務部長段階査定額	8,022	R3実績：乾パン、アルファ米、粉・液体ミルク、保存缶などを更新。	
市長段階査定額	8,022	R4実績：乾パン、アルファ米、粉・液体ミルクなどを更新。 歯磨きシート、吸熱シート、ラジオ、懐中電灯などを調達。	
区分	本年度予算額	R5実績：乾パン、アルファ米、粉・液体ミルクなどを更新。	
国・県支出金	2,135	②過去の災害経験や市民からの需要が高い物資について本市独自に備蓄を進める。	
地方債	0	R3実績：医薬品や避難所事務用品などを調達。	
その他	0	R4実績：ヘルメット、コードリール、白杖などを調達。	
一般財源	5,887	R5実績：分散備蓄更新用にロールボックスなどを調達。	
計	8,022	③災害発生時において迅速かつ安全、確実に物資の搬出ができるよう、保管している物資の整理を行うほか、電動パレットトラックの安定稼働のための定期保守を実施する。	
備考欄		R3～R5実績：倉庫内物資整理業務委託、パレットトラック保守業務委託	

危008	項目名	国民保護訓練費	新規事業
予算書項目	国民保護計画関係費	ページ	181
年度	R6	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】消防企画係 0857-30-8032		
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成16年に「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が制定され、国民保護措置について地方公共団体の責務、国民保護計画の策定等について規定された。本市は、平成18年鳥取市国民保護計画を作成し、平成19年度から毎年国民保護訓練を実施している。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 本事業は、市国民保護計画に基づき、武力攻撃事態又は緊急対処事態を想定し、避難、救援、武力攻撃災害等への対処について、関係機関及び地域住民の参加協力を経て訓練を実施することにより、国民保護措置の実効性の向上を図るものである。		
(単位：千円)	【事業の内容】 内閣府主催の国民保護訓練を市内で実施予定（図上及び実動訓練）		
前年度当初予算額	138	【事業の実績】	
本年度要求額	339	警察、消防、日本赤十字社、消防団、自主防災会等の参加協力を得て、武力攻撃事態等における住民避難について図上及び実動訓練を実施。	
総務部長段階査定額	339	令和3年度 湖南地区において市主催の訓練実施（コロナ禍により図上訓練のみ）	
市長段階査定額	339	武力攻撃事態（弾道ミサイル落下）時の住民避難	
区分	本年度予算額	令和4年度 鹿野地区において市主催の実動訓練及び図上訓練	
国・県支出金	0	武力攻撃事態（弾道ミサイル着弾）時の住民避難誘導、避難関連施設の開設	
地方債	0	令和5年度 県主導による緊急対処事態に係る図上訓練	
その他	0		
一般財源	339		
計	339		
備考欄			

危009	項目名	防災ラジオ整備事業費	新規事業
予算書項目	防災ラジオ整備事業費	ページ	181
年度	R6	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033		
款 総務費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、緊急情報の主たる発信手段として、防災行政無線を使用している。しかし、屋外拡声子局を主設備とする防災行政無線は、環境音や住家の気密性によって音声が悪化する。そのため、屋内情報伝達の必要性が高まり、緊急情報の新たな伝達手段を整備するもの。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 防災行政無線やJ-ALERTなどの緊急情報伝達装置と連動した防災ラジオが利用できるようFM鳥取放送局内の整備等を行い、併せて防災ラジオ端末の普及促進を行うことで、防災情報の発信力を向上させるもの。		
(単位：千円)	【事業の内容】 防災ラジオの販売委託		
前年度当初予算額	9,528	【事業の実績】 令和3年度 販売委託費他 25,174千円 販売数量 2,191台 (繰越明許：同交付金) 令和4年度 販売委託費他 7,459千円 販売数量 539台 令和5年度 販売委託費他 9,528千円 販売数量 1,000台(計画)	
本年度要求額	5,364	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	5,364	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	5,364	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	5,364	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	5,364
計	5,364	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

危010	項目名	消防ポンプ車購入費	新規事業
予算書項目	消防ポンプ等購入費	ページ	273
年度	R6	所属名	危機管理部 危機管理課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】消防企画係 0857-30-8032		
款 消防費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画		
項 消防費	【事業の経過及び背景】 消防団の消防ポンプ等の中には、配備から20年以上経過しているものがある。老朽化により、火災時に支障が出ることがないように、年次的に更新していくことが必要である。		
目 消防施設費	【事業の目的及び効果】 消防ポンプ等を更新することにより、作業効率が向上し、火災時等における被害の軽減を図ることができる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 消防ポンプ車(2台)・小型消防ポンプ(1台)の購入		
前年度当初予算額	58,997	【事業の実績】 ①消防ポンプ自動車・小型ポンプ積載車更新 ②小型ポンプ更新	
本年度要求額	68,074	令和3年度 ポンプ車(美穂、用瀬大村)、小型ポンプ(大郷) 令和4年度 ポンプ車(倉田)、小型ポンプ積載車(鹿野第2) 小型ポンプ(明治、大和、倉田、面影) 令和5年度 ポンプ車(松保)、小型ポンプ積載車(用瀬社) 小型ポンプ(末恒、松保、豊実)(予定)	
総務部長段階査定額	68,074	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	68,074	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	67,900	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	174	繰入金	0
計	68,074	贈収金	0
		その他	0
備考欄			

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業																									
予算書項目	総合企画費	ページ	175																									
年度	R6	所属名	企画推進部 政策企画課																									
会計名	事業の概要																											
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013																											
款 総務費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																											
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくための、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すごい！鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。																											
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。																											
(単位：千円)	【事業の内容】 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営を委託し、出会いの機会の創出を図るとともに、成婚へつなげるようサポートを行う。 ・婚活イベントの開催 ・会員対象のサークル活動 ・カップル対象イベントの開催 ・スキルアップのための各種セミナーの開催 ・出会いから結婚までのサポート ・会員管理システムの改修 など																											
前年度当初予算額	9,711	【事業の実績】																										
本年度要求額	15,076	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[事業費]</td> <td>[登録会員数]</td> <td>[カップル成立数]</td> <td>[成婚者数]</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(うち会員同士)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,461千円</td> <td>1,984人</td> <td>95組</td> <td>44人(7組)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,260千円</td> <td>2,163人</td> <td>75組</td> <td>28人(6組)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,711千円</td> <td>2,305人</td> <td>73組</td> <td>13人(0組)(見込)</td> </tr> </table>			[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]					(うち会員同士)	令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)	令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)	令和5年度	9,711千円	2,305人	73組	13人(0組)(見込)
	[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]																								
				(うち会員同士)																								
令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)																								
令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)																								
令和5年度	9,711千円	2,305人	73組	13人(0組)(見込)																								
総務部長段階査定額	13,083	※令和5年度実績は12月末時点																										
市長段階査定額	13,083	会員同士の成婚数 累計42組(平成26年度～令和5年12月末)																										
区分	本年度予算額	備考欄																										
財源内訳																												
国・県支出金	6,542																											
地方債	0																											
その他	0																											
一般財源	6,541																											
計	13,083																											

企002	項目名	総合計画策定事業費	新規事業	○
予算書項目	総合企画費	ページ	175	所属名
年度	R6	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 地方創生・デジタル化推進室 0857-30-8014			
款 総務費	【1次総の施策体系】 0001			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 第1次鳥取市総合計画を令和3年4月に策定し、本市の将来像の実現に向け、各施策を展開してきた。この基本計画期間(令和3年～7年度)が令和7年度で期間満了となるため、第12次鳥取市総合計画(基本計画期間：令和8年度～令和12年度)の策定準備に取り組む。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和8年度を初年度とする第12次鳥取市総合計画及びその重点施策である第3期鳥取市創生総合戦略の策定に向け、必要な各種データの収集・分析を行うとともに、市民・各団体・各附属機関など幅広く意見等をいただき、計画づくりに反映させる。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	0	1 総合計画策定に必要な各種データの収集・分析 市民、学生等に対する意識調査や人口推計、本市の特性分析等を行い、計画策定に必要なデータの収集及び分析を行う。		
本年度要求額	21,391	2 総合計画策定市民ワークショップの開催 総合計画を市民との協働により策定するため、ワークショップを開催し、総合計画づくりに反映させる。		
総務部長段階査定額	13,865	3 庁内体制の整備 総合計画策定庁内プロジェクトチームの設置等、計画策定に必要な体制を整備する。		
市長段階査定額	13,865			
区分	本年度予算額	備考欄		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	13,865			
計	13,865			

企003	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度から始まった地方創生の取組を受けて、従前の「鳥取市若者会議」を見直し、平成28年4月から、若者の視点による地方創生に向けた取組の深化を図ることを目的に、「とっとり若者地方創生会議」を設置している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者自らが、地方創生に関する調査研究を行い、若者の視点による必要な施策を市に提言することで、本市の地方創生に向けた取組の深化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公募や団体推薦により集まった若者（大学生や専門学校生等）により「とっとり若者地方創生会議」を組織し、年間を通じた会議や視察、イベントなどの調査研究活動を通じて、若者定住やまちの賑わいづくりに資する施策を取りまとめ、市に提言する。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回		
前年度当初予算額	677	【事業の実績】	
本年度要求額	677	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
総務部長段階査定額	677	【事業の実績】	
市長段階査定額	677	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	135	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
その他	542	【事業の実績】	
一般財源	677	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
計	677	【事業の実績】	
備考欄			

企004	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】2204 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中核都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展をめざし、広域連携による取組を進めている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中核都市圏ビジョン懇談会による連携中核都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 ・連携中核都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 ・エリアプロモーション事業 麒麟のまちで見つけた！魅力投稿キャンペーン（2,986千円）		
前年度当初予算額	3,897	【事業の実績】	
本年度要求額	4,323	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
総務部長段階査定額	3,453	【事業の実績】	
市長段階査定額	3,453	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	1,493	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
その他	1,960	【事業の実績】	
一般財源	3,453	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン懇談会] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
計	3,453	【事業の実績】	
備考欄			

企005	項目名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名 企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2204 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 昭和44年に本協議会の前身である「鳥取・岡山県境開発促進協議会」が発足し、本市では合併前の用瀬町及び佐治村が加入していた。 旧協議会は、平成の大合併を前にいったん解散したが、合併が一段落した平成18年に、鳥取市、三朝町、倉吉市、江府町、日野町、日南町、新見市、西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村の14市町村により改めて発足した。 その後、平成20年に智頭町と若桜町が加入した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本協議会は、鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成されており、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行うことにより地元産業の振興と地域開発を促進することを目的としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取・岡山県境連携推進協議会への参加 ・ 総会、会議等への出席 ・ 岡山県・鳥取県両知事への要望		
前年度当初予算額	22	【事業の実績】 ○会議等の開催（令和5年度、6年度：日野町が会長） ・ 総会（1回） ・ 構成市町村担当課長・担当者会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・ 構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出	
本年度要求額	7		
総務部長段階査定額	7	【事業の内訳】	
市長段階査定額	7	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7	
	計	7	
備考欄			

企006	項目名	シティセールス推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名 企画推進部 政策企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2203 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成29年度より「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく各施策を展開している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 ブランドスローガン「SQのあるまち」の浸透を図るとともに、「鳥取市シティセールス戦略」に基づく事業を展開し、鳥取市ブランドを確立し、人や企業から選ばれるまち鳥取市の実現をめざす。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ シティセールス戦略推進会議の開催 2回 ・ SQのあるまち推進職員研修の開催 1回		
前年度当初予算額	601	【事業の実績】	
本年度要求額	601	[シティセールス戦略推進会議] [職員研修の開催]	
総務部長段階査定額	601	令和3年度 1,959千円 2回 令和4年度 315千円 1回 令和5年度 584千円 1回	
市長段階査定額	601	[職員研修の開催] — 1回 1回 (見込)	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	601	
	計	601	
備考欄			

企007	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、公立鳥取環境大学の共同設置者の鳥取県と鳥取市は、同大学に対して運営費交付金等を交付している（鳥取県及び鳥取市の負担額は1/2ずつ）。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 公立鳥取環境大学の安定的な運営を図るとともに、授業料等への支援が必要な学生の経済的負担の軽減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 大学運営に必要な経費の一部について運営費交付金を交付するとともに、大規模な修繕等の経費に対して施設整備費補助金を交付する。また、高等教育の修学支援新制度に係る経費に対して授業料減免費等交付金を交付する。 ・運営費交付金の交付 496,930千円 ・施設整備費補助金の交付 25,158千円 ・授業料減免費等交付金の交付 41,517千円		
前年度当初予算額	554,561	【事業の実績】	
本年度要求額	563,605	[運営費交付金] [施設整備費補助金] [授業料減免費等交付金]	
総務部長段階査定額	563,605	令和3年度 454,190千円 36,897千円 34,644千円	
市長段階査定額	563,605	令和4年度 436,826千円 51,249千円 40,301千円	
区分	本年度予算額	令和5年度 436,401千円 42,010千円 41,517千円 (見込)	
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	25,100		
その他	0		
一般財源	538,505		
計	563,605		
備考欄			

企008	項目名	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	新規事業
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では20代を中心に若年人口の社会減が続いており、若者定住に向けた取り組みの一つとして本市に所在する大学または専門学校に通う学生に、麒麟のまち圏域の企業や地域の魅力を知ってもらうことが必要である。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市に所在する大学または専門学校に通う学生を対象に、麒麟のまち圏域の企業への就職促進や地域の魅力の理解促進を図ることで、若者定住につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 本市に所在する大学または専門学校が、在学生を対象に行う次の①または②の要件を満たす事業に対して助成を行う。 [対象事業] ①学生の麒麟のまち圏域への就職を促進する事業 (補助対象経費) 外部講師への謝礼、市内の企業訪問に係る経費 など ②学生が麒麟のまち圏域に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業 (補助対象経費) 校外でのフィールドワークに係る経費 など [補助率]1/2		
前年度当初予算額	6,000	【事業の実績】	
本年度要求額	6,000	[事業費] [件数]	
総務部長段階査定額	2,000	令和4年度 634千円 3件 (大学2件、専門学校1件)	
市長段階査定額	2,000	令和5年度 634千円 3件 (大学2件、専門学校1件) (見込)	
区分	本年度予算額		
財源内訳	1,000		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,000		
計	2,000		
備考欄			

企009	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	171
年度	R6	所属名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【1次総の施策体系】2203 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ、SNS等様々なメディアを活用し、多様なニーズに対応した情報提供を行う。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 さまざまなメディア・SNS等の持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題であり、市民の情報取得の利便性を高めつつ、効果的な情報発信・提供を行っていくことで市政情報の市民への浸透を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 56,376	(1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など		
本年度要求額 61,845	(2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事等を年1回掲載		
総務部長段階査定額 56,160	(3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組		
市長段階査定額 56,160	(4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など		
区分	本年度予算額	(5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出	
国・県支出金 0	0	(6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供	
地方債 0	0	【事業の実績】	
その他 209	209	令和3年度 54,448,310円	
一般財源 55,951	55,951	令和4年度 53,819,346円	
計 56,160	56,160	令和5年度 56,376,000円(見込)	
		※その他財源の諸収入は、広告料収入	
備考欄			

企010	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	171
年度	R6	所属名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【1次総の施策体系】2203 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少や地方分権の流れから地域間競争が激化することを見据え、平成20年度から知名度アップ事業を実施。「すごい！鳥取市」に続き、「#鳥取家族」をキャッチコピーとするシティプロモーション戦略を展開し、全国的な認知度の向上に取り組んでいる。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図るとともに、本市に在住する市民自身も、自信と誇りを持って市民愛着度の向上につなげていくことで、住む人・来る人に愛され続ける鳥取市の実現を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 17,745	シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		
本年度要求額 27,295	【事業の実績】		
総務部長段階査定額 17,745	令和3年度 17,560,613円		
市長段階査定額 17,745	令和4年度 17,609,599円		
区分	本年度予算額	令和5年度 17,745,000円(見込)	
国・県支出金 0	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
地方債 0	0		
その他 17,745	17,745		
一般財源 0	0		
計 17,745	17,745		
備考欄			

企011	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	177
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【1次総の施策体系】2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化		
前年度当初予算額	1,182	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
本年度要求額	2,084		
総務部長段階査定額	1,248	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
市長段階査定額	1,248	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
国・県支出金	0	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
その他	0	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
一般財源	1,248	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
計	1,248	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
備考欄			

企012	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	177
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【1次総の施策体系】2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などとの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加		
前年度当初予算額	5,181	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
本年度要求額	1,327		
総務部長段階査定額	1,327	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
市長段階査定額	1,327	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
その他	0	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
一般財源	1,327	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
計	1,327	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
備考欄			

企013	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	7,667	文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ること、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。	
本年度要求額	7,863	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	7,851	●児童生徒を対象とした文化芸術事業	
市長段階査定額	7,851	●次世代育成の推進	
区分	本年度予算額	●文化団体の育成	
国・県支出金	995	①鳥取市文化団体協議会などの活動に要する経費の補助	
地方債	0	②鳥取市文化団体協議会所属団体などの文化施設使用料減免に係る補填	
その他	3,419	【事業の実績】	
一般財源	3,437	令和3年度 7,363千円	
計	7,851	令和4年度 7,197千円	
		令和5年度 7,347千円（見込）	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
備考欄			

企014	項目名	文化芸術推進事業補助金	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	本市では、さまざまな分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	9,790	市民による文化芸術に関する活動や、伝統文化の保存活動に対する支援を行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展につなげる。	
本年度要求額	7,340	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	7,340	(1) 童謡唱歌100曲マラソン	
市長段階査定額	7,340	地元音楽団体による童謡・唱歌の歌唱リレー	
区分	本年度予算額	(2) 文化芸術推進事業補助金	
国・県支出金	1,556	文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の補助	
地方債	0	・市民文化祭開催補助	
その他	4,000	・伝統・郷土芸能団体備品整備補助	
一般財源	1,784	・国民文化祭参加補助 など	
計	7,340	【事業の実績】	
		補助件数	
		令和3年度 12件	
		令和4年度 14件	
		令和5年度 18件（見込）	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
備考欄			

企015	項目名	文化施設のあり方に関する検討事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 本市の主要な文化施設の老朽化に対応するため、平成31年2月、関係課で構成する「市民会館等文化施設のあり方検討庁内会議」を設置し、文化施設再編の方向性について、内での調査研究を行っている。		
目 文化振興費	併せて、令和4年8月には、各分野の専門家や公募委員で構成する「ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会」を設置。令和5年5月、本検討委員会からの提言書を踏まえ、ホール等文化施設のあり方に関する基本方針（素案）を策定し、市民政策コメントを実施した。その後、庁内検討会議でさらに議論を行い、令和6年2月に「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」を策定した。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 ホール等文化施設のあり方に関する基本方針を踏まえ、専門家の方々で構成する検討組織を設置し、新たに整備する文化施設の具体的な機能や規模等について検討を行うことにより、本市の文化芸術のさらなる振興につなげる。		
前年度当初予算額	249	【事業の内容】 ホール等文化施設整備基本計画の策定 ・専門家委員会による検討 ・専門家委員会開催支援業務の委託	
本年度要求額	33,642	【事業の実績】 令和4年度 180千円 令和5年度 66千円（見込）	
総務部長段階査定額	19,053	※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金	
市長段階査定額	19,053	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	18,000	財産収入	0
一般財源	1,053	寄付金	0
計	19,053	繰入金	18,000
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

企016	項目名	舞台芸術×地域活性化事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、市から旧鹿野小学校体育館等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。		
目 文化振興費	本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域の活性化に向けて取組を推進している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 他地域にはない固有の資源である「鳥の劇場」、「舞台芸術」を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、劇場施設を中心とした地域一帯を、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。		
前年度当初予算額	51,900	【事業の内容】	
本年度要求額	125,851	(1) 文化交流拠点施設整備事業 【補助金：118,272千円】 ・新バックヤード建築 177,408千円 × 2/3補助率	
総務部長段階査定額	125,447	(2) 舞台芸術×人材育成モデル事業【委託料：4,675千円】 ・演劇塾開催事業 ・市民演劇講座開催事業 ・小・中学生劇場空間体験事業 ・企業研修トライアル事業	
市長段階査定額	125,447	(3) 舞台芸術×賑わい創出モデル事業【補助金：2,500千円】 ・鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭」の開催に対する支援	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度（見込） 59,116千円 旧鹿野小学校校舎一部解体、旧幼稚園舎改修 演劇塾開催事業等委託および鳥の演劇祭開催支援	
財源内訳		※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金	
国・県支出金	62,723	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	12,000	使用料	0
一般財源	50,724	手数料	0
計	125,447	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	12,000
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

企017	項目名	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 市民に文化芸術を身近に感じていただく機会として、1962年（昭和37年）より毎年美術展を開催している。本市の文化芸術の持続・発展に向けて、実施内容などを随時検討しつつ、今後も継続していく必要がある。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市民が芸術作品を制作・鑑賞する機会を提供することにより、市民の創作意欲や文化芸術に対する意識の高揚を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	3,706	(1) 委託先 麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会	
本年度要求額	3,892	(2) 部 門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、自由	
総務部長段階査定額	3,892	(3) 会 場 鳥取県立博物館	
市長段階査定額	3,892	(4) 会 期 令和6年6月2日～6月9日	
区分	本年度予算額	(5) 出品資格 中学生以上で、麒麟のまち圏域（鳥取・岩美・若桜・智頭・八頭・香美・新温泉）在住、または鳥取市に通勤通学をしている人	
財源内訳	国・県支出金 670	【事業の実績】	
地方債 0	その他 3,222	〔鑑賞者数〕	
一般財源 0	計 3,892	令和3年度 2,172人（特別展示：やまびこ館4,539人）（60回記念）	
		令和4年度 2,020人（受賞作品展示：やまびこ館1,168人）	
		令和5年度 2,065人（受賞作品展示：やまびこ館1,803人）	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
		※その他財源の諸収入は、美術展出品料収入	
備考欄			

企018	項目名	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 令和元年5月、麒麟獅子舞をはじめ、麒麟のまち圏域内の31の文化財で構成するストーリーが「日本遺産」に認定された。これを受け、麒麟のまち圏域1市6町と一般社団法人麒麟のまち観光局は、「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を設立し、圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	2,400	日本遺産「麒麟のまち」推進協議会が実施する情報発信、商品造成、普及啓発などの事業に要する経費を補助する。	
本年度要求額	3,600	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	3,600	令和3年度 12,400千円	
市長段階査定額	3,600	令和4年度 2,400千円	
区分	本年度予算額	令和5年度 2,400千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金 0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
地方債 0	その他 3,600		
一般財源 0	計 3,600		
備考欄			

企019	項目名	市民会館施設管理費	新規 事業
予算書項目	施設管理費	ページ	289
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 市民会館管理費	1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	63,617	市民の文化芸術活動などの拠点の一つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。	
本年度要求額	76,743	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	50,483	・指定管理者（一般財団法人鳥取市教育福祉振興会）による管理運営 （期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日） ・市民会館空調設備改修調査業務	
市長段階査定額	50,483	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	[利用者数]	
財源内訳		令和3年度 28,802人	
国・県支出金	0	令和4年度 37,753人	
地方債	0	令和5年度 47,800人（見込）	
その他	0		
一般財源	50,483		
計	50,483		
備考欄			

企020	項目名	国際交流プラザ管理運営費	新規 事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	6,424	本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。	
本年度要求額	7,238	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	7,238	・中国語及び英語担当職員の配置による外国人住民向けの情報発信・相談対応 ・国際理解講座の運営 ・市報の翻訳やリサイクル生活用品の提供など	
市長段階査定額	7,238	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	[利用件数]	[利用者数]
財源内訳		令和3年度	1,329件 12,495名
国・県支出金	0	令和4年度	1,328件 14,778名
地方債	0	令和5年度	1,350件（見込） 14,800名（見込）
その他	0		
一般財源	7,238		
計	7,238		
備考欄			

企021	項目名	在住外国人支援事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催		
前年度当初予算額	91	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
本年度要求額	167		
総務部長段階査定額	167	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
市長段階査定額	167	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
財源内訳		【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	167		
計	167		
備考欄			

企022	項目名	市民国際理解推進事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177
年度	R6	所属名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際感覚の醸成や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催		
前年度当初予算額	312	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
本年度要求額	312		
総務部長段階査定額	312	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
市長段階査定額	312	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
財源内訳		【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	312		
計	312		
備考欄			

企023	項目名	地域情報化推進費	新規事業
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】2405 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤および行政サービスを提供してきた。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域イントラネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システムの適切な管理を行う。 ①市民、地域とのコミュニケーションの促進 ・公共施設、地区公民館等の高速インターネット環境・公衆無線LAN環境整備 ・「地域ふれあいサイト」（地区ホームページの運用） ・コミュニティスタジオの管理 ②小・中学校における快適な情報教育環境の実現 ・小・中学校の高速インターネット環境整備 ③ICTを活用した各種行政サービスの提供による市民の利便性の向上 ・「とっとり施設予約サービス」等 ④携帯電話鉄塔・伝送路の維持管理 ⑤コミュニティFM中継局の維持管理		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 地域イントラネット（学校、公民館等拠点接続）・公衆無線LAN管理 (2) 施設予約システムの管理 (3) 電柱共架料（イントラネット関係、総合行政ネットワーク関係） (4) 携帯電話用鉄塔・伝送路の借地維持管理		
前年度当初予算額	28,479	【事業の実績】 令和3年度 21,415千円 令和4年度 22,569千円 令和5年度 28,479千円（見込）	
本年度要求額	36,580	※その他財源の諸収入は、携帯電話伝送路使用料、コミュニティFM中継局設備使用料	
総務部長段階査定額	34,422	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	34,422	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 1,606	使用料	0
	地方債 1,000	手数料	0
	その他 802	財産収入	0
	一般財源 31,014	寄付金	0
計	34,422	繰入金	0
		贈収入	802
		その他	0
備考欄			

企024	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】2405 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民生活に必要な不可欠な社会基盤の一つとして、近年の情報化社会におけるICT利活用のため超高速情報通信網が必要となるが、整備の遅れている地域があるため、格差是正に向けた取り組みが求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 目的：本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のFTTH化を行う。 経過：CATV公設民営エリアの中の光化未整備地域における、伝送路設備の光ファイバ化、局舎内機器整備を進めてきた。 R2.7補正【通信のみ】：明治地区、国府町（東部）、福部町、河原町（神馬地域）、用瀬町、佐治町、気高町（南部）、鹿野町、青谷町（南部） R3.6補正【通信のみ】：青谷町（北部） R4.1補正【通信/放送】：気高町（北部） R4当初：局舎内放送機器整備（国府・河原除く） R5.2補正【通信/放送】：国府町（西部）、河原町 ・引込宅内修繕 R3～		
(単位：千円)	効果：有線テレビジョン放送網FTTH化に伴うCATV耐災害性強化、ICT利活用推進		
前年度当初予算額	198,055	【事業の内容】 超高速情報通信網の整備	
本年度要求額	312,001	【事業の実績】 令和3年度【青谷町北部】 124,909千円（実績） 令和3年度（令和4年度繰越）【気高町北部】 896,563千円（実績） 令和4年度 局舎内放送機器整備（国府・河原除く） 470,358千円（実績） 令和5年度 引込宅内修繕 198,055千円（見込） 令和5年度（令和4年度繰越）【国府町西部、河原町】 1,167,158千円（見込）	
総務部長段階査定額	305,950	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	305,950	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 0	使用料	0
	地方債 305,700	手数料	0
	その他 0	財産収入	0
	一般財源 250	寄付金	0
計	305,950	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

企025	項目名	次期基幹システム構築事業費		新規事業	○
予算書項目	住民情報システム管理費	ページ	181	所 属 名	
年度	R6	企画推進部 情報政策課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】 情報システム係 0857-30-8027				
款	総務費	【1次総の施策体系】 2405			
項	総務管理費	【事業の目的及び効果】 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に従い、令和7年度に標準化基準に適合するシステムを導入することで、システム管理に伴う人的・財政的負担を軽減し、新たな住民サービスの迅速な展開を可能とするもの。			
目	電算処理費	【事業の内容】 標準仕様書準拠システムの導入 (1) 標準仕様書と現行住民情報システムとのFit&Gap分析 (2) 業務フローの見直し検討 (3) 標準準拠システムの設定・移行作業 (4) ガバメントクラウドの利用環境整備			
(単位：千円)	【事業の実績】 令和5年度 標準仕様書とのFit&GAP、外字同定作業				
前年度当初予算額	0				
本年度要求額	236,045				
総務部長段階査定額	182,524	その他財源の内訳			
市長段階査定額	182,524	分担金	0		
区 分	本年度予算額	負担金	0		
財源内訳		使用料	0		
国・県支出金	174,604	手数料	0		
地方債	0	財産収入	0		
その他	0	寄付金	0		
一般財源	7,920	繰入金	0		
計	182,524	贈収入	0		
		その他	0		
備考欄					

企026	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費		新規事業	
予算書項目	電算事務費	ページ	181	所 属 名	
年度	R6	企画推進部 情報政策課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】 情報政策係 0857-30-8026				
款	総務費	【1次総の施策体系】 2405 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）			
目	電算処理費	【事業の目的及び効果】 会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。 名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会 会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村			
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 全会員又は特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること (2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること (3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること (4) その他協議会の目的達成に必要な事業 ①行政イントラシステム（協議会調達）利用期間：（第2期）R4.12～R9.11 ②電子申請・届出システム（協議会調達）利用期間：（第1期）R5.4～R10.3 ③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達） 利用期間：（第2期）R4.4～R9.3 ④インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ				
前年度当初予算額	11,833	【事業の実績】 令和3年度 12,445千円 令和4年度 11,420千円 令和5年度 11,833千円（見込）			
本年度要求額	11,657				
総務部長段階査定額	11,657	その他財源の内訳			
市長段階査定額	11,657	分担金	0		
区 分	本年度予算額	負担金	0		
財源内訳		使用料	0		
国・県支出金	0	手数料	0		
地方債	0	財産収入	0		
その他	0	寄付金	0		
一般財源	11,657	繰入金	0		
計	11,657	贈収入	0		
		その他	0		
備考欄					

企027	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
------	-----	----------------	------

予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	181
-------	----------------	-----	-----

所属名	企画推進部 情報政策課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	電算処理費

事業の概要

【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026

【1次総の施策体系】2405

【事業の経過及び背景】
多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。

【事業の目的及び効果】
目的：多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システム（AI、RPA）を活用し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図る。
効果：これまで人手で行ってきたデータ入力業務を、次世代情報システムの利用及び行政手続きをオンライン化することで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。

【事業の内容】
(1) RPAツールの導入
L G W A N系ネットワークおよび住民情報系ネットワークそれぞれにRPAツールを構築し、効果の高い業務から順次、事務の移行を進めていくことで、職員を単純業務から解放し、専門業務に専念させることができる。
(2) AI議事録ツールの導入
各課で必要に応じて行っている、会議議事録の作成について、AI議事録ツールを導入することで、作成にかかる時間及び負担を軽減し、市民への情報提供を迅速化させ、あわせて職員を専門業務に専念させることができる。
(3) 行政手続きのオンライン化
マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報系システムに取込を行うことで、行政手続きの効率化を図る。

【事業の実績】
令和3年度 4,589千円
令和4年度 24,031千円
令和5年度 38,717千円（見込）

(単位：千円)

前年度当初予算額	38,717
----------	--------

本年度要求額	7,500
--------	-------

総務部長段階査定額	7,200	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

市長段階査定額	7,200	分担金	0
---------	-------	-----	---

区分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳	国・県支出金	0							
	地方債	0							
	その他	0							
	一般財源	7,200							
	計	7,200							

備考欄	
-----	--

市001	項目名	人材誘致・定住促進対策事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】移住定住促進係 0857-30-8173		
款 総務費	【1次総の施策体系】2201、2204、2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 移住に関する各種情報の収集、発信を強化するとともに、相談者への伴走型支援を行うため、平成18年に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を設置し、専任相談員を配置した。さらに「鳥取市移住・交流情報ガーデン」の設置、お試し定住体験施設の運営、各種支援制度の実施により、移住定住の促進を図ってきた。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 移住希望者へのきめ細やかで親身になった相談対応や移住定住専用ポータルサイトによる情報発信を総合的・戦略的に行う。さらには、地域団体等と連携し、主に移住希望者に向けた中山間地域の空き家の利活用に積極的に取り組むことで、単年度あたりの移住者480人を目標に移住定住の促進に取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 相談窓口を通じた移住相談支援や移住相談会への出席、各種移住支援制度による補助金の交付、移住定住専用ポータルサイト（とっとりコネクト）や各種SNSを活用した情報発信に加え、中山間地域での空き家の利活用に取り組むことより、本市への移住定住を促進する。		
前年度当初予算額	53,947	【事業の実績】 1. 相談対応延べ件数 令和3年度1,016件 令和4年度1,065件 令和5年度1,100件（見込） 2. 窓口相談登録世帯数 令和3年度168世帯 令和4年度287世帯 令和5年度 320件（見込） 3. 移住者数 令和3年度462人 令和4年度458人 令和5年度 480件（見込）	
本年度要求額	58,094	※その他財源の諸収入は、お試し定住体験施設体験料。	
総務部長段階査定額	52,110	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	52,110	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 15,244	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 216	財産収入	0
	一般財源 36,650	寄付金	0
計	52,110	繰入金	0
		贈収入	216
		その他	0
備考欄			

市002	項目名	とっとり・つながり創出事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】移住定住促進係 0857-30-8173		
款 総務費	【1次総の施策体系】2201、2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市への移住定住の促進には、本市と「つながり続ける」または「つながりを作る」関係人口創出の取組が重要となっている。また、市長と若者との直接対話「地方創生ストーリーミーティング」から高校卒業後もつながりを維持する仕組みづくりに関する提案や、「とっとり若者地方創生会議」から高校生等を巻き込んだ地域の魅力の再発見やSNSでの情報発信に関する提案をいただいております、これらを踏まえ、本市の関係人口創出に向けて事業化したもの。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鳥取県東部の高校生が進学・就職で鳥取県外に転出した場合においても、SNSの活用により、ふるさとに関する情報を受け取ることができる環境の構築に取り組み、「つながり続ける」の実現を図る。また、先輩移住者や地域団体など連携し、いなか暮らしを体験していただく取組により、「つながりを作る」の実現を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 1. とっとり・つながりインフルエンサーグランプリ 鳥取県東部の高校生グループが、Instagramで麒麟のまち圏域に関する情報発信を行い、フォロワー数等を競う「とっとり・つながりインフルエンサー」グランプリを開催する。 2. とっとり・つながり体験ツアー 本市の中山間地域において、県外在住者を対象に、先輩移住者や地域団体等の地域住民との交流を軸とした農業体験や地域資源に触れていただくツアーを実施する。		
前年度当初予算額	0	【その他財源の内訳】	
本年度要求額	903	分担金	0
総務部長段階査定額	903	負担金	0
市長段階査定額	903	使用料	0
区分	本年度予算額	手数料	0
財源内訳	国・県支出金 262	財産収入	0
	地方債 0	寄付金	0
	その他 0	繰入金	0
	一般財源 641	贈収入	0
計	903	その他	0
備考欄			

市003	項目名	輝く中山間地域創出事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177	所属名
年度	R6	市民生活部 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 過疎化・高齢化等による中山間地域の様々な課題を解決し、地域を活性化させる住民主体の取り組みを支援するため、平成22年度に「輝く中山間地域創出モデル事業」を創設した。平成30年度からは、むらとまちとの交流による中山間地域の活性化も併せて支援している。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域住民自ら行う活性化計画策定及び計画に基づいたソフト事業、中山間地域の資源を活用したむらとまちの交流を支援し、中山間地域の活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ＜補助金交付＞ ○計画策定：補助率10/10、補助金上限 100千円 ○ソフト事業：補助率 8/10、補助金上限 2,000千円 (最大3年間、累計2,000千円上限) ○里山交流：補助率10/10、補助金上限 100千円(最大3年間)			
前年度当初予算額	4,270	【事業の実績】		
本年度要求額	3,917	計画策定 ソフト事業 里山交流 事業費計		
総務部長段階査定額	3,917	令和3年度 2団体 4団体 0交流0団体 2,630千円		
市長段階査定額	3,917	令和4年度 0団体 7団体 0交流0団体 4,997千円		
区分	本年度予算額	令和5年度 0団体 6団体 1交流2団体 2,832千円(見込)		
財源内訳	国・県支出金 583	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
	地方債 1,100			
	その他 2,234			
	一般財源 0			
計	3,917			
備考欄				

市004	項目名	過疎地域振興事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177	所属名
年度	R6	市民生活部 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 中山間地域・過疎地域の活性化のためには、自主的に実践し、意欲をもって地域活動に取り組む人づくりが重要である。そのため、本市では、平成23年度から地域活性化に積極的に取り組む人材養成に取り組んできた。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和2年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学びを深めていただき、地域活性化に向けた具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を目的として「とっとりリーダーアカデミー」に取り組む。地域活性化に積極的に取り組む人材を増やしていくことにより、中山間地域・過疎地域の活性化を推進する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 テーマ別専門ゼミ(講座)の実施により、地域の課題についてより専門的なノウハウ・スキルを身につけるとともに、エリア別地域ゼミを開催することで、各地域のニーズや課題に対応し、問題解決・地域活性化へとつなげる。また、麒麟のまち交流ゼミにより、麒麟のまち圏内の地域団体の取組について情報交換を行う機会を創出する。			
前年度当初予算額	3,296	【事業の実績】		
本年度要求額	3,296	リーダー認定者数		
総務部長段階査定額	3,125	令和3年度 24人		
市長段階査定額	3,125	令和4年度 27人		
区分	本年度予算額	令和5年度 20人(見込)		
財源内訳	国・県支出金 1,500			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1,625			
計	3,125			
備考欄				

市005	項目名	中山間地域・買い物支援事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177
年度	R6	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】振興係 0857-30-8172		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	中山間地域における買い物が困難な地域の解消を図るため、平成24年度から鳥取市中山間地域・買い物支援事業に取り組んでいる。平成26年度には佐治地域で移動販売と見守り活動を組み合わせた買い物福祉サービス支援事業を開始し、平成29年度からは地域を拡大して支援している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	7,779	本市の中山間地域において、移動販売等の買い物支援に係る取組や、移動販売と見守りを組み合わせた買い物福祉サービスの取組を支援することにより、買い物が困難な地域における買い物環境の改善を図るとともに、中山間地域で安心して暮らし続けることができるための環境づくりを目指す。	
本年度要求額	12,049	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	11,423	(補助金交付)	
市長段階査定額	11,423	導入助成 補助率 8/10(県1/2、市3/10) 補助金上限8,000千円	
区分	本年度予算額	運営助成 補助率 特例中小企業(県中山間集落見守り活動支援協定を締結し小規模高齢化集落等で移動販売をする者) 10/10(県1/2、市1/2) 補助金上限2,000千円	
国・県支出金	5,710	上記以外の者 1年目8/10、2年目2/3、3年目1/3ほか	
地方債	1,600	買物福祉 補助率 10/10(県1/2、市1/2) 補助金上限3,700千円	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	4,113	導入支援 運営支援 買物福祉 事業費計	
計	11,423	令和3年度 0件 1件 3件 7,419千円	
備考欄		令和4年度 0件 1件 3件 7,808千円	
		令和5年度 0件 4件 3件 8,108千円(見込)	

市006	項目名	中山間地域・地域遊休施設活用支援事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177
年度	R6	所属名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】振興係 0857-30-8172		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	鳥取県みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業を活用し、地域における遊休施設(空き店舗等)を、新たな地域活性化拠点として、ハード・ソフト両面から総合的に活用しようとする住民団体等の取り組みを支援している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	0	鹿野町勝谷地区において、地域の空き倉庫を改修し、空き家の解体や片付け時に排出される古民具や古材をストック・再活用するための活動拠点を整備し、リユース、アップサイクルなどにより地域活性化につなげる取り組みを支援する。	
本年度要求額	6,750	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	5,000	(補助金交付)	
市長段階査定額	5,000	・補助率：5/6(県1/2、市1/3、事業者1/6)	
区分	本年度予算額	・補助額：6,000千円×5/6=5,000千円	
国・県支出金	3,000	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 1件 6,589千円 空き店舗活用事業	
その他	0	令和4年度 0件	
一般財源	2,000	令和5年度 0件	
計	5,000		
備考欄			

市007	項目名	地域の魅力創出事業費		新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177	所属名
年度	R6	市民生活部 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2201 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市及び隣接する麒麟のまち圏域の自治体を跨いだ長距離を自転車で周遊し、豊かな自然景観や地元の特産品を楽しむためのイベントを毎年開催しており、全国から多くの方が参加されている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域資源を活かした新たな魅力創出にあたり、鳥取市と隣接する麒麟のまち圏域の自治体が連携することで、より大きな成果が見込まれるものについて、その取り組みを支援する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取市・岩美町・八頭町が連携し、参加者がエリア内のコースを自転車で巡りながら、豊かな自然や美味しいグルメを楽しむ周遊観光イベントに対して支援を行う。			
前年度当初予算額	1,021	【事業の実績】 ＜鳥取すこい!ライド参加申込数＞ 第5回(令和3年) 278人(参加申込を制限して開催) 第6回(令和4年) 526人 第7回(令和5年) 556人		
本年度要求額	1,000			
総務部長段階査定額	1,000	【事業の内訳】		
市長段階査定額	1,000	分担金 0		
区分	本年度予算額	負担金 0		
財源内訳		使用料 0		
国・県支出金	500	手数料 0		
地方債	0	財産収入 0		
その他	0	寄付金 0		
一般財源	500	繰入金 0		
計	1,000	贈収 0		
		その他 0		
備考欄				

市008	項目名	グリーンツーリズム推進事業費		新規事業
予算書項目	特色あるまちづくり推進事業費	ページ	177	所属名
年度	R6	市民生活部 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市の中山間地域は、豊かな自然や特産物、伝統芸能、文化財など多様な地域資源を有しており、それらを生かし、都市住民との交流を行うグリーンツーリズムが各地域で実施されている。これらの取り組みを民間団体等との連携し推進している。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市のグリーンツーリズム会員団体で構成される「鳥取市グリーンツーリズム連絡会」の活動を支援する。また、鳥取県と連携し、武蔵野市からの家族を受け入れ、河原町・佐治町において自然体験交流事業を実施する。これらの取り組みにより、農山漁村住民と都市住民との交流拡大を促進し、地域活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 1. 鳥取市グリーンツーリズム連絡会への補助 2. 武蔵野市家族自然体験交流事業			
前年度当初予算額	120	【事業の実績】		
本年度要求額	1,996	【連絡会補助】 【民泊補助】 【武蔵野交流】		
総務部長段階査定額	1,694	令和3年度 63千円1件 285千円1件 - 0件		
市長段階査定額	1,694	令和4年度 120千円1件 - 0件 コロナで中止		
区分	本年度予算額	令和5年度(見込) 120千円1件 3,000千円1件 - 0件		
財源内訳		※その他財源の諸収入は、武蔵野市家族自然体験交流事業参加者負担金		
国・県支出金	139	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	1,263	使用料 0		
一般財源	292	手数料 0		
計	1,694	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収 1,263		
		その他 0		
備考欄				

市009	項目名	地域おこし協力隊定住・定着支援事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成26年度より配置を始め、地域の様々な課題解決の取り組みを促進することにより地域活性化を図っている。また、3年の任期を終了した隊員17名のうち10名が引き続き本市内に定住している（令和5年2月末現在）。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市の地域おこし協力隊の、任期終了後の定住に要する経費の一部を支援することにより、円滑な定住を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (補助金交付) ○定住奨励金 : 定額150千円 ○住居費支援 ・家賃補助 : 補助率 1/2、補助金上限 月額27千円 ・住宅修繕費補助 : 補助率10/10、補助金上限 300千円 ○起業経費支援 : 補助率10/10、補助金上限 1,000千円		
前年度当初予算額	1,879	【事業の実績】 令和3年度 : 定住奨励金1件、家賃補助1件 令和4年度 : 定住奨励金3件、家賃補助3件 令和5年度 : 家賃補助3件（見込）	
本年度要求額	330		
総務部長段階査定額	330	【事業の内容】 (補助金交付) ○定住奨励金 : 定額150千円 ○住居費支援 ・家賃補助 : 補助率 1/2、補助金上限 月額27千円 ・住宅修繕費補助 : 補助率10/10、補助金上限 300千円 ○起業経費支援 : 補助率10/10、補助金上限 1,000千円	
市長段階査定額	330	【事業の実績】 令和3年度 : 定住奨励金1件、家賃補助1件 令和4年度 : 定住奨励金3件、家賃補助3件 令和5年度 : 家賃補助3件（見込）	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	330	
	計	330	
備考欄			

市010	項目名	小さな拠点整備事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	市民生活部 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 振興係 0857-30-8172		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 中山間地域に生活する人々が安心して暮らし続けられるよう、地域運営で生活サービス等を行う仕組みである「小さな拠点」に取り組む地域が、本市でも複数箇所形成されており、持続可能な地域の形成を図ることを目的として支援を行っている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 持続可能な地域の活性化を図るため、小さな拠点の立ち上げや機能の充実、将来的に活動を担っていくリーダーの育成を支援し、持続的な運営を構築する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (補助金交付) 小さな拠点促進支援事業の担い手育成に係る経費を助成する。 ※補助率10/10（県間接補助1/2、市1/2）、補助金上限 3,000千円		
前年度当初予算額	3,000	【事業の実績】 令和3年度 100千円（気高町逢坂地区） 令和4年度 3,576千円（気高町逢坂地区） 令和5年度 3,000千円（気高町逢坂地区）（見込）	
本年度要求額	6,000		
総務部長段階査定額	5,200	【事業の内容】 (補助金交付) 小さな拠点促進支援事業の担い手育成に係る経費を助成する。 ※補助率10/10（県間接補助1/2、市1/2）、補助金上限 3,000千円	
市長段階査定額	5,200	【事業の実績】 令和3年度 100千円（気高町逢坂地区） 令和4年度 3,576千円（気高町逢坂地区） 令和5年度 3,000千円（気高町逢坂地区）（見込）	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	2,600	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,600	
	計	5,200	
備考欄			

市011	項目名	地域づくり懇談会開催費	新規事業
予算書項目	対話行政費	ページ	169
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 昭和47年度から、地域の課題解決のため市民と市長が直接意見交換する場を設けている。平成30年度からは、地域がめざすまちづくり等をテーマに意見交換を行っている。令和5年度から、「地域の未来づくり懇談会」として市民と幹部職員等が意見交換を行っている。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 市内のすべての地区において「まちづくり協議会」が設立され、地域課題解決のためにさまざまな事業が展開されている中、将来を見据えた地域のあり方、市の施策や市政の展開などについて、地域の方と幹部職員等が意見交換することで、「協働のまちづくり」の推進を図り、もって市政の一層の発展を目指すことを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域コミュニティ計画に掲げられている地域の目標等について、地域住民と直接意見交換する懇談会を開催する。令和6年度においては、20地区を予定している。		
前年度当初予算額	14	【事業の実績】 令和3年度 中止（令和4年度へ延期） 令和4年度 中止（令和5年度へ延期） 令和5年度 6地区	
本年度要求額	14		
総務部長段階査定額	14	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	14		
計	14		
備考欄			

市012	項目名	自治基本条例推進事業費	新規事業
予算書項目	自治基本条例推進事業費	ページ	169
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市のまちづくりの基本ルールを定めた「鳥取市自治基本条例」の趣旨が広く市民に浸透し、市民と市が参画と協働のまちづくりを推進することが重要となっている。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 (1) 条例について市民への周知を行うことにより、住民自治の充実が図られる。 (2) 「市民自治推進委員会」を設置することにより、条例の実効性を高める。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 市民自治推進委員会の開催（6回予定） ・参画と協働のまちづくりの推進に関する事項の調査・審議 ・鳥取市自治基本条例の適切な運用や見直しに関する事項の調査・審議 ・参画と協働の推進に関する事項の自主的な調査・審議 (2) 協働事業の啓発		
前年度当初予算額	438	【事業の実績】 (1) 市民自治推進委員会（適宜開催） (2) 参画と協働のまちづくりフォーラム・啓発事業（隔年開催） 平成30年度 フォーラムの開催 143千円 （これからの地域組織のあり方について） 令和2年度 行政番組の放送 336千円 （みんなでまなび みんなでつくる 地域の未来） 令和4年度 行政番組の放送 336千円 （これからの公民館は？考えよう、暮らしを支える地域の拠点）	
本年度要求額	778		
総務部長段階査定額	678	その他財源の内訳	
市長段階査定額	678	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	131		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	547		
計	678		
備考欄			

市O13	項目名	交通安全対策費	新規事業
予算書項目	交通安全対策費	ページ	177
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177		
款 総務費	【1次総の施策体系】3102 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 交通安全対策協議会等と連携し交通安全対策の推進に努めている。		
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 交通安全対策基本法に規定される自治体の責務として、交通の安全に関して国の施策に準じて施策を講ずるとともに実施し、市民生活における交通面での安全を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	7,824	1. 各種交通安全関連機関、団体との連絡調整	
本年度要求額	7,461	2. 交通安全指導員の委嘱 定員：128名（令和5年12月末現在93名） 任期：令和5年4月～令和7年3月（2年間）	
総務部長段階査定額	7,461	3. 交通安全運動の実施（年4回）	
市長段階査定額	7,461	4. 街頭広報・啓発活動等の実施	
		5. 高齢者地域交通安全支援事業の実施	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	高齢者地域交通安全支援事業の実施	
地方債	0	令和3年度 11件	
その他	0	令和4年度 7件	
一般財源	7,461	令和5年度 10件（見込）	
計	7,461		
備考欄			

市O14	項目名	鳥取市自治連合会補助金	新規事業
予算書項目	地域振興費	ページ	179
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市自治連合会は昭和49年に連合組織として結成され、以後、住民組織の相互連絡、福利増進を進めることで市政発展に大きく寄与してきた。近年では少子高齢化、核家族化の進行、ライフスタイルの変化、個人の価値観の多様化などにより地域とのつながりの希薄化が進んでおり、自治会・町内会への加入率が減少傾向にある。今後も災害時をはじめとしたさまざまな分野において地域コミュニティは重要な役割を担っていくものと考えられる。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進めることができ、市行政にとって多大な効果をあげている。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	70,086	住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援する。 （町内会均等割35,000円、世帯割700円）	
本年度要求額	70,567	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	69,953	令和3年度 活動補助金64,972千円（831町内会、51,474世帯） 運営補助金 5,314千円（事務局運営費等）	
市長段階査定額	69,953	令和4年度 活動補助金64,403千円（828町内会、50,877世帯） 運営補助金 5,360千円（事務局運営費及び加入促進事業費等）	
		令和5年度 活動補助金65,528千円（826町内会、50,215世帯） 運営補助金 4,558千円（事務局運営費等）（見込）	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
国・県支出金	2,220		
地方債	0		
その他	15,845		
一般財源	51,888		
計	69,953		
備考欄			

市015	項目名	コミュニティ支援事業費	新規事業
予算書項目	地域振興費	ページ	179
年度	R6	所 属 名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 諸費	鳥取市は、平成20年度より地域と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」を推進しており、各種の取り組みを進めている。		
(単位：千円)	現在、各地区においては、「まちづくり協議会等（地域運営組織）」を中心として、地域コミュニティ計画に基づき、地域コミュニティの充実・強化の取組が進められている。		
前年度当初予算額	29,527	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	29,602	まちづくり協議会等の運営及び地域コミュニティ計画による地域の身近な課題解決に向けた地域力向上の取り組みを支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの推進に資することを目的とする。	
総務部長段階査定額	29,602	【事業の内容】	
市長段階査定額	29,602	(1) 人的支援	
区分	本年度予算額	①専門知識をもったアドバイザーの派遣	
国・県支出金	3,920	②「まちづくり協議会等」の組織化に伴う会計年度任用職員の増員	
地方債	0	(2) 財政的支援（地域運営組織活動支援事業による財政支援）	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	25,682	R3 R4 R5（見込）	
計	29,602	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織運営助成事業 2,638千円 2,450千円 2,350千円 (補助率10/10 補助限度額5万円) (53地区) (49地区) (47地区) 協働のまちづくり助成事業 18,858千円 17,938千円 17,704千円 (補助率 4/5 補助限度額40万円) (51地区) (48地区) (45地区) 協働のまちづくり特別助成事業 1,180千円 1,320千円 1,400千円 (補助率10/10 補助限度額80万円) (2地区) (2地区) (2地区) 協働のまちづくり一括交付助成事業 3,455千円 5,442千円 6,566千円 (補助率10/10) (7地区) (11地区) (13地区) 	
備考欄			

市016	項目名	防犯灯設置費	新規事業
予算書項目	防犯灯設置費	ページ	179
年度	R6	所 属 名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177		
款 総務費	【1次総の施策体系】3102 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 諸費	防犯意識の高まりとともに、夜間通行の安全のため防犯灯の設置要望が増加し、また、既存の蛍光灯防犯灯から環境に配慮したLED防犯灯への交換を希望する町内会が増えていることを受け、市民との協働により防犯灯整備を進めている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	15,113	防犯灯の設置により、夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大を図る。さらに、防犯灯をLED化し、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく、維持管理の容易な照明を普及し、夜間の安全な通行を確保する。	
本年度要求額	16,698	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	16,698	市民との協働（市による設置、町内会等の維持管理）により令和6年度は742基の防犯灯を設置・更新する。	
市長段階査定額	16,698	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	[防犯灯設置(県補助金)] [防犯灯取替・修繕(県補助金、負担金)]	
国・県支出金	3,081	令和3年度 155基 3,779千円 719基 10,729千円	
地方債	0	令和4年度 139基 3,188千円 509基 6,717千円	
その他	1,797	令和5年度 105基 2,835千円(見込) 481基 7,001千円(見込)	
一般財源	11,820	※その他財源の負担金は、防犯灯設置費分担金	
計	16,698		
備考欄			

市017	項目名	安全安心まちづくり推進助成費	新規事業
予算書項目	防犯対策推進事業費	ページ	181
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市民活動係 0857-30-8177		
款 総務費	【1次総の施策体系】3102 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 防犯対策に大きな役割を果たしている自主防犯活動団体が、より活動しやすくするために、啓発物品の整備を行う。		
目 諸費	【事業の目的及び効果】 本事業は、犯罪や少年非行を防止し、市民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、自主防犯活動を行うボランティア団体の育成や活動支援を行うことで、その活動が継続的、効果的かつ活性化が図られることを目的としており、地域に根ざした防犯活動が展開されることを期待している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 自主防犯活動を行うボランティア団体の育成や活動支援を目的として、物品の支給及び活動費の助成を行う。		
前年度当初予算額	394	【事業の実績】 防犯ベスト、キャップの支給 令和3年度 ベスト 60着 キャップ100個 8団体 令和4年度 ベスト123着 キャップ 20個 9団体 令和5年度 ベスト 43着 キャップ 67個 6団体 自主防犯活動団体補助金 令和3年度 0団体 令和4年度 0団体 令和5年度 0団体	
本年度要求額	300		
総務部長段階査定額	300	その他財源の内訳	
市長段階査定額	300	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	300		
計	300		
備考欄			

市018	項目名	地区公民館改修等事業費	新規事業
予算書項目	地区公民館施設管理費	ページ	183
年度	R6	所属名	市民生活部 協働推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地区公民館係 0857-30-8178		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地区公民館は、地域住民のコミュニティ活動及び生涯学習事業の拠点として重要な役割を果たす施設である。しかし、施設の老朽化や時代の流れとともに変化するニーズに対応できなくなっており、計画的な施設改修等が必要である。		
目 公民館費	【事業の目的及び効果】 地区公民館施設の改修等を図ることで、地域住民が気軽に集い、コミュニティ活動及び生涯学習事業が円滑に実施できる環境を整えることを目的としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・美穂地区公民館高圧受電設備低圧化修繕 ・日置地区公民館高圧受電設備低圧化修繕 ・旧谷地区公民館解体業務 ・旧西郷地区公民館解体業務 ・修立地区公民館植栽等整備業務（若葉台東町線改良工事に伴う整備）		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度：74,433千円（宮下地区公民館外壁等改修工事ほか3件） 令和4年度：93,639千円（旧成器地区公民館解体他工事ほか4件） 令和5年度：43,417千円（見込）（河原地区公民館外壁等修繕ほか4件）	
本年度要求額	130,537	※その他財源の諸収入は、修立地区公民館の植栽等移転補償費	
総務部長段階査定額	118,028	その他財源の内訳	
市長段階査定額	118,028	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	1,179
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	102,200		
その他	1,179		
一般財源	14,649		
計	118,028		
備考欄			

市019	項目名	消費生活対策費	新規事業
予算書項目	消費生活対策費	ページ	169
年度	R6	所属名	市民生活部 市民総合相談課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取市消費生活センター 0857-30-8182		
款 総務費	【1次総の施策体系】3103 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成21年に「消費生活相談窓口」を設置。同28年には「鳥取市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定し、「鳥取市消費生活センター」を開設。さらに「鳥取市消費者教育推進計画」を策定し、より一層の消費者施策と消費者教育の推進、消費者の自立の支援、消費者市民社会の構築を図っている。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 消費生活に関するトラブルや被害などの相談と救済を実施。同時に消費者教育を推進し、自立した消費者の育成と消費者市民社会の構築を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 消費生活に関する相談、助言・あっせん等の相談対応事業 (2) 「鳥取市消費者教育推進計画」に基づく消費者教育・啓発事業 (3) 地域等と連携した消費者被害防止事業		
前年度当初予算額	12,255	【事業の実績】 ≪相談件数≫ 令和3年度 804件 令和4年度 1,043件 令和5年度 862件 (R5.12月末現在)	
本年度要求額	14,500	※その他財源の諸収入は、金融広報委員会推奨事業助成費	
総務部長段階査定額	13,879	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	13,879	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	1,144	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	223	財産収入	0
一般財源	12,512	寄付金	0
計	13,879	繰入金	0
		贈収入	223
		その他	0
備考欄			

市020	項目名	コールセンター設置運営費	新規事業
予算書項目	市民サービス費	ページ	169
年度	R6	所属名	市民生活部 市民総合相談課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市民総合相談課 0857-30-8181		
款 総務費	【1次総の施策体系】0001		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新庁舎建設推進本部での決定を受けて、全庁的な業務について、市民からの電話・FAX・メールによる問い合わせ等を一元的に受け付け、FAQ（よくある質問とその答え）等により一次応答及び担当課への取次ぎ等を行う「鳥取市コールセンター」を開設した。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 新本庁舎の開設に合わせ、市の業務や制度、手続きについて、市民からの問い合わせを受け付ける窓口として鳥取市コールセンターを設置し、FAQ（よくある質問とその答え）に基づく回答や担当課への取次ぎを行う。また、FAQは随時に更新し、市民がいつでも見られるよう市公式ホームページに公開することで、市民サービスの向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 コールセンター運営業務：市民からの電話・メール・FAXによる問い合わせ等を受け付け、FAQ等をもとにした一次応答及び電話交換業務を行う。また、FAQの整備及び公開、災害時等緊急時の電話対応を行う。 令和6年9月の業務更新に伴い、システム等構築業務を実施する。		
前年度当初予算額	49,265	【事業の実績】 令和3年度 入電件数70,734件 応答率97.6% コールセンター-回答率98.5% 応答時間6秒 令和4年度 入電件数77,208件 応答率96.8% コールセンター-回答率98.8% 応答時間7秒 令和5年度 (12月末現在) 入電件数44,588件 応答率96.5% コールセンター-回答率98.5% 応答時間7秒	
本年度要求額	85,313		
総務部長段階査定額	85,313	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	85,313	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	85,313	寄付金	0
計	85,313	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

市021	項目名	総合窓口管理事務費	新規事業
予算書項目	総合窓口管理事務費	ページ	169
年度	R6	所属名	市民生活部 市民課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8191		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2405		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 令和元年度の庁舎移転に伴って、より一層の市民の利便性向上を図るため、市民の利用の多い業務窓口を整理・統合した3つの総合窓口(市民総合窓口、福祉総合窓口、税総合窓口)を構築した。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 3つの総合窓口の構築に伴い開始した以下の事業を継続実施し、総合窓口の利便性向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 市民課業務における証明書発行等の総合窓口業務及び総合案内業務について包括委託を行う。 (2) 3つの総合窓口において、受付・呼出情報の管理や混雑状況の提供等を可能とする受付番号発券システムの運用管理を行う。		
前年度当初予算額	87,984	【事業の実績】 ＜総合案内の実績＞ 令和3年度 108,556件 令和4年度 115,926件 令和5年度 100,000件(見込) ＜受付番号発券システムの運用実績＞ 令和3年度 204,640枚 令和4年度 204,626枚 令和5年度 204,000枚(見込)	
本年度要求額	89,816		
総務部長段階査定額	89,816	【事業の内訳】	
市長段階査定額	89,816	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	89,816		
計	89,816		
備考欄			

市022	項目名	コンビニ交付関連事務費	新規事業
予算書項目	コンビニ交付関連事務費	ページ	187
年度	R6	所属名	市民生活部 市民課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 証明係 0857-30-8192		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2405		
項 戸籍住民基本台帳費	【事業の経過及び背景】 平成29年6月より、マイナンバーカードを利用して各種証明書をコンビニエンスストア等で取得できるサービス(コンビニ交付サービス)を導入した。		
目 戸籍住民基本台帳費	【事業の目的及び効果】 市民総合窓口開庁時間に加え、閉庁時間帯でも証明書が取得可能となり、市民の利便性向上を図ることができる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 全国のコンビニエンスストア等でコンビニ交付サービスを実施する。 ・取得できる証明書 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票の写し、戸籍証明書、所得課税証明書 ・取得可能時間 午前6時30分～午後11時(12/29～1/3を除く) (※戸籍の附票の写し、戸籍証明書は平日/午前9時～午後5時)		
前年度当初予算額	21,245	【事業の実績】 ＜コンビニ交付取扱件数＞ 令和3年度 24,160件 令和4年度 35,212件 令和5年度 55,000件(見込)	
本年度要求額	20,831		
総務部長段階査定額	20,831	【事業の内訳】	
市長段階査定額	20,831	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	20,831		
計	20,831		
備考欄			

市023	項目名	個人番号カード関連事務費	新規 事業
------	-----	--------------	----------

予算書項目	個人番号カード関連事務費	ページ	187
-------	--------------	-----	-----

所 属 名	市民生活部 市民課
-------	--------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	戸籍住民基本台帳費
目	戸籍住民基本台帳費

事業の概要

【問合せ先】マイナンバーカード係 0857-30-8196

【1次総の施策体系】2405 ●実施計画

【事業の経過及び背景】

「社会保障・税番号制度」の施行（平成27年10月1日）に伴い、マイナンバーカードの交付事務を実施している。国は、ほぼすべての国民がマイナンバーカードを保有することを目標にかかげていることから、法定受託事務として本市におけるマイナンバーカードの取得促進に取り組んでいる。

【事業の目的及び効果】

マイナンバーカードの取得により、各種電子手続きの際に本人確認ができ、住民票の写し等のコンビニ交付サービスの利用や行政を中心とした手続きのオンライン化に対応できることから、市民の利便性が向上する。

住民に身近な施設である郵便局で、マイナンバーカードの申請サポートや電子証明書の発行・更新等を行い、市役所を訪れなくとも手続きができる環境を整備することで、市民の利便性が向上する。

【事業の内容】

- （1）マイナンバーカードの交付業務の継続推進
- （2）マイナンバーカードの更新・再発行・暗証番号再設定業務等の安定運用

【事業の実績】

<マイナンバーカード保有枚数（累計）>

令和3年度 84,371枚 交付枚数率：45.4%

令和4年度 131,252枚 交付枚数率：71.1%

令和5年度 142,000枚 保有枚数率：77.5%（見込）

※令和5年5月末から、総務省が公表する割合が、交付枚数ではなく、保有枚数をもとにした割合に変更された。

（単位：千円）

前年度当初予算額	122,190
----------	---------

本年度要求額	62,397
--------	--------

総務部長段階査定額	62,397	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	62,397	分担金	0
---------	--------	-----	---

区 分	本年度予算額	手数料		
財源内訳	国・県支出金	62,397	財産収入	0
	地方債	0	寄付金	0
	その他	0	繰入金	0
	一般財源	0	贈収入	0
	計	62,397	その他	0

備 考 欄

環001	項目名	生活衛生営業許可・監督指導事業費		新規事業						
予算書項目	生活衛生事務費	ページ	223	所属名						
年度	R6	市民生活部環境局 生活環境課								
会計名	事業の概要									
一般会計	【問合せ先】生活衛生係 0857-30-8083									
款 衛生費	【1次総の施策体系】3202 ●実施計画									
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成30年4月の中核市移行に伴い移譲された生活衛生関連法令の権限に基づき、各種業務を行っている。									
目 予防費	【事業の目的及び効果】 生活衛生関連施設の衛生水準の維持・向上を図るため、理容所、美容所、興行場、旅館及びホテル、公衆浴場、クリーニング所、住宅宿泊事業について、各種法令に基づき営業許可・監視指導を行う。									
(単位：千円)	【事業の内容】									
前年度当初予算額	987	① 各法令に基づく手続き対応 (届出・検査・確認)理容所・美容所・クリーニング所・住宅宿泊事業 (営業許可)旅館業・公衆浴場・興行場								
本年度要求額	2,117	② 監視指導の実施								
総務部長段階査定額	934	③ 職員資質向上のための研修参加								
市長段階査定額	934	【事業の実績】								
区分	本年度予算額	営業許可・届出施設数(東部)								
財源内訳	国・県支出金	0	旅館	興行	浴場	理容所	美容所	クリーニング	住宅宿泊事業	
	地方債	0	令和3年度	17	0	3	0	20	2	3
	その他	934	令和4年度	12	0	4	3	33	1	2
	一般財源	0	令和5年度	12	1	3	4	10	0	2
	計	934	(R5.12.31時点)							
備考欄	※その他財源の手数料は、クリーニング所検査手数料等各種検査手数料									

環002	項目名	名木・古木保存費		新規事業	
予算書項目	樹木保全事業費	ページ	223	所属名	
年度	R6	市民生活部環境局 生活環境課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082				
款 衛生費	【1次総の施策体系】3202 ●実施計画				
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取市自然保護及び環境保全条例に基づき、保護地区、保存樹木等について、昭和53年から指定を行っており、現在26か所指定している。				
目 環境衛生費	【事業の目的及び効果】 良好な自然環境の確保及び地域的美観風致を維持する。				
(単位：千円)	【事業の内容】				
前年度当初予算額	283	・表示看板等の修繕取替			
本年度要求額	233	・指定保存樹木等管理謝礼(6,000円×26か所)			
総務部長段階査定額	233	【事業の実績】			
市長段階査定額	233	令和3年度 220千円			
区分	本年度予算額	令和4年度 220千円			
財源内訳	国・県支出金	0	令和5年度 768千円(見込)		
	地方債	0	(令和5年度：指定保存樹木保全補助金 1件)		
	その他	0			
	一般財源	233			
	計	233			
備考欄					

環003	項目名	環境教育推進費	新規事業
予算書項目	環境基本計画推進費	ページ	223
年度	R6	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082		
款 衛生費	【1次総の施策体系】3202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 未来を見据えた持続可能な環境保全に取り組むため、市民・事業者一人ひとりの環境を愛する心を育むことが強く求められている。第1次鳥取市総合計画及び第3期鳥取市環境基本計画では、環境教育の推進を施策に掲げており、指標の達成に向けて取り組んでいる。		
目 環境衛生費	【事業の目的及び効果】 環境に関する理解及び省エネ活動を促進するため、学校や家庭向けの環境教育の充実を図る。また、子どもエコクラブ全国事務局に登録している子どもエコクラブが実施する環境学習・活動に対し支援することにより、環境を大切にしている心と行動力の育成を図り、幼児から高校生、大人を含めた地域活動の活性化に資する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○環境教育・啓発活動の一環として、小中学校への環境出前授業及び現地説明会、環境に関する講座や省エネ活動推進イベント等の企画・開催について委託する。 ○子どもエコクラブの環境学習・活動に対して、対象経費の一部を助成する。 ・補助金額：会員及び登録サポーターの総数×500円(上限額15万円) ・補助対象経費：講師等への謝金及び旅費、消耗品費等		
前年度当初予算額	2,516	【事業の実績】 令和3年度 685千円 令和4年度 785千円 令和5年度 2,579千円(見込)	
本年度要求額	2,779		
総務部長段階査定額	2,779	【事業の内容】 ○環境教育・啓発活動の一環として、小中学校への環境出前授業及び現地説明会、環境に関する講座や省エネ活動推進イベント等の企画・開催について委託する。 ○子どもエコクラブの環境学習・活動に対して、対象経費の一部を助成する。 ・補助金額：会員及び登録サポーターの総数×500円(上限額15万円) ・補助対象経費：講師等への謝金及び旅費、消耗品費等	
市長段階査定額	2,779	【事業の実績】 令和3年度 685千円 令和4年度 785千円 令和5年度 2,579千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ○環境教育・啓発活動の一環として、小中学校への環境出前授業及び現地説明会、環境に関する講座や省エネ活動推進イベント等の企画・開催について委託する。 ○子どもエコクラブの環境学習・活動に対して、対象経費の一部を助成する。 ・補助金額：会員及び登録サポーターの総数×500円(上限額15万円) ・補助対象経費：講師等への謝金及び旅費、消耗品費等	
国・県支出金	1,390	【事業の実績】 令和3年度 685千円 令和4年度 785千円 令和5年度 2,579千円(見込)	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,389		
計	2,779		
備考欄			

環004	項目名	家庭ごみ有料化事業費	新規事業
予算書項目	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	231
年度	R6	所属名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8084		
款 衛生費	【1次総の施策体系】3201		
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 ごみの減量化を推進するため、平成19年10月から家庭ごみの有料化を実施している。		
目 清掃総務費	【事業の目的及び効果】 家庭ごみ有料化制度を通して、市民一人ひとりがごみ処理に要する経費やごみの分別、減量化に対する問題意識を持つことで、ごみの発生抑制・減量化及びリユース・リサイクルを実践する循環型社会を形成し、促進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○家庭ごみ有料指定袋の作成(可燃ごみ4種、プラスチックごみ3種) ごみ処理手数料はごみの減量化・再資源化の関連施策及び環境施策の経費に充当。 (主な充当先) ・家庭ごみ有料化事業 ・再資源化等推進事業 ・生ごみ処理機器購入補助金事業 ・資源ごみ収集事業 ・ごみ減量化推進事業等 ○分別ガイド、ポスター、チラシの作成、配布 制度変更に対応した最新の内容に改訂		
前年度当初予算額	126,514	【事業の実績】 一人一日当たりのごみ総排出量()内は一人一日当たりの家庭ごみ排出量 令和3年度 864g(503g) 令和4年度 851g(494g) 令和5年度 822g(470g)(見込)	
本年度要求額	170,711	※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料	
総務部長段階査定額	118,245		
市長段階査定額	118,245		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	118,245		
一般財源	0		
計	118,245		
備考欄			

環005	項目名	ごみ減量化推進事業費	新規事業
予算書項目	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	231
年度	R6	所 属 名 市民生活部環境局 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8084		
款 衛生費	【1次総の施策体系】3201 ●実施計画		
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 可燃ごみの大部分を占める生ごみの減量化施策として、家庭用生ごみ堆肥化容器等の購入に対して補助を行い、併せて、堆肥化やごみ減量に関する講習会を実施し、ごみの減量意識を高めるよう取り組んでいる。 事業所ごみについては、ごみ減量等推進優良事業所認定制度のほか、分別・リサイクル・ごみの減量等について事業所に説明やチラシの配付を行い啓発を図っている。		
目 清掃総務費	【事業の目的及び効果】 事業所等の意識啓発に努めるとともに、ごみ減量のキーワードである「4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）」を市民および事業者に浸透させることで、ごみの減量化を推し進める。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	626	① 事業所ごみ減量化の取組	
本年度要求額	1,711	・ごみ減量等推進優良事業所認定制度の実施	
総務部長段階査定額	531	・事業所ごみの手引きの作成、チラシ等による啓発	
市長段階査定額	531	・食品衛生責任者講習会でのごみ減量の呼びかけ	
区分	本年度予算額	② ごみ減量推進事業	
国・県支出金	255	・生ごみ堆肥化容器及び基材の購入費を一部補助	
地方債	0	・段ボールコンポストの作り方等「4R」についての講習会を実施	
その他	276	【事業の実績】	
一般財源	0	生ごみ堆肥化容器等購入補助の実績	
計	531	令和3年度 42件 100千円	
		令和4年度 83件 200千円	
		令和5年度 70件 200千円（見込）	
備考欄		※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料	

環006	項目名	ふれあい収集事業費	新規事業
予算書項目	ごみ収集委託費	ページ	231
年度	R6	所 属 名 市民生活部環境局 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8084		
款 衛生費	【1次総の施策体系】3201		
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 高齢化社会や核家族化の進行に伴い、ごみ出しが困難な世帯が増加したため、平成23年度から鳥取地域で選定した1地域で試験的にふれあい収集を開始した。 その後、段階的に対象地域を拡大、平成29年度には市内全域を対象として制度化し、令和4年12月1日からは、冬季限定で対象者を拡充した。		
目 塵芥処理費	【事業の目的及び効果】 ひとり暮らしの高齢者及び障がいのある人が家庭ごみをごみステーションに持ち出すことが困難な場合に、戸別に収集を行い、在宅生活の支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ふれあい収集の対象者宅にごみの収集容器を設置し、戸別に収集を行う。		
前年度当初予算額	3,516	【事業の実績】	
本年度要求額	3,816	収集件数（年度末時点） 収集委託料	
総務部長段階査定額	3,494	令和3年度 154件 2,091千円	
市長段階査定額	3,494	令和4年度 176件 2,362千円	
区分	本年度予算額	令和5年度 206件 3,444千円（見込）	
国・県支出金	0	◎委託料は収集1回につき100円/回（税抜）、週3回を限度十月1回の古紙収集	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,494		
計	3,494		
備考欄			

環007	項目名	ごみ収集委託費		新規事業	
予算書項目	ごみ収集委託費	ページ	231	所 属 名	
年度	R6	市民生活部環境局 生活環境課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8084				
款 衛生費	【1次総の施策体系】3201				
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 本事業は、市内約4,400か所のごみステーションから各ごみ処理施設まで、家庭ごみの収集運搬業務を委託するものである。 令和6年度から収集区分に有害ごみを追加し、月1回ごみステーション収集を行う。 また、乾電池等の収集対象品目にボタン電池、充電式電池を追加する。				
目 塵芥処理費	【事業の目的及び効果】 家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ、小型破碎ごみ、大型ごみ、プラスチックごみ、ペットボトル、古紙、乾電池等、有害ごみを適正に収集運搬し、分別意識の高揚とリサイクルの推進を図る。				
(単位：千円)	【事業の内容】 家庭ごみを分別収集し、各ごみ処理施設まで運搬する。				
前年度当初予算額	1,033,687	【事業の実績】			
本年度要求額	1,123,124	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)	
総務部長段階査定額	1,069,531	事業費	982,098千円	1,035,159千円	1,033,687千円
市長段階査定額	1,069,531	ごみ収集量(単位：t)			
区分	本年度予算額	可燃ごみ	25,353	25,486	24,721
国・県支出金	0	資源ごみ	1,358	1,314	1,248
地方債	0	小型破碎ごみ	1,452	1,392	1,211
その他	249,335	大型ごみ	364	375	334
一般財源	820,196	食品トレイ	25	23	0
計	1,069,531	プラスチックごみ	2,583	2,544	2,442
		ペットボトル	374	382	432
		古紙	621	566	509
		乾電池等	61	56	60
備考欄	※その他財源の手数料は、家庭系ごみ処理手数料及び大型ごみ処理手数料 ※その他財源の諸収入は、古紙類収集事業収入				

環008	項目名	大型ごみ戸別有料収集事業費		新規事業
予算書項目	収集管理事務費	ページ	231	所 属 名
年度	R6	市民生活部環境局 生活環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8084			
款 衛生費	【1次総の施策体系】3201 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 大型ごみについては、平成19年10月に市内5地域に大型ごみ受付センターを設置し、戸別収集を実現しているが、大型ごみの排出量及び受付センターの利用者数は増加している。 令和5年10月、デジタル田園都市国家構想交付金の活用により、市内5地域に設置していたセンターを一元化しデジタル化による受付体制を整えた。			
目 塵芥処理費	【事業の目的及び効果】 大型ごみ戸別収集の申込み方法については、従来からの納付券購入後の電話申込に加え、デジタル化によるWeb受付を導入したことによって、24時間オンライン受付及びクレジットカード等による電子決済を実現し、市民の利便性が大幅に向上した。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	2,350	①大型ごみ処理納付券の印刷及び取扱い店舗での販売の委託業務 ・ローン、鳥取大学生協、榎戸信が運営するダンクショップ ・各地域の大型ごみ収集業者		
本年度要求額	6,322	②システム ・大型ごみ受付センターにおける、受付システムの運用・保守業務		
総務部長段階査定額	6,239	【事業の実績】		
市長段階査定額	6,239	大型ごみ処理納付券販売委託料		
区分	本年度予算額	令和3年度	1,430千円	
国・県支出金	0	令和4年度	1,296千円	
地方債	0	令和5年度	1,873千円(見込)	
その他	6,239	※その他財源の手数料は、大型ごみ処理手数料		
一般財源	0			
計	6,239			
備考欄				

環009	項目名	施設維持管理費	新規事業																				
予算書項目	施設維持管理費	ページ	233																				
年度	R6	所 属 名	市民生活部環境局 生活環境課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8084																						
款 衛生費	【1次総の施策体系】 3201																						
項 清掃費	【事業の経過及び背景】 令和5年4月1日にリンピアいなばが本稼働したことにより、市有の焼却5施設は全て廃止となった。当該施設については、廃焼却施設解体計画に沿って順次解体工事を進めるとともに、生活環境の保全に資するため、継続して廃焼却施設周辺の維持管理を行う。																						
目 清掃工場管理費	【事業の目的及び効果】 廃止となった焼却施設について、廃焼却施設解体計画に基づき、順次解体撤去を行うとともに、安全管理業務を講じる。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 廃焼却施設解体計画に基づき、神谷清掃工場解体に向けた調査設計及び佐治用瀬処理施設の解体工事をを行う。また、他の3施設（国府町クリーンセンター・レインポー・ふくべ・ながおクリーンステーション）の安全管理業務を講じる。																						
前年度当初予算額	12,653	○神谷清掃工場（平成3年12月竣工） ＜処理方式＞全連続燃焼式焼却炉 ＜処理能力＞270t/日（135t/24h×2炉）																					
本年度要求額	201,531	【事業の実績】 令和3年度 52,130千円 令和4年度 10,668千円 令和5年度 7,898千円（見込）																					
総務部長段階査定額	163,815	※その他財源の使用料は、行政財産使用料																					
市長段階査定額	163,815	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	40	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	40																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,584</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>157,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,091</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>163,815</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	1,584	地方債	157,100	その他	40	一般財源	5,091	計	163,815								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	1,584																						
地方債	157,100																						
その他	40																						
一般財源	5,091																						
計	163,815																						
財源内訳																							
備考欄																							

環010	項目名	産業廃棄物適正処理推進事業費	新規事業																				
予算書項目	産業廃棄物対策費	ページ	223																				
年度	R6	所 属 名	市民生活部環境局 環境保全課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 指導係・審査係 0857-30-8092・8093																						
款 衛生費	【1次総の施策体系】 3202																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成30年4月の中核市移行に伴い、廃棄物処理法をはじめとする産業廃棄物適正処理推進に係る各種法令の権限が移譲された。これに伴い、設置許可等の審査、処理業者に対する適正処理の指導、施設への立入検査など、法に基づく各種業務を行っている。																						
目 環境衛生費	【事業の目的及び効果】 産業廃棄物の適正処理を推進するため、廃棄物処理法に基づき処理施設等への立入検査を行うとともに、排出事業者や廃棄物処理業者に対して指導を行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ①排出事業者に対する廃棄物減量・リサイクルの推進 ②廃棄物処理業者に対する指導の徹底 … 法令による規制の徹底 (設置に係る審査・助言指導、業の許可、立入検査、維持管理状況検査、排水等の検査)																						
前年度当初予算額	11,929	【事業の実績】 水質検査等 産廃施設等への立入検査 令和3年度 68件 364件 令和4年度 51件 462件 令和5年度 54件（見込） 400件（見込）																					
本年度要求額	14,935	※その他財源の手数料は、産業廃棄物関係許可・登録手数料 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金																					
総務部長段階査定額	11,895	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>2,077</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>1,571</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	2,077	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	1,571	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	2,077																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	1,571																						
その他	0																						
市長段階査定額	11,895																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,648</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,247</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,895</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	3,648	一般財源	8,247	計	11,895								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	3,648																						
一般財源	8,247																						
計	11,895																						
財源内訳																							
備考欄																							

環011	項目名	廃棄物不法投棄対策強化事業費		新規事業
予算書項目	産業廃棄物対策費	ページ	223	所属名
年度	R6	市民生活部環境局 環境保全課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 指導係 0857-30-8092			
款 衛生費	【1次総の施策体系】 3202			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 不法投棄対策を効果的に実施するため、関係団体と連携を強化し取り組んでいくことが必要である。また、不法投棄の拡大・再発防止のため、早期撤去及び警戒監視、監視カメラの活用・設置、関係団体との合同パトロールなどの監視活動の強化の必要性が高まっている。			
目 環境衛生費	【事業の目的及び効果】 不法投棄及び廃棄物の不適正処理の監視・指導のための人員配置や監視・警報装置の設置、自治体・警察などの関係機関や住民と連携した活動を行うことにより、不法投棄事案の未然防止及び解決を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	4,920	① 不法投棄対策に係る体制構築 指導員配置（警察官08）、監視カメラ設置、連絡協議会開催、関係機関との情報共有		
本年度要求額	5,779	② 監視・啓発活動 関係機関との合同パトロール、官学共同による監視活動、普及啓発、夜間パトロール ・合同パトロール：鳥取県、岩美町、八頭町、智頭町、若桜町、鳥取環境大学 ・スカイパトロール、合同検問：鳥取県警、鳥取県 ・シーパトロール：海上保安庁、鳥取港湾事務所、鳥取環境大学 ・夜間パトロール：204か所（34地域×6回）		
総務部長段階査定額	5,537	その他財源の内訳	【事業の実績】 不法投棄発見件数（東部） 令和3年度 42件 令和4年度 35件 令和5年度 40件（見込）	
市長段階査定額	5,537	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		雑収入	3,801	
計	5,537	その他	0	
備考欄	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金			

環012	項目名	水質・土壌対策費		新規事業
予算書項目	公害防止対策費	ページ	225	所属名
年度	R6	市民生活部環境局 環境保全課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 環境保全係 0857-30-8094			
款 衛生費	【1次総の施策体系】 3202 ●実施計画			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び県より事務委託を受けた東部四町域について、水質汚濁防止法・土壌汚染対策法等に基づく事務を行う。			
目 公害対策費	【事業の目的及び効果】 河川、湖沼及び地下水等の水質汚濁防止を図り、市民の健康を保護するとともに生活環境保全のため、公共用水域の常時監視・事業場の立入検査を実施し、水環境を監視する。土壌汚染の状況を把握し、土壌汚染による健康被害を防止し、健康保護を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	33,025	①公共用水域及び地下水の水質常時監視及びその結果の公表		
本年度要求額	35,323	②事業場への立入検査（行政検査）の実施、助言及び指導		
総務部長段階査定額	33,155	③水質事故又は魚のへい死が発生した場合の原因調査		
市長段階査定額	33,155	④土壌汚染対策法に係る届出の受理・審査		
区分	本年度予算額	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
計	33,155	雑収入	8,057	
備考欄	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金			

環013	項目名	騒音・振動・悪臭対策費	新規事業																				
予算書項目	公害防止対策費	ページ	225																				
年度	R6	所 属 名 市民生活部環境局 環境保全課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】環境保全係 0857-30-8094																						
款 衛生費	【1次総の施策体系】3202 ●実施計画																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び、県より事務委託を受けた東部四町域について、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法に基づき事務を行う（東部四町域については自動車騒音測定業務のみ）。																						
目 公害対策費	【事業の目的及び効果】 各公害防止関係法令に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努め、市民の快適な生活を守る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ・都市計画等に基づき規制する地域の指定及び規制基準の設定を行い公表する。 ・自動車騒音の状況を測定し、結果を公表するとともに環境大臣へ報告する。 ・悪臭測定（定期検査：特定悪臭物質・臭気指数、緊急時対応2回） ・苦情等による測定（騒音、振動） ・測定機器の保守管理																						
前年度当初予算額	2,354	【事業の実績】 令和3年度（鳥取市域） 1,641千円（東部四町） 849千円 令和4年度（鳥取市域） 1,862千円（東部四町） 無 令和5年度（鳥取市域） 1,226千円（東部四町） 779千円（見込）																					
本年度要求額	3,555	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金																					
総務部長段階査定額	3,382	<table border="1"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>1,222</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	1,222	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	1,222																						
その他	0																						
市長段階査定額	3,382	<table border="1"> <tr><th>区分</th><th>本年度予算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,222</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,160</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,382</td></tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	1,222	一般財源	2,160	計	3,382								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	1,222																						
一般財源	2,160																						
計	3,382																						
備考欄																							

環014	項目名	大気汚染物質調査事業費	新規事業																				
予算書項目	公害防止対策費	ページ	225																				
年度	R6	所 属 名 市民生活部環境局 環境保全課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】環境保全係 0857-30-8094																						
款 衛生費	【1次総の施策体系】3202 ●実施計画																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 鳥取市域及び、県より事務委託を受けた東部四町域について、大気汚染防止法に基づき、中核市の長が行う業務（大気汚染物質の常時監視、行政検査等）を適正に実施する。																						
目 公害対策費	【事業の目的及び効果】 大気汚染防止法に基づき、環境の汚染の防止又はその除去等に関する施策を実施する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 大気汚染防止法第22条に基づき、大気中の二酸化いおう等の大気汚染物質の常時監視を実施する。 測定局に設置された自動測定器等の性能を維持するため、定期点検（部品交換等）及び日常管理（清掃、消耗品交換等）を実施する。また、大気汚染防止法に基づく立入検査の一環として、ばい煙発生施設等から排出される物質を測定する。																						
前年度当初予算額	18,132	【事業の実績】 令和3年度 21,435千円 令和4年度 14,508千円 令和5年度 18,132千円（見込）																					
本年度要求額	20,446																						
総務部長段階査定額	15,208	<table border="1"> <tr><th colspan="2">その他財源の内訳</th></tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	15,208	<table border="1"> <tr><th>区分</th><th>本年度予算額</th></tr> <tr><td>国・県支出金</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>15,208</td></tr> <tr><td>計</td><td>15,208</td></tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	15,208	計	15,208								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	15,208																						
計	15,208																						
備考欄																							

環015	項目名	湖山池浄化対策費		新規事業																																				
予算書項目	湖山池浄化対策費	ページ	225	所属名																																				
年度	R6	市民生活部環境局 環境保全課																																						
会計名	事業の概要																																							
一般会計	【問合せ先】 環境保全係 0857-30-8094																																							
款 衛生費	【1次総の施策体系】 3202																																							
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】																																							
目 公害対策費	<p>県・市は湖山池の環境改善に向けて、一層の取組を検討するため「湖山池会議」を設置した。</p> <p>① より良い湖山池をめざすための「湖山池将来ビジョン」を策定。 ② 湖山池の水を利用しないことを前提とした畑作営農への転換に合意。 ③ 平成24年3月に湖山川水門が開放され、高塩分化された結果、アオコやヒシの発生は抑制された。</p>																																							
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】																																							
前年度当初予算額	3,462	<p>1 巡視員を設置し、水質の監視を行う。 2 汽水化に伴った各種環境モニタリングを行い、対策・効果評価時の基礎資料とする。 3 湖山池アダプトプログラムによる清掃活動実施、市民と湖山池の環境保全を図る。</p>																																						
本年度要求額	4,421	【事業の内容】																																						
総務部長段階査定額	3,952	<p>・巡視員によるパトロール ・汽水化に伴う各種環境モニタリングの実施 ・モニタリング結果の意見、助言をいただくモニタリング委員会の開催 ・アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進</p>																																						
市長段階査定額	3,952	【事業の実績】																																						
区分	本年度予算額	<p>令和3年度 5,560千円 令和4年度 5,094千円 令和5年度 2,456千円（見込）</p>																																						
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>510</td> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,442</td> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,952</td> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			国・県支出金	510	分担金	0	地方債	0	負担金	0	その他	0	使用料	0	一般財源	3,442	手数料	0	計	3,952	財産収入	0			寄付金	0			繰入金	0			贈収入	0			その他	0
国・県支出金	510	分担金	0																																					
地方債	0	負担金	0																																					
その他	0	使用料	0																																					
一般財源	3,442	手数料	0																																					
計	3,952	財産収入	0																																					
		寄付金	0																																					
		繰入金	0																																					
		贈収入	0																																					
		その他	0																																					
備考欄																																								

福001	項目名	民生委員事業費	新規事業																				
予算書項目	民生委員事業費	ページ	195																				
年度	R6	所属名	福祉部 地域福祉課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1403																						
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い、民生委員・児童委員に関する業務が県から委譲され、厚生労働大臣への推薦や民生委員活動費交付を本市において行うことになった。また鳥取県民生児童委員協議会の研修参加費用などへの支援も継続して行っている。																						
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 地域の協力のもと民生児童委員の委嘱等に関する手続き、活動・研修等経費の支援などを行い、地域福祉の増進に資することを目的とする。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 民生委員推薦会等の運営、民生児童委員の委嘱等手続き、全国民生児童委員大会の参加に係る経費の補助など。																						
前年度当初予算額	33,431	【事業の実績】 令和3年度 31,617千円 令和4年度 33,843千円 令和5年度(見込) 31,495千円																					
本年度要求額	34,837																						
総務部長段階査定額	34,837	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	34,837																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	34,837																						
計	34,837																						
備考欄																							

福002	項目名	地域福祉計画策定事業費	新規事業																				
予算書項目	地域福祉計画策定事業費	ページ	195																				
年度	R6	所属名	福祉部 地域福祉課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1403																						
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 地域福祉計画は、社会福祉法第107条に基づく地域福祉を推進するための理念や支援方針を示す計画であり、市町村はこの計画の策定に主体的に取組むこととされている。 本市では、地域福祉の重要性が一層増している現在の社会状況を踏まえ、令和元年度から6年間で計画期間とする計画を策定しており、令和3年度には「鳥取市重層的支援体制整備事業実施計画」及び「鳥取市再犯防止推進計画」を包含する形で中間見直しを行っている。 次期計画は令和7年度から6年間の計画で、令和6年度に計画策定を実施する。																						
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 地域福祉を総合的かつ計画的に推進するための理念及び支援方針を定めた本市の「地域福祉計画」の策定及び進捗管理を行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 委員会(委員19名)を開催し、現計画の進捗及び次期計画についての意見を伺う。																						
前年度当初予算額	2,930	【事業の実績】 令和3年度 783千円 令和4年度 71千円 令和5年度(見込) 3,372千円																					
本年度要求額	1,714																						
総務部長段階査定額	1,714	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,714																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	1,714																						
計	1,714																						
備考欄																							

福003	項目名	地域の「話し愛・支え愛」推進事業費	新規事業
予算書項目	地域福祉推進事業費	ページ	195
年度	R6	所属名	福祉部 地域福祉課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	33,898		
本年度要求額	33,836		
総務部長段階査定額	33,836	その他財源の内訳	
市長段階査定額	33,836	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	9,370
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	24,466		
地方債	0		
その他	9,370		
一般財源	0		
計	33,836		
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202 【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン 【事業の経過及び背景】 地域住民同士のつながりの希薄化や福祉活動の担い手不足などから地域力が低下している。このことが、世帯の孤立、福祉課題の潜在化につながり、課題の発見・対応への遅れが懸念されている。 【事業の目的及び効果】 重層的支援体制整備事業を活用し、鳥取市社会福祉協議会と協働で、身近な地域において、住民の福祉課題に気づき、情報を共有し、支え合う場づくりを進める。また、福祉に関する住民意識を醸成し、担い手の育成や地域における福祉活動の活性化を図る。さらに、潜在的な課題を抱えている者を適切な支援機関等につなげる仕組みづくりを進める。 【事業の内容】 (1) モデル地区事業費（地域支援） 地域における福祉の「話し合い」、「支え合い」、「学び」の場づくりを鳥取市社会福祉協議会との協働で推進する。 ・モデル地区（継続2地区、新規2地区）で実施 ・城北地区、湖南地区での取組の横展開 (2) 伴走型支援事業費（個別支援） 地域のサロン等から潜在的な課題を抱えている者の情報を集め、その者を適切な支援機関へつなぐとともに、社会とのつながり作りに向けた支援体制を全地域で構築する。 【事業の実績】 令和3年度 2地区 城北、湖南 令和4年度 2地区 継続（城北、湖南） 令和5年度 4地区 継続（城北、湖南）、新規（明德、東郷） ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

福004	項目名	地域共生社会推進事業費	新規事業
予算書項目	地域共生社会推進事業費	ページ	195
年度	R6	所属名	福祉部 地域福祉課
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	社会福祉費		
目	社会福祉総務費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	136		
総務部長段階査定額	136	その他財源の内訳	
市長段階査定額	136	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	136		
計	136		
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202 【1次総の施策体系】1403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン 【事業の経過及び背景】 少子高齢化、小世帯化や一人暮らし高齢者の増加など家族形態を取り巻く環境の変化に伴い、地域におけるコミュニティ意識の希薄化、地域活動の担い手不足など、地域で支え合う力が徐々に弱まりつつある。 さらに、複合的な福祉課題を抱えた世帯、制度の狭間において既存の福祉サービス等を受けられない世帯の問題など、新たな福祉課題が生じている。 そうした課題を解決するため、サービスの受け手と支え手という関係を超えて、誰もが住み慣れた地域で自分の能力を発揮しながら自分らしく暮らせる「地域共生社会の実現」が求められている。 【事業の目的及び効果】 地域共生社会の実現を目指して、地域における課題解決や新たな社会資源創出のための総合調整等を行う「地域共生社会推進会議」の運営。 【事業の内容】 地域共生社会推進会議の開催（年1～2回予定） ・委員構成 23名（庁内内部委員11名、外部関係機関委員12名） 【事業の実績】 令和5年度 会議開催1回			

福005	項目名	福祉事業所指導監督事業費	新規事業
予算書項目	福祉指導監督事業費	ページ	195
年度	R6	所 属 名	福祉部 地域福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導監査室 0857-30-8205		
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 介護保険サービス事業者、障害福祉サービス事業者、障害児通所支援事業者、老人福祉施設及び児童福祉施設等（以下、「介護保険サービス事業者等」という。）に対して、法令等に基づく適正な事業実施を行うよう指導監督する。		
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 介護保険サービス事業者等に対する指導監督を通じて事業者の健全育成及び質の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 介護保険サービス事業者等に対して介護保険法等に基づき指導監督業務を実施する。事業者への集団指導等を通じて、共生型サービスへの移行促進のための情報提供・助言を行う。		
前年度当初予算額	10,524	【事業の実績】 令和3年度 13,122千円 令和4年度 14,278千円 令和5年度(見込) 17,943千円	
本年度要求額	13,075	※その他財源の諸収入は、中核市事業関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	13,075	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	13,075	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	378	財産収入	0
一般財源	12,697	寄付金	0
計	13,075	繰入金	0
		贈収入	378
		その他	0
備考欄			

福006	項目名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	新規事業
予算書項目	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	ページ	195
年度	R6	所 属 名	福祉部 地域福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202		
款 民生費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成25年の災害対策基本法の改正により、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務化された。また、令和3年の改正により、個別避難計画の作成について努力義務とされた。本市においては、平成18年3月に「災害時要援護者支援制度」を創設し、平成26年から「避難行動要支援者支援制度」として取り組んでいる。		
目 社会福祉総務費	令和5年度より、介護保険証の送付時などに制度のチラシの配布、ケアマネジャー等の福祉専門職による「個別避難計画作成」委託を開始している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地震や洪水などの災害時において、障がいのある人、ひとり暮らしの高齢者などの要支援者が、地域の「共助」により支援を受けられる体制づくりの推進を図る。		
前年度当初予算額	7,436	【事業の内容】 避難行動要支援者の対象者をまとめた避難行動要支援者名簿を作成する。この名簿を地域の支援組織（自治会、自主防災組織、民生児童委員、地区社会福祉協議会等により構成された組織）に提供し、避難行動要支援者対象者の存在を認識していただくとともに、支援が必要な対象者に対して個別避難計画（登録台帳）を作成していくための登録助奨を実施していく。	
本年度要求額	4,544	【事業の実績】 制度の登録者数 令和3年度末 5,053名 令和4年度末 4,674名 令和5年度12月末 4,289名	
総務部長段階査定額	4,544	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	4,544	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	4,544	寄付金	0
計	4,544	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

福007	項目名	令和6年度新たに低所得となった世帯への支援給付金事業費(物価高騰対応臨時交付金)	新規事業	○
予算書項目	令和6年度新たに低所得となった世帯への支援給付金事業費	ページ	195	所属名
年度	R6	福祉部 地域福祉課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202			
款 民生費	【1次総の施策体系】3101			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 国は、定額減税の実施と併せて「低所得者支援及び定額減税を補足する給付」の実施を、令和5年12月22日に閣議決定した。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 令和6年度に新たに住民税が非課税となった世帯または均等割のみ課税となった世帯に対し10万円を、その世帯内の児童1人あたり5万円を支給することで、定額減税の恩恵を十分に受けられない低所得世帯の物価高騰下における生活を支援する。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	0	(1) 低所得者支援給付金の支給(1世帯当たり10万円)		
本年度要求額	282,038	① 令和6年度新たな住民税非課税世帯 1,400世帯(見込) × 100千円 = 140,000千円		
総務部長段階査定額	282,038	② 令和6年度新たな住民税均等割のみ課税世帯 1,100世帯(見込) × 100千円 = 110,000千円		
市長段階査定額	282,038	(2) 低所得世帯子育て支援加算金の支給 (18歳以下の児童がいる世帯について、児童1人当たり5万円)		
区分	本年度予算額	① 令和6年度新たな住民税非課税世帯内の児童 171人(見込) × 50千円 = 8,550千円		
国・県支出金	282,038	② 令和6年度新たな住民税均等割のみ課税世帯の児童 184人(見込) × 50千円 = 9,200千円		
地方債	0	(3) スケジュール 令和6年度住民税賦課決定される6月以降に対象者を抽出し支給開始		
その他	0			
一般財源	0			
計	282,038			
備考欄				

福008	項目名	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費	新規事業	
予算書項目	介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進事業費	ページ	195	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211			
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 市町村は、介護保険法第117条に基づき3年を1期とする「市町村介護保険事業計画」を定めるものとされており、当該計画は老人福祉法第20条の8第1項に基づく「市町村老人福祉計画」と一体的に作成することとされている。また、市町村介護保険事業計画は進捗管理を行い、取組みや目標達成に向けた活動を継続的に実施し、改善しながら推進することとされている。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 令和6年度から8年度までの3年を計画期間とする「第9期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の進捗管理等を行うための各種会議を開催し、本市の介護保険事業及び高齢者福祉施策を推進する。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	1,420	会議の開催計画		
本年度要求額	548	(1) 介護保険等推進委員会 委員数 19名 開催回数 2回		
総務部長段階査定額	548	(2) 地域密着型サービス部会 委員数 8名 開催回数 2回		
市長段階査定額	548	(3) 介護保険サービス事業者選定委員会 委員数 5名 開催回数 2回		
区分	本年度予算額	(4) 介護人材確保推進協議会(仮称) 委員数 10名 開催回数 1回		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	[決算額]		
その他	0	令和3年度 138千円		
一般財源	548	令和4年度 151千円		
計	548	令和5年度(見込) 1,072千円		
備考欄	[取組内容] 計画の進捗管理 計画の進捗管理・ニーズ調査実施 第9期計画の作成			

福009	項目名	地域医療介護総合確保事業補助金		新規事業
予算書項目	社会福祉施設整備等補助金	ページ	195	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211			
款 民生費	【1次総の施策体系】1201			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成26年6月に成立した医療介護総合確保推進法により、消費税財源を活用して都道府県に地域医療介護総合確保基金を設置し、介護施設等の整備が進められている。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取県地域医療介護総合確保基金補助金（補助率10/10）を活用し、第9期計画に位置付けた介護サービスの整備を推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう介護基盤の充実強化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 地域密着型サービス等整備助成事業 (2) 施設開設準備経費等支援事業 (3) 大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICT導入支援事業 (4) 簡易陰圧装置の設置に係る経費支援事業 (5) 感染拡大防止のためのゾーニング環境等整備事業			
前年度当初予算額	220,815	【事業の実績】 令和3年度 143,526千円 (地域密着型サービス等整備2件、施設開設準備支援3件、介護ロボ・ICT導入1件) 令和4年度 103,390千円 (施設開設準備支援2件、介護ロボ・ICT導入2件) 令和5年度 242,920千円(見込) (地域密着型サービス等整備1件、介護施設開設を条件に行う大規模修繕1件、施設開設準備支援1件、介護ロボ・ICT導入2件) ※決算額は、繰越分を元の年度に含む。		
本年度要求額	274,304			
総務部長段階査定額	274,304	【事業の内容】		
市長段階査定額	274,304	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 143,526千円 (地域密着型サービス等整備2件、施設開設準備支援3件、介護ロボ・ICT導入1件)		
財源内訳		令和4年度 103,390千円 (施設開設準備支援2件、介護ロボ・ICT導入2件)		
国・県支出金	274,304	令和5年度 242,920千円(見込) (地域密着型サービス等整備1件、介護施設開設を条件に行う大規模修繕1件、施設開設準備支援1件、介護ロボ・ICT導入2件)		
地方債	0	※決算額は、繰越分を元の年度に含む。		
その他	0			
一般財源	0			
計	274,304			
備考欄				

福010	項目名	とっとり東部権利擁護支援センター運営事業費		新規事業
予算書項目	権利擁護推進事業費	ページ	195	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457			
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 認知症等により判断能力の低下した高齢者や障がい者等の権利や財産を守ることを目的として平成25年4月に設置された「とっとり東部権利擁護支援センター（略アドサポ）」は、設立以降困難事案の相談受付や法人後見を受任するなどの重要な役割を担ってきた。令和2年度からは国の成年後見制度利用促進基本計画に定められた中核機関の運営を委託し、本市における成年後見制度の利用促進の中心的な役割を担っている。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 アドサポに中核機関の運営を委託し、成年後見制度等の有効活用をはじめ、権利擁護に関する事案の相談から支援までの一元的・専門的な総合的支援の提供体制を確保する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 成年後見法人後見受任 (2) 虐待やその他権利擁護に関する相談受任 (3) 成年後見制度の利用に関する相談受任及び申立代行 (4) 成年後見受任者に対する支援 (5) 成年後見制度の普及・広報活動 (6) 権利擁護に関する支援を推進させるためのネットワークの構築及び活動 (7) 市民後見人養成講座修了者の受入れ（補助員として雇用） ※法人後見受任件数及び相談件数が年々増加していることから、令和6年度は職員を1名増員し、機能を強化する。			
前年度当初予算額	5,634	【事業の実績】		
本年度要求額	9,324	令和3年度 [決算額] [受付相談件数] [法人後見受任件数] 5,602千円 1,291件 66件 令和4年度 5,646千円 1,149件 72件 令和5年度(見込) 5,634千円 1,249件 83件		
総務部長段階査定額	9,324			
市長段階査定額	9,324			
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	420			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	8,904			
計	9,324			
備考欄				

福011	項目名	市民後見人養成事業費	新規事業																								
予算書項目	権利擁護推進事業費	ページ	195																								
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																								
会計名	事業の概要																										
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8211																										
款 民生費	【1 1次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略																										
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 成年後見制度の利用を必要とする高齢者等の増加に伴い、全国的に弁護士や社会福祉士等の後見専門職の不足が見込まれており、専門職以外の一般市民が判断能力の低下した本人に代わって財産管理等を行う市民後見人の養成が求められている。（本市は平成27年度から市民後見人の養成に向けた取組を開始。）																										
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 後見活動を行う市民後見人を養成することにより、成年後見制度を適切に利用できる環境を確保し、認知症等により判断能力が十分でない人が不利益を被らないよう支援する。																										
(単位：千円)	【事業の内容】 市民後見人を養成するための以下の研修等を実施する。 (1) 市民後見人養成講座の開設と受講生の募集、選考 (2) 市民後見人の養成講座の運営と、それに係る関係機関・団体等との連携、調整 (3) 養成講座修了者の受入れ 日常生活自立支援事業(県社協委託事業)における生活支援員として活動 (4) 成年後見制度に関する広報・啓発 (5) 市民後見人の後見活動への支援																										
前年度当初予算額	2,416	【事業の実績】																									
本年度要求額	2,588	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[養成講座修了者]</td> <td>[成年後見人等選任]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,485千円</td> <td>13人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2,416千円</td> <td>14人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>2,416千円</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> </table>			[決算額]	[養成講座修了者]	[成年後見人等選任]	令和3年度	2,485千円	13人	4人	令和4年度	2,416千円	14人	4人	令和5年度(見込)	2,416千円	13人	6人								
	[決算額]	[養成講座修了者]	[成年後見人等選任]																								
令和3年度	2,485千円	13人	4人																								
令和4年度	2,416千円	14人	4人																								
令和5年度(見込)	2,416千円	13人	6人																								
総務部長段階査定額	2,588	【事業の内容】																									
市長段階査定額	2,588	市民後見人を養成するための以下の研修等を実施する。 (1) 市民後見人養成講座の開設と受講生の募集、選考 (2) 市民後見人の養成講座の運営と、それに係る関係機関・団体等との連携、調整 (3) 養成講座修了者の受入れ 日常生活自立支援事業(県社協委託事業)における生活支援員として活動 (4) 成年後見制度に関する広報・啓発 (5) 市民後見人の後見活動への支援																									
区分	本年度予算額	【事業の実績】																									
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[養成講座修了者]</td> <td>[成年後見人等選任]</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>2,588</td> <td>13人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>14人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>13人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,588</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			[決算額]	[養成講座修了者]	[成年後見人等選任]	国・県支出金	2,588	13人	4人	地方債	0	14人	4人	その他	0	13人	6人	一般財源	0			計	2,588		
	[決算額]	[養成講座修了者]	[成年後見人等選任]																								
国・県支出金	2,588	13人	4人																								
地方債	0	14人	4人																								
その他	0	13人	6人																								
一般財源	0																										
計	2,588																										
備考欄																											

福012	項目名	高齢者介護予防・地域活動等支援バス運行事業費	新規事業																														
予算書項目	高齢者介護予防・地域活動等支援バス運行事業費	ページ	195																														
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																														
会計名	事業の概要																																
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8211																																
款 民生費	【1 1次総の施策体系】 1301 ●実施計画 ●創生総合戦略																																
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。令和4年度から、利用団体等の利便性と事業の効率性向上を図るため、「高齢者福祉・ボランティアバス運行事業」と「公共交通機関利用助成事業」を一体的に実施する。																																
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 ①高齢者団体のレクリエーション活動や研修活動などを促進することで、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する。 ②ボランティア活動を行う市民の利便を図ることで、市民の社会奉仕活動を推進する。 ③地区公民館を拠点に活動している団体の地域活動や研修会等に参加する機会の拡大を図る。																																
(単位：千円)	【事業の内容】 10人以上の団体を対象に高齢者介護予防支援バス及び地域活動等支援バスを運行する。																																
前年度当初予算額	22,500	【事業の実績】																															
本年度要求額	23,405	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[高齢者]</td> <td>[ボランティア]</td> <td>[利用助成]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14,742千円</td> <td>283件</td> <td>18件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16,145千円</td> <td>338件</td> <td>17件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>22,500千円</td> <td>382件</td> <td>16件</td> <td>113件</td> </tr> </table>			[決算額]	[高齢者]	[ボランティア]	[利用助成]	令和3年度	14,742千円	283件	18件	38件	令和4年度	16,145千円	338件	17件	64件	令和5年度(見込)	22,500千円	382件	16件	113件										
	[決算額]	[高齢者]	[ボランティア]	[利用助成]																													
令和3年度	14,742千円	283件	18件	38件																													
令和4年度	16,145千円	338件	17件	64件																													
令和5年度(見込)	22,500千円	382件	16件	113件																													
総務部長段階査定額	23,405	【事業の内容】																															
市長段階査定額	23,405	10人以上の団体を対象に高齢者介護予防支援バス及び地域活動等支援バスを運行する。																															
区分	本年度予算額	【事業の実績】																															
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[高齢者]</td> <td>[ボランティア]</td> <td>[利用助成]</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> <td>283件</td> <td>18件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>338件</td> <td>17件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12,161</td> <td>382件</td> <td>16件</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>11,244</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,405</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			[決算額]	[高齢者]	[ボランティア]	[利用助成]	国・県支出金	0	283件	18件	38件	地方債	0	338件	17件	64件	その他	12,161	382件	16件	113件	一般財源	11,244				計	23,405			
	[決算額]	[高齢者]	[ボランティア]	[利用助成]																													
国・県支出金	0	283件	18件	38件																													
地方債	0	338件	17件	64件																													
その他	12,161	382件	16件	113件																													
一般財源	11,244																																
計	23,405																																
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																																

福013	項目名	養護老人ホーム入所事業費	新規事業
予算書項目	養護老人ホーム入所事業費	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211		
款 民生費	【1次総の施策体系】1202		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 老人福祉法第11条では、市町村に対し経済的理由等で居宅で養護を受けることができない高齢者の養護義務が定められている。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 在宅において日常生活を営むことに支障がある高齢者に対して、心身の状況、環境等を総合的に勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 概ね65歳以上で環境上及び経済的な理由により居宅で養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ入所させ養護することにより、健康で安心な生活を送れるよう支援する。		
前年度当初予算額	204,372	【事業の実績】	
本年度要求額	220,216	[決算額] [被措置者数(各年度4月1日時点)]	
総務部長段階査定額	220,216	[なごみ苑] [母来寮] [かんなび園]	
市長段階査定額	220,216	令和3年度 201,734千円 90人 26人 1人	
		令和4年度 205,685千円 90人 30人 0人	
		令和5年度(見込) 220,228千円 90人 29人 0人	
区分	本年度予算額	※その他財源の負担金は、養護老人ホーム入所負担金	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	72,776		
一般財源	147,440		
計	220,216		
備考欄			

福014	項目名	単位老人クラブ活動補助金	新規事業
予算書項目	老人クラブ育成費	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211		
款 民生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢者の自主的な組織である老人クラブの活動を支援し、地域の支え合いや地域を豊かにする活動の活性化を図ることで、高齢者のつながりや生きがいを高めるとともに、健康づくりを推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 老人クラブの活動に対し補助金を交付する。		
前年度当初予算額	11,674	【事業の実績】	
本年度要求額	11,320	[決算額] [クラブ数]	
総務部長段階査定額	11,320	令和3年度 11,970千円 222クラブ	
市長段階査定額	11,320	令和4年度 11,611千円 215クラブ	
		令和5年度(見込) 11,320千円 211クラブ	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	3,773		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	7,547		
計	11,320		
備考欄			

福015	項目名	eスポーツを活用した高齢者等の社会参加推進事業費		新規事業	○	
予算書項目	eスポーツを活用した高齢者等の社会参加推進事業費		ページ	199		
年度	R6		所属名	福祉部 長寿社会課		
会計名	一般会計		事業の概要 【問合せ先】ねんりんピック推進室 0857-30-8260 中央包括支援センター 0857-20-3457 【11次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 eスポーツ(eSports)とは、コンピューターゲーム等を使った競技で、全国的に高齢者の健康増進に活用される機会が増えている。県内においても、公民館や高等学校で盛り上がりを見せており、令和6年度に実施される全国健康福祉祭(ねんりんピック)鳥取大会においても、eスポーツが初めて競技として認められた。 【事業の目的及び効果】 高齢者等を中心にeスポーツに触れる機会を提供することで、健康増進や社会参加、生きがいづくりを図り、新たな地域の健康づくりにつながることを目的とする。 【事業の内容】 (1) eスポーツを活用した健康づくりができる指導員等の人材育成 (2) 地区公民館等でのeスポーツ体験講座の開催 ※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金 ※その他財源の諸収入は、後期高齢者医療広域連合委託料			
款	民生費					
項	社会福祉費					
目	老人福祉費					
(単位：千円)						
前年度当初予算額	0					
本年度要求額	6,754					
総務部長段階査定額	6,754	その他財源の内訳				
市長段階査定額	6,754	分担金				0
		負担金				0
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
		寄付金	0			
		繰入金	1,199			
		諸収入	1,538			
		その他	0			
区分	本年度予算額					
財源内訳	国・県支出金	3,012				
	地方債	0				
	その他	2,737				
	一般財源	1,005				
	計	6,754				
備考欄						

福016	項目名	外国人介護人材確保支援事業費		新規事業	○	
予算書項目	介護人材確保・定着支援事業		ページ	199		
年度	R6		所属名	福祉部 長寿社会課		
会計名	一般会計		事業の概要 【問合せ先】管理係 0857-30-8211 【11次総の施策体系】1202 【事業の経過及び背景】 高まる介護人材不足に対応するため、これまで株式会社スカイバード及び鳥取城北日本語学校が運営している「外国人育成雇用プロジェクト」と行政が連携した「鳥取市外国人材確保・定着支援事業補助金」の活用などにより、介護人材確保の推進を図っている。 【事業の目的及び効果】 市内の介護事業所が介護人材確保を目的として、株式会社スカイバード及び鳥取城北日本語学校が運営している「外国人育成雇用プロジェクト」を利用して新たに採用した外国人介護職員に対して、勤続期間に応じた支援金を交付することで介護人材の定着促進を図る。 【事業の内容】 外国人介護人材定着支援金 ・定着支援金 100千円×4人(見込)			
款	民生費					
項	社会福祉費					
目	老人福祉費					
(単位：千円)						
前年度当初予算額	0					
本年度要求額	400					
総務部長段階査定額	400	その他財源の内訳				
市長段階査定額	400	分担金				0
		負担金				0
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
		寄付金	0			
		繰入金	0			
		諸収入	0			
		その他	0			
区分	本年度予算額					
財源内訳	国・県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	400				
	計	400				
備考欄						

福017	項目名	包括支援センター運営事業費(事業運営費)	新規事業																				
予算書項目	包括支援センター運営事業費	ページ	199																				
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】中央包括支援センター 0857-20-3457																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略																						
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 本市は地域包括ケアの構築を図るため平成18年度より地域包括支援センターを設置し、複雑・多様化している高齢者の課題に寄り添った生活支援に取り組んでいる。令和4年度より複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築する「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行した。																						
目 老人福祉費	【事業の目的と効果】 地域包括支援センターにおいて、包括的支援事業等を一体的に実施し、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 総合相談支援業務(総合相談支援、実態把握等) (2) 権利擁護業務(成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応等) (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(医療機関や関係機関との連携体制構築、地域のケアマネジャーが抱える支援困難事例等への指導・助言等)																						
前年度当初予算額	317,950	【事業の実績】																					
本年度要求額	275,916	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[相談件数]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>294,430千円</td> <td>12,303件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>302,985千円</td> <td>12,583件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>317,950千円</td> <td>12,960件</td> </tr> </table>			[決算額]	[相談件数]	令和3年度	294,430千円	12,303件	令和4年度	302,985千円	12,583件	令和5年度(見込)	317,950千円	12,960件								
	[決算額]	[相談件数]																					
令和3年度	294,430千円	12,303件																					
令和4年度	302,985千円	12,583件																					
令和5年度(見込)	317,950千円	12,960件																					
総務部長段階査定額	275,916	※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金																					
市長段階査定額	275,916	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>149,172</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>59,411</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>67,333</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>275,916</td> </tr> </table>		区分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	149,172	地方債	0	その他	59,411	一般財源	67,333	計	275,916						
区分		本年度予算額																					
財源内訳	国・県支出金	149,172																					
	地方債	0																					
	その他	59,411																					
	一般財源	67,333																					
	計	275,916																					
備考欄	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>59,411</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	59,411	贈収	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	59,411																						
贈収	0																						
その他	0																						

福018	項目名	地域ふれあい事業費	新規事業																				
予算書項目	地域ふれあい事業費	ページ	199																				
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】健康・子育て推進課 健康づくり係 0857-30-8581																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢化に伴い、要介護者の増加や老人医療費の増加が経済的・社会的問題となっている中、高齢者の健康寿命を延ばし元気で活動的な高齢者を増やす取組が重要となっている。																						
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢者の健康寿命を延ばすために活動的な高齢者を増やし、ふれあいのあるあたたかい地域づくりができるようにしゃんしゃん体操普及員を養成する。普及員の技術向上を図りながら、地区公民館や集会所を拠点に体操の普及を継続して行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) しゃんしゃん体操普及員養成 (2) しゃんしゃん体操の地域普及への支援 (3) しゃんしゃん体操普及員連絡会への支援																						
前年度当初予算額	640	【事業の実績】																					
本年度要求額	728	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[普及員数]</td> <td>[継続実施箇所]</td> <td>[単発実施箇所]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>640千円</td> <td>189人</td> <td>59か所</td> <td>52か所</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>561千円</td> <td>188人</td> <td>55か所</td> <td>46か所</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>640千円</td> <td>166人</td> <td>55か所</td> <td>45か所</td> </tr> </table>			[決算額]	[普及員数]	[継続実施箇所]	[単発実施箇所]	令和3年度	640千円	189人	59か所	52か所	令和4年度	561千円	188人	55か所	46か所	令和5年度(見込)	640千円	166人	55か所	45か所
	[決算額]	[普及員数]	[継続実施箇所]	[単発実施箇所]																			
令和3年度	640千円	189人	59か所	52か所																			
令和4年度	561千円	188人	55か所	46か所																			
令和5年度(見込)	640千円	166人	55か所	45か所																			
総務部長段階査定額	728	※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金																					
市長段階査定額	728	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>363</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>728</td> </tr> </table>		区分		本年度予算額	財源内訳	国・県支出金	273	地方債	0	その他	363	一般財源	92	計	728						
区分		本年度予算額																					
財源内訳	国・県支出金	273																					
	地方債	0																					
	その他	363																					
	一般財源	92																					
	計	728																					
備考欄	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>363</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	363	贈収	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	363																						
贈収	0																						
その他	0																						

福019	項目名	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	新規事業
予算書項目	福祉ボランティアのまちづくり事業助成交付金	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款 民生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢者の社会参加活動を通じた介護予防を推進するため、地域の通いの場づくりが重要になっている。本事業は平成26年度までは任意事業、平成27年度は介護予防事業、さらに平成29年度からは介護予防・日常生活支援総合事業に位置付け、住民主体の通いの場の開設・運営を推進している。また、令和4年度より複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築する「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行する。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住民主体の通いの場(高齢者等が気軽に集まれるサロン)の開設・運営を推進し、高齢者の社会参加活動を通じて介護予防を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ふれあい・いきいきサロン支援事業 ・助成対象：住民主体の通いの場の運営費 ・市助成金：鳥取市社会福祉協議会のサロン運営費助成に必要な費用の一部を助成		
前年度当初予算額	850	【事業の実績】	
本年度要求額	850	[決算額]	[新規]
総務部長段階査定額	850	令和3年度	730千円
市長段階査定額	850	令和4年度	676千円
区分	本年度予算額	令和5年度(見込)	850千円
国・県支出金	318	[継続(2年目)]	28サロン
地方債	0	令和3年度	24サロン
その他	424	令和4年度	22サロン
一般財源	108	令和5年度(見込)	22サロン
計	850	※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金	
備考欄			

福020	項目名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)	新規事業
予算書項目	生活支援体制整備事業費(事業運営費)	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護の公的サービスの提供のみならず、様々な生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を推進する必要がある。 また、令和4年度より複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築する「重層的支援体制整備事業」に本事業を位置付け、介護保険費特別会計から一般会計へ本事業を移行する。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 既存の通所介護や訪問介護に加え、多様な生活支援サービスの提供体制を確保するため、関係多職種が連携して協議する「協議体」を構築する。さらに「地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)」を継続して配置して地域の生活支援サービス提供の担い手の育成や事業立ち上げ支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 第1層協議体(全市対象)において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議する。また「地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)(第1層：全地域、第2層：日常生活圏域)」は、各地域の取り組みを支援し、地域が抱える課題の解決に中長期の視点で取り組むとともに、第2層協議体の活動の促進や、地域における新たなサービス提供主体の立ち上げに向けた支援などを行う。		
前年度当初予算額	31,708	【事業の実績】	
本年度要求額	33,315	[決算額]	[生活支援C]
総務部長段階査定額	33,315	令和3年度	27,448千円
市長段階査定額	33,315	令和4年度	27,650千円
区分	本年度予算額	令和5年度(見込)	31,708千円
国・県支出金	19,239	令和3年度	7名(第1層：1名、第2層：7名)
地方債	0	令和4年度	7名(第1層：1名、第2層：7名)
その他	7,662	令和5年度(見込)	7名(第1層：1名、第2層：7名)
一般財源	6,414	※その他財源の繰入金は、重層的支援体制整備事業繰入金	
計	33,315		
備考欄			

福021	項目名	老人の明るいまち推進事業費	新規事業
予算書項目	老人の明るいまち推進事業費	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8211		
款 民生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢化が進む社会において、高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、多様な活動の機会を提供する。これらの活動を通じ新しいことにチャレンジし、様々な人と交流することにより介護予防を図り、老後を明るく豊かなものとする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 次の事業を鳥取市社会福祉協議会に委託して実施する。 ・趣味の教室、作品展、囲碁将棋大会、地域ふれあい事業、各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等		
前年度当初予算額	4,879	【事業の実績】	
本年度要求額	5,265	[決算額] 令和3年度 3,838千円 令和4年度 3,838千円 令和5年度(見込) 4,879千円	
総務部長段階査定額	5,265	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	5,265	【事業の概要】	
区分	本年度予算額	【問合せ先】管理係 0857-30-8211	
国・県支出金	0	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略	
地方債	0	【事業の経過及び背景】 高齢化が進む社会において、高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。	
その他	5,265	【事業の目的及び効果】 高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、多様な活動の機会を提供する。これらの活動を通じ新しいことにチャレンジし、様々な人と交流することにより介護予防を図り、老後を明るく豊かなものとする。	
一般財源	0	【事業の内容】 次の事業を鳥取市社会福祉協議会に委託して実施する。 ・趣味の教室、作品展、囲碁将棋大会、地域ふれあい事業、各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等	
計	5,265	【事業の実績】	
分担金	0	[決算額] 令和3年度 3,838千円 令和4年度 3,838千円 令和5年度(見込) 4,879千円	
負担金	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
使用料	0	【事業の概要】	
手数料	0	【問合せ先】管理係 0857-30-8211	
財産収入	0	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略	
寄付金	0	【事業の経過及び背景】 高齢化が進む社会において、高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるまちづくりが求められている。	
繰入金	5,265	【事業の目的及び効果】 高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを図るため、多様な活動の機会を提供する。これらの活動を通じ新しいことにチャレンジし、様々な人と交流することにより介護予防を図り、老後を明るく豊かなものとする。	
贈収入	0	【事業の内容】 次の事業を鳥取市社会福祉協議会に委託して実施する。 ・趣味の教室、作品展、囲碁将棋大会、地域ふれあい事業、各種スポーツ大会、社会奉仕活動、健康講座等	
その他	0	【事業の実績】	
備考欄			

福022	項目名	ねんりんピック推進事業費	新規事業
予算書項目	ねんりんピック推進事業費	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】ねんりんピック推進室 0857-30-8260		
款 民生費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)は、スポーツ、文化の交流大会や健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、毎年各県で開催されている。令和6年度に鳥取県で開催するにあたり運営にかかる事業費を計上する。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 高齡化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。		
前年度当初予算額	20,284	【事業の実績】	
本年度要求額	178,687	令和4年度 780千円(先催大会視察、実行委員会設立準備等) 令和5年度(見込) 20,284千円	
総務部長段階査定額	113,454	※その他財源の繰入金は、地域福祉基金繰入金	
市長段階査定額	113,454	【事業の概要】	
区分	本年度予算額	【問合せ先】ねんりんピック推進室 0857-30-8260	
国・県支出金	0	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
地方債	0	【事業の経過及び背景】 全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)は、スポーツ、文化の交流大会や健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、毎年各県で開催されている。令和6年度に鳥取県で開催するにあたり運営にかかる事業費を計上する。	
その他	60,000	【事業の目的及び効果】 高齢化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。	
一般財源	53,454	【事業の内容】 高齡化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。	
計	113,454	【事業の実績】	
分担金	0	令和4年度 780千円(先催大会視察、実行委員会設立準備等) 令和5年度(見込) 20,284千円	
負担金	0	※その他財源の繰入金は、地域福祉基金繰入金	
使用料	0	【事業の概要】	
手数料	0	【問合せ先】ねんりんピック推進室 0857-30-8260	
財産収入	0	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
寄付金	0	【事業の経過及び背景】 全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)は、スポーツ、文化の交流大会や健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、毎年各県で開催されている。令和6年度に鳥取県で開催するにあたり運営にかかる事業費を計上する。	
繰入金	60,000	【事業の目的及び効果】 高齢化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。	
贈収入	0	【事業の内容】 高齡化社会を迎える中、高齢期の方をはじめ誰もががのびのびと、そして生き活きとスポーツや文化活動に親しめるよう、また鳥取の豊かな自然、食、おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がることを目的に開催する。また、本市では地域のにぎわいを創造するため、選手のみならず多くの市民の皆様へ楽しんでいただける大会を目指す。	
その他	0	【事業の実績】	
備考欄			

福023	項目名	高齢者虐待保護事業費	新規事業																				
予算書項目	高齢者虐待保護事業費	ページ	199																				
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457																						
款 民生費	【11次総の施策体系】1202																						
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 高齢者虐待は、重大な権利侵害である。高齢者の生命又は身体に重大な危険が生じている恐れがあるときは、市の責務として虐待者から分離、保護する必要がある。																						
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 家族からの虐待を受け、分離介入が必要な場合や、認知症等により判断能力が低下し、自ら介護保険サービスを利用することが困難な高齢者を保護するため、老人福祉法の規定に基づき、措置等による施設入所をおこない、虐待を受けている高齢者の生命の安全を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 高齢者の状況に応じて、下記のとおり保護措置を行う。 ①鳥取市生活管理指導短期宿泊実施要綱に基づく、養護老人ホームへの短期入所により虐待者と分離、保護する。利用料は手数料1日当たり708円に食費を合わせたもの。利用日数は原則として6月以内とする。 ②要介護状態で、介護サービス利用が必要な高齢者を特別養護老人ホームへ措置することにより虐待者と分離、保護する。措置に係る費用については、介護給付9割、8割又は7割を除く部分を市で負担し、後から市の負担分を利用者に請求する。																						
前年度当初予算額	4,483	【事業の実績】																					
本年度要求額	5,900	<table border="1"> <tr> <td>〔決算額〕</td> <td>〔短期宿泊利用件数〕</td> <td>〔特養への措置件数〕</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4,512千円</td> <td>9件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8,379千円</td> <td>12件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>5,614千円</td> <td>10件</td> <td>2件</td> </tr> </table>		〔決算額〕	〔短期宿泊利用件数〕	〔特養への措置件数〕	令和3年度	4,512千円	9件	4件	令和4年度	8,379千円	12件	1件	令和5年度(見込)	5,614千円	10件	2件					
〔決算額〕	〔短期宿泊利用件数〕	〔特養への措置件数〕																					
令和3年度	4,512千円	9件	4件																				
令和4年度	8,379千円	12件	1件																				
令和5年度(見込)	5,614千円	10件	2件																				
総務部長段階査定額	5,900	※その他財源の手数料は、短期宿泊手数料 ※その他財源の諸収入は、短期宿泊手数料(食材費相当分)																					
市長段階査定額	5,900	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>454</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>2,460</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	454	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	2,460	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	454																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	2,460																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,914</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,986</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,900</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	2,914	一般財源	2,986	計	5,900								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	2,914																						
一般財源	2,986																						
計	5,900																						
財源内訳																							
備考欄																							

福024	項目名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	新規事業																				
予算書項目	保健・介護予防事業の一体的推進事業費	ページ	221																				
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457																						
款 衛生費	【11次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため保健・医療・介護の連携した取組が不可欠となってきている。令和2年4月医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組が推進されている。																						
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 介護保険の地域支援事業と国民健康保険及び後期高齢者医療保険の保健事業を一体的に実施することで、多様化する高齢者の課題に迅速かつ効果的にアプローチし、特にフレイル(心身の虚弱)予防対策に着目した支援を通して地域で活躍する元気な高齢者の増加を図る。令和5年度には鳥取市フレイル予防ネットワーク推進会議を設置し全市のフレイル予防対策について検討し、事業化に繋げている。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 保健師・看護師等の専門スタッフの配置や外部の専門職との連携により、高齢者への個別支援(訪問・相談)で対象者に応じた保健指導を行うとともに、高齢者の通いの場を対象とした集団支援(予防啓発・健康教育等)を実施し、フレイル予防に取り組む。実施対象地域について、令和6年度は全18圏域で実施予定。																						
前年度当初予算額	26,406	【事業の実績】																					
本年度要求額	31,404	<table border="1"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14,830千円</td> <td>3圏域</td> <td>14か所</td> <td>延188件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>17,030千円</td> <td>11圏域</td> <td>27か所</td> <td>延107件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>26,406千円</td> <td>13圏域</td> <td>31か所</td> <td>延140件</td> </tr> </table>		令和3年度	14,830千円	3圏域	14か所	延188件	令和4年度	17,030千円	11圏域	27か所	延107件	令和5年度(見込)	26,406千円	13圏域	31か所	延140件					
令和3年度	14,830千円	3圏域	14か所	延188件																			
令和4年度	17,030千円	11圏域	27か所	延107件																			
令和5年度(見込)	26,406千円	13圏域	31か所	延140件																			
総務部長段階査定額	31,404	※その他財源の諸収入は、後期高齢者医療広域連合からの委託料及び補助金																					
市長段階査定額	31,404	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>28,378</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	28,378	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	28,378																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>28,378</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,026</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,404</td> </tr> </table>		区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	28,378	一般財源	3,026	計	31,404								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	28,378																						
一般財源	3,026																						
計	31,404																						
財源内訳																							
備考欄																							

福025	項目名	身体・知的・精神障害者相談員設置事業費		新規事業
予算書項目	身体・知的・精神障害者相談員設置事業		ページ	195
年度	R6		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	653			
本年度要求額	603			
総務部長段階査定額	603			
市長段階査定額	603			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
国・県支出金	0	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	0	使用料	0	
一般財源	603	手数料	0	
計	603	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				
事業の概要				
【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218				
【1次総の施策体系】 1203 ●実施計画				
【事業の経過及び背景】 県では身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に基づき、身体障害者・知的障害者（または保護者）からの相談に応じ、更生のために必要な援助を行う相談員を設置していたが、平成24年度からは市町村に権限委譲され、令和元年7月から精神障害者相談員も設置し対応することとなった。				
【事業の目的及び効果】 障がいのある方の更生支援に熱意と識見を持つ相談員を設置することにより、身体障害者、知的障害者及び精神障害者の福祉の増進を図る。				
【事業の内容】 身体障害者、知的障害者及び精神障害者等からの相談に応じて、日常生活をサポートするほか、行政とのパイプ役として、福祉のサービスに関する情報を提供したり、地域の障害者のニーズを行政へ提言する役割を担う相談員を設置。 ・任期 2年（令和5年4月～令和7年3月） ・相談員手当 24,900円×22人（身体13人、知的7人、精神2人）＝547,800円 ※単価については県の単価と同額				
【事業の実績】 令和3年度 639千円 身障相談員 15人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 24人 令和4年度 606千円 身障相談員 14人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 23人 令和5年度 653千円 身障相談員 13人、知障相談員 7人、精障相談員 2人 計 22人（見込）				

福026	項目名	低所得者等への光熱費助成事業費(特別障害者手当等受給世帯分)		新規事業
予算書項目	低所得者等への光熱費助成事業費		ページ	195
年度	R6		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	4,301			
本年度要求額	1,301			
総務部長段階査定額	1,301			
市長段階査定額	1,301			
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
国・県支出金	625	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	0	使用料	0	
一般財源	676	手数料	0	
計	1,301	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				
事業の概要				
【問合せ先】 障がい福祉係 0857-30-8217				
【1次総の施策体系】 1203				
【事業の経過及び背景】 依然としてエネルギー価格や物価高騰が続いており、低所得世帯の生活に深刻な影響を与えることが懸念されている。				
【事業の目的及び効果】 光熱費の一部を助成することにより、低所得世帯の生活への影響を緩和していく。				
【事業の内容】 ・対象 ①特別障害者手当受給世帯 202世帯 ※所得制限による支給停止世帯を除いた住民税非課税世帯に限る。以下同じ。 ②経過的福祉手当受給世帯 2世帯 ③障害児福祉手当受給世帯 1世帯 ④特別児童扶養手当受給世帯 45世帯 計 250世帯 ・助成額 1世帯あたり5千円 ・財源 物価価格高騰に係る生活困窮世帯支援補助金（県1/2 ※扶助費）				
【事業の実績】 扶助費 令和4年度 4,795千円 令和5年度(見込) 11,747千円				

福027	項目名	重症心身障がい児・者等受入事業所看護師配置助成事業費	新規事業
予算書項目	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業費	ページ	197
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 要医療障がい児者の日中活動の場を確保することが出来るよう、平成25年度から県と市で事業所に対し補助金助成している。		
目 身体障がい者福祉費	【事業の目的及び効果】 日常的に医療行為の必要な障がい児者を受け入れるために、看護職員を基準以上に配置し吸引等の医療行為が可能な事業所に対し、看護職員の人件費を助成する。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	12,058	(1) 補助対象：看護職員の人件費	
本年度要求額	11,832	・ 指定放課後等デイサービス事業所等	
総務部長段階査定額	11,832	勤務時間 6時間以上 7,690円/日 (配置)	
市長段階査定額	11,832	4時間～6時間未満 3,840円/日 (配置)	
区分	本年度予算額	・ 指定生活介護事業所等 9,920円/日 (派遣の利用)	
国・県支出金	5,916	・ 指定就労継続支援B型事業所 13,580円/日 (配置)	
地方債	0	8,840円/日 (派遣の利用) 等	
その他	0	(2) 負担割合	
一般財源	5,916	県1/2、市1/2	
計	11,832	【事業の実績】	
備考欄		令和3年度 6事業所 9,066千円	
		令和4年度 7事業所 10,588千円	
		令和5年度(見込) 7事業所 12,240千円	

福028	項目名	重症心身障がい児者等日中支援事業費	新規事業
予算書項目	重症心身障がい児者等支援事業費	ページ	197
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 重症心身障がい児者等を支える事業所及び支援者が少ない現状の中で、保護者が献身的に支援している現状がある。保護者の精神的・身体的負担が大きく、保護者の高齢化に伴い在宅生活に限界が生じている。また、保護者・本人が親亡きあとの生活に不安を抱えている現状がある中で、受け皿となる事業所(生活介護・短期入所・放課後等デイサービス事業所)を増やしたり持続的な運営を支援することが必要となっている。		
目 身体障がい者福祉費	【事業の目的及び効果】 重症心身障がい児者等がより地域で生活しやすくなるように、日中活動の場における支援の充実を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	34,280	(1) 補助対象	
本年度要求額	52,129	生活介護事業所、短期入所事業所、放課後等デイサービス事業所において、重症心身障がい児者等の支援を行う社会福祉法人等	
総務部長段階査定額	52,129	(2) 補助基準単価	
市長段階査定額	52,129	生活介護事業所利用 1人当たり 2,900円/日	
区分	本年度予算額	放課後等デイサービス事業所利用 1人当たり 1,900円/日	
国・県支出金	26,064	短期入所事業所利用 1人当たり 6,700円/日	
地方債	0	生活介護(医ケア32点以上) 1人当たり11,800円/日	
その他	0	生活介護(医ケア24～31点) 1人当たり 7,200円/日	
一般財源	26,065	(3) 負担割合	
計	52,129	県1/2、市1/2	
備考欄		【事業の実績】	
		令和3年度 29,203千円 (生活介護7件、放デイ10件、短期入所1件)	
		令和4年度 34,309千円 (生活介護9件、放デイ10件、短期入所1件)	
		令和5年度(見込) 49,173千円 (生活介護10件、放デイ10件、短期入所1件)	

福029	項目名	医療的ケアを要する重度障がい者の地域生活推進事業費	新規事業	○
予算書項目	医療的ケアを要する重度障がい者支援事業費		ページ	197
年度	R6		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 入院や入所以外では生活が難しいとされてきた医療的ケアを要する重度障がい者の、地域における生活拠点づくりの促進が求められている。			
目 身体障がい者福祉費	【事業の目的及び効果】 常時医療的なケアを必要とする、重度障がい者の地域生活を支えるためにサービスを提供するグループホームの運営に対し、必要となる経費の一部を支援し、もって障がい者福祉の増進を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 医療的ケアを要する重度障がい者の地域における生活拠点づくりを促進する事業所に対し、看護職員の人件費を助成する。			
前年度当初予算額	0	・日中サービス支援型グループホーム 1か所 ・負担割合：県1/2、市1/2		
本年度要求額	714			
総務部長段階査定額	714	その他財源の内訳		
市長段階査定額	714	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	357	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	357	寄付金	0	
計	714	繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

福030	項目名	医療的ケア児等送迎支援事業費	新規事業	○
予算書項目	医療的ケアを要する重度障がい者支援事業費		ページ	197
年度	R6		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203 ●実施計画			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 医療的ケア児等の移動時に必要な福祉車両や同乗する看護師の手配が課題となっている。			
目 身体障がい者福祉費	【事業の目的及び効果】 医療的ケア児等の医療機関等への送迎に際して、地域の移動環境を整備し、移動手段の選択肢の拡大を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 保護者が負担する経費のうち次の経費を補助する。			
前年度当初予算額	0	(1) 福祉タクシーの利用による1回当たりの送迎経費の総額から自己負担額（1回の乗車につき送迎経費の1/2、上限額2,500円）を除いた額		
本年度要求額	5,364	(2) 看護師の派遣による1回当たりの送迎経費総額から、自己負担額（1回の乗車につき500円）を除いた額		
総務部長段階査定額	5,364	(3) 負担割合：県1/2、市1/2		
市長段階査定額	5,364	その他財源の内訳		
区分	本年度予算額	分担金	0	
国・県支出金	2,682	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	2,682	財産収入	0	
計	5,364	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

福031	項目名	相談支援事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	201
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障害者総合支援法の施行により、相談支援事業は、この法律に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられた必須事業となっている。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 市内の指定相談支援事業所に本市の相談支援事業を委託し、障がいのある人が、地域で安心して生活していくために必要となる各種サービス利用等のための相談支援・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の地域生活の定着及び移行を積極的に推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 112,677	(1) 基幹相談支援事業所設置(2人)		
本年度要求額 124,370	(2) 指定相談支援事業所に相談支援業務を委託(20人)		
総務部長段階査定額 124,370	「障がい者支援センターそよかぜ」、「障害者支援センターしらはま」、 「相談支援センターサマーハウス」、「相談支援事業所アプローズ」、 「地域生活支援センターみんなの家」、「相談支援センターゆくり」、 「鳥取介護サービス相談支援センター」の7事業所。		
市長段階査定額 124,370	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 109,075千円	
財源内訳	国・県支出金 59,598	令和4年度 109,336千円	
地方債 0	手数料 0	令和5年度(見込) 112,327千円	
その他 0	財産収入 0		
一般財源 64,772	寄付金 0		
計 124,370	繰入金 0		
	贈収 0		
	その他 0		
備考欄			

福032	項目名	日常生活用具給付事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	201
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-30-8217		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成17年10月の障害者自立支援法成立により、平成18年4月から既存の障がい者の地域生活を支援するための事業(障害者自立支援・社会参加総合推進事業、日常生活用具給付事業など)が統合補助金化(障害者地域生活支援事業)され、平成18年10月からは移動支援等を含めた統合補助金(地域生活支援事業)が創設された。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 障がいのある人がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うことを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 障がい者の日常生活の利便性向上のため、必要な給付を行う。		
前年度当初予算額 50,536	・対象者 手帳所持者(種目毎に障がいの種類、程度、年齢等に制限あり)		
本年度要求額 61,635	・給付品目 視覚障がい：盲人用時計、拡大読書器等 聴覚障がい：FAX、屋内信号装置等 肢体不自由：特殊寝台、入浴補助用具等 ぼうこう・直腸機能障害：ストマ用装具 知的障がい：頭部保護帽、火災報知器等 脳原性運動機能障がい：紙おむつ等		
総務部長段階査定額 61,635	【事業の実績】		
市長段階査定額 61,635	扶助費のみ		
区分	本年度予算額	令和3年度 48,547千円(障がい者) 5,817千円(障がい児)	
財源内訳	国・県支出金 46,189	令和4年度 46,947千円(障がい者) 5,992千円(障がい児)	
地方債 0	手数料 0	令和5年度(見込) 53,895千円(障がい者) 7,417千円(障がい児)	
その他 0	財産収入 0		
一般財源 15,446	寄付金 0		
計 61,635	繰入金 0		
	贈収 0		
	その他 0		
備考欄			

福033	項目名	コミュニケーション支援事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	201
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217		
款 民生費	【1次総の施策体系】1203 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障がいのある者が自らの意思を伝えるために、コミュニケーションをとる手段の支援を行う必要がある。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 障がいのある者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うことを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 手話通訳者の配置・委託する「手話通訳者設置事業」、手話通訳者・要約筆記者を病院等へ派遣する「意思疎通支援事業」を行う。県東部圏域で、手話通訳奉仕員養成研修事業、点訳朗読奉仕員養成事業、失語症向け意思疎通支援事業を行う。		
前年度当初予算額	32,825	【事業の実績】	
本年度要求額	35,404	[令和3年度] [令和4年度] [令和5年度(見込)]	
総務部長段階査定額	35,404	人件費 2,445千円 2,516千円 2,540千円	
市長段階査定額	35,404	委託料ほか 28,639千円 30,735千円 30,285千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	26,553	[令和3年度] [令和4年度] [令和5年度(見込)]	
地方債	0	人件費 2,445千円 2,516千円 2,540千円	
その他	0	委託料ほか 28,639千円 30,735千円 30,285千円	
一般財源	8,851		
計	35,404		
備考欄			

福034	項目名	障がい施設サービス利用コーディネート機能強化事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	201
年度	R6	所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】自立支援係 0857-30-8218		
款 民生費	【1次総の施策体系】1203 ●実施計画		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障がい児者がサービスを受給するうえで、一般相談や計画相談などを行う相談支援専門員の重要性は、年々高まってきている状況であるが、各相談支援事業所での相談支援専門員の数は不足している状況がある。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 相談支援事業所に、相談支援専門員を新規又は追加で配置することで、同事業所等が担当する障がい児者の数を増やし、障がい児者が円滑に障害福祉サービス等を利用できる環境等を整える。		
(単位：千円)	【事業の内容】 事業実施により配置・雇用した相談支援専門員の人件費として、補助対象経費の一部として、1,000千円を上限として補助する。		
前年度当初予算額	2,000	・補助金：1,000千円×3事業所（見込）	
本年度要求額	3,000	・負担割合：県1/2、市1/2	
総務部長段階査定額	3,000	【事業の実績】	
市長段階査定額	3,000	令和5年度 2人	
区分	本年度予算額		
国・県支出金	1,500		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,500		
計	3,000		
備考欄			

福035	項目名	国民健康保険団体連合会負担金等		新規事業
予算書項目	国民健康保険団体連合会負担金等		ページ	201
年度	R6		所属名 福祉部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-30-8217			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障害者総合支援法に係る障害福祉サービス費等（介護給付費、訓練等給付費他）の精算は、電子請求システムの導入により平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出している。			
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 障がいのある者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援し、もって障がい福祉の増進を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環として実施するサービス利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等を支給する。 ・負担金の財源：国1/2、県1/4			
前年度当初予算額	4,884,066	【事業の実績】 令和3年度 手数料：8,503千円、負担金：4,784,262千円 令和4年度 手数料：8,715千円、負担金：4,903,203千円 令和5年度(見込) 手数料：8,885千円、負担金：5,079,671千円		
本年度要求額	5,097,696			
総務部長段階査定額	5,097,696	【事業の財源の内訳】		
市長段階査定額	5,097,696	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 3,816,607			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1,281,089			
	計 5,097,696			
備考欄				

福036	項目名	社会福祉施設等施設整備事業費		新規事業
予算書項目	社会福祉施設等整備事業費		ページ	201
年度	R6		所属名 福祉部 障がい福祉課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 自立支援係 0857-30-8218			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1203			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障がい者が日中活動の場として利用する福祉施設の整備を促進し、障がい者の自立した生活を支援する。			
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 グループホーム等市内障がい福祉関係の社会資本の整備を促進するため、国庫補助制度を活用し、施設整備事業を行う事業者に対して助成を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・実施主体 社会福祉法人、NPO法人、営利法人等 ・対象事業 建物の創設（新築）、改築、大規模修繕等 ・内容 社会福祉施設等の施設整備に要する費用の一部を補助する ・対象経費 施設整備に必要な工事費及び工事事務費 ・補助率 3/4（負担割合：国1/2、市1/4、事業者1/4） ※スプリンクラー整備事業は市費上乗せ1/8			
前年度当初予算額	83,901	【事業の実績】 令和3年度 1件 令和4年度 0件 令和5年度 1件		
本年度要求額	78,790			
総務部長段階査定額	78,790	【事業の財源の内訳】		
市長段階査定額	78,790	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 52,526			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 26,264			
	計 78,790			
備考欄				

福037	項目名	国民健康保険団体連合会負担金(障がい児対象分)		新規事業
予算書項目	障害児通所給付等事業費		ページ	207
年度	R6		所属名	福祉部 障がい福祉課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】障がい者福祉係 0857-30-8217			
款 民生費	【1次総の施策体系】1203			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 障害福祉サービス費等の精算は、電子請求システムの導入により、平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式となり、負担金で支出している。			
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 障がいのある児童を支援し、もって障がい者福祉の増進を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 障害児通所給付費等として、障害児通所給付費、特例障害児通所給付費、高額障害児通所給付費などを支給する。 ・負担金の財源：国1/2、県1/4			
前年度当初予算額	783,186	【事業の実績】		
本年度要求額	845,575	令和3年度 手数料：2,099千円、負担金：740,054千円 令和4年度 手数料：2,228千円、負担金：778,705千円 令和5年度(見込) 手数料：2,329千円、負担金：843,246千円		
総務部長段階査定額	845,575	【事業の経緯及び背景】		
市長段階査定額	845,575	障害福祉サービス費等の精算は、電子請求システムの導入により、平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式となり、負担金で支出している。		
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】		
財源内訳		障がいのある児童を支援し、もって障がい者福祉の増進を図る。		
国・県支出金	632,434	【事業の内容】		
地方債	0	障害児通所給付費等として、障害児通所給付費、特例障害児通所給付費、高額障害児通所給付費などを支給する。 ・負担金の財源：国1/2、県1/4		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	213,141	令和3年度 手数料：2,099千円、負担金：740,054千円 令和4年度 手数料：2,228千円、負担金：778,705千円 令和5年度(見込) 手数料：2,329千円、負担金：843,246千円		
計	845,575	【事業の経緯及び背景】		
備考欄				

福038	項目名	生活困窮者自立支援事業費		新規事業
予算書項目	生活困窮者自立支援事業費		ページ	195
年度	R6		所属名	福祉部 生活福祉課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476			
款 民生費	【1次総の施策体系】1201 ●実施計画			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 平成27年に生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者(被保護者を含む)の自立を支援するための事業が負担金・補助金化された。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 被保護者に対する自立支援策を強化するため、生活福祉課内に「就労支援相談員」を配置するとともに、事業者に委託し「子どもの学習支援事業」と「就労準備支援事業」を実施する。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	18,282	(1) 就労支援相談員/支援者数50人 (国費3/4) 課内に就労支援相談員(会計年度任用職員)を配置し、ケースワーカーと連携し、就労相談、ハローワークへの同行訪問、就労指導を行う。		
本年度要求額	18,767	(2) 生活保護世帯の子どもに対する学習支援事業/参加者数15人 (国費1/2) 経済的な理由から学習環境が十分でない児童・生徒に対し、学習の場を提供し、学力及び学習意欲の向上を図る。		
総務部長段階査定額	18,767	(3) 被保護者就労準備支援事業/参加者数89人 (国費2/3) 様々な事情から一般的な就労が困難である稼働年齢層(15歳~64歳)にある被保護者に対し、ボランティア活動等の体験を通じ就労に必要な基礎能力の習得支援を行い、社会参加意欲と就労意欲を高めるとともに、稼働能力の活用が不十分と思われる被保護者に対しては必要な職業訓練、就労体験等を通じ自立した生活が送れるよう支援を行う。		
市長段階査定額	18,767	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	[就労支援相談員] [学習支援] [就労準備支援]		
財源内訳		令和3年度 2,350千円 3,363千円 11,022千円 令和4年度 2,336千円 3,180千円 11,923千円 令和5年度(見込) 1,739千円 2,361千円 13,617千円		
国・県支出金	12,317			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	6,450			
計	18,767			
備考欄				

福039	項目名	低所得者等への光熱費助成事業費(生活保護受給世帯分)		新規 事業
予算書項目	低所得者等への光熱費助成事業費	ページ	195	所 属 名 福祉部 生活福祉課
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	社会福祉費			
目	社会福祉総務費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	34,064			
本年度要求額	10,320			
総務部長段階査定額	10,320	その他財源の内訳		
市長段階査定額	10,320	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備 考 欄				

事業の概要	
【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476	
【1次総の施策体系】1201	
【事業の経過及び背景】 依然としてエネルギー価格や物価高騰が続いており、生活保護世帯の生活に深刻な影響を与えることが懸念されている。	
【事業の目的及び効果】 光熱費の一部を助成することにより、生活保護世帯の生活への影響を緩和していく。	
【事業の内容】 ・対象 生活保護世帯 1,980世帯 ※社会福祉施設等入所単身世帯及び入院単身世帯を除く。 ・助成額 1世帯あたり5千円 ・財源 物価高騰に係る生活困窮世帯支援補助金(県1/2 ※扶助費)	
【事業の実績】 扶助費 令和4年度 40,971千円 令和5年度(見込) 95,252千円	

福040	項目名	扶助費		新規 事業
予算書項目	扶助費	ページ	215	所 属 名 福祉部 生活福祉課
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	民生費			
項	生活保護費			
目	扶助費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	3,920,995			
本年度要求額	3,896,377			
総務部長段階査定額	3,896,377	その他財源の内訳		
市長段階査定額	3,896,377	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	51,600	
		その他	0	
備 考 欄				

事業の概要	
【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476	
【1次総の施策体系】1201	
【事業の経過及び背景】 生活保護は、給与や年金などの収入が国の定めた「最低生活費」を下回り、自分の資産や様々な制度を活用しても生活の維持ができない世帯に対して、日本国憲法第25条の理念に基づき、国が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障しながら、自立した生活が送れるように支援することを目的として制定された制度である。	
【事業の目的及び効果】 生活に困窮する者に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。	
【事業の内容】(国3/4、市1/4負担) (1)生活扶助費…衣食その他日常生活の需要を満たすための費用、移送費等 (2)住宅扶助費…家賃・地代、家屋補修費用等 (3)教育扶助費…義務教育に必要な教材費、給食費等 (4)介護扶助費…要介護者及び要支援者に対する居宅又は施設介護、福祉用具等の費用 (5)医療扶助費…診察、薬剤、治療材料、医学的処置、手術、入院等の費用 (6)出産扶助費…分娩の介助、分娩前後の処置等に要する費用 (7)生業扶助費…生業扶助費、技能修得費、高等学校就学費 (8)葬祭扶助費…死体検案・運搬及び埋火葬等に要する費用 (9)施設事務費…救護施設、更生施設、授産施設等の入所者委託に係る費用 (10)中国残留邦人生活支援給付金 …H20年4月より永住帰国した中国残留邦人等について、その者の属する世帯の収入が一定の基準に満たない場合には、生活支援給付、住宅支援給付などを行う。	
【事業の実績】 令和3年度 3,811,966千円 令和4年度 3,849,466千円 令和5年度(見込) 3,884,094千円	
※その他財源の贈収入は、生活保護費返還金及び新高額障害福祉サービス費返還金	

福041	項目名	重度障害者医療助成費	新規事業
予算書項目	重度障害者医療助成費	ページ	197
年度	R6	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223		
款 民生費	【1次総の施策体系】1203		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 障がいのある人の健康の保持及び生活の安定を図る目的で昭和48年に創設された。		
目 身体障がい者福祉費	【事業の目的及び効果】 障がいのある人の医療費の負担軽減及び健康の保持と生活の安定を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 次に該当する人に対し、医療費の自己負担部分の助成を行う。 ・県助成事業 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級所持者 (本人の前年所得が一定の金額未満の人が対象) ・単市事業 県助成に該当しない70歳未満で所得税及び市民税非課税である人。 身体障害者手帳3・4・5・6級、療育手帳所持者、精神保健福祉手帳2級、 精神保健福祉手帳3級所持者		
前年度当初予算額	476,982	【事業の実績】	
本年度要求額	472,982	扶助費 令和3年度 83,332件 500,351千円 令和4年度 82,966件 477,945千円 令和5年度(見込) 84,100件 474,263千円	
総務部長段階査定額	472,982	※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	
市長段階査定額	472,982	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	179,499	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	71,445	手数料	0
一般財源	222,038	財産収入	0
計	472,982	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	71,445
		その他	0
備考欄			

福042	項目名	後期高齢者医療広域連合運営費	新規事業
予算書項目	後期高齢者医療広域連合運営費	ページ	199
年度	R6	所属名	福祉部 保険年金課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】長寿医療係 0857-30-8225		
款 民生費	【1次総の施策体系】1201		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 急速な少子高齢化、医療費の増加など大きな環境変化に対応し、将来にわたり国民皆保険制度を堅持していくため、75歳以上の方を対象とした医療制度「後期高齢者医療制度」が平成20年度に創設された。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 負担金を後期高齢者医療制度の運営主体である鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付することにより制度の円滑な運営に資する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取県後期高齢者医療広域連合に対し、次の負担金を納付する。 (1) 市町村共通経費負担金 鳥取県後期高齢者医療広域連合に次の割合により県内の全市町村が負担するもの。 均等割 10%・高齢者人口割 50%・人口割 40% (2) 市町村療養給付費負担金(高齢者の医療の確保に関する法律第98条) 後期高齢者医療制度にかかる療養給付費等のうち、負担対象額の1/12に相当する額を市町村が負担するもの。 (3) 広域連合派遣職員人件費 広域連合に派遣されている職員にかかる人件費		
前年度当初予算額	2,206,827	【事業の実績】	
本年度要求額	2,297,889	[令和3年度] [令和4年度] [令和5年度(見込)] 市町村共通経費負担金 87,353千円 94,371千円 93,113千円 市町村療養給付費負担金 1,950,288千円 1,984,992千円 2,030,508千円 広域連合派遣職員人件費 24,384千円 25,259千円 25,442千円	
総務部長段階査定額	2,297,889	※その他財源の諸収入は、後期高齢者医療広域連合負担金	
市長段階査定額	2,297,889	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	25,442	手数料	0
一般財源	2,272,447	財産収入	0
計	2,297,889	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	25,442
		その他	0
備考欄			

福043	項目名	小児特別医療助成費		新規事業
予算書項目	小児特別医療助成費		ページ	207
年度	R6		所属名 福祉部 保険年金課	
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	児童福祉費			
目	児童福祉総務費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	615,313			
本年度要求額	908,301			
総務部長段階査定額	908,301	その他財源の内訳		
市長段階査定額	908,301	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
		使用料	0	
財源内訳	国・県支出金	452,376	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	3,549	寄付金	0
	一般財源	452,376	繰入金	0
	計	908,301	贈収入	3,549
			その他	0
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 医療助成係 0857-30-8223	
【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略	
【事業の経過及び背景】 乳幼児の健康保持を図る目的で昭和48年に創設された。平成23年4月より中学校卒業まで行っている小児特別医療助成制度の対象年齢を、平成28年4月より高校卒業まで拡大し、実施している。また、令和6年4月から、同対象年齢において、小児医療費の無償化の実施を予定している。(※特別医療費助成の「ひとり親家庭区分」及び「重度心身等区分」の同対象年齢の者については、小児医療費無償化の実施に伴い「小児区分」へ移行)	
【事業の目的及び効果】 小児(18歳に達した年度末まで)に対し、医療費の助成を行う。	
【事業の内容】 対象者：小児の入院・通院医療費を助成 患者負担額：無料	
【事業の実績】 扶助費 令和3年度 234,492件 622,949千円 令和4年度 210,242件 602,066千円 令和5年度(見込) 234,674件 712,766千円	
※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	

福044	項目名	ひとり親家庭医療助成費		新規事業
予算書項目	ひとり親家庭医療助成費		ページ	209
年度	R6		所属名 福祉部 保険年金課	
会計名	一般会計			
款	民生費			
項	児童福祉費			
目	母子福祉費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	80,306			
本年度要求額	43,650			
総務部長段階査定額	43,650	その他財源の内訳		
市長段階査定額	43,650	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
		使用料	0	
財源内訳	国・県支出金	20,514	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	2,621	寄付金	0
	一般財源	20,515	繰入金	0
	計	43,650	贈収入	2,621
			その他	0
備考欄				

事業の概要	
【問合せ先】 医療助成係 0857-30-8223	
【1次総の施策体系】 1101	
【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭の方の健康保持と生活安定を図る目的で昭和48年に創設された。	
【事業の目的及び効果】 所得税非課税のひとり親世帯の親に対し、医療費の助成を行う。 ※ひとり親家庭の子については、小児医療費無償化の実施に伴い、「小児」特別医療費助成へ移行)	
【事業の内容】 対象者：配偶者のない父・母(死別・離婚・遺棄・配偶者が身体障がい者・未婚の母等) 患者負担額：通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料) 入院 1,200円/日 (※1)	
※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。	
【事業の実績】 扶助費 令和3年度 26,479件 81,660千円 令和4年度 24,967件 77,351千円 令和5年度(見込) 25,712件 82,764千円	
※その他財源の諸収入は、医療助成費返還金	

福045	項目名	未熟児養育医療助成費	新規 事業
------	-----	------------	----------

予算書項目	未熟児養育医療助成費	ページ	221
-------	------------	-----	-----

所 属 名	福祉部 保険年金課
-------	--------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位：千円)

前年度当初予算額	10,569
----------	--------

本年度要求額	10,809
--------	--------

総務部長段階査定額	10,809
-----------	--------

市長段階査定額	10,809
---------	--------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	6,887
地方債	0
その他	1,605
一般財源	2,317
計	10,809

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	1,605
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

備 考 欄

事業の概要

【問合せ先】 医療助成係 0857-30-8223

【1次総の施策体系】 1101

【事業の経過及び背景】

養育のため病院等に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療費の給付を行う目的で創設され、平成25年度より市町村へ事務移行された。

【事業の目的及び効果】

未熟児医療の医療費の負担軽減及び健康の保持と生活の安定を図る。

【事業の内容】

出生時体重が2,000g以下または、生活力が弱い症状を示す未熟児の入院にかかる保険対象医療費の自己負担部分の助成を行う。

【事業の実績】

扶助費

令和3年度	35件	20,516千円
令和4年度	36件	10,343千円
令和5年度(見込)	30件	10,636千円

※その他財源の負担金は、未熟児養育医療費受給者負担金

家001	項目名	低所得者等への光熱費助成事業費(児童扶養手当受給世帯分)		新規事業
予算書項目	低所得者等への光熱費助成事業費	ページ	195	所属名
年度	R6	健康こども部こども家庭局 こども未来課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 育成係 0857-30-8239			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101			
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 依然として光熱費等の価格の高騰が続いている。低所得者世帯の生活に深刻な影響を与えることが懸念されている。			
目 社会福祉総務費	【事業の目的及び効果】 原油価格・物価高騰対策の一つとして低所得者に対する光熱費の支援を行うことにより、生活の一助とする。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	25,339	・対象 市が生活困窮世帯として認める世帯(児童扶養手当受給世帯) 1,482世帯(児童扶養手当全部支給停止世帯及び生活保護受給世帯除く)		
本年度要求額	7,710	・助成額 1世帯あたり5千円		
総務部長段階査定額	7,710	・財源 物価高騰に係る生活困窮世帯支援補助金(県1/2 ※扶助費)		
市長段階査定額	7,710	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	扶助費		
国・県支出金	3,705	令和4年度 31,395千円		
地方債	0	令和5年度(見込) 68,608千円		
その他	0			
一般財源	4,005			
計	7,710			
備考欄				

家002	項目名	児童手当費		新規事業
予算書項目	児童手当費	ページ	209	所属名
年度	R6	健康こども部こども家庭局 こども未来課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 育成係 0857-30-8239			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 平成24年4月より従前の「子ども手当」に代わり制度開始したものの。			
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 児童を養育している人に手当を支給することにより、各家庭における子育て費用の負担軽減を図り、もって児童の健全育成につなげる。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	2,602,023	対象：中学校修了前の児童		
本年度要求額	2,916,083	金額：3歳未満の子ども1人あたり 15,000円/月		
総務部長段階査定額	2,915,663	3歳以上小学校修了までの子ども1人あたり 10,000円/月(第1子・2子)		
市長段階査定額	2,915,663	3歳以上小学校修了までの子ども1人あたり 15,000円/月(第3子以降)		
区分	本年度予算額	中学生の子ども1人あたり 10,000円/月		
国・県支出金	2,455,212	所得制限限度額以上所得上限限度額未満の受給者の子ども1人あたり 5,000円/月		
地方債	0	所得上限限度額以上 支給なし(令和4年6月1日制度改正)		
その他	0	※令和6年10月施行予定の児童手当拡充により、所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間延長、第3子以降3万円支給、支払月が隔月の年6回とすることが予定されている。(初回支給は令和6年12月予定)		
一般財源	460,451	【事業の実績】		
計	2,915,663	令和3年度 延児童数		
備考欄	令和4年度 20,431人			
	令和5年度 19,516人			
	令和6年度 18,780人(見込)			

家003	項目名	子どもの貧困対策推進事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	子どもの貧困対策推進事業費	ページ	209
-------	---------------	-----	-----

所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
-----	------------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

事業の概要

【問合せ先】 育成係 0857-30-8239

【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画

【事業の経過及び背景】
子ども達の将来がその生まれ育った家庭の事情等に左右されることなく、全ての子ども達が夢と希望を持って成長していけるよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策は極めて重要となっている。

【事業の目的及び効果】
子どもの貧困に対する「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者に対する就労の支援」、「経済的支援」を行っている関係各部署と関係機関等が連携して、子どもの貧困対策の総合的かつ計画的な推進を図る。

【事業の内容】
令和3年度に策定された「第2期鳥取市子どもの未来応援計画」を推進するための体制を整備するため、庁内関係部署及び関係機関等の調整を図る。

【事業の実績】
令和3年度
・子どもの貧困対策推進庁内連絡会 3回開催
・子どもの貧困対策地域協議会 1回開催
・第2期鳥取市子どもの未来応援計画の策定
令和4年度
・子どもの貧困対策推進庁内連絡会 1回開催
・子どもの貧困対策地域協議会 1回開催
・子どもの貧困対策地域協議会研修会 1回開催
令和5年度
・子どもの貧困対策推進庁内連絡会 2回開催
・子どもの貧困対策地域協議会 2回開催
・子どもの貧困対策地域協議会研修会 1回開催

前年度当初予算額	3,048
----------	-------

本年度要求額	3,559
--------	-------

総務部長段階査定額	3,559	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,559	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	1,629		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,930		
計	3,559		

備考欄	
-----	--

家004	項目名	子ども第3の居場所事業費	新規事業
------	-----	--------------	------

予算書項目	子ども第3の居場所事業費	ページ	209
-------	--------------	-----	-----

所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
-----	------------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

事業の概要

【問合せ先】 育成係 0857-30-8239

【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●明るい未来プラン

【事業の経過及び背景】
平成30年9月から令和3年度末まで公益財団法人「日本財団」による子どもの第3の居場所が実施された。令和4年度以降は平成30年の三者協定に基づき、本市が子どもの第3の居場所事業を引き続き実施するもの。

【事業の目的及び効果】
生活や学習等の環境に困難を抱える子どもに対し、安心して過ごせる場所を提供し、その中で、基本的な生活を支援することによる生活習慣の定着、個々に寄り添った学習支援を行うことによる学習習慣の定着、学力向上、社会活動体験による自尊心、自己肯定感の育成を図り、もって子どもの自立促進、貧困の連鎖の断ち切りを目指す。

【事業の内容】
子どもの第3の居場所の運営委託／利用児童数 13人（見込）
・放課後等の安心した居場所の提供による生活・学習支援
・SSW、小学校長、保育所等関係機関と連携した包括的な支援
・地域食堂と連携した食事支援と地域連携支援
・保護者への子育て支援や相談支援
※県：子どもの居場所づくり事業、子どもと家庭の生活・相談支援拠点サポート事業
※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税

前年度当初予算額	19,032
----------	--------

本年度要求額	19,541
--------	--------

総務部長段階査定額	19,541	その他財源の内訳	
市長段階査定額	19,541	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	1,000
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	12,974		
地方債	0		
その他	1,000		
一般財源	5,567		
計	19,541		

備考欄	
-----	--

家005	項目名	こども・子育て支援制度事務費	新規事業
予算書項目	事務費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-30-8232		
款 民生費	【1次総の施策体系】1101 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度4月からのこども・子育て支援新制度の実施に伴い「鳥取市子ども・子育て支援事業計画」を策定、令和2年には「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援の取組を推進してきた。 また、令和5年4月に「こども基本法」が施行され、令和5年12月には「こども大綱」が策定された。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 「こども大綱」を勘案した「鳥取市こども計画」を策定し、関係各課と連携を図りながら、こどもの最善の利益の実現に取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 「鳥取市こども計画」の策定。		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和元年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」策定 令和4年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」改訂 令和5年度 「鳥取市こども計画」策定に伴う保育ニーズ調査（見込）	
本年度要求額	9,013		
総務部長段階査定額	9,013	【事業の内容】 「鳥取市こども計画」の策定。	
市長段階査定額	9,013	【事業の実績】 令和元年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」策定 令和4年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」改訂 令和5年度 「鳥取市こども計画」策定に伴う保育ニーズ調査（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 「鳥取市こども計画」の策定。	
国・県支出金	1,500	【事業の実績】 令和元年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」策定 令和4年度 「第2期鳥取市子ども・子育て支援事業計画」改訂 令和5年度 「鳥取市こども計画」策定に伴う保育ニーズ調査（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	7,513		
計	9,013		
備考欄			

家006	項目名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	新規事業
予算書項目	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】育成係 0857-30-8239		
款 民生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭の親が修学中の生活費の不安から、就職に有利な資格取得に消極的な現状がある。また、子が自立するまでの間の養育費を確保出来ないひとり親家庭が多く、安定した生活が困難な状況である。		
目 母子福祉費	【事業の目的及び効果】 ひとり親家庭の母又は父の主体的な能力開発等を支援し、就業機会の促進を図る。また、子の生活の安定と健やかな成長のため、養育費の取決めに促進し、扶助するひとり親が継続して受けられるよう支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・高等学校卒業認定試験合格講座、また就職やキャリアアップのために指定された教育訓練講座の受講に要した費用の一部を支給。 ・養育費を確保するため、公正証書の作成や調定等を起こす際に必要な経費の一部を支給。		
前年度当初予算額	18,520	【事業の実績】 ○母子家庭等自立支援給付金事業 自立支援教育訓練給付金 令和3年度：5名 令和4年度：5名 令和5年度：9名（見込） ○高等職業訓練促進給付金 令和3年度：15名 令和4年度：16名 令和5年度：16名（見込） ○高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 令和3年度：0名 令和4年度：0名 令和5年度：1名（見込） ○養育費確保支援事業 令和5年度：10名（見込）	
本年度要求額	23,036		
総務部長段階査定額	21,436	【事業の内容】 ・高等学校卒業認定試験合格講座、また就職やキャリアアップのために指定された教育訓練講座の受講に要した費用の一部を支給。 ・養育費を確保するため、公正証書の作成や調定等を起こす際に必要な経費の一部を支給。	
市長段階査定額	21,436	【事業の実績】 ○母子家庭等自立支援給付金事業 自立支援教育訓練給付金 令和3年度：5名 令和4年度：5名 令和5年度：9名（見込） ○高等職業訓練促進給付金 令和3年度：15名 令和4年度：16名 令和5年度：16名（見込） ○高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 令和3年度：0名 令和4年度：0名 令和5年度：1名（見込） ○養育費確保支援事業 令和5年度：10名（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・高等学校卒業認定試験合格講座、また就職やキャリアアップのために指定された教育訓練講座の受講に要した費用の一部を支給。 ・養育費を確保するため、公正証書の作成や調定等を起こす際に必要な経費の一部を支給。	
国・県支出金	15,877	【事業の実績】 ○母子家庭等自立支援給付金事業 自立支援教育訓練給付金 令和3年度：5名 令和4年度：5名 令和5年度：9名（見込） ○高等職業訓練促進給付金 令和3年度：15名 令和4年度：16名 令和5年度：16名（見込） ○高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 令和3年度：0名 令和4年度：0名 令和5年度：1名（見込） ○養育費確保支援事業 令和5年度：10名（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,559		
計	21,436		
備考欄			

家007	項目名	ひとり親家庭学習支援事業費	新規事業
予算書項目	ひとり親家庭学習支援事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども未来課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 育成係 0857-30-8239		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 ひとり親家庭は、生活と就労をひとりで担わなければならない状況にあるため、子どもと接する時間を多くもつことができず、子どもの学習に十分関わるることができない状況にある。また、ひとり親家庭は、子どものいる一般世帯よりも収入が低いことが統計で分かっており、経済的な理由から児童を学習塾に行かせることも難しい状況にあるため、学習機会の確保を図り、子どもの健全育成と自立を促す。		
目 母子福祉費	【事業の目的及び効果】 経済的な理由から学業や進学環境が十分に用意されない、ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援を行うことにより、負の連鎖の防止を図ることを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ひとり親家庭学習支援事業 市内在住で児童扶養手当受給世帯または受給資格と同等の所得水準にあるひとり親世帯の中学生、または中学校を卒業し、高等学校等の就学が決定していない児童が対象。		
前年度当初予算額	10,345	【事業の実績】 令和3年度 77人 令和4年度 89人 令和5年度 87人（見込）	
本年度要求額	11,549	※ひとり親家庭等生活向上事業国庫補助金（国1/2、市1/2） ※ひとり親家庭学習支援事業補助金（県1/2、市1/2）※送迎部分	
総務部長段階査定額	10,973	【事業の内容】	
市長段階査定額	10,973	ひとり親家庭学習支援事業 市内在住で児童扶養手当受給世帯または受給資格と同等の所得水準にあるひとり親世帯の中学生、または中学校を卒業し、高等学校等の就学が決定していない児童が対象。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 5,485	令和3年度 77人 令和4年度 89人 令和5年度 87人（見込）	
	地方債 0	※ひとり親家庭等生活向上事業国庫補助金（国1/2、市1/2） ※ひとり親家庭学習支援事業補助金（県1/2、市1/2）※送迎部分	
	その他 0		
	一般財源 5,488		
計	10,973		
備考欄			

家008	項目名	ファミリーサポートセンター事業費	新規事業
予算書項目	ファミリーサポートセンター事業費	ページ	207
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 指導係 0857-30-8237		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 保育園の送迎、放課後の児童預かり等のサービスを受けたい声があり、その解消策としてファミリーサポートセンター（育児型）を運営している。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 サービスを提供できる人（提供会員）とサービスを受けたい人（依頼会員）との橋渡しを行うことで、育児負担の軽減、仕事と家庭の両立を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会に事業委託。		
前年度当初予算額	10,320	【事業の実績】	
本年度要求額	10,212	会員数 活動件数	
総務部長段階査定額	10,212	令和3年度 1,009人 1,024回	
市長段階査定額	10,212	令和4年度 1,028人 665回	
区分	本年度予算額	令和5年度 1,020人 720回（見込）	
財源内訳	国・県支出金 5,732		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 4,480		
計	10,212		
備考欄			

家009	項目名	私立保育園運営費	新規事業
予算書項目	私立保育園運営費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 保育係 0857-30-8238		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 私立の保育園・認定こども園・地域型保育は国の基準（公定価格）に基づいて運営費が定められている。		
目 保育所費	【事業の目的及び効果】 私立保育園等の運営費として入所児童数等に応じた費用を支払うことにより、子どもの健やかな成長のための適切な環境の確保を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 在園児童数、特別保育事業等に基づく委託料・給付費の支払い。 令和6年度 48園 新制度移行：小さき花園幼稚園、愛真幼稚園 認定こども園移行：わかば保育園、かんろ保育園、湖山保育園、城北保育園、大正保育園		
前年度当初予算額 5,587,986	【事業の実績】 令和3年度 44園 園児数：4,818人 認定こども園移行：鳥取みどり園、わかば台保育園 新設：コモド第三保育園		
本年度要求額 5,953,647	令和4年度 46園 園児数：4,857人 新設：認定こども園かける、認定こども園ぱっか 民営移行：大正保育園		
総務部長段階査定額 5,753,054	令和5年度 46園 園児数：4,796人（見込） 認定こども園移行：さとに保育園、むつみ保育園 小規模保育事業移行：ゆりかご保育園		
市長段階査定額 5,753,054	※その他財源の負担金は、保育園負担金		
区分	本年度予算額	備考欄	
国・県支出金 4,086,645			
地方債 0			
その他 93,936			
一般財源 1,572,473			
計 5,753,054			

家010	項目名	保育所緊急整備事業費補助金	新規事業
予算書項目	私立保育園運営施設助成費	ページ	211
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8236		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 近年の保育需要の増大により保育ニーズの低年齢化が進むなか、保育園の収容力不足の解消や幼保連携の推進を図るため、対応施設の整備が必要となっている。		
目 保育所費	【事業の目的及び効果】 国の「就学前教育・保育施設整備交付金」や「次世代育成支援対策交付金」を活用し、民間法人の施設整備に対する助成を行い、施設の老朽化等に対する整備による園児・保育所等の安全性の確保等を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①さとにこども園【改築】《社会福祉法人さとに会》（2か年事業）（R6～7） 助成額 244,716千円（見込） （保育園部分176,928千円＋幼稚園部分66,555千円＋子育て支援センター部分1,233千円） （補助基準額の3/4 国庫1/2、市1/4）		
前年度当初予算額 29,336	②のぞみ保育園【改築】《社会福祉法人鳥取福祉会》（2か年事業）（R6～7） 助成額 42,529千円（見込） （保育園部分29,316千円＋幼稚園部分13,213千円） （補助基準額の3/4 国庫1/2、市1/4）		
本年度要求額 475,802	③鳥取第一幼稚園【大規模修繕】《学校法人鳥取学園》（単年事業） 助成額 188,557千円（見込）（補助基準額の3/4 国庫1/2、市1/4）		
総務部長段階査定額 475,802	【事業の実績】 令和3年度 【防犯】1施設 【大規模修繕】2施設 【改築】2施設 令和4年度 【防犯】3施設 【大規模修繕】1施設 【改築】1施設 令和5年度 【防犯】1施設 【大規模修繕】1施設 【改築】1施設		
市長段階査定額 475,802	備考欄		
区分	本年度予算額		
国・県支出金 317,201			
地方債 158,500			
その他 0			
一般財源 101			
計 475,802			

家011	項目名	病児・病後児保育事業費	新規事業
予算書項目	病児・病後児保育事業費	ページ	211
年度	R6	所 属 名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 保育係 0857-30-8238		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 就労している子育て世帯の多様なニーズに対応した支援として本事業を実施。 現在、病児保育4施設、病後児保育3施設で事業実施。		
目 保育所費	【事業の目的及び効果】 保護者が就労している場合等において、児童が病気の際に自宅での保育が困難な場合があり、こうした保育需要に対応して、病気又はその回復期にある児童を一時的に預かる事業を実施し、保護者の子育てと就労等の両方を支援し、児童福祉の増進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	132,656	①病児保育事業	
本年度要求額	152,113	4施設：病児保育室キッズルームこぐま、病児保育室とくよしさかえまち、病児保育室とくよしこやま、コモド第三保育園瓦町 児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かる。	
総務部長段階査定額	150,536	②病後児保育事業	
市長段階査定額	150,536	3施設：市立病院、保育園2園 病気回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かる。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 延べ2,246人（病児：2,196人 病後児：50人） 令和4年度 延べ2,551人（病児：2,505人 病後児：46人） 令和5年度 延べ4,796人（病児：4,437人 病後児：359人）（見込）	
国・県支出金	92,842	※その他財源の諸収入は、利用者負担金及び病児保育委託金	
地方債	0		
その他	1,077		
一般財源	56,617		
計	150,536		
備考欄			

家012	項目名	保育体制強化事業費	新規事業
予算書項目	保育体制強化事業費	ページ	211
年度	R6	所 属 名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8236		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 核家族の進行や母親の就業が増加したことなどから、教育・保育施設等における教育・保育ニーズは拡大しており、保育士等を確保し、教育・保育環境を整備する必要がある。		
目 保育所費	【事業の目的及び効果】 保育所等における保育士等の確保が困難となっている状況に鑑み、保育士等の負担軽減を目的として保育支援者を配置するのに要する経費の一部を補助することにより、保育士等が働きやすい職場環境を整備し、もって保育士等の離職防止を図るもの。ともに、保育士確保の視点から、待機児童解消を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	37,440	事業にかかる人件費の補助	
本年度要求額	37,440	①保育支援者の配置（1か所当たり月額100千円） 対象：保育所、幼保連携型認定こども園 保育所 17か所 幼保連携型認定こども園 5か所	
総務部長段階査定額	37,440	②児童の園外活動時の見守り等を行う者の配置（1か所当たり月額45千円） 対象：保育所、幼保連携型認定こども園、地域型保育事業 保育所 5か所 幼保連携型認定こども園 3か所 地域型保育事業 10か所	
市長段階査定額	37,440	財源：保育対策総合支援事業費補助金3/4（国費1/2、県費1/4）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和5年度（見込）	
国・県支出金	28,080	①保育支援者の配置 20か所	
地方債	0	②児童の園外活動時の見守り等を行う者の配置 11か所	
その他	0		
一般財源	9,360		
計	37,440		
備考欄			

家013	項目名	こども誰でも通園制度事業費	新規事業	○
予算書項目	こども誰でも通園制度事業費		ページ	211
年度	R6		所属名	健康こども部こども家庭局 幼児保育課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8236			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、国は令和5年度補正予算を活用し「こども誰でも通園制度(仮称)の本格実施を見据えた試行的事業」を実施することとした。			
目 保育所費	【事業の目的及び効果】 こどもの成長の観点から、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備することを目的としており、家庭とは異なる経験や、家族以外の人と関わる機会が得られるほか、保護者にとっても育児への負担感の軽減などに繋がる。			
(単位：千円)	【事業の内容】 本格実施を見据えた試行的事業の実施 (実施予定期間) 令和6年7月～令和7年3月(9か月間) (実施予定園数) 公立保育園3園 (対象児童) 生後6か月～2歳の未就園児 (利用時間) 上限：月10時間/人			
前年度当初予算額	0	※その他財源の諸収入は、利用者負担金		
本年度要求額	30,371			
総務部長段階査定額	30,371	その他財源の内訳		
市長段階査定額	30,371	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	11,421	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	14,212			
地方債	0			
その他	11,421			
一般財源	4,738			
計	30,371			
備考欄				

家014	項目名	子育て支援短期利用事業費	新規事業	
予算書項目	子育て支援短期利用事業費		ページ	207
年度	R6		所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭相談センター
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 こども家庭相談センター 0857-20-0122			
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 仕事、疾病、家庭の事情など保護者の社会的理由で、子どもの養育が困難となった場合に、平日、夜間、休日などに日帰りや宿泊を伴う一時預かりを行い、子どもを一時的に養育・保護する必要がある。			
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 夜間や休日、宿泊を伴う一時預かり、また、平日の一時預かりを実施することで、保護者の負担軽減を図り、もって児童福祉の向上に資する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ①ショートステイ : 宿泊を伴う一時預かり(最長連続7日間を限度) ②平日日帰りステイ : 平日の一時預かり ③トワイライトステイ : 平日の夜間、休日の一時預かり ④親子入所支援 : 支援が必要な親子の短期入所(鳥取こども学園のみ) 委託先: 鳥取こども学園、青谷こども学園、里親 ⑤専任人員配置支援 : 子育て短期支援事業の実施施設の専任職員の配置を支援 実施主体: 鳥取こども学園			
前年度当初予算額	9,849	【事業の実績】 ※延べ利用日数 令和3年度 ショート(280日) 平日日帰り(11日) トワイライト(149日) 令和4年度 ショート(244日) 平日日帰り(31日) トワイライト(118日) 令和5年度 ショート(304日) 平日日帰り(54日) トワイライト(117日)(見込)		
本年度要求額	9,508	※その他財源の諸収入は、利用者負担金		
総務部長段階査定額	9,508	その他財源の内訳		
市長段階査定額	9,508	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	197	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	5,966			
地方債	0			
その他	197			
一般財源	3,345			
計	9,508			
備考欄				

家015	項目名	子ども家庭支援事業費	新規事業
予算書項目	子ども家庭支援事業費	ページ	209
年度	R6	所 属 名	健康子ども部子ども家庭局 子ども家庭相談センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 子ども家庭相談センター 0857-20-0122		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 改正児童福祉法の施行に併せ、「子育て世代包括支援センター（こそでらす）」と「子ども家庭総合支援拠点（子ども家庭相談センター）」の両機能を組織として一体的に運営する「子ども家庭センター」を設置し、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援の切れ目ない対応など、相談支援体制の強化を図っていく。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 本事業では、児童福祉に関する情報提供を行うとともに、家庭、その他からの相談に応じ、関係機関とも協力しながら必要な支援を行う。 また、児童福祉法に基づく鳥取市要保護児童対策地域協議会を設け、個別支援会議、実務者会議、代表者会議で、関係機関と情報交換や役割分担等の調整を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	16,119	①児童虐待の相談等への対応 ②児童虐待防止のための家庭支援 ③早期母子支援 ④鳥取市要保護児童対策地域協議会の運営 ⑤児童虐待防止市民啓発	
本年度要求額	25,701	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	25,674	令和3年度 通告相談411件、子育て相談ダイヤル113件、早期母子支援34件 令和4年度 通告相談436件、子育て相談ダイヤル 87件、早期母子支援41件 令和5年度 通告相談400件、子育て相談ダイヤル150件、早期母子支援50件（見込）	
市長段階査定額	25,674	【事業の概要】	
区分	本年度予算額	【問合せ先】 子ども家庭相談センター 0857-20-0122	
国・県支出金	20,013	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
地方債	0	【事業の経過及び背景】 家族等の支援が十分に得られず産後の休養がとれなかったり、強い育児不安を抱えた状態で、育児が十分に行えないなど、産後の母子への支援が必要となっている。	
その他	0	【事業の目的及び効果】 安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えるため、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を包括的に行う。	
一般財源	5,661	【事業の内容】	
計	25,674	(1) 母子保健相談支援事業 望まない妊娠であったりメンタル不調や育児不安が強い妊産婦に対して支援を行う。 (2) 産前・産後サポート事業 妊産婦の悩みや子どもの発達・養育等の相談対応、育児に関する啓発用資料の作成を行う。 (3) 産後ケア事業 産後1年未満の産後ケアが必要な母子を対象に、母子ショートステイ、母子デイサービス、母子アウトリーチにより保健指導や育児相談、育児手技等のケアを提供する。	
備考欄		【事業の実績】 令和3年度 母子ショート(64組)、母子デイ(94組) 令和4年度 母子ショート(108組)、母子デイ(139組)、母子アウトリーチ(4組) 令和5年度 母子ショート(198組)、母子デイ(186組)、母子アウトリーチ(5組)（見込）	

家016	項目名	妊娠・出産包括支援事業費	新規事業
予算書項目	子ども家庭支援事業費	ページ	209
年度	R6	所 属 名	健康子ども部子ども家庭局 子ども家庭相談センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 子ども家庭相談センター 0857-20-0122		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 家族等の支援が十分に得られず産後の休養がとれなかったり、強い育児不安を抱えた状態で、育児が十分に行えないなど、産後の母子への支援が必要となっている。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えるため、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を包括的に行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	9,149	(1) 母子保健相談支援事業 望まない妊娠であったりメンタル不調や育児不安が強い妊産婦に対して支援を行う。 (2) 産前・産後サポート事業 妊産婦の悩みや子どもの発達・養育等の相談対応、育児に関する啓発用資料の作成を行う。 (3) 産後ケア事業 産後1年未満の産後ケアが必要な母子を対象に、母子ショートステイ、母子デイサービス、母子アウトリーチにより保健指導や育児相談、育児手技等のケアを提供する。	
本年度要求額	13,058	【事業の実績】 令和3年度 母子ショート(64組)、母子デイ(94組) 令和4年度 母子ショート(108組)、母子デイ(139組)、母子アウトリーチ(4組) 令和5年度 母子ショート(198組)、母子デイ(186組)、母子アウトリーチ(5組)（見込）	
総務部長段階査定額	13,058	【事業の概要】	
市長段階査定額	13,058	【問合せ先】 子ども家庭相談センター 0857-20-0122	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
国・県支出金	6,925	【事業の経過及び背景】 家族等の支援が十分に得られず産後の休養がとれなかったり、強い育児不安を抱えた状態で、育児が十分に行えないなど、産後の母子への支援が必要となっている。	
地方債	0	【事業の目的及び効果】 安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えるため、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援を包括的に行う。	
その他	0	【事業の内容】	
一般財源	6,133	(1) 母子保健相談支援事業 望まない妊娠であったりメンタル不調や育児不安が強い妊産婦に対して支援を行う。 (2) 産前・産後サポート事業 妊産婦の悩みや子どもの発達・養育等の相談対応、育児に関する啓発用資料の作成を行う。 (3) 産後ケア事業 産後1年未満の産後ケアが必要な母子を対象に、母子ショートステイ、母子デイサービス、母子アウトリーチにより保健指導や育児相談、育児手技等のケアを提供する。	
計	13,058	【事業の実績】 令和3年度 母子ショート(64組)、母子デイ(94組) 令和4年度 母子ショート(108組)、母子デイ(139組)、母子アウトリーチ(4組) 令和5年度 母子ショート(198組)、母子デイ(186組)、母子アウトリーチ(5組)（見込）	
備考欄			

家017	項目名	ヤングケアラー支援事業費	新規事業
予算書項目	ヤングケアラー支援事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭相談センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 こども家庭相談センター 0857-20-0122		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 ヤングケアラーは、子どもたちが年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題があるが、家庭内のデリケートな問題、本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくい構造となっている。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 ヤングケアラーに対しては、様々な分野が連携したアウトリーチによる支援が重要であり、教育機関をはじめ、要保護児童対策地域協議会（要対協）を中心とした連携の強化を進め、早期発見と必要な支援につなげていく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ヤングケアラー・コーディネーターの配置 ・関係機関からヤングケアラーが疑われる情報が入った場合に、ヤングケアラー・コーディネーターを中心に、関係機関と連携しながら家庭訪問等により実態を調査し、本人や保護者等との信頼関係を構築しながら提案や助言を行い、適切な支援へつないでいく。 ・地域や学校等において啓発を推進し、該当する子どもの掘り起こしを行う。 ※財源/国庫補助金 補助率：国2/3		
前年度当初予算額	5,751	【事業の実績】 令和4年度 ヤングケアラー・コーディネーター 1名配置 令和5年度 ヤングケアラー・コーディネーター 2名配置	
本年度要求額	5,676		
総務部長段階査定額	5,676	【事業の内容】	
市長段階査定額	5,676	ヤングケアラー・コーディネーターの配置	
区分	本年度予算額	関係機関からヤングケアラーが疑われる情報が入った場合に、ヤングケアラー・コーディネーターを中心に、関係機関と連携しながら家庭訪問等により実態を調査し、本人や保護者等との信頼関係を構築しながら提案や助言を行い、適切な支援へつないでいく。	
財源内訳		地域や学校等において啓発を推進し、該当する子どもの掘り起こしを行う。 ※財源/国庫補助金 補助率：国2/3	
国・県支出金	3,784	【事業の実績】	
地方債	0	令和4年度 ヤングケアラー・コーディネーター 1名配置	
その他	0	令和5年度 ヤングケアラー・コーディネーター 2名配置	
一般財源	1,892		
計	5,676		
備考欄			

家018	項目名	子育て世帯訪問支援事業費	新規事業
予算書項目	子育て世帯訪問支援事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭相談センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 こども家庭相談センター 0857-20-0122		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 ヤングケアラーの問題がクローズアップされるなど、保護者等家族のみで家事・育児を行うことが難しく、社会的な支援が必要な家庭が一定数あることが明らかになってきた。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	13,764	(1) 事業内容 支援対象の家庭を訪問支援員が訪問し、以下の支援を実施する。 ①家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買い物の代行支援等） ②育児支援（保育所等の送迎支援を含む） (2) 支援対象家庭 ①保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童のいる家庭及びそれに該当するおそれのある家庭 ②食事、生活環境等について不適切な養育状態にある家庭等、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童のいる家庭及びそれに該当するおそれのある家庭 ③若年妊婦等、出産後の養育について、出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦のいる家庭 ④その他、市長が特に支援が必要と認めた家庭	
本年度要求額	5,485	※補助率：国1/3、県1/3、市1/3 ※その他財源は、利用者負担金	
総務部長段階査定額	5,485		
市長段階査定額	5,485		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	3,600		
地方債	0		
その他	84		
一般財源	1,801		
計	5,485		
備考欄			

家019	項目名	母子生活支援施設運営費	新規事業
予算書項目	母子生活支援施設運営費	ページ	211
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども家庭相談センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 こども家庭相談センター 0857-20-0122		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 養育困難、DV等事情のある母子家庭の自立を支援するため、安全で安心して暮らせる住居が必要である。		
目 母子生活支援施設費	【事業の目的及び効果】 18歳までの児童を養育するDV等特別な事情のある母子家庭に住居を提供することで、当該家庭が精神的にも経済的にも自立できるよう支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・鳥取市母子生活支援施設「つくし」の運営 20世帯入居可能 平成18年度より(社福)鳥取福祉会に指定管理委託 ※母子生活支援施設措置費(国1/2)		
前年度当初予算額	96,426	【事業の実績】 ※入居世帯数 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
本年度要求額	98,372	※その他財源の負担金は、母子生活支援施設入所者負担金 ※その他財源の使用料は、いのちの電話他行政財産使用料 ※その他財源の諸収入は、母子生活支援施設入所負担金	
総務部長段階査定額	98,372	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
市長段階査定額	98,372	※その他財源の負担金は、母子生活支援施設入所者負担金 ※その他財源の使用料は、いのちの電話他行政財産使用料 ※その他財源の諸収入は、母子生活支援施設入所負担金	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
財源内訳	国・県支出金 33,627	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
	地方債 0	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
	その他 14,788	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
	一般財源 49,957	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
	計 98,372	【事業の実績】 令和3年度末 19世帯 令和4年度末 18世帯 令和5年度末 18世帯(見込)	
備考欄			

家020	項目名	児童発達支援事業費	新規事業
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	209
年度	R6	所属名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 発達支援係 0857-30-8561		
款 民生費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 発達上の困難を抱える児童への適切な相談支援を行うため、保育訪問相談・発達相談・発達検査等を実施する。また、発達支援保育指導委員会の実施等、児童の成長段階に応じた保育相談や家族支援を実施する。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 専任の発達支援コーディネーター及び心理相談員の適切な助言指導により、発達が気かりのある子どもの成長段階に応じた一貫した支援及びその家族の支援を行う。また、広く発達障がいに関する理解、地域への普及啓発のための研修を実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 発達支援コーディネーター3名を配置し、発達相談・親子支援・保育訪問相談を実施。また、保育園等を対象に発達支援保育指導委員会巡回指導等を実施。 ・育ちをつなぐサポートファイル事業 関係機関との情報共有と連携を図るため、就学前から支援の必要な児童専用の保管ファイルを作成・配布し、支援の継続を行うために実施する。		
前年度当初予算額	9,696	【事業の実績】 ①児童発達相談：令和3年度(延1,615件) 令和4年度(延1,603件) 令和5年度(延2,000件)(見込)	
本年度要求額	11,009	②発達支援保育指導委員会判定会議 年1回 対象児童数：令和3年度133人 令和4年度125人 令和5年度129人(見込)	
総務部長段階査定額	11,009	③発達支援保育指導委員会巡回指導 令和3年度：延べ70日 対象児118人×2回 令和4年度：延べ61日 対象児133人×2回 令和5年度：延べ60日 対象児125人×2回	
市長段階査定額	11,009	④こどもの発達支援ネットワーク推進会議 年1回	
区分	本年度予算額	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
財源内訳	国・県支出金 2,000	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
	地方債 0	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
	その他 0	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
	一般財源 9,009	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
	計 11,009	※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援員配置事業)	
備考欄			

家021	項目名	親子通所療育事業費	新規事業																				
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	209																				
年度	R6	所 属 名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略																						
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 主に家庭にいる概ね2～3歳の発達上の困難を抱える児童に対する療育の場が不足している。																						
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 主に家庭にいる2～3歳の発達上の困難を抱える児童に対する発達支援を行うとともに親子遊びを中心とした療育事業を通してその親に対して児童への接し方を伝え、スムーズに就園へ移行できるように支援を行う。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 週1回、5～10組程度の対象親子に対し、保育士及び発達支援コーディネーターによる療育プログラムの実施、保護者への相談支援、交流等を行う。 ※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援事業) 補助率:1/2																						
前年度当初予算額	309	【事業の実績】 令和3年度 開催44回、延べ255組参加 令和4年度 開催44回、延べ185組参加 令和5年度 開催45回、延べ230組参加(見込)																					
本年度要求額	309																						
総務部長段階査定額	309	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	309																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	154																					
	地方債	0																					
	其他	0																					
	一般財源	155																					
	計	309																					
備考欄																							

家022	項目名	小集団療育事業費	新規事業																				
予算書項目	児童発達支援事業費	ページ	209																				
年度	R6	所 属 名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561																						
款 民生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略																						
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 5歳児発達相談以降、就学前(年長児期)の発達上の困難を抱える幼児に対し、子ども同士の関係作りを促したり、行動の自己統制ができるようにしたりする療育の場が不足している。																						
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 主に保育園や幼稚園に在籍し、行動統制に弱さや友達関係等の社会性の未熟さを抱える幼児に対し、小集団療育を通して、対人関係やコミュニケーション力を高め、集団での行動統制が図れるよう支援を促すとともに、保護者に対する児への接し方を伝える機会を提供する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 月2回、1回あたり最大6組の対象親子に対し、保育士及び発達支援コーディネーター等による子どもへの療育プログラムの実施、保護者への相談支援、保護者交流等を行う。 ※財源/鳥取県子育て応援市町村交付金(子育て支援事業) 補助率:1/2																						
前年度当初予算額	232	【事業の実績】 令和3年度 開催12回、延べ53組(延べ106人) 令和4年度 開催10回、延べ29組(延べ58人) 令和5年度 開催8回、延べ40組(延べ80人)(見込)																					
本年度要求額	232																						
総務部長段階査定額	232	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	其他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
其他	0																						
市長段階査定額	232																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	116																					
	地方債	0																					
	其他	0																					
	一般財源	116																					
	計	232																					
備考欄																							

家023	項目名	若草学園管理運営費		新規事業
予算書項目	市立若草学園運営費	ページ	213	所属名
年度	R6	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561			
款 民生費	【1次総の施策体系】1101			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 児童発達支援センター「若草学園」は、平成24年の児童福祉法の改正により、障がい児通所支援サービスを担う通園施設となり、一人ひとりの発達に応じた、集団または個別での療育を提供している。			
目 知的障害児通園施設費	【事業の目的及び効果】 児童発達支援センター「若草学園」を管理・運営し、発達支援の必要な幼児に対し、発達に応じた療育や支援を通じて、将来、地域社会で自立した生活が出来るようになることを目指している。 障がい児福祉サービス等を利用する障がい児について「障がい児支援利用計画」を作成し、定期的にモニタリング等を行うことで児童にあったサービス利用等の相談を行っている。			
(単位：千円)	【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名）			
前年度当初予算額	26,094	【事業の実績】 令和3年度 30名 令和4年度 30名 令和5年度 30名		
本年度要求額	50,562	※その他財源の負担金は、施設給付費負担金 ※その他財源の使用料は、福祉施設使用料 ※その他財源の諸収入は、若草学園給食費収入		
総務部長段階査定額	50,460	【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名）		
市長段階査定額	50,460	【事業の実績】 令和3年度 30名 令和4年度 30名 令和5年度 30名		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名）		
財源内訳	国・県支出金 60	【事業の実績】 令和3年度 30名 令和4年度 30名 令和5年度 30名		
	地方債 0	※その他財源の負担金は、施設給付費負担金 ※その他財源の使用料は、福祉施設使用料 ※その他財源の諸収入は、若草学園給食費収入		
	その他 50,400	【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名）		
	一般財源 0	【事業の実績】 令和3年度 30名 令和4年度 30名 令和5年度 30名		
計	50,460	【事業の内容】 発達支援の必要な概ね満1歳から小学校就学前までの子どもを対象とした通園事業を実施している。 通園児童数（定員30名）		
備考欄				

家024	項目名	障害児等地域療育支援事業費		新規事業
予算書項目	障害児等地域療育支援事業費	ページ	213	所属名
年度	R6	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】発達支援係 0857-30-8561			
款 民生費	【1次総の施策体系】1101			
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 在宅の発達上の困難を抱える児童に対して専門指導による発達支援を行うもの。			
目 知的障害児通園施設費	【事業の目的及び効果】 在宅の発達に困難を抱える児童の生活支援のため、身近な地域で療育指導を受け、相談ができるよう療育環境を構築し、児童の発達支援の向上・充実を図るもの。			
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 訪問療育等指導事業：家庭訪問、外来による相談、指導 (2) 外来療育支援事業：担当職員による小集団での外来療育 (3) 施設支援指導事業：保育園等への療育に関する技術指導			
前年度当初予算額	5,845	【事業の実績】 ・訪問療育指導：令和3年度 19件 令和4年度 20件 令和5年度 20件（見込） ・外来相談：令和3年度 44件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込） ・外来療育指導：令和3年度 631件 令和4年度 351件 令和5年度 670件（見込） ・施設支援指導：令和3年度 45件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込）		
本年度要求額	6,441	＜財源＞ ※鳥取県子育て応援市町村交付金（子育て支援事業） 補助率：1/2 ※鳥取県障がい児等地域療育支援事業委託料 ※児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金（地域障害児支援体制強化事業）		
総務部長段階査定額	6,441	【事業の内容】 (1) 訪問療育等指導事業：家庭訪問、外来による相談、指導 (2) 外来療育支援事業：担当職員による小集団での外来療育 (3) 施設支援指導事業：保育園等への療育に関する技術指導		
市長段階査定額	6,441	【事業の実績】 ・訪問療育指導：令和3年度 19件 令和4年度 20件 令和5年度 20件（見込） ・外来相談：令和3年度 44件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込） ・外来療育指導：令和3年度 631件 令和4年度 351件 令和5年度 670件（見込） ・施設支援指導：令和3年度 45件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込）		
区分	本年度予算額	＜財源＞ ※鳥取県子育て応援市町村交付金（子育て支援事業） 補助率：1/2 ※鳥取県障がい児等地域療育支援事業委託料 ※児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金（地域障害児支援体制強化事業）		
財源内訳	国・県支出金 2,343	【事業の内容】 (1) 訪問療育等指導事業：家庭訪問、外来による相談、指導 (2) 外来療育支援事業：担当職員による小集団での外来療育 (3) 施設支援指導事業：保育園等への療育に関する技術指導		
	地方債 0	【事業の実績】 ・訪問療育指導：令和3年度 19件 令和4年度 20件 令和5年度 20件（見込） ・外来相談：令和3年度 44件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込） ・外来療育指導：令和3年度 631件 令和4年度 351件 令和5年度 670件（見込） ・施設支援指導：令和3年度 45件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込）		
	その他 4,098	※鳥取県子育て応援市町村交付金（子育て支援事業） 補助率：1/2 ※鳥取県障がい児等地域療育支援事業委託料 ※児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金（地域障害児支援体制強化事業）		
	一般財源 0	【事業の内容】 (1) 訪問療育等指導事業：家庭訪問、外来による相談、指導 (2) 外来療育支援事業：担当職員による小集団での外来療育 (3) 施設支援指導事業：保育園等への療育に関する技術指導		
計	6,441	【事業の実績】 ・訪問療育指導：令和3年度 19件 令和4年度 20件 令和5年度 20件（見込） ・外来相談：令和3年度 44件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込） ・外来療育指導：令和3年度 631件 令和4年度 351件 令和5年度 670件（見込） ・施設支援指導：令和3年度 45件 令和4年度 53件 令和5年度 50件（見込）		
備考欄				

家025	項目名	インクルーシブ教育システム推進事業費	新規事業
------	-----	--------------------	------

予算書項目	インクルーシブ教育システム推進事業費	ページ	277
-------	--------------------	-----	-----

所 属 名	健康こども部こども家庭局 こども発達支援センター
-------	-----------------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	教育振興費

事業の概要

【問合せ先】 特別支援教育係 0857-30-8562

【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
最近の動向として、障がいの重度・重複化や多様化、発達障がい等の児童生徒への対応や合理的配慮、早期からの支援体制整備に関する要望が高まっている。

【事業の目的及び効果】
特別な支援を必要とする可能性のある子どもに対し、就学前から就学に関する情報提供や相談会の実施等に取り組む。柔軟できめ細やかな対応ができる就学相談員を配置し、早期からの就学相談・支援の充実を図る。

【事業の内容】

①切れ目ない支援体制整備
教育と福祉が一体となり、対象児の就学移行支援に向けて協議検討を行うとともに、小学校への円滑な移行を進めるための啓発パンフレットの作成等を行う。

②就学相談員の配置
就学相談に関わる専門のスタッフ（就学相談員）をこども発達支援センターに配置し、就学支援の充実を図るとともに、教育と保育、福祉、保健、医療などの連携の推進、また情報収集を行いながらの各機関の連絡・調整などを行う。

③就学前小集団活動（にじのきょうしつ）
新しい生活に不安が大きい子どもに対し、小学校入学時に必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、学校生活への不安軽減を図り安心して就学を迎えるための支援を行う。

④外部専門家による助言指導
就学後、特別な配慮を必要とする児童・生徒の生活上の困難に対する発達理解を促すため、学校訪問等により心理士による教員等への助言指導を行う。
※財源／教育支援体制整備事業費補助金（切れ目ない支援体制整備充実事業）
補助率：1/3

【事業の実績】

- ・相談件数 令和3年度 762件 令和4年度 765件 令和5年度 854件（見込）
- ・参加延人数 令和3年度 79人 令和4年度 150人 令和5年度 140人（見込）

(単位：千円)

前年度当初予算額	6,530
----------	-------

本年度要求額	7,502
--------	-------

総務部長段階査定額	7,502	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

市長段階査定額	7,502	分担金	0
---------	-------	-----	---

区分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
国・県支出金	160								
地方債	0								
その他	0								
一般財源	7,342								
計	7,502								

備考欄	
-----	--

保001	項目名	災害医療対策費	新規事業
予算書項目	医療行政費	ページ	229
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 県東部圏域（1市4町）を所管する保健所として、災害時の医療救護活動に備え、救急医薬品等を備蓄するほか、本市との協定に基づき被災地で医療救護活動を行う関係団体の方の受傷等に備え、損害保険に加入する。また、被災者支援を担う職員の資質向上を図るため、平時から災害に備えた訓練・研修受講を促進する。		
目 医務費	【事業の目的及び効果】 救急医薬品等の備蓄、被災地での活動に従事される方の損害保険加入により、災害時の医療救護活動に備える。また、災害対応訓練及びDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）関連研修への参加により職員の資質向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難訓練への参加 ・災害医療コーディネーター会議、災害時の保健所の役割に関する研修会等の開催 ・災害医療用PC、Wi-Fiの更新		
前年度当初予算額	301	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
本年度要求額	1,393	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
総務部長段階査定額	1,393	【事業の内容】 ・DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難訓練への参加 ・災害医療コーディネーター会議、災害時の保健所の役割に関する研修会等の開催 ・災害医療用PC、Wi-Fiの更新	
市長段階査定額	1,393	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・DHEAT養成研修、鳥取空港消火救難訓練への参加 ・災害医療コーディネーター会議、災害時の保健所の役割に関する研修会等の開催 ・災害医療用PC、Wi-Fiの更新	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
その他	988	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
一般財源	405	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
計	1,393	【事業の実績】 令和3年度 鳥取空港消火救難訓練 ※Web図上訓練（8名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和4年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練 ※エマルゴ訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回 令和5年度 DHEAT養成研修：（基礎編）Web開催（2名） 鳥取空港消火救難訓練（10名） 透析医療関係者意見交換会：1回	
備考欄			

保002	項目名	中山間地域の医療人材確保対策事業費	新規事業
予算書項目	中山間地域の医療人材確保対策事業費	ページ	229
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8522		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1302		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 中山間地域の医療提供体制を維持していくため、地域や医療機関の多様なニーズに対応することができる「総合診療医」を今後さらに確保していく必要がある。具体的には、県が地域医療に貢献する人材育成等を目的に鳥取大学医学部に寄附講座として設置している地域医療学講座において取り組むこととし、本寄附講座の体制拡充に対し、関係する町とともに支援し、総合診療医の育成・確保を図る。		
目 医務費	【事業の目的及び効果】 鳥取大学医学部地域医療学講座へ総合診療医の育成・確保対策を担う専任ポストを設け臨床研修医のリクルート活動、専攻医の指導強化、関係病院と連携した研修等に取り組む。一人でも多くの総合診療医を育成し、中山間地域を担う公立病院・診療所への派遣を推進していくことにより、医療提供体制の維持を図ることを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円		
前年度当初予算額	0	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円	
本年度要求額	1,000	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	1,000	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円	
市長段階査定額	1,000	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	1,000	【事業の内容】 県〔鳥取大学医学部地域医療学講座〕 総合診療医確保対策強化事業の一部を負担 （内容）専任ポスト助教人件費・活動費 12,000千円 県1/2、関係6市町1/2 （本市負担額）1,000千円	
計	1,000	【事業の実績】	
備考欄			

保003	項目名	ひきこもり対策支援事業費	新規事業
予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	201
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】心の健康支援室 0857-22-5616		
款 民生費	【1次総の施策体系】1301		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 ひきこもりの相談件数が年々増加していること、同居家族の高齢化が進む中、当事者の面会までには至らないケースも多くあり、同居家族の支援が急務となっていた。このため、平成28年度より障がい福祉課にて家族教室が開催されてきた。また、令和元年度に相談対応及び関係機関との連絡調整を行う専門相談員を設置した。		
目 障害者自立支援事業費	【事業の目的及び効果】 ひきこもり状態にある当事者や家族の相談支援に対応するために体制を整備する。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 6,597	・ひきこもり家族教室 ひきこもりに悩んでいる家族を対象に、医師等による講演・交流会を実施		
本年度要求額 7,252	・ひきこもり支援担当者会（市、町保健師を対象）		
総務部長段階査定額 7,252	・ひきこもり対策支援相談員設置事業（委託先：NPO法人青少年ピアサポート） （地域におけるアウトリーチ支援等推進事業：国10/10）		
市長段階査定額 7,252	・ひきこもりサポート事業（委託先：NPO法人青少年ピアサポート） 支援拠点の設置及び情報発信（ひきこもり対策推進事業：国1/2）		
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 4,301	ひきこもり家族教室	
地方債 0	地方債 0	令和3年度 年8回（実 17家族 19人、延 62家族 71人）	
その他 12	寄付金 0	令和4年度 年10回（実 21家族 23人、延 28家族 27人）	
一般財源 2,939	繰入金 0	令和5年度（見込）年11回（実 25家族 30人、延 50家族 55人）	
計 7,252	雑収入 12	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
	その他 0		
備考欄			

保004	項目名	夜間休日急患診療所運営委託費等	新規事業
予算書項目	夜間休日急患診療所運営委託費等	ページ	219
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】医事業事係 0857-30-8531		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 夜間、休日の1次診療体制を整備する。		
目 保健衛生総務費	【事業の目的及び効果】 日々、夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が診察を受けられるよう、急患診療所の運営を鳥取県東部医師会へ委託し、住民サービスの向上を図る。また1次救急患者の受入れ促進を図り、2次および3次救急体制の負担軽減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額 40,758	夜間、休日等における急患診療体制を整備する。		
本年度要求額 40,722	・委託先：鳥取県東部医師会		
総務部長段階査定額 40,722	・診療科目：内科、小児科		
市長段階査定額 40,722	・診察時間：夜間…通年（365日）午後7時から午後10時まで 休日…日曜日及び祝日並びに8月13日から8月15日、12月30日から翌年の1月3日 午前9時から午後5時まで		
区分	本年度予算額	・実施場所：東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1）	
財源内訳	国・県支出金 0	【事業の実績】	
地方債 0	地方債 0	令和2年度 休日昼間 2,674人 夜間 3,235人	
その他 15,290	寄付金 0	令和3年度 休日昼間 3,375人 夜間 4,086人	
一般財源 25,432	繰入金 15,290	令和4年度 休日昼間 5,811人 夜間 7,129人	
計 40,722	雑収入 0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
	その他 0		
備考欄			

保005	項目名	休日急患歯科診療所運営費負担金		新規事業
予算書項目	休日急患歯科診療所運営費負担金	ページ	219	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 医事業事係 0857-30-8531			
款 衛生費	【1次総の施策体系】 1302			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成19年度より県東部広域行政管理組合へ委託業務の事務移管が行われ、委託料等総額の按分による負担金を東部各市町より東部広域へ支出。 按分率は利用実績8：人口2			
目 保健衛生総務費	【事業の目的及び効果】 休日等の歯科診療を充実させ、市民サービスの向上に努める。			
(単位：千円)	【事業の内容】 休日等において歯科診療が受けられる体制を整備する。 ・委託先：鳥取県東部歯科医師会 ・診療日：日曜日及び祝日等の休日並びに8月13日から8月15日まで及び12月30日から翌年の1月3日まで ・診療時間：午前10時から午後4時まで ・診療場所：休日急患歯科診療所（歯科技工専門学校内）（鳥取市富安2丁目84番地） ・令和6年度：機器更新予定			
前年度当初予算額	1,465	【事業の実績】 令和2年度 617人（鳥取市：520人、市外：97人） 1,443千円（運営費負担金） 令和3年度 573人（鳥取市：474人、市外：99人） 1,467千円（運営費負担金） 令和4年度 594人（鳥取市：479人、市外：115人） 1,465千円（運営費負担金）		
本年度要求額	3,294			
総務部長段階査定額	3,294	【事業の内容】		
市長段階査定額	3,294	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
国・県支出金	0	【事業の実績】		
地方債	0	【事業の内容】		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	3,294	【事業の内容】		
計	3,294	【事業の実績】		
備考欄				

保006	項目名	自死対策強化事業費		新規事業
予算書項目	自死対策強化事業費	ページ	221	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 心の健康支援室 0857-22-5616			
款 衛生費	【1次総の施策体系】 1301 ●実施計画			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 自死に対するセーフティネットとして、地域や関係機関との連携の強化が緊急の課題となっている。自死のさらなる減少を目指し継続的な施策が必要である。			
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 国は都道府県に平成21年から5年間の予定で「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。これを受け、本市でも各種事業を継続実施している。			
(単位：千円)	【事業の内容】 心の健康・自死予防に関する普及啓発、ゲートキーパー養成研修、自死対策研修会の開催、心の健康相談等を実施。			
前年度当初予算額	576	【事業の実績】 令和3年度 ・ゲートキーパー養成研修、パネル展示・チラシ配布等による啓発 ・鳥取いのちの電話へパソコンリース補助 ・こころの体温計（Web上での簡易ストレス診断） 令和4年度 ・ゲートキーパー養成研修、パネル展示・チラシ配布等による啓発 ・鳥取いのちの電話へパソコンリース補助 ・こころの体温計（Web上での簡易ストレス診断） ・自死予防研修会 令和5年度 ・ゲートキーパー養成研修、パネル展示・チラシ配布等による啓発 ・鳥取いのちの電話へパソコンリース補助 ・こころの体温計（Web上での簡易ストレス診断） ・自死予防研修会 ・第2期自死予防計画の一部見直し		
本年度要求額	595			
総務部長段階査定額	595	【事業の内容】		
市長段階査定額	595	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
国・県支出金	322	【事業の実績】		
地方債	0	【事業の内容】		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	273	【事業の内容】		
計	595	【事業の実績】		
備考欄				

保007	項目名	A類疾病予防接種費		新規事業
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	223	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 感染症・疾病対策係 0857-30-8640 【1次総の施策体系】 1302			
款 衛生費	【事業の経過及び背景】 予防接種法第2条第2項（A類疾病の指定）、第5条第1項（定期予防接種の実施）、 予防接種法施行令第1条の3（定期予防接種を行う疾病及び対象者）に基づき、予防接種 を実施する。			
項 保健衛生費	【事業の目的及び効果】 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生 の向上及び増進に寄与することを目的とする。			
目 予防費	【事業の内容】 HPVワクチン接種の積極的勧奨を差し控えていた期間に、接種機会を逃した世代の救 済措置として、令和4年度からキャッチアップ接種を実施している。本制度は令和6年度が 最終年度となるため、受け忘れがないよう様々な方法で広報・啓発を実施する。 その他、予防接種法に基づき、安全かつ適正に予防接種を実施していく。 ・委託先：鳥取県東部医師会会員が開設・管理する医療機関等			
(単位：千円)	【事業の実績】			
前年度当初予算額	590,346	○主な定期予防接種実施件数		
本年度要求額	592,551	[令和3年度]	[令和4年度]	[令和5年度(9月末)]
総務部長段階査定額	590,018	2,902件	2,841件	1,276件
市長段階査定額	590,018	四種混合 5,158件	4,929件	2,525件
区分	本年度予算額	MR1期 1,274件	1,231件	551件
国・県支出金	3,072	MR2期 1,528件	1,387件	879件
地方債	0	日本脳炎 3,588件	7,317件	2,991件
その他	32,157	HPV(通常) 796件	1,179件	548件
一般財源	554,789	HPV(キャッチアップ) ー	1,322件	921件
計	590,018	風しん第5期 484件	281件	69件
備考欄	○事業費 令和3年度 402,374千円 令和4年度 454,351千円 令和5年度 498,855千円(見込)			
	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

保008	項目名	B類疾病予防接種費		新規事業
予算書項目	感染症予防接種費	ページ	223	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 保健医療課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 感染症・疾病対策係 0857-30-8640 【1次総の施策体系】 1302			
款 衛生費	【事業の経過及び背景】 B類疾病の定期接種は、インフルエンザと高齢者の肺炎球菌感染症が対象疾病であり、 インフルエンザについては、接種費用の助成を重度の心身障がい者(児)と生後6か月か ら小学6年生までの小児に拡大し実施している。また、令和6年度から新型コロナが追加 される。			
項 保健衛生費	【事業の目的及び効果】 個人の発病又はその重症化を防止し、併せてそのまん延予防に資することを目的とし、 接種を希望する市民に行う。接種費用の負担軽減を図り併せて接種体制を整えることで、 市民の健康管理を支援する。			
目 予防費	【事業の内容】(対象者)			
(単位：千円)	○インフルエンザ予防接種			
前年度当初予算額	173,357	①65歳以上		
本年度要求額	499,484	②60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等		
総務部長段階査定額	317,149	③重度の心身障がい者及び重症心身障がい児		
市長段階査定額	317,149	④生後6か月以上から小学6年生までの小児		
区分	本年度予算額	○高齢者肺炎球菌感染症予防接種		
国・県支出金	0	65歳の者及び上記②		
地方債	0	○新型コロナ予防接種		
その他	4,834	上記①及び②		
一般財源	312,315	【事業の実績】		
計	317,149	接種者数(接種率)	高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
備考欄	令和3年度 36,967人(66.0%) 1,912人(24.8%)			
	令和4年度 36,597人(65.0%) 1,690人(20.8%)			
	令和5年度(見込) 36,919人(65.5%) 1,906人(22.8%)			
	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金			

保009	項目名	感染症対策推進事業費	新規事業
予算書項目	感染症予防費	ページ	223
年度	R6	所 属 名	
		健康こども部鳥取市保健所 保健医療課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-30-8533		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1302 ●実施計画		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、感染症発生に備えた危機管理体制の整備、感染症発生動向の調査・検査、感染症患者に対する適切な医療の提供等を行う必要がある。 2023年5月に新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、感染者はいまなお多く発生している。また、対策の緩和に伴い近年発生が減少していたインフルエンザや感染性胃腸炎、蚊が媒介する感染症(日本紅斑熱・SFTS)などへの対応も増加している。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知し適切な予防活動を実施する。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	606,136	(1) 感染症予防事業 感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。 ・感染症対策看護師による検査及び指導等(会計年度任用職員 通年1人配置) ・感染症診察協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備(更新・補充)	
本年度要求額	25,503	(2) 感染症発生動向調査事業 医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。 また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。 ・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託 ・特定感染症(HTLV-1)等検査事業	
総務部長段階査定額	11,759	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
市長段階査定額	11,759	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知し適切な予防活動を実施する。	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
国・県支出金	2,756	(1) 感染症予防事業 感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。 ・感染症対策看護師による検査及び指導等(会計年度任用職員 通年1人配置) ・感染症診察協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備(更新・補充)	
地方債	0	(2) 感染症発生動向調査事業 医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。 また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。 ・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託 ・特定感染症(HTLV-1)等検査事業	
その他	287	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
一般財源	8,716	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知し適切な予防活動を実施する。	
計	11,759	【事業の内容】	
分担金	0	(1) 感染症予防事業 感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。 ・感染症対策看護師による検査及び指導等(会計年度任用職員 通年1人配置) ・感染症診察協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備(更新・補充)	
負担金	0	(2) 感染症発生動向調査事業 医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。 また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。 ・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託 ・特定感染症(HTLV-1)等検査事業	
使用料	0	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
手数料	0	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知し適切な予防活動を実施する。	
財産収入	0	【事業の内容】	
寄付金	0	(1) 感染症予防事業 感染症発生時の危機管理体制の整備、感染症患者に対する適切な医療提供を図る。 ・感染症対策看護師による検査及び指導等(会計年度任用職員 通年1人配置) ・感染症診察協議会の開催 ・感染症患者の医療費公費負担 ・研修会の開催 ・訓練の実施、個人防護具備蓄品の整備(更新・補充)	
繰入金	0	(2) 感染症発生動向調査事業 医療機関等と協力し、感染症発生状況の把握・調査を行う。 また、感染症発生時は感染源の調査や病原体の検査を行い、感染拡大防止等を図る。 ・鳥取県衛生環境研究所検査委託 ・病原体定点検体回収業務委託 ・特定感染症(HTLV-1)等検査事業	
贈収入	287	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
その他	0	【事業の目的及び効果】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知し適切な予防活動を実施する。	
備考欄			

保010	項目名	小児慢性特定疾病対策等事業費	新規事業
予算書項目	小児慢性特定疾病対策等事業費	ページ	209
年度	R6	所 属 名	
		健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 民生費	【1次総の施策体系】1301		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い県から移管。昭和49年から平成26年まで小児慢性特定疾患治療研究事業を実施、平成27年1月から小児慢性特定疾病医療費助成制度を開始、令和4年4月から小児慢性特定疾病交通費助成制度を開始している。対象疾病:788疾病(令和3年11月1日時点)		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 慢性疾患により長期にわたり治療が必要となる児童等の健全な育成及び患者家族の医療費等の負担軽減を図るため、医療費助成を行う。また、自立支援事業により、小児慢性特定疾病児童等及びその家族の相談に応じ、必要な情報提供や助言、関係機関との連絡調整を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	62,068	(1) 医療費助成(所得に応じた自己負担額あり)	
本年度要求額	67,068	(2) 自立支援事業	
総務部長段階査定額	62,408	(3) 県外受診交通費助成(距離要件等あり)	
市長段階査定額	62,408	(4) 児童等長期入院時付添支援【新規】 治療のため児童が長期入院する場合の保護者の付き添いに要する費用について支援を行う。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	26,687	令和3年度	令和4年度
地方債	0	214名	224名
その他	7,995	(市184、4町30)	(市197、4町27)
一般財源	27,726	交通費助成	63件
計	62,408	令和5年度(見込)	221名
分担金	0		(市191、4町30)
負担金	0		60件
使用料	0	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
手数料	0	【事業の目的及び効果】 慢性疾患により長期にわたり治療が必要となる児童等の健全な育成及び患者家族の医療費等の負担軽減を図るため、医療費助成を行う。また、自立支援事業により、小児慢性特定疾病児童等及びその家族の相談に応じ、必要な情報提供や助言、関係機関との連絡調整を行う。	
財産収入	0	【事業の内容】	
寄付金	0	(1) 医療費助成(所得に応じた自己負担額あり)	
繰入金	0	(2) 自立支援事業	
贈収入	7,995	(3) 県外受診交通費助成(距離要件等あり)	
その他	0	(4) 児童等長期入院時付添支援【新規】 治療のため児童が長期入院する場合の保護者の付き添いに要する費用について支援を行う。	
備考欄			

保011	項目名	施設管理費	新規事業
予算書項目	施設管理費	ページ	219
年度	R6	所 属 名	
		健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】健康づくり係 0857-30-8581		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1301		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 市民の健康づくりの推進及び自主的な保健活動の振興に資するため、用瀬・佐治・気高・鹿野地域に保健センターを、国府地域と鳥取地域の一部市民を対象に鳥取東保健センターを設置している。		
目 保健衛生総務費	【事業の目的及び効果】 各保健センターの適切な維持管理をすることにより、保健事業のスムーズな運営を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 各保健センターの維持管理、鹿野保健センター外壁・屋根改修		
前年度当初予算額	64,329	【事業の実績】 令和3年度 81,041千円 令和4年度 61,897千円 令和5年度 64,329千円（見込）	
本年度要求額	133,537	※その他財源の使用料は、施設使用料 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、光熱水費等負担金	
総務部長段階査定額	131,548	その他財源の内訳	
市長段階査定額	131,548	分担金	0
		負担金	0
		使用料	151
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	7,507
		贈収入	7,277
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	65,100		
その他	14,935		
一般財源	51,513		
計	131,548		
備考欄			

保012	項目名	健康診査費	新規事業
予算書項目	健康増進事業費	ページ	219
年度	R6	所 属 名	
		健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 健康増進法に基づく取り組みとして、がん対策は国をあげて推進していくこととされている。特に働く世代のがん罹患は社会に与える影響が大きく、受診率向上のための取り組み推進、対策強化が必要となっている。		
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 がん検診、健康診査等の受診により健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 個別健診及び集団健診による健康診査、がん検診等の実施。 期間：令和6年6月から令和7年2月末まで		
前年度当初予算額	438,901	【事業の実績】 ・69歳以下の受診率 ※国基準、子宮・乳は2年に1回の受診率	
本年度要求額	452,046	令和3年度 [胃] 31.4% [肺] 31.0% [大腸] 33.5% [子宮] 58.6% [乳] 49.5%	
総務部長段階査定額	444,641	令和4年度 35.5% 34.4% 37.1% 71.3% 61.1%	
市長段階査定額	444,641	令和5年度（見込） 35.0% 34.0% 37.0% 72.0% 61.5%	
		・受診者数 [健康診査] [高齢者健診] [肝炎ウイルス]	
		令和3年度 296人 5,569人 1,310人	
		令和4年度 293人 5,636人 1,189人	
		令和5年度（見込） 300人 5,800人 1,200人	
		※その他財源の負担金は、後期高齢者健康診査負担金 ※その他財源の諸収入は、各種健診一部自己負担金	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	11,974		
地方債	0		
その他	47,845		
一般財源	384,822		
計	444,641		
備考欄			

保013	項目名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費			新規事業																				
予算書項目	健康増進事業費	ページ	219	所属名																					
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課																							
会計名	事業の概要																								
一般会計	【問合せ先】健康づくり係 0857-30-8581																								
款 衛生費	【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																								
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 糖尿病等の生活習慣病は自覚症状がなく進行し、現在の我が国における死亡や要介護状態となること等の主な原因の一つにもなっている。本市でも同様であり、その対策が急務である。第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）等に基づき、特定保健指導対象者以外の人の保健指導についても、より適切かつ効果的に保健指導を実施することが必要である。																								
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 健康増進法に基づき、健康教育、健康相談、訪問指導を実施し適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病及び介護を要する状態になることを予防し、健康づくりを支援する。																								
(単位：千円)	【事業の内容】 生活習慣病予防や介護予防にかかる健康教育、健康相談、訪問指導の実施																								
前年度当初予算額	11,324	【事業の実績】																							
本年度要求額	8,845	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>健康教育</th> <th>健康相談</th> <th>訪問指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10,956千円</td> <td>254回</td> <td>169回</td> <td>436人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>11,343千円</td> <td>343回</td> <td>216回</td> <td>586人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（見込）</td> <td>11,324千円</td> <td>300回</td> <td>200回</td> <td>500人</td> </tr> </tbody> </table>					決算額	健康教育	健康相談	訪問指導	令和3年度	10,956千円	254回	169回	436人	令和4年度	11,343千円	343回	216回	586人	令和5年度（見込）	11,324千円	300回	200回	500人
	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導																					
令和3年度	10,956千円	254回	169回	436人																					
令和4年度	11,343千円	343回	216回	586人																					
令和5年度（見込）	11,324千円	300回	200回	500人																					
総務部長段階査定額	8,845	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																									
分担金	0																								
負担金	0																								
使用料	0																								
手数料	0																								
財産収入	0																								
寄付金	0																								
繰入金	0																								
贈収入	0																								
その他	0																								
市長段階査定額	8,845	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>国・県支出金</td><td>1,069</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>其他</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,776</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,845</td></tr> </tbody> </table>				区分	本年度予算額	国・県支出金	1,069	地方債	0	其他	0	一般財源	7,776	計	8,845								
区分	本年度予算額																								
国・県支出金	1,069																								
地方債	0																								
其他	0																								
一般財源	7,776																								
計	8,845																								
備考欄																									

保014	項目名	栄養改善指導事業費			新規事業																				
予算書項目	食育活動等推進事業費	ページ	219	所属名																					
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課																							
会計名	事業の概要																								
一般会計	【問合せ先】食育推進係 0857-30-8582																								
款 衛生費	【1次総の施策体系】1301																								
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 中核市移行に伴い、特定給食施設等指導、栄養改善事業、健康栄養調査業務、食品表示の指導業務が移譲されたため、これらの円滑な業務執行を図る。																								
目 健康対策費	【事業の目的及び効果】 (1) 特定給食施設等が適切な栄養管理を行うよう指導等を行う。 (2) 施設及び在宅において栄養管理が必要な市民等に対し安心して暮らせるための栄養管理情報の相互提供を医療、福祉、在宅の管理栄養士や他職種間で行い、地域包括ケアシステムによる体制整備を行う。 (3) 国民の身体状況及び栄養摂取量、生活習慣の状況を明らかにするための調査を行う。 (4) 広告等の誇大表示や栄養成分表示についての相談、指導を行い表示の適正化を図る。																								
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 特定給食施設等の栄養管理の状況把握や指導及び助言。研修会の開催。 (2) 栄養管理情報に関するツール作成、施設への周知。研修会の開催。 (3) 国民健康・栄養調査実施単位区（4単位区）が該当予定（拡大調査）。 (4) 食品事業所等への周知や相談対応、不適切な表示に対する措置。																								
前年度当初予算額	2,610	【事業の実績】																							
本年度要求額	5,243	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>健康栄養調査</th> <th>特定給食施設指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,025千円</td> <td>国民及び県民</td> <td>4地区内定後中止</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,827千円</td> <td>国民・該当なし</td> <td>県民・4地区実施</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（見込）</td> <td>460千円</td> <td>国民・該当なし</td> <td>県民・非該当年</td> </tr> </tbody> </table>					決算額	健康栄養調査	特定給食施設指導	令和3年度	2,025千円	国民及び県民	4地区内定後中止	令和4年度	1,827千円	国民・該当なし	県民・4地区実施	令和5年度（見込）	460千円	国民・該当なし	県民・非該当年				
	決算額	健康栄養調査	特定給食施設指導																						
令和3年度	2,025千円	国民及び県民	4地区内定後中止																						
令和4年度	1,827千円	国民・該当なし	県民・4地区実施																						
令和5年度（見込）	460千円	国民・該当なし	県民・非該当年																						
総務部長段階査定額	5,243	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>1,115</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	1,115	その他	0
其他財源の内訳																									
分担金	0																								
負担金	0																								
使用料	0																								
手数料	0																								
財産収入	0																								
寄付金	0																								
繰入金	0																								
贈収入	1,115																								
その他	0																								
市長段階査定額	5,243	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>国・県支出金</td><td>3,732</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td></tr> <tr><td>其他</td><td>1,115</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>396</td></tr> <tr><td>計</td><td>5,243</td></tr> </tbody> </table>				区分	本年度予算額	国・県支出金	3,732	地方債	0	其他	1,115	一般財源	396	計	5,243								
区分	本年度予算額																								
国・県支出金	3,732																								
地方債	0																								
其他	1,115																								
一般財源	396																								
計	5,243																								
備考欄	※其他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金																								

保015	項目名	母子保健訪問指導事業費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	母子保健訪問指導事業費	ページ	221
-------	-------------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
-----	---------------------------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

事業の概要

【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584

【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン

【事業の経過及び背景】
子どもの健やかな成長と子育てを支援するために、母子保健法及び児童福祉法に基づいて産婦及び新生児の訪問指導を実施している。平成25年4月1日に未熟児訪問指導が県から市へ移譲となっている。

【事業の目的及び効果】
保健師及び母子保健推進員が産婦及び新生児の家庭を訪問し保健指導を行うことにより、子育てに関する不安を軽減し、その後の適切な育児へとつなげる。低出生体重児は医療機関で治療を継続していることも多く、体調の変化等保護者の不安が大きくなる場合もあるため、児と保護者に適切な療育指導を行うとともに寄り添いながら不安を軽減し切れ目のない支援を行う。

【事業の内容】
母子保健法に基づく新生児訪問指導とあわせて「こんにちは赤ちゃん事業」として、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談等に応じた、情報提供を行う。
(委託先)母子保健推進員 13名

【事業の実績】

	決算額	訪問件数	
		産婦	新生児
令和3年度	4,426千円	1,304人	1,310人
令和4年度	4,269千円	1,290人	1,290人
令和5年度(見込)	4,058千円	1,200人	1,200人

前年度当初予算額	3,967
----------	-------

本年度要求額	3,963
--------	-------

総務部長段階査定額	3,963	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,963	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	2,642		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,321		
計	3,963		

備考欄	
-----	--

保016	項目名	妊婦健康診査費	新規事業
------	-----	---------	------

予算書項目	妊産婦健康診査費	ページ	221
-------	----------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
-----	---------------------------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

事業の概要

【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584

【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
近年、出産年齢の上昇等により、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあるとともに、経済的な理由等により、健康診査を受診しない妊婦も見られることから、母体や胎児の健康確保を図る上で、妊婦に対する健康診査の重要性が一層高まっている。

【事業の目的及び実績】
妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦健康診査を受けやすくし、安心して出産をむかえられるよう支援する。

【事業の内容】
おやこ健康手帳(母子健康手帳)交付時に合わせて妊婦一般健康診査受診票を交付する。交付枚数:妊娠全期を通して14枚(多胎の場合は5枚追加交付)
クラミジア検査 1枚

【事業の実績】

	決算額	妊婦一般健康診査		多胎妊娠妊婦健康診査	
		延人数	延人数	延人数	延人数
令和3年度	126,270千円	17,385人	0人	0人	0人
令和4年度	125,766千円	17,294人	2人	2人	2人
令和5年度(見込)	108,675千円	15,320人	4人	4人	4人

前年度当初予算額	129,062
----------	---------

本年度要求額	128,945
--------	---------

総務部長段階査定額	128,756	その他財源の内訳	
市長段階査定額	128,756	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	10		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	128,746		
計	128,756		

備考欄	
-----	--

保017	項目名	産後健康診査費	新規事業
予算書項目	妊産婦健康診査費	ページ	221
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 社会背景が変化する中で育児の孤立化や出産年齢の高齢化が進んでいる。それに伴い、産婦の心身の負担が増え、産後うつ及び新生児期の虐待死が問題となっている。産後早期からの支援の重要性が高まり、すべての産婦が健診を受けられる体制を整備し、産婦健診を実施する自治体が増加している。また、令和元年度から産後4週間健診を実施し、令和2年度から産後2週間健診も実施している。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 出産後間もない時期の産婦の健康診査費用を助成することで、すべての産婦が健診を受けやすい体制を整備する。また、産後健診を実施することで、産後初期の段階の母子の支援を強化し、産後うつ及び新生児虐待の予防を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 おやこ健康手帳（母子健康手帳）交付時に合わせて産後健康診査受診票を交付し、産科医療機関で産後健診を受ける。		
前年度当初予算額	10,321	【事業の実績】	
本年度要求額	12,620	令和3年度 受診者 2,206人（延） 県外受診者 46人（延） 令和4年度 受診者 2,439人（延） 県外受診者 73人（延） 令和5年度（見込） 受診者 2,259人（延） 県外受診者 67人（延）	
総務部長段階査定額	12,112	【事業の内容】	
市長段階査定額	12,112	おやこ健康手帳（母子健康手帳）交付時に合わせて産後健康診査受診票を交付し、産科医療機関で産後健診を受ける。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	5,925	令和3年度 受診者 2,206人（延） 県外受診者 46人（延） 令和4年度 受診者 2,439人（延） 県外受診者 73人（延） 令和5年度（見込） 受診者 2,259人（延） 県外受診者 67人（延）	
地方債	0	【事業の内容】	
その他	0	おやこ健康手帳（母子健康手帳）交付時に合わせて産後健康診査受診票を交付し、産科医療機関で産後健診を受ける。	
一般財源	6,187	【事業の実績】	
計	12,112	令和3年度 受診者 2,206人（延） 県外受診者 46人（延） 令和4年度 受診者 2,439人（延） 県外受診者 73人（延） 令和5年度（見込） 受診者 2,259人（延） 県外受診者 67人（延）	
備考欄			

保018	項目名	ブックスタート事業費	新規事業
予算書項目	ブックスタート事業費	ページ	221
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●明るい未来プラン		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 1992年に英国で始まり、全国で親子のこころを育む有効な方法として取り組まれ、本市では平成14年度から6か月児健診時に絵本の読み聞かせを開始し、平成15年度から絵本の入った「ブックスタートバック」をすべての親子へ手渡している。令和5年度からブックスタートフォローアップ（ブックスタートセカンド）として、1歳6か月児健診時に絵本を手渡している。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 子育てや子どもへの関わり方に不安をもつ保護者が増え、読み聞かせや手遊びを体験してもらうことで具体的な関わり方を知ることができている。また、絵本を手がかりに楽しい時間を家庭でも過ごしてもらい、親子のこころがふれあうきっかけづくりとなっている。そして、ボランティアや図書館との協働がなされ、ネットワークが形成されている。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	4,329	(1) ブックスタート	
本年度要求額	4,497	(2) ファーストバースデー事業【新規】 1歳のお誕生日月に図書館や地域でお祝いし、絵本の読み聞かせ、わらべうたや手遊びの紹介などを行うとともに育児相談などを行い子育てを支援する。	
総務部長段階査定額	4,497	(3) ブックスタートフォローアップ（ブックスタートセカンド）	
市長段階査定額	4,497	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 2,238千円 実績 1,313組 令和4年度 1,950千円 実績 1,264組 令和5年度（見込） 3,971千円 実績 1,185組（ブックスタート） 976組（ブックスタートセカンド）	
国・県支出金	1,203	※その他財源の寄附金は、クラウドファンディング型ふるさと納税	
地方債	0		
その他	1,000		
一般財源	2,294		
計	4,497		
備考欄			

保019	項目名	子育て世代包括支援センター運営費	新規事業
予算書項目	子育て世代包括支援センター事業費	ページ	221
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 妊娠期から子育て期までの支援や関係機関が連携し切れ目のない支援を実施するため、平成29年度に「子育て世代包括支援センター（愛称：こそだてらす）」を設置した。 また、令和6年度、「子育て世代包括支援センター（こそだてらす）」と「子ども家庭総合支援拠点（こども家庭相談センター）」の両機能を組織として一体的に運営する「こども家庭センター」を設置し、母子保健・児童福祉両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援の切れ目ない対応など、相談支援体制の強化を図っていく。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 産後、孤立感や負担感が増す時期に安心して子育てができるよう、育児相談や育児をする者同士、又地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 妊婦相談実施、産後サロンの開催、父親教室の開催		
前年度当初予算額	4,130	【事業の実績】 令和3年度 産後サロン19回／月開催（延243組）、妊婦教室21回（実91人） 令和4年度 産後サロン12回／月開催（延314組）、妊婦教室18回（実78人） 令和5年度（見込）産後サロン12回／月開催（延320組）、妊婦教室20回（実92人） 父親教室4回（実32人） ※産婦人科等での集団妊婦教室が再開されたことに伴い、妊婦教室は令和5年度で廃止	
本年度要求額	4,707	【事業の目的及び効果】 産後、孤立感や負担感が増す時期に安心して子育てができるよう、育児相談や育児をする者同士、又地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。	
総務部長段階査定額	4,707	【事業の内容】 妊婦相談実施、産後サロンの開催、父親教室の開催	
市長段階査定額	4,707	【事業の実績】 令和3年度 産後サロン19回／月開催（延243組）、妊婦教室21回（実91人） 令和4年度 産後サロン12回／月開催（延314組）、妊婦教室18回（実78人） 令和5年度（見込）産後サロン12回／月開催（延320組）、妊婦教室20回（実92人） 父親教室4回（実32人） ※産婦人科等での集団妊婦教室が再開されたことに伴い、妊婦教室は令和5年度で廃止	
総務部長段階査定額	4,707	【事業の目的及び効果】 産後、孤立感や負担感が増す時期に安心して子育てができるよう、育児相談や育児をする者同士、又地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。	
市長段階査定額	4,707	【事業の内容】 妊婦相談実施、産後サロンの開催、父親教室の開催	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 産後サロン19回／月開催（延243組）、妊婦教室21回（実91人） 令和4年度 産後サロン12回／月開催（延314組）、妊婦教室18回（実78人） 令和5年度（見込）産後サロン12回／月開催（延320組）、妊婦教室20回（実92人） 父親教室4回（実32人） ※産婦人科等での集団妊婦教室が再開されたことに伴い、妊婦教室は令和5年度で廃止	
国・県支出金	3,778	【事業の目的及び効果】 産後、孤立感や負担感が増す時期に安心して子育てができるよう、育児相談や育児をする者同士、又地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。	
地方債	0	【事業の内容】 妊婦相談実施、産後サロンの開催、父親教室の開催	
その他	0	【事業の実績】 令和3年度 産後サロン19回／月開催（延243組）、妊婦教室21回（実91人） 令和4年度 産後サロン12回／月開催（延314組）、妊婦教室18回（実78人） 令和5年度（見込）産後サロン12回／月開催（延320組）、妊婦教室20回（実92人） 父親教室4回（実32人） ※産婦人科等での集団妊婦教室が再開されたことに伴い、妊婦教室は令和5年度で廃止	
一般財源	929	【事業の目的及び効果】 産後、孤立感や負担感が増す時期に安心して子育てができるよう、育児相談や育児をする者同士、又地域ボランティアとの交流を通して、切れ目のない支援を行う。	
計	4,707	【事業の内容】 妊婦相談実施、産後サロンの開催、父親教室の開催	
備考欄			

保020	項目名	不妊治療費等支援事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	221
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 不妊治療費は令和4年度から保険適用となったが、保険診療とあわせて行う先進医療、保険適用外や回数超過による全額自己負担となった場合に県助成制度を行っている。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 不妊治療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるよう支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・特定不妊治療費助成（県制度） 先進医療：保険適用と組み合わせて実施した先進医療 上限50,000円 自費診療：全額自己負担（混合診療・回数制限を超えた治療） ・治療開始時妻年齢40歳未満の場合6回、43歳未満の場合3回（いずれも1子あたり） 上限…採卵あり300,000円、採卵なし110,000円 ・上限額を超える自己負担分について1/2を助成（条件あり）		
前年度当初予算額	39,580	【事業の実績】（東部1市4町） R3 特定不妊治療 国制度：627件 134,736千円 / 県制度：90件 8,908千円 人工授精 166件（組） 4,462千円 R4 特定不妊治療 国制度：104件 20,357千円 / 県制度：202件 10,268千円 人工授精 20件（組） 325千円 R5（見込）特定不妊治療 県制度：193件 8,000千円	
本年度要求額	23,609	【事業の目的及び効果】 不妊治療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるよう支援する。	
総務部長段階査定額	23,609	【事業の内容】 ・特定不妊治療費助成（県制度） 先進医療：保険適用と組み合わせて実施した先進医療 上限50,000円 自費診療：全額自己負担（混合診療・回数制限を超えた治療） ・治療開始時妻年齢40歳未満の場合6回、43歳未満の場合3回（いずれも1子あたり） 上限…採卵あり300,000円、採卵なし110,000円 ・上限額を超える自己負担分について1/2を助成（条件あり）	
市長段階査定額	23,609	【事業の実績】（東部1市4町） R3 特定不妊治療 国制度：627件 134,736千円 / 県制度：90件 8,908千円 人工授精 166件（組） 4,462千円 R4 特定不妊治療 国制度：104件 20,357千円 / 県制度：202件 10,268千円 人工授精 20件（組） 325千円 R5（見込）特定不妊治療 県制度：193件 8,000千円	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 不妊治療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるよう支援する。	
国・県支出金	0	【事業の内容】 ・特定不妊治療費助成（県制度） 先進医療：保険適用と組み合わせて実施した先進医療 上限50,000円 自費診療：全額自己負担（混合診療・回数制限を超えた治療） ・治療開始時妻年齢40歳未満の場合6回、43歳未満の場合3回（いずれも1子あたり） 上限…採卵あり300,000円、採卵なし110,000円 ・上限額を超える自己負担分について1/2を助成（条件あり）	
地方債	0	【事業の実績】（東部1市4町） R3 特定不妊治療 国制度：627件 134,736千円 / 県制度：90件 8,908千円 人工授精 166件（組） 4,462千円 R4 特定不妊治療 国制度：104件 20,357千円 / 県制度：202件 10,268千円 人工授精 20件（組） 325千円 R5（見込）特定不妊治療 県制度：193件 8,000千円	
その他	23,548	【事業の目的及び効果】 不妊治療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるよう支援する。	
一般財源	61	【事業の内容】 ・特定不妊治療費助成（県制度） 先進医療：保険適用と組み合わせて実施した先進医療 上限50,000円 自費診療：全額自己負担（混合診療・回数制限を超えた治療） ・治療開始時妻年齢40歳未満の場合6回、43歳未満の場合3回（いずれも1子あたり） 上限…採卵あり300,000円、採卵なし110,000円 ・上限額を超える自己負担分について1/2を助成（条件あり）	
計	23,609	【事業の実績】（東部1市4町） R3 特定不妊治療 国制度：627件 134,736千円 / 県制度：90件 8,908千円 人工授精 166件（組） 4,462千円 R4 特定不妊治療 国制度：104件 20,357千円 / 県制度：202件 10,268千円 人工授精 20件（組） 325千円 R5（見込）特定不妊治療 県制度：193件 8,000千円	
備考欄	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金		

保021	項目名	希望をかなえる妊娠・出産支援事業費	新規事業												
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	221												
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課												
会計名	事業の概要														
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584														
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略														
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 晩婚化に伴い、女性が妊娠する年齢も上昇している一方で、一般に高齢での妊娠・出産は様々なリスクが高まる。このため、子どもを望む夫婦が早期に適切な検査・診断を受け、治療を開始することが必要となる。 鳥取県は平成28年度から不妊検査費用の一部助成を実施しており、中核市移行に伴い、平成30年4月から鳥取市保健所で助成事業を実施している（県東部1市4町）。														
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 子どもを望む夫婦が早期に不妊検査を受け、必要な場合には速やかに治療を開始することができるよう、不妊検査費用の一部を助成する。														
(単位：千円)	【事業の内容】 夫婦ともに行った不妊検査費用（保険適用外）の一部を助成する。 対象者：①法律婚：検査開始日において妻の年齢が35歳未満である場合、又は婚姻から3年以内であり妻の年齢が43歳未満である場合。 ②事実婚：検査開始日において妻の年齢が35歳未満である場合。 補助率：10/10（上限26,000円）、1夫婦あたり1回限り														
前年度当初予算額	1,566	【事業の実績】 （東部1市4町） 令和3年度 59件 1,225千円 令和4年度 57件 1,397千円 令和5年度（見込） 60件 1,560千円													
本年度要求額	1,566	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金													
総務部長段階査定額	1,566	【事業の概要】													
市長段階査定額	1,566	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584													
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略													
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】 令和3年度まで、国県助成制度（不妊治療費等支援事業費）の交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行ってきた。令和4年度から特定不妊治療（生殖補助医療）が保険適用となったが、保険適用外となった場合等の県助成制度（不妊治療費等支援事業費）が実施されており、交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行っている。													
地方債	0	【事業の目的及び効果】 子どもを望む夫婦が、経済的負担が原因で子どもを諦めることなく、安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うため、本市独自で追加助成を行う。													
その他	1,566	【事業の内容】 先進医療：上限50,000円又は残額のいずれか低い額を助成 自費診療：上限100,000円又は残額のいずれか低い額を助成 （以前の凍結胚を解冻した胚移植及び県制度交付決定者は上限50,000円）													
一般財源	0	【事業の実績】													
計	1,566	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>決算額</td> <td>助成件数</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>20,417千円</td> <td>実275名（延590件）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7,297千円</td> <td>実128名（延177件）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（見込）</td> <td>1,593千円</td> <td>実21名（延21件）</td> </tr> </table>			決算額	助成件数	令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）	令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）	令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）
	決算額	助成件数													
令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）													
令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）													
令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）													
備考欄															

保022	項目名	特定不妊治療助成事業費	新規事業												
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	221												
年度	R6	所 属 名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課												
会計名	事業の概要														
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584														
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略														
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 令和3年度まで、国県助成制度（不妊治療費等支援事業費）の交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行ってきた。令和4年度から特定不妊治療（生殖補助医療）が保険適用となったが、保険適用外となった場合等の県助成制度（不妊治療費等支援事業費）が実施されており、交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行っている。														
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 子どもを望む夫婦が、経済的負担が原因で子どもを諦めることなく、安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うため、本市独自で追加助成を行う。														
(単位：千円)	【事業の内容】 先進医療：上限50,000円又は残額のいずれか低い額を助成 自費診療：上限100,000円又は残額のいずれか低い額を助成 （以前の凍結胚を解冻した胚移植及び県制度交付決定者は上限50,000円）														
前年度当初予算額	6,650	【事業の実績】													
本年度要求額	4,750	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>決算額</td> <td>助成件数</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>20,417千円</td> <td>実275名（延590件）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7,297千円</td> <td>実128名（延177件）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（見込）</td> <td>1,593千円</td> <td>実21名（延21件）</td> </tr> </table>			決算額	助成件数	令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）	令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）	令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）
	決算額	助成件数													
令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）													
令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）													
令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）													
総務部長段階査定額	3,500	【事業の概要】													
市長段階査定額	3,500	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584													
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略													
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】 令和3年度まで、国県助成制度（不妊治療費等支援事業費）の交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行ってきた。令和4年度から特定不妊治療（生殖補助医療）が保険適用となったが、保険適用外となった場合等の県助成制度（不妊治療費等支援事業費）が実施されており、交付決定者に対し、本市独自の追加助成を行っている。													
地方債	0	【事業の目的及び効果】 子どもを望む夫婦が、経済的負担が原因で子どもを諦めることなく、安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うため、本市独自で追加助成を行う。													
その他	3,500	【事業の内容】 先進医療：上限50,000円又は残額のいずれか低い額を助成 自費診療：上限100,000円又は残額のいずれか低い額を助成 （以前の凍結胚を解冻した胚移植及び県制度交付決定者は上限50,000円）													
一般財源	0	【事業の実績】													
計	3,500	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>決算額</td> <td>助成件数</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>20,417千円</td> <td>実275名（延590件）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>7,297千円</td> <td>実128名（延177件）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度（見込）</td> <td>1,593千円</td> <td>実21名（延21件）</td> </tr> </table>			決算額	助成件数	令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）	令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）	令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）
	決算額	助成件数													
令和3年度	20,417千円	実275名（延590件）													
令和4年度	7,297千円	実128名（延177件）													
令和5年度（見込）	1,593千円	実21名（延21件）													
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金														

保023	項目名	不育症検査費等助成事業費	新規事業
予算書項目	不妊治療費等助成事業費	ページ	221
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 本市では平成27年度から、不育症の検査や治療を受けている夫婦に対して保険適用外の医療費負担の軽減を図るため、費用の一部を助成している。 令和3年度からは、国の母子保健医療対策総合支援事業実施要綱に不育症検査費用助成事業が加わり先進医療として実施される不育症検査を対象に検査費用の一部を助成することとなった（都道府県・政令市・中核市事務、国庫1/2）。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 保険適用とならない不育症検査や治療費の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①国事業：2回以上流産又は死産の既往があり、先進医療として厚生労働省が告示した不育症検査を、その実施機関として承認されている保険医療機関で実施した検査費用について50,000円を上限に助成。 (鳥取市：中核市事務、4町：県からの委託事業) ②市独自：不育症に係る診断・治療に要した保険適用外の金額の1/2を助成。 同一夫婦につき、1年度10万円、通算5年度を上限とする。		
前年度当初予算額	147	【事業の実績】	
本年度要求額	140	令和3年度 国事業：決算額 71千円 延2件 市独自：決算額 42千円 延4件 国事業：実績なし 市独自：決算額 156千円 延9件 令和4年度 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件 令和5年度(見込) 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件	
総務部長段階査定額	140	【事業の実績】	
市長段階査定額	140	令和3年度 国事業：決算額 71千円 延2件 市独自：決算額 42千円 延4件 国事業：実績なし 市独自：決算額 156千円 延9件 令和4年度 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件 令和5年度(見込) 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	70	令和3年度 国事業：決算額 71千円 延2件 市独自：決算額 42千円 延4件 国事業：実績なし 市独自：決算額 156千円 延9件 令和4年度 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件 令和5年度(見込) 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件	
国・県支出金	70	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 国事業：決算額 71千円 延2件 市独自：決算額 42千円 延4件 国事業：実績なし 市独自：決算額 156千円 延9件 令和4年度 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件 令和5年度(見込) 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	70	令和3年度 国事業：決算額 71千円 延2件 市独自：決算額 42千円 延4件 国事業：実績なし 市独自：決算額 156千円 延9件 令和4年度 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件 令和5年度(見込) 国事業：実績なし 市独自：決算額 82千円 延6件	
計	140	【事業の実績】	
備考欄			

保024	項目名	健やかな妊娠・出産のための応援事業費	新規事業
予算書項目	健やかな妊娠・出産のための応援事業費	ページ	221
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 これまで、思春期の健康相談、生涯を通じた女性の健康の保持増進、不妊症や不育症、若年妊娠等、妊娠・出産をとりまく様々な悩み等へのサポート等を実施してきた。令和5年度からこれらの取り組みに加え、プレコンセプションケアを含め、男女問わず性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を実施している。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 男女ともに性や妊娠に関する正しい知識を身につけ、健康管理を促すプレコンセプションケアを推進することを目的に、思春期、妊娠、出産等のライフステージに応じた切れ目のない相談支援等を行う。また、不妊専門相談センターを設置することで、不妊や不育症の悩みを解決する一助となり健康の保持・増進につながる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1)性と健康の相談事業 (2)不妊専門相談センター委託 委託先：鳥取県立中央病院(県と共同設置) (3)妊娠高血圧症候群等療養費支給		
前年度当初予算額	1,420	【事業の実績】	
本年度要求額	1,450	センター相談件数 支給件数 令和3年度 617件 0件 令和4年度 619件 0件 令和5年度(見込) 600件 0件	
総務部長段階査定額	1,450	【事業の実績】	
市長段階査定額	1,450	令和3年度 センター相談件数 617件 支給件数 0件 令和4年度 619件 0件 令和5年度(見込) 600件 0件	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	655	令和3年度 センター相談件数 617件 支給件数 0件 令和4年度 619件 0件 令和5年度(見込) 600件 0件	
国・県支出金	655	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 センター相談件数 617件 支給件数 0件 令和4年度 619件 0件 令和5年度(見込) 600件 0件	
その他	7	【事業の実績】	
一般財源	788	令和3年度 センター相談件数 617件 支給件数 0件 令和4年度 619件 0件 令和5年度(見込) 600件 0件	
計	1,450	※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金	
備考欄			

保025	項目名	2歳児歯科健診事業費		新規事業
予算書項目	母子歯科保健事業費	ページ	221	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】健康づくり係 0857-30-8581			
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】			
目 母子保健費	1歳6か月から3歳までの間にむし歯の罹患率が急激に増える傾向があることから、東部歯科医師会と協議し、平成11年1月から2歳児歯科健診を実施。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	1,995	2歳児は乳歯がほぼ生えそろう始めるが、間食や歯磨き等の生活習慣が不規則なため、むし歯になりやすい時期である。この時期に歯科健診・歯科保健指導を行うことにより、口腔の健康の保持増進を図る。この事業を開始して、3歳児健診でのむし歯罹患率は減少傾向にあり、今後も受診率を高める取り組みが必要である。		
本年度要求額	2,049	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	2,049	歯科医師による診察、歯科衛生士による歯科保健指導及びフッ化物塗布。		
市長段階査定額	2,049	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 1,837千円 受診者数 1,198人		
国・県支出金	0	令和4年度 1,764千円 受診者数 1,185人		
地方債	0	令和5年度(見込) 1,995千円 受診者数 1,000人		
その他	0			
一般財源	2,049			
計	2,049			
備考欄				

保026	項目名	子育て支援アプリ活用推進事業費		新規事業
予算書項目	子育て支援アプリ活用推進事業費	ページ	221	所属名
年度	R6	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584			
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】			
目 母子保健費	新型コロナウイルス感染症の流行により、外出や交流の機会が減少したことを契機に、妊婦や子育て世帯等を地域から孤立することなく支援することができるよう、令和3年度に子育て支援アプリを導入した。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	1,245	子育て支援アプリを活用し、妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援を行う。		
本年度要求額	861	(1) 対面型の相談支援に加え、「とっとり子育て応援サイト」(子育て支援アプリ)を活用した子育てに関する情報提供や保健師・助産師等によるオンライン相談により、子育て支援サービスの充実を図る。		
総務部長段階査定額	861	(2) 「とっとり子育て応援サイト」(子育て支援アプリ)の活用により、電子版おたご健康手帳(母子健康手帳)として妊婦健診、乳幼児健診の結果や予防接種等の記録管理が可能になる。		
市長段階査定額	861	【事業の内容】		
区分	本年度予算額	・「とっとり子育て応援サイト」(子育て支援アプリ)の運用		
国・県支出金	430	・LINE WORKSを活用した相談支援		
地方債	0	【事業の実績】		
その他	0	令和3年度 令和4年度 令和5年度(見込)		
一般財源	431	・アプリ登録件数 211件 1,023件 1,450件		
計	861	・オンライン相談 3件 1件 3件		
備考欄				

保027	項目名	出産・子育て応援交付金事業費	新規事業
予算書項目	出産・子育て応援交付金事業費	ページ	223
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】子育て支援係 0857-30-8584		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 国は総合経済対策として2022年度第2次補正予算において出産・子育て応援交付金を創設。		
目 母子保健費	【事業の目的及び効果】 妊娠届出時から妊婦や子育て世帯に市が寄り添い、出産・育児等の見通しをたてるための面談や継続した情報発信を行い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援として出産・子育て応援交付金を支給する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・妊娠や子育て世帯への面談実施 ・出産・子育て応援交付金の支給 妊娠期に50,000円、子育て期に50,000円		
前年度当初予算額	71,237	【事業の実績】	
本年度要求額	130,416	決算額	出産給付金
総務部長段階査定額	130,416	令和4年度 142,124千円	1,787件
市長段階査定額	130,416	令和5年度(見込) 135,712千円	1,103件
区分	本年度予算額	子育て給付金	1,023件
国・県支出金	107,810	令和4年度	1,146件
地方債	0	令和5年度(見込)	
その他	0		
一般財源	22,606		
計	130,416		
備考欄			

保028	項目名	野良猫不妊・去勢手術費補助金	新規事業
予算書項目	動物愛護事業費	ページ	223
年度	R6	所属名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551		
款 衛生費	【1次総の施策体系】1302		
項 保健衛生費	【事業の経過及び背景】 平成24年の動物愛護管理法改正により、駆除目的とした安易な動物の引取りは原則できなくなっている。このため、地域では野良猫の頭数が増加の一途をたどり、住民から様々な苦情や相談が寄せられ、その対応に苦慮している状況となっている。		
目 予防費	【事業の目的及び効果】 動物の愛護及び管理に関する法律及び鳥取県動物愛護管理推進計画に基づき、猫の収容・引取り数の削減などを目標として取り組んでいる。猫による環境悪化の苦情及び負傷により保護した所有者のいない猫の死亡数減少に向け、みだりな繁殖・増加を抑制する対策が必要となっている。 その対策の1つとして、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要した費用を補助している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術を行った者に対し、1頭につきオス10,000円、メス15,000円、または手術費用のいずれか低い額(千円未満切り捨て)を助成する。		
前年度当初予算額	1,400	【事業の実績】	
本年度要求額	1,710	令和3年度	70頭
総務部長段階査定額	1,710	令和4年度	126頭
市長段階査定額	1,710	令和5年度	147頭(見込)
区分	本年度予算額	※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	1,600		
一般財源	110		
計	1,710		
備考欄			

保029	項目名	動物愛護管理推進事業費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	動物愛護事業費	ページ	223
-------	---------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
-----	-----------------------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位：千円)	
前年度当初予算額	12,574

本年度要求額	15,037
--------	--------

総務部長段階査定額	14,135	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14,135	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	389
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	3,812
		その他	0

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551

【1次総の施策体系】1302 ●実施計画

【事業の経過及び背景】

「狂犬病予防法」「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「鳥取市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物の収容、収容動物の管理・譲渡、適正飼養の普及啓発、動物取扱業者・特定動物飼養者への指導等を行う。

【事業の目的及び効果】

命を大切に人と動物が共生する社会の実現のため、収容動物の譲渡による終生飼養並びに法令等の遵守による動物の健康及び安全に配慮した取扱いを啓発、指導することで動物が適正な環境のもとで飼養されることを推進する。

【事業の内容】

- ①動物の収容
狂犬病予防技術員の雇用、放浪犬の捕獲・抑留、負傷動物の保護
- ②収容動物の管理・譲渡
収容動物の診療・飼養管理、犬管理所の運営、関係機関の連携による譲渡の促進
- ③普及啓発
相談及び通報等対応、事故対応
- ④動物取扱業者・特定動物飼養者への指導
登録・許可事務、立入指導、講習会実施

【事業の実績】(東部)

収容	前年度引継	返還	譲渡	処分	死体収容	翌年度引継
年度(犬)(猫)	(犬)(猫)	(犬)(猫)	(犬)(猫)	(犬)(猫)	(犬)(猫)	(犬)(猫)
R3 29頭 60頭	1頭 3頭	22頭 2頭	8頭 37頭	0頭 16頭	0頭 7頭	0頭 1頭
R4 31頭 47頭	0頭 1頭	16頭 0頭	13頭 27頭	1頭 12頭	0頭 4頭	1頭 5頭
R5 23頭 44頭	1頭 5頭	8頭 0頭	10頭 12頭	1頭 26頭	2頭 5頭	3頭 6頭

※令和5年度は12月末現在

※その他財源の手数料は、動物取扱業登録等手数料等
※その他財源の諸収入は、中核市関連事務費負担金

保030	項目名	食品衛生指導事業費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	食品衛生指導事業費	ページ	223
-------	-----------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課
-----	-----------------------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位：千円)	
前年度当初予算額	12,491

本年度要求額	14,860
--------	--------

総務部長段階査定額	12,368	その他財源の内訳	
市長段階査定額	12,368	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	9,734
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	421
		その他	0

備考欄	
-----	--

事業の概要

【問合せ先】食品衛生係 0857-30-8552

【1次総の施策体系】1302 ●実施計画

【事業の経過及び背景】

飲食に起因する衛生上の危害を防止し食品の安全を確保するため、毎年度「食品衛生監視指導計画」を策定し、これに基づき効率的かつ効果的な監視指導を実施している。令和3年6月の法改正では、新たな営業許可及び届出制度、HACCPに沿った衛生管理計画、食品等のリコール情報の報告が義務化がされた。

【事業の目的及び効果】

食品等事業者及び消費者に対し食品の衛生的な取り扱いを指導、啓発し、生産から消費までの食の安全を確保することで食中毒等を予防する。

【事業の内容】

鳥取県東部圏域食品衛生監視指導計画に沿って、営業許可制度では新たな施設基準に基づく施設の設置及び申請手続きの指導、HACCPに沿った衛生管理の適正な運用の指導、流通食品の検査による安全性検証、食品衛生の普及啓発等により食の安全を確保する。食中毒や法違反に対しては、迅速に調査し再発防止を図る。

【事業の実績】(東部)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
○食品営業新規許可	712件	573件	427件
○監視指導実績	2,820件	2,960件	2,286件
○違反指導	7件	11件	4件
○行政処分	0件	1件	1件
○食品検査	161件	60件	112件

※令和5年度は12月末現在

※その他財源の手数料は、食品営業許可等手数料及び調理師免許交付等手数料
※その他財源の諸収入は、中核市関連事務費負担金

経001	項目名	シルバー人材センター運営補助金	新規事業
予算書項目	シルバー人材センター助成費等	ページ	199
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 民生費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会福祉費	【事業の経過及び背景】 健康寿命の延伸や年金受給年齢の引き上げなど高齢者を取り巻く環境が変化する中、働く意欲のある高齢者の多様な就業ニーズに対応した就業機会の創出や高齢者の生きがいの創出が求められている。平成27年9月には、60歳以上の高齢者の派遣労働について法による制限が緩和され、派遣事業に対する国の補助制度も設置され、生産年齢人口の減少による労働力不足を解消するために積極的な高齢者の派遣事業への取組が求められている。		
目 老人福祉費	【事業の目的及び効果】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供と人手不足の企業に高齢者を派遣し、地域の労働需給の均衡を実現する（公社）鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに資する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金の交付 ・就業機会提供事業 ・就業分野の開拓・拡大事業 ・福祉家事援助・子育て支援事業 ・社会参加活動推進事業 等		
前年度当初予算額	17,776	【事業の実績】 (公社)鳥取市シルバー人材センターの運営状況 [市補助金] [会員数] [派遣就業延べ人員] 令和3年度 17,046千円 703人 9,367人 令和4年度 17,046千円 717人 8,960人 令和5年度 17,696千円 695人 6,813人 (12月末時点)	
本年度要求額	21,357	【事業の目的及び効果】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供と人手不足の企業に高齢者を派遣し、地域の労働需給の均衡を実現する（公社）鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに資する。	
総務部長段階査定額	21,357	【事業の内容】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金の交付 ・就業機会提供事業 ・就業分野の開拓・拡大事業 ・福祉家事援助・子育て支援事業 ・社会参加活動推進事業 等	
市長段階査定額	21,357	【事業の実績】 (公社)鳥取市シルバー人材センターの運営状況 [市補助金] [会員数] [派遣就業延べ人員] 令和3年度 17,046千円 703人 9,367人 令和4年度 17,046千円 717人 8,960人 令和5年度 17,696千円 695人 6,813人 (12月末時点)	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供と人手不足の企業に高齢者を派遣し、地域の労働需給の均衡を実現する（公社）鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに資する。	
財源内訳	国・県支出金 0	【事業の内容】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金の交付 ・就業機会提供事業 ・就業分野の開拓・拡大事業 ・福祉家事援助・子育て支援事業 ・社会参加活動推進事業 等	
	地方債 0	【事業の実績】 (公社)鳥取市シルバー人材センターの運営状況 [市補助金] [会員数] [派遣就業延べ人員] 令和3年度 17,046千円 703人 9,367人 令和4年度 17,046千円 717人 8,960人 令和5年度 17,696千円 695人 6,813人 (12月末時点)	
	その他 0	【事業の目的及び効果】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供と人手不足の企業に高齢者を派遣し、地域の労働需給の均衡を実現する（公社）鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、高齢者の豊かな生活の確保や生きがいづくりに資する。	
	一般財源 21,357	【事業の内容】 公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金の交付 ・就業機会提供事業 ・就業分野の開拓・拡大事業 ・福祉家事援助・子育て支援事業 ・社会参加活動推進事業 等	
	計 21,357	【事業の実績】 (公社)鳥取市シルバー人材センターの運営状況 [市補助金] [会員数] [派遣就業延べ人員] 令和3年度 17,046千円 703人 9,367人 令和4年度 17,046千円 717人 8,960人 令和5年度 17,696千円 695人 6,813人 (12月末時点)	
備考欄			

経002	項目名	学校給食計画栽培支援事業費	新規事業
予算書項目	地産地消推進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 地産地消の取組に当たっての考え方や推進方針を示した「第7期鳥取市地産地消行動指針」に基づき、農林水産団体、消費者団体、商工団体、行政等が連携し地産地消を推進している。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 学校給食用計画栽培支援補助金の交付 ・補助対象者：営農集団 ・補助対象事業：生産履歴記帳事務（生産農家1戸当たり3,000円）、計画栽培農産物の出荷（出荷量1箱（10kg）当たり15円）		
前年度当初予算額	284	【事業の実績】 令和3年度 記帳戸数 60戸 出荷量 6,777箱 令和4年度 記帳戸数 55戸 出荷量 4,581箱 令和5年度 記帳戸数 55戸 出荷量 5,000箱（見込）	
本年度要求額	272	【事業の目的及び効果】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。	
総務部長段階査定額	272	【事業の内容】 学校給食用計画栽培支援補助金の交付 ・補助対象者：営農集団 ・補助対象事業：生産履歴記帳事務（生産農家1戸当たり3,000円）、計画栽培農産物の出荷（出荷量1箱（10kg）当たり15円）	
市長段階査定額	272	【事業の実績】 令和3年度 記帳戸数 60戸 出荷量 6,777箱 令和4年度 記帳戸数 55戸 出荷量 4,581箱 令和5年度 記帳戸数 55戸 出荷量 5,000箱（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。	
財源内訳	国・県支出金 54	【事業の内容】 学校給食用計画栽培支援補助金の交付 ・補助対象者：営農集団 ・補助対象事業：生産履歴記帳事務（生産農家1戸当たり3,000円）、計画栽培農産物の出荷（出荷量1箱（10kg）当たり15円）	
	地方債 0	【事業の実績】 令和3年度 記帳戸数 60戸 出荷量 6,777箱 令和4年度 記帳戸数 55戸 出荷量 4,581箱 令和5年度 記帳戸数 55戸 出荷量 5,000箱（見込）	
	その他 0	【事業の目的及び効果】 鳥取地域の学校給食用に農産物を計画的に生産出荷する団体に対して、出荷経費等を助成し生産組織の育成を図ることにより、児童生徒に顔の見える安心・安全な農産物の提供を行うとともに、学校給食における地元産食材の利用促進を図る。	
	一般財源 218	【事業の内容】 学校給食用計画栽培支援補助金の交付 ・補助対象者：営農集団 ・補助対象事業：生産履歴記帳事務（生産農家1戸当たり3,000円）、計画栽培農産物の出荷（出荷量1箱（10kg）当たり15円）	
	計 272	【事業の実績】 令和3年度 記帳戸数 60戸 出荷量 6,777箱 令和4年度 記帳戸数 55戸 出荷量 4,581箱 令和5年度 記帳戸数 55戸 出荷量 5,000箱（見込）	
備考欄			

経003	項目名	商店街にぎわい形成促進事業費		新規事業
予算書項目	商店街にぎわい形成促進事業費		ページ	249
年度	R6		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	2,800			
本年度要求額	6,400			
総務部長段階査定額	4,800		その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,800		分担金	0
			負担金	0
			使用料	0
			手数料	0
			財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	4,800
			贈収入	0
			その他	0
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	4,800			
一般財源	0			
計	4,800			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282 【1次総の施策体系】 2103、2402 ●実施計画 【事業の経過及び背景】 本市では、人口減少や、郊外における大型店舗立地、インターネット通販の普及など、様々な要因により、商店街等のにぎわいの喪失が引き起こされている。そういった厳しい商業環境にある中、頑張る個店等が連携し、こだわりを持った技術、知識、経験豊富な人材等の魅力を発信するとともに、時代の変化に対応した、新しい機能・役割にしっかりと応じられる仕組みを作っていくため、各種事業を推進している。 【事業の目的及び効果】 商店街の空き店舗活用、環境整備、コミュニティ醸成等を図る活動を推進することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。 【事業の内容】 商業振興補助金の交付 (1) 活動支援事業：商店街づくりを行う事業や販売促進、ニーズ調査等のソフト事業 ①補助対象経費が30万円未満の場合、補助率4/5（限度額20万円） ②補助対象経費が30万円以上120万円未満の場合、補助率2/3（限度額60万円） ③補助対象経費が120万円以上の場合、補助率1/2（限度額100万円） (2) 環境整備事業：来街者の利便性の向上や環境への負荷軽減等の環境整備事業 補助率1/2（限度額40万円） 【事業の実績】 令和3年度 1,800千円（活動支援事業3件） 令和4年度 1,418千円（活動支援事業3件） 令和5年度 2,464千円（活動支援事業6件）見込 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金				

経004	項目名	中心市街地活性化推進事業補助金		新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費		ページ	249
年度	R6		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	2,600			
総務部長段階査定額	2,600		その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,600		分担金	0
			負担金	0
			使用料	0
			手数料	0
			財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収入	0
			その他	0
区分	本年度予算額			
国・県支出金	300			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,300			
計	2,600			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282 【1次総の施策体系】 2103 【事業の経過及び背景】 「第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画（計画期間：R5～R9）」により、中心市街地の再生に向け、各種事業を推進している。 【事業の目的及び効果】 中心市街地活性化基本計画等に基づく事業を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。 【事業の内容】 1. 商業振興補助金（中心市街地活性化推進事業：調査・設計事業） 事業実施のための調査、設計書等の作成に要する経費の一部を補助する。 （補助率2/3、限度額200万円） 2. まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金 商店街振興組合等がまちなかを振興する観点で実施する地域課題に対応する事業に要する経費の一部を補助する。（補助率2/3、限度額600万円） 【事業の実績】 1. 商業振興補助金（中心市街地活性化推進事業：調査・設計事業） 令和3年度 0円（活動支援事業0件） 令和4年度 2,000千円（活動支援事業1件） 令和5年度 0円（活動支援事業0件）見込 2. まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金 令和3年度 0円（活動支援事業0件） 令和4年度 832千円（活動支援事業1件） 令和5年度 663千円（活動支援事業1件）見込				

経005	項目名	スマートエネルギータウン構想推進事業費	新規事業
------	-----	---------------------	------

予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249
-------	--------------	-----	-----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

事業の概要

【問合せ先】スマートエネルギータウン推進室 0857-30-8288

【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン

【事業の経過及び背景】
本市は「鳥取市スマートエネルギータウン構想」（平成27年策定・令和6年改定）に基づき、地域電力会社の設立など環境エネルギー事業を推進してきており、令和3年2月ゼロカーボンシティを宣言、令和5年4月に環境省「脱炭素先行地域」に選定された。

【事業の目的及び効果】
地域特性を活かした持続可能な再生可能エネルギー導入の仕組みづくりとこれらの分散型エネルギー設備を活用したエネルギーの地産地消の仕組みを構築し地域内経済循環を促進する。また、「脱炭素先行地域」づくり事業の取組により、再エネ設備や関連技術・サービスの導入促進を図り、地域経済の持続的発展と持続可能な地域社会づくりを進める。

【事業の内容】
○佐治川小水力発電事業性評価調査
事業費10,000千円（国10/10）
○脱炭素先行地域づくり事業（交付率2/3（一部3/4））
（1）PPA事業等
・戸建住宅 PV導入 事業費：172,500千円 交付額：115,000千円
・戸建住宅 家庭用蓄電池導入 事業費：26,659千円 交付額：19,994千円
・戸建住宅 高効率給湯器等導入 事業費：14,000千円 交付額：9,333千円
・戸建住宅 断熱改修事業 事業費：45,000千円 交付額：30,000千円
・若葉台業務部門施設PV導入 事業費：52,660千円 交付額：35,106千円
・若葉台産業用PV・蓄電池導入 事業費：85,800千円 交付額：64,350千円
・EVステーション導入（若葉台）30基 事業費：30,000千円 交付額：22,500千円
（2）公立鳥取環境大学ZEB化等 事業費：150,136千円 交付額：100,091千円
（3）EMS/VPP構築 事業費：20,000千円 交付額：15,000千円
○バイオマス地産地消システム構築事業補助金（単市） 交付額：1,200千円

【事業の実績】
令和5年度 脱炭素先行地域づくり事業 執行額（見込）：96,358千円

※その他財源の諸収入は、水力発電導入促進のための事業費補助金

前年度当初予算額	32,841
----------	--------

本年度要求額	438,074
--------	---------

総務部長段階査定額	438,074	その他財源の内訳
-----------	---------	----------

市長段階査定額	438,074	分担金	0
---------	---------	-----	---

区分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳									
国・県支出金	411,374								
地方債	0								
その他	10,000								
一般財源	16,700							10,000	
計	438,074								0

備考欄	
-----	--

経006	項目名	国際経済交流推進事業費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249
-------	--------------	-----	-----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

事業の概要

【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283

【1次総の施策体系】2102 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と相互に経済交流を促進する覚書を締結。平成25年4月に「国際経済発展協議会」を設立するとともに、コーディネーターを配置する「環日本海経済交流センター」を設置。
平成30年度から、人口減少による国内市場の縮小や労働力不足といった地域事業者の深刻な経営課題を解決するため「外国人留学生の地域就労支援事業」に着手。
令和元年度には、ベトナムハノイ市友好団体連合と覚書を締結し、同年10月に市内経済団体・企業を中心とした経済視察団を派遣し、連携を強化。

【事業の目的及び効果】
環日本海地域の友好都市との経済交流を継続し、緊密な連携関係を保つ。
留学生インターンシップを展開し、地域就労留学生を増加させることで地元企業のさらなる海外展開とインバウンド需要取込を支援し、本市の経済発展を推進する。

【事業の内容】
「環日本海経済交流センター」の運営
・地元企業の貿易相談、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング支援
・留学生インターンシップ事業

【事業の実績】
地元企業の貿易相談、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング支援
（相談件数） 令和3年度 令和4年度 令和5年度
373件 378件 307件（12月末時点）
留学生インターンシップ事業
（参加留学生） 令和3年度 令和4年度 令和5年度
中止 2名 1名（12月末時点）

前年度当初予算額	17,928
----------	--------

本年度要求額	14,833
--------	--------

総務部長段階査定額	14,833	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	14,833	分担金	0
---------	--------	-----	---

区分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳									
国・県支出金	0								
地方債	0								
その他	0								
一般財源	14,833								
計	14,833								0

備考欄	
-----	--

経007	項目名	関西情報発信拠点推進事業費		新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249	所属名 経済観光部 経済・雇用戦略課
年度	R6			
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	22,242			
本年度要求額	22,243			
総務部長段階査定額	22,243	その他財源の内訳		
市長段階査定額	22,243	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	22,243			
計	22,243			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282 【1次総の施策体系】 2103 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 平成29年度より、主要商圏である関西圏において、麒麟のまち圏域1市6町（鳥取県：鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県：香美町・新温泉町）のブランド化を推進するため、大阪中之島に「麒麟のまち関西情報発信拠点」を整備・運営。圏域の広域的な連携により、交流人口の増加、移住促進、地元産品の販路拡大を図っている。 【事業の目的及び効果】 麒麟のまち圏域での広域的な連携により、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。 【事業の内容】 麒麟のまち関西情報発信拠点の施設の管理運営及び本施設を拠点とした各種プロモーション事業を行う。 ・麒麟のまち圏域の観光、地元産品、移住定住等の情報発信 ・地元食材を使用した飲食販売及び地元産品の販売等による販路拡大に向けた取組の実施 【事業の実績】 (施設利用者数) (売上金額) 令和3年度 30,608人 36,024千円 ※地域商社とつとりが管理運営 令和4年度 33,984人 44,054千円 令和5年度 35,421人 46,096千円 (見込) ※令和4年度からは中央フードサービス(株)が管理運営(令和4～6年度)				

経008	項目名	SDGs未来都市推進事業費		新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249	所属名 経済観光部 経済・雇用戦略課
年度	R6			
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	27,376			
本年度要求額	23,286			
総務部長段階査定額	23,286	その他財源の内訳		
市長段階査定額	23,286	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	11,642			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	11,644			
計	23,286			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 スマートエネルギータウン推進室 0857-30-8288 【1次総の施策体系】 2101、2102、2103、2104、2201 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン 【事業の経過及び背景】 SDGsの推進に向けて内閣府が創設した「SDGs未来都市」制度について、本市が提案した『サステイナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』が優れた内容と認められ、令和3年度、本市は「SDGs未来都市」に選定された。 【事業の目的及び効果】 SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」「再生可能エネルギーの普及活動を推進」「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進めていく。 【事業の内容】 [経済面] 環境面の取組を活用した次世代農業の育成を推進する。 ①再エネ活用型スマート農業実装補助金 5,000千円(補助率1/2、上限5,000千円) [社会面] 本市独自の取組を県外の方が体験して学ぶことができるワーケーションプログラムを創出する。 ②地域資源を活用した地域活性化に資する事業費支援補助金 2,000千円(補助率1/2、上限1,000千円) [環境面] 再生可能エネルギーの普及活動を推進する。太陽光発電パネルリサイクル材を活用した事業を推進する。 ③エネルギー地産地消まちづくり実証運営支援補助金 2,000千円(補助率1/2、上限1,000千円) ④太陽光パネルリサイクル推進事業補助金 4,000千円(補助率2/3、上限2,000千円) [統合的取組] ⑤SDGs未来都市プロジェクト推進協議会運営経費等 2,681千円 ⑥SDGs未来都市情報発信経費等 7,605千円 【事業の実績】 令和3年度 10,946千円 令和4年度 17,018千円 令和5年度 16,029千円(見込)				

経009	項目名	雇用促進協議会支援事業費	新規事業
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化や人口減少が進むなか、若者の県外流出や雇用のミスマッチによる早期離職などにより、地元企業の人材確保・人材育成は喫緊の課題となっている。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 市内の雇用創造及び雇用促進に関係している機関及び団体が集まり、労働需給の均衡に向けた諸課題の解決に向けて意見交換を行うとともに、構成員各個が施策推進に向けた連携を図ることにより、本市の経済発展及び雇用創造並びに雇用促進に寄与することを目的に設置される鳥取市雇用促進協議会が事業実施することで人材の安定確保に取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施		
前年度当初予算額	1,058	【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
本年度要求額	1,516	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施	
総務部長段階査定額	1,516	【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
市長段階査定額	1,516	【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施	
財源内訳		【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施	
地方債	0	【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
その他	0	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施	
一般財源	1,516	【事業の実績】 ・令和3年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校2校／参加者431人／参加企業43社）、出張企業説明会（説明企業23社／参加者301人）、職場定着セミナー1回開催／参加者21人） ・令和4年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者589人／参加企業43社）、出張企業見学会（説明企業12社／参加者124人） ・令和5年度 地元企業早期ブランディング事業（参加校3校／参加者599人／参加企業34社）、出張企業見学会（説明企業10社／参加者96人）、人材確保・定着セミナー（1回開催予定）（12月末時点）	
計	1,516	【事業の内容】 ・若者の地元定着促進事業（地元企業早期ブランディング事業、高校での出張企業説明会等）の実施 ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催、企業と高校就職担当者との情報交換会）の実施	
備考欄			

経010	項目名	障がい者雇用奨励金	新規事業
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 鳥取県下の障がい者雇用率は2.47%（令和5年6月1日現在）と、現在の法定雇用率2.3%を上回る状況にある。その一方で、法定雇用率達成企業は、307企業・64.2%に留まっている。また、民間企業における障がい者の法定雇用率は、令和6年4月から2.5%に引き上げられることとなり、一層の障がい者雇用の促進を図る必要がある。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 障がい者雇用を検討する市内の法定雇用率未達成事業所が、国のトライアル雇用制度（障がい者を1か月単位で最長3か月（精神障がい者は最長6か月）試用雇用できる制度）を活用した場合に、市として奨励金を交付することで、障がい者雇用の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。		
前年度当初予算額	180	【事業の実績】 令和3年度 1件 50千円 令和4年度より現行支援制度に移行 令和4年度 3件 225千円 令和5年度 1件 45千円（12月末時点）	
本年度要求額	180	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
総務部長段階査定額	180	【事業の実績】 令和3年度 1件 50千円 令和4年度より現行支援制度に移行 令和4年度 3件 225千円 令和5年度 1件 45千円（12月末時点）	
市長段階査定額	180	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 1件 50千円 令和4年度より現行支援制度に移行 令和4年度 3件 225千円 令和5年度 1件 45千円（12月末時点）	
財源内訳		【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和3年度 1件 50千円 令和4年度より現行支援制度に移行 令和4年度 3件 225千円 令和5年度 1件 45千円（12月末時点）	
地方債	0	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
その他	0	【事業の実績】 令和3年度 1件 50千円 令和4年度より現行支援制度に移行 令和4年度 3件 225千円 令和5年度 1件 45千円（12月末時点）	
一般財源	180	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
計	180	【事業の内容】 障がい者を対象とした国のトライアル雇用制度を活用した市内の法定雇用率未達成事業所に対して、月額1.5万円×最長3か月（精神障がい者は最長6か月）の奨励金を支給する。	
備考欄			

経011	項目名	人材確保推進事業費	新規事業
予算書項目	雇用対策事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、人材不足分野や成長分野における人材確保が課題となっている。就職支援に向けては、平成31年1月15日に「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」を締結し、鳥取労働局やハローワーク鳥取と連携した取組を推進している。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 市内企業が求める多様な人材を市内外から確保できる事業を推進し、地域経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①自社の魅力を発信するPR動画の作成経費や人材採用に係る経費の助成（補助率3/4、上限10万円） ②従業員の奨学金返済を支援する制度を設けている事業者に対し、支給する手当の一部助成（補助率1/2、上限8万円） ③雇用対策協定に基づくハローワーク鳥取と連携した取組の実施（障がい者就職面接会、介護事業所就職説明会、高齢者就職面接会、子育て世代向け就職セミナー）		
前年度当初予算額	991	【事業の実績】 ①令和3年度 2件 令和4年度 0件 令和5年度 1件（12月末時点） ②令和3年度 2件 令和4年度 2件 令和5年度 3件（見込） ③令和3年度から令和5年度までの実施内容：障がい者就職面接会、介護事業所説明会、高齢者就職相談会、子育て世代向け就職セミナー	
本年度要求額	1,132	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	1,132	①令和3年度 2件 令和4年度 0件 令和5年度 1件（12月末時点）	
市長段階査定額	1,132	②令和3年度 2件 令和4年度 2件 令和5年度 3件（見込）	
		③令和3年度から令和5年度までの実施内容：障がい者就職面接会、介護事業所説明会、高齢者就職相談会、子育て世代向け就職セミナー	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		①令和3年度 2件 令和4年度 0件 令和5年度 1件（12月末時点）	
国・県支出金	0	②令和3年度 2件 令和4年度 2件 令和5年度 3件（見込）	
地方債	0	③令和3年度から令和5年度までの実施内容：障がい者就職面接会、介護事業所説明会、高齢者就職相談会、子育て世代向け就職セミナー	
その他	0		
一般財源	1,132		
計	1,132		
備考欄			

経012	項目名	働き方改革推進事業費	新規事業
予算書項目	働き方改革推進事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、デジタル技術を活用したりリモートワークなど、時間や場所に捉われない柔軟な働き方が浸透した。国は、最先端技術を活用した働き方改革の推進は、人口減少時代における労働力人口の確保、生産性の向上と関係人口増加による地方の活性化にも寄与するとして推進している。市内中小企業の労働力人口の確保と生産性の向上に向けて、本市においても「働き方改革」による魅力ある職場づくりが求められている。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 長時間労働の是正や家事・育児と仕事ができる柔軟な働き方の推進といった働き方改革の推進に伴い、社員一人ひとりの意識改革や労働生産性の向上が求められる中で、市内中小企業の持続的成長の実現のためには、その原動力となる人材の育成・リスクリングを促進していくことが必要となっている。働き方改革の意義や働き方改革関連法の周知を図るとともに、市内中小企業における働き方改革を通じた労働生産性の向上と人材育成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・働き方・キャリア支援員による企業への訪問 ・従業員のリスクリング、人材育成に取り組む市内中小企業に対し、研修等の開催や受講に係る経費の一部を助成		
前年度当初予算額	219	【事業の実績】	
本年度要求額	1,119	[働き方改革推進セミナー] [企業訪問]	
総務部長段階査定額	1,119	令和3年度 参加者16人（2回開催） 43社	
市長段階査定額	1,119	令和4年度 参加者0人（0回開催） 91社	
		令和5年度 参加者6人（1回開催） 38社（12月末時点）	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,119		
計	1,119		
備考欄			

経013	項目名	伝統工芸等後継者育成支援事業費		新規事業
予算書項目	伝統産業等支援事業費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2103 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 地域の歴史的、文化的財産である伝統工芸における後継者不足は深刻となっている。技術習得にも時間の要し、その間の生計維持が困難であるため、後継者育成について支援し伝統工芸技術の伝承を図る必要がある。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 伝統工芸等の技術を伝承するため、県内外に向けて情報を発信し後継者の募集を行う。また、後継者の受入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行い、伝統工芸の保存及び活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）			
前年度当初予算額	3,325	【事業の実績】 令和3年度 3,327千円（和紙1件、陶磁器1件） 令和4年度 3,020千円（和紙1件） 令和5年度 0千円（12月末時点）		
本年度要求額	3,328			
総務部長段階査定額	3,328	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）		
市長段階査定額	3,328	【事業の実績】 令和3年度 3,327千円（和紙1件、陶磁器1件） 令和4年度 3,020千円（和紙1件） 令和5年度 0千円（12月末時点）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 3,327千円（和紙1件、陶磁器1件） 令和4年度 3,020千円（和紙1件） 令和5年度 0千円（12月末時点）		
国・県支出金	900	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）		
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 3,327千円（和紙1件、陶磁器1件） 令和4年度 3,020千円（和紙1件） 令和5年度 0千円（12月末時点）		
その他	0	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）		
一般財源	2,428	【事業の実績】 令和3年度 3,327千円（和紙1件、陶磁器1件） 令和4年度 3,020千円（和紙1件） 令和5年度 0千円（12月末時点）		
計	3,328	【事業の内容】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金の交付 ・研修・滞在経費助成事業（以下A・Bのいずれか選択） A：日額1万円、月額22万円を上限、通算12か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ B：月額10万円を上限、通算3か月 ※同伴者1名につき月額3万円の上乗せ ・家賃助成事業（月額2万円を上限） ・研修受入助成事業（月額3万円）		
備考欄				

経014	項目名	ふるさと起業家支援プロジェクト事業費		新規事業
予算書項目	新規創業支援事業費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 地域経済係 0857-30-8282			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2101 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 新たな起業や新事業の創出は、地域産業に刺激を与えるものであり、本市においては融資、まちづくりファンドによる支援等を実施している。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の起業家に対して、ふるさと納税制度を活用し、資金調達を提供するクラウドファンディング型の支援事業を実施することで、起業を促すとともに、ふるさと納税の仕組みを活用して地域の外から資金を調達することによって、地域経済の好循環の拡大を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円			
前年度当初予算額	0	※その他財源の寄付金は、クラウドファンディング型ふるさと納税		
本年度要求額	2,542			
総務部長段階査定額	2,542	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円		
市長段階査定額	2,542	【事業の実績】 補助率1/2、上限10万円		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円		
財源内訳		【事業の実績】 補助率1/2、上限10万円		
国・県支出金	0	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円		
地方債	0	【事業の実績】 補助率1/2、上限10万円		
その他	1,000	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円		
一般財源	1,542	【事業の実績】 補助率1/2、上限10万円		
計	2,542	【事業の内容】 （1）ふるさと起業家支援プロジェクト補助金 起業家の取り組みについて、クラウドファンディングの手法により資金調達を行うとともに、本市が上乗せ補助を行う。 クラウドファンディング調達相当額：補助率10/10 上乗せ補助：補助率1/2、上限100万円 （クラウドファンディング調達相当額を超えない範囲で交付） （2）伴走型スタートアップ支援補助金 商工会議所、商工会等の支援機関の伴走支援を受ける起業家について、起業初期に必要な経費の一部を支援する。 補助率1/2、上限10万円		
備考欄				

経015	項目名	物産振興事業費	新規事業
予算書項目	物産振興事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283		
款 商工費	【1次総の施策体系】2103		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市の経済活性化を図るため、県外の物産展等に参加するほか、特産品のブランド化を促進し物産の振興に取り組む。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 県外開催の物産展へ出展し特産品のブランド化を図り、知名度向上と販路拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,641	＜物産展等への出展＞	
本年度要求額	1,870	1 阪神競馬場PR 京阪神地区でのらっきょう・梨のPRと交流促進	
総務部長段階査定額	1,870	2 H O T 連携（姫路市、岡山市）交流 姉妹都市交流事業に参加	
市長段階査定額	1,870	3 郡山市交流 特産品等の物産販売を実施し姉妹都市交流を図る	
		4 関西圏での物産交流 物産販売等を実施するとともに地域間交流を深める	
		5 釧路大漁どんぱく 特産品等の物産販売等を実施し姉妹都市交流を図る	
		6 尼崎競艇PR ポートピア鳥取設置を契機に平成22年に行政協定を締結した尼崎市との交流を推進し、京阪神地域への情報発信を進めるため物産展を開催	
区分	本年度予算額	＜食ブランド創出＞	
国・県支出金	0	特色のある原料・工程で作られている加工食品・生鮮食品等について、鳥取環境大学が持つノウハウを活かし成分分析を行い、科学的データで特色を示す。	
地方債	0	それを活かした製品のブランド化・販路拡大を取り組み、製品の付加価値向上・事業者の利益向上につなげる。	
その他	0	【事業の実績】 ※令和3年度は県外での物産展は中止・延期	
一般財源	1,870	出展状況 令和3年度 0件 令和4年度 5件 令和5年度 8件	
計	1,870		
備考欄			

経016	項目名	物産振興体制強化事業費	新規事業
予算書項目	物産振興事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283		
款 商工費	【1次総の施策体系】2103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 物産振興による経済活性化を図るため、鳥取市観光コンベンション協会が運営している「ふるさと物産館」での加工品や民芸品の展示・販売を支援。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から落ち込んだ物産館の入込者数は回復しつつある。		
目 商工業振興費	インターネットショップ「とっとり市（いち）」は、物産のイメージアップやブランド化を図り、インターネットによる販路の拡大・開拓を促進するため平成23年度に開設。「ふるさと納税」とシステム統合、連携中枢都市圏事業として「麒麟のまち圏域」に拡大。令和2～4年度、大型キャンペーンにより、事業者の販路拡大を支援している。「とっとり市」を運営していた協会が、令和6年度より市から引継ぐことで、「ふるさと物産館」を含む物産振興の施策をスムーズに展開する。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 販路拡大を図るとともに推進体制を整備し、物産振興と観光発展への寄与並びに地産地消の推進を図る。同時に、生産者、事業者及び行政のネットワークの構築や新たなマッチングの充実を図る。		
前年度当初予算額	8,790	【事業の内容】 鳥取市物産振興体制強化事業補助金の交付 補助対象者：鳥取市観光コンベンション協会 事業内容：鳥取市ふるさと物産館の企画運営・広報及び販売先の紹介 とっとり市の企画運営・広報・キャンペーン等の企画	
本年度要求額	22,787	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	22,787	ふるさと物産館 とっとり市	
市長段階査定額	22,787	(補助金額) (入込者) (売上位数) (売上)	
区分	本年度予算額	令和3年度 8,790千円 20,036人 24,559件 111,405千円 (別事業84,895千円)	
国・県支出金	0	令和4年度 8,790千円 30,646人 23,627件 114,687千円 (別事業74,493千円)	
地方債	0	令和5年度 8,790千円 29,835人 13,298件 62,239千円 (12月末時点)	
その他	22,787		
一般財源	0		
計	22,787		
備考欄	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

経017	項目名	制度融資資金(新型コロナウイルス感染症対策)		新規 事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【1次総の施策体系】2101			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 商工業振興費	<p>県市の協調融資のうち地域経済変動対策資金（令和元年国際経済変動のうち新型コロナウイルス感染症に係るもの）が令和2年2月に発動され、巨額の貸出が実行されてきている。</p> <p>【事業の目的及び効果】</p> <p>制度融資では低利な融資を行うために、貸付実行した金融機関に対し協調割合に応じた市負担分を預託し、金融機関は預託金を資金運用の原資として利用する。それにより金融機関は運用益が得られ、低利融資のマイナス金利分を補うことができ、結果として資金供給の円滑化につながる。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>貸付実行した金融機関に対し融資残高等に応じた額を預託する。 ※預託対象は令和2年9月末までに保証申込された融資のみ。</p> <p>【事業の実績】</p> <p>令和3年度 12,412,081千円 令和4年度 11,065,017千円 令和5年度 9,777,144千円</p> <p>※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入</p>			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	10,248,598			
本年度要求額	8,664,140			
総務部長段階査定額	8,664,140	その他財源の内訳		
市長段階査定額	8,664,140	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	8,664,140	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	8,664,140			
一般財源	0			
計	8,664,140			
備考欄				

経018	項目名	各種金融対策利子補助金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)		新規 事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【1次総の施策体系】2101			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 商工業振興費	<p>県市の協調融資のうち地域経済変動対策資金（令和元年国際経済変動のうち新型コロナウイルス感染症に係るもの）が令和2年2月に発動。さらに借入に伴う中小企業者等の負担を軽減すべく、借入に係る利子を県市で補助する方針となった。</p> <p>【事業の目的及び効果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症に起因して資金繰りが困難になった中小企業に融資を行った金融機関及び借り入れた中小企業者等に対し、その利子相当額を補助金として交付することにより、中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資する。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>R2.5～R3.3までに新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等へ無利子で貸し付けた金融機関に対し、国費補助終了後の2年間又は貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。 ※県1/2、市1/2負担</p> <p>【事業の実績】</p> <p>令和3年度 237,655千円 令和4年度 213,943千円 令和5年度 265,045千円（見込）</p> <p>※その他財源の繰入金は、新型コロナウイルス緊急対策基金繰入金</p>			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	279,923			
本年度要求額	346,304			
総務部長段階査定額	346,304	その他財源の内訳		
市長段階査定額	346,304	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	173,152	
		諸収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	173,152			
地方債	0			
その他	173,152			
一般財源	0			
計	346,304			
備考欄				

経019	項目名	コロナ克服特別金融支援資金利子補助金(物価高騰対応臨時交付金)		新規事業
予算書項目	中小企業金融対策費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 企業支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2101			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 県市の協調融資のうち地域経済変動対策資金(令和元年国際経済変動のうち新型コロナウイルス感染症に係るもの)の借入に係る利子を県市で補助する方針となった。当初は国補助制度が活用可能な令和2年度申込分で終了予定だったが、県独自で令和3年度末申込分まで同様の利子補助を行うこととなった。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 新型コロナウイルス感染症に起因して資金繰りが困難になった中小企業に無利子で融資を行った金融機関に対し、その利子相当額を補助金として交付することにより、中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)			
前年度当初予算額	50,585	【事業の実績】 令和3年度 11,747千円 令和4年度 49,354千円 令和5年度 44,676千円(見込)		
本年度要求額	40,390			
総務部長段階査定額	40,390	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)		
市長段階査定額	40,390	【事業の実績】 令和3年度 11,747千円 令和4年度 49,354千円 令和5年度 44,676千円(見込)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 11,747千円 令和4年度 49,354千円 令和5年度 44,676千円(見込)		
国・県支出金	36,351	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)		
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 11,747千円 令和4年度 49,354千円 令和5年度 44,676千円(見込)		
その他	0	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)		
一般財源	4,039	【事業の実績】 令和3年度 11,747千円 令和4年度 49,354千円 令和5年度 44,676千円(見込)		
計	40,390	【事業の内容】 R3.4以降に新型コロナ向け資金を申し込んだ中小企業者等に対し無利子で貸し付けた金融機関に対し、貸付後5年間の利子0.7%相当の額を補助。(県1/2、市1/2負担)		
備考欄				

経020	項目名	企業誘致推進費		新規事業
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	249	所 属 名
年度	R6	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 誘致・振興係 0857-20-3225			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 人口減少が続き、税収が伸び悩む中、地域経済の活性化、雇用の創出を目的に、積極的に企業誘致に取り組んできた。また、コロナ禍を経て、直接の企業訪問に加え、オンラインによる誘致活動が進みつつある。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 税収アップ及び地域の雇用確保のため、本市への企業立地を促進する。立地により、地域への新たな需要が生まれるなど産業構造の高度化及び地元企業の発展にもつながる。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ①企業誘致 鳥取県等関係機関と協調し、鳥取県関西事務所内に配置している企業立地コーディネーター(会計年度任用職員)を中心に首都圏・中京圏・関西圏の企業等への訪問活動を通じて、本市への企業進出を働きかける。併せてオンラインによる誘致交渉を進める。 ②既存工業団地の長寿命化 高浜工業団地の地盤沈下への対応 ③中心市街地への企業誘致戦略策定 IT等事務系のサテライトオフィスを中心市街地に誘致するための戦略策定及び首都圏企業への誘致セールスを行う。			
前年度当初予算額	21,132	【事業の実績】 誘致企業件数 令和3年度 1社 令和4年度 2社 令和5年度 5社(12月末現在)		
本年度要求額	54,237	企業訪問件数 令和3年度 279件 令和4年度 300件 令和5年度 250件(見込)		
総務部長段階査定額	54,237	【事業の内容】 ①企業誘致 鳥取県等関係機関と協調し、鳥取県関西事務所内に配置している企業立地コーディネーター(会計年度任用職員)を中心に首都圏・中京圏・関西圏の企業等への訪問活動を通じて、本市への企業進出を働きかける。併せてオンラインによる誘致交渉を進める。 ②既存工業団地の長寿命化 高浜工業団地の地盤沈下への対応 ③中心市街地への企業誘致戦略策定 IT等事務系のサテライトオフィスを中心市街地に誘致するための戦略策定及び首都圏企業への誘致セールスを行う。		
市長段階査定額	54,237	【事業の実績】 誘致企業件数 令和3年度 1社 令和4年度 2社 令和5年度 5社(12月末現在)		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ①企業誘致 鳥取県等関係機関と協調し、鳥取県関西事務所内に配置している企業立地コーディネーター(会計年度任用職員)を中心に首都圏・中京圏・関西圏の企業等への訪問活動を通じて、本市への企業進出を働きかける。併せてオンラインによる誘致交渉を進める。 ②既存工業団地の長寿命化 高浜工業団地の地盤沈下への対応 ③中心市街地への企業誘致戦略策定 IT等事務系のサテライトオフィスを中心市街地に誘致するための戦略策定及び首都圏企業への誘致セールスを行う。		
財源内訳		【事業の実績】 誘致企業件数 令和3年度 1社 令和4年度 2社 令和5年度 5社(12月末現在)		
国・県支出金	2,961	企業訪問件数 令和3年度 279件 令和4年度 300件 令和5年度 250件(見込)		
地方債	0	【事業の内容】 ①企業誘致 鳥取県等関係機関と協調し、鳥取県関西事務所内に配置している企業立地コーディネーター(会計年度任用職員)を中心に首都圏・中京圏・関西圏の企業等への訪問活動を通じて、本市への企業進出を働きかける。併せてオンラインによる誘致交渉を進める。 ②既存工業団地の長寿命化 高浜工業団地の地盤沈下への対応 ③中心市街地への企業誘致戦略策定 IT等事務系のサテライトオフィスを中心市街地に誘致するための戦略策定及び首都圏企業への誘致セールスを行う。		
その他	0	【事業の実績】 誘致企業件数 令和3年度 1社 令和4年度 2社 令和5年度 5社(12月末現在)		
一般財源	51,276	【事業の内容】 ①企業誘致 鳥取県等関係機関と協調し、鳥取県関西事務所内に配置している企業立地コーディネーター(会計年度任用職員)を中心に首都圏・中京圏・関西圏の企業等への訪問活動を通じて、本市への企業進出を働きかける。併せてオンラインによる誘致交渉を進める。 ②既存工業団地の長寿命化 高浜工業団地の地盤沈下への対応 ③中心市街地への企業誘致戦略策定 IT等事務系のサテライトオフィスを中心市街地に誘致するための戦略策定及び首都圏企業への誘致セールスを行う。		
計	54,237	【事業の実績】 誘致企業件数 令和3年度 1社 令和4年度 2社 令和5年度 5社(12月末現在)		
備考欄				

経021	項目名	企業立地促進補助金	新規事業
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 消費者ニーズの多様化や価格競争の激化等により本市経済の停滞が懸念されている中、企業の人材確保や生産性向上が課題となっている。原材料費や電気料金の高騰、円安等の影響により、今後更に企業活動の停滞が懸念される。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 企業の立地や設備投資を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 企業等の設備投資等に係る経費に対する支援の実施		
前年度当初予算額	215,305	①企業立地促進補助金（通常メニュー） 対象業種：製造業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業など 補助金額：投資額×10%、上限200,000千円	
本年度要求額	376,897	②企業立地促進補助金（所得向上メニュー） 対象事業：認定を受けた先端設備等導入計画に従って導入する設備に対し、常用雇用者の所定内賃金の一定割合以上の向上を条件に支援する。 補助金額：投資額×25～50%、上限25,000～75,000千円	
総務部長段階査定額	376,897	③情報通信関連企業立地促進補助金 対象業種：ソフトウェア業、デザイン業、インターネット付随サービス業など 補助金額：借室料×1/6または1/4、上限2,000～10,000千円	
市長段階査定額	376,897	④オフィス移転・新設支援事業補助金（新設） 対象事業：オフィスを本市内に移転・新設する事業、本市への視察を行う事業等 補助金額：テナント改修費・設備費等×1/4、1/3または1/2、上限1,500～5,000千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度	
国・県支出金	0	令和4年度	令和5年度（見込）
地方債	0	①18社 340,667千円	12社 164,209千円
その他	195,348	②0社 0千円	0社 0千円
一般財源	181,549	③1社 582千円	6社 5,381千円
計	376,897	④1社 6,300千円	8社 557千円
備考欄		19社 575,748千円 1社 74,750千円 3社 1,471千円 1社 5,000千円	
		※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金	

経022	項目名	労働力確保対策企業支援事業費	新規事業
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過および背景】 本市では、人口減少や少子高齢化の進展もあり、労働力人口が減少傾向となっている。一方、積極的な企業の誘致活動の成果もあり求人が増える中、地元中小企業における人手不足が懸念されており、地元産業の振興のための人材確保が喫緊の課題となっている。		
目 商工業振興費	国では、外国人の高度人材の受け入れを拡大していく取組みが進んでおり、本市でも日本語学校が設立され、人材確保を進めてきた。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 日本語学校を活用し、優秀な人材を確保しようとする市内企業に対し、リクルート費用の負担軽減を図ることで積極的な雇用確保を促し、地元企業の発展につなげる。		
前年度当初予算額	2,800	【事業の内容】 日本語教育による外国人留学生の人材育成・確保に取組む市内事業者に対し、その経費の一部を支援する。	
本年度要求額	2,800	外国人材確保・定着支援事業補助金 補助対象：日本語教育費用及び人材紹介手数料 補助率：1/2（1人あたり上限400千円）	
総務部長段階査定額	2,800	【事業の実績】	
市長段階査定額	2,800	令和3年度 2,297千円	
区分	本年度予算額	令和4年度 2,000千円	
財源内訳		令和5年度 2,000千円（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,800		
計	2,800		
備考欄			

経023	項目名	事業承継推進事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【1次総の施策体系】2101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	鳥取県の後継者不在率は71.5%と全国1位（帝国データバンク調べ2023）の高水準となっており、経営者の高齢化、若者の都市部への流出など、後継者不足は大きな課題である。また、円滑な事業承継に向けての税制改正や各種補助金等様々な取組が国を挙げて進められている中、本市としても専門機関等と連携し、事業承継支援や事業承継に関する啓発活動が必要とされている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	4,018	事業承継に関する費用支援や、事業承継セミナーの開催により本市における事業承継の促進を図り、産業の維持・継続的發展に寄与する。	
本年度要求額	1,995	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,995	①事業承継推進補助金	
市長段階査定額	1,995	制度融資「事業承継支援資金」、日本政策金融公庫「事業承継・集約・活性化支援資金（個人企業・小規模企業向け）」を借り入れた事業者に対し、利子の一部を補助する。（補助率2/3 補助期間 7年以内 限度額 700千円（単年度100千円））	
区分	本年度予算額	②第三者承継支援補助金	
国・県支出金	0	第三者への事業承継について専門機関に相談する際に生じる経費（成功報酬）の一部を補助する。（補助率1/5 限度額1,000千円）	
地方債	0	③事業承継セミナー開催	
その他	0	市内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、経営者、後継者などを対象とした「事業承継セミナー」を開催する。	
一般財源	1,995	年2回開催（外部講師への報償費：150,000円）	
計	1,995	【事業の実績】	
備考欄		令和3年度 令和4年度 令和5年度	
		① 487千円 381千円 473千円（見込）	
		②1,000千円 250千円 1,000千円（見込）	

経024	項目名	関係人口推進事業費	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225		
款 商工費	【1次総の施策体系】2103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	地方では、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面している。地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。また、コロナ禍以降、テレワークの普及によりワーケーションと言った新たな働き方が生まれてきた。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	8,000	関係人口は、地域の担い手となるだけでなく、地域住民との交流がイノベーションや新たな価値を生み、内発的發展につながるほか、将来的な移住者の増加にもつながることが期待される。また、関係人口の創出・拡大は、受入側のみならず、地域にかかわる人々にとっても、更なる成長や自己実現の機会をもたらす、双方にとって重要な意義がある。このため、地方とのつながりの強化に向けてきつかけづくりを支援し、地域とつながる人や企業を増大させることを目指す。	
本年度要求額	1,800	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	1,800	①ワーケーションプログラム造成・実施経費支援	
市長段階査定額	1,800	（補助率1/2、上限1,000千円）	
区分	本年度予算額	②とっとりワーケーションネットワーク協議会運営支援	
国・県支出金	900	（補助率1/2、上限800千円）	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	<R5実績（見込）>①1件 884千円 ②1件 800千円	
一般財源	900		
計	1,800		
備考欄			

経025	項目名	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費	新規事業
予算書項目	新規創業支援事業費	ページ	249
年度	R6	所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 若者や中堅層などが市内企業への就職を選択せず、域外の企業を選択する状況がある中で、好きな事を生業とできる起業への支援が必要とされている。 産業競争力強化法に基づく国の認定創業支援事業計画（計画期間：令和6年度まで）を策定し、年間120件以上の創業の実現に向け、各種事業を実施中。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 若者定住、関係人口増加、商店街の空き店舗解消などの課題解決に向け、「起業のまち鳥取市」のイメージを市内外に定着させ、市民や都市部の活気ある起業家の機運を高め、地域全体で起業促進を図る。 また、魅力あるまちづくり事業に、集中的に投資・融資を行うことで、単発的な事業開始のみならず、金融機関等の伴走型支援により、一層の波及的な効果促進を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,549	1. 起業希望者の掘り起し・サポート	
本年度要求額	1,170	2. 定住希望者向け情報提供	
総務部長段階査定額	1,170	3. まちづくり投融资～リノベーション創業型～の活用促進	
市長段階査定額	1,170	4. まちづくり融資への利子補助	
区分	本年度予算額	補助対象者：融資をした金融機関	
国・県支出金	0	補助額：融資利率1.7%に相当する額	
地方債	0	補助期間：10年	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	1,170	令和3年度 令和4年度 令和5年度（見込）	
計	1,170	投資件数：0件 0千円 0件：0円 0件：0円	
		融資件数：0件 0千円 0件：0円 0件：0円	
		利子補助額：1,959千円 1,418千円 1,194千円	
		(融資への利子補助金で予算計上)	
備考欄			

経026	項目名	文化芸術観光創造事業費	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、本市から旧鹿野小学校舎等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出に寄与している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 特色ある鳥の劇場の「舞台芸術」を活用し、新たな文化芸術観光の創造を図るため、教育旅行など団体旅行の誘致や誘客イベントを開催し、地域経済の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	3,548	(1) 旅行商品の造成等（旅行会社委託）	
本年度要求額	3,548	鳥の劇場を活用した新たな旅行商品開発とモニターツアー等の実施	
総務部長段階査定額	3,548	(2) 芸術文化と温泉、食を結び付けた誘客イベントの開催	
市長段階査定額	3,548	温泉地を拠点に食や文化などの地域資源を体感できる「ONSENガストロノミーウォーキング」の開催	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	1,775	令和5年度 3,052千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,773		
計	3,548		
備考欄			

経027	項目名	周遊観光促進事業費(物価高騰対応臨時交付金)		新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	251	所 属 名
年度	R6	経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 インバウンド需要の本格的な回復が見込まれる中、本市を訪れる観光客の周遊を促すための二次交通の充実が求められている。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 本市の主要観光スポット等を巡る格安周遊観光タクシーの運行を支援することで、外国人観光客の誘客と周遊促進を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 格安周遊観光タクシーの運行(主体：鳥取ハイヤー共同組合) (1) 外国人観光客を対象とする3時間4,000円/台で乗車可能な格安周遊観光タクシーを運行する。 (2) 運賃収入を除いた運行経費を予算の範囲内で支援(運行台数：3,100台)			
前年度当初予算額	15,846	【事業の実績】 令和3年度 2,991千円(運行台数 330台) ※新型コロナウイルス感染症の影響による運休期間あり 令和4年度 11,307千円(運行台数 1,330台) 令和5年度 24,813千円(運行台数 2,950台)		
本年度要求額	28,410			
総務部長段階査定額	28,410	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	28,410	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
備 考 欄				

経028	項目名	大阪・関西万博誘客アクション事業費		新規事業
予算書項目	観光宣伝事業費	ページ	251	所 属 名
年度	R6	経済観光部 観光・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 2025年開催予定の「大阪・関西万博」は、国内外から約2,820万人の来場が見込まれており、地方への観光需要の波及が期待されている。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「大阪・関西万博」を見据え、大阪市内で観光PRイベント等を開催することで、本市の知名度向上を図り、国内外からの誘客促進につなげる。			
(単位：千円)	【事業の内容】 大阪市内での砂像展示や物販を伴うPRイベント等の開催(約1週間程度) 内容：シンボル砂像の展示、物産イベント(週末等)、傘踊りステージ、大型モニターでのPR映像放映など			
前年度当初予算額	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
本年度要求額	10,000			
総務部長段階査定額	10,000	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	10,000	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	10,000	
		贈収金	0	
		その他	0	
備 考 欄				

経029	項目名	しゃんしゃん祭振興会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【1次総の施策体系】2202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 昭和40年に始まった鳥取しゃんしゃん祭は、鳥取の夏の一大イベントとして定着しており、毎年多くの踊り子と観客で賑わっている。昨年の59回大会は4年ぶりの中心市街地開催となり、多くの踊り子、観客で賑わう祭りとなった。今後も鳥取の夏を代表する祭りとして継続し、観光振興や中心市街地の活性化を図る必要がある。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鳥取の夏を代表する祭りとして、観光誘客の促進や中心市街地の活性化に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取しゃんしゃん祭を運営する鳥取しゃんしゃん祭振興会の活動を支援する。また、令和6年度は60回記念大会となることからイベントの開催など特別事業を実施する。		
前年度当初予算額	30,108	【事業の実績】 令和3年度 12,867千円 令和4年度 16,199千円 令和5年度 26,163千円(見込)	
本年度要求額	40,701	※その他財源の寄附金は、クラウドファンディング型ふるさと納税 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	40,701	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	40,701	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	1,000
		繰入金	8,412
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	9,412		
一般財源	31,289		
計	40,701		
備考欄			

経030	項目名	砂の美術館管理運営費	新規事業
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291		
款 商工費	【1次総の施策体系】2202 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 砂の美術館は、平成18年に第1期展示を開始し、平成24年に世界初となる屋内砂像展示施設をオープン。平成30年1月に利用料金制に移行し、指定管理者による管理運営を行っている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 世界初の砂像展示専門の美術館として、毎年テーマを変え、世界トップレベルの砂像彫刻家による作品を展示し、観光振興及び地域経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 砂の美術館総合プロデュース業務 (2) 指定管理者（鳥取砂丘砂の美術館活性化共同企業体）による管理運営 (3) 空調設備更新、屋根及び外壁改修工事 (4) 砂像用砂精製業務 (5) 展望駐車場の土地借上料等		
前年度当初予算額	156,109	【事業の実績】 令和3年度 85,878千円 指定管理料、プロデュース業務、土地借上料等 令和4年度 145,230千円 指定管理料、プロデュース業務、土地借上料等 令和5年度 158,816千円(見込) 指定管理料、プロデュース業務、砂像解体・型枠盛土業務等	
本年度要求額	69,799	※その他財源の諸収入は、砂の美術館固定納付金	
総務部長段階査定額	69,799	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	69,799	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	36,699
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	33,100		
その他	36,699		
一般財源	0		
計	69,799		
備考欄			

経031	項目名	砂丘管理事業費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘管理事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 ジオパーク推進係 0857-30-8293		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 鳥取砂丘は山陰海岸国立公園に指定され、毎年多くの観光客が訪れることから、保全と利活用の両立による適切な管理が求められている。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鳥取砂丘を訪れる観光客の受入環境を整備し適切に管理することで、観光地としての魅力向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 鳥取砂丘海岸の漂着ゴミの収集、運搬、処理 (2) 鳥取砂丘及び周辺の清掃等維持管理 (3) ゴールデンウィーク等における鳥取砂丘周辺道路の渋滞対策の実施 (臨時駐車場の開設、臨時バス等の運行、交通誘導員の配置等) (4) 鳥取砂丘景観保全再生事業負担金等 (5) 鳥取砂丘西側の滞在環境の上質化の推進及び学校・社会教育団体など既存利用者の活動支援		
前年度当初予算額	50,490	【事業の実績】 令和3年度 40,222千円 令和4年度 57,761千円 令和5年度 47,698千円(見込)	
本年度要求額	67,557	※その他財源の財産収入は、普通財産土地及び建物賃付料、自然公園財団土地賃付収入 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘渋滞対策県負担金	
総務部長段階査定額	67,557	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	67,557	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	100
		寄付金	0
		繰入金	38,230
		諸収入	6,006
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	7,110		
地方債	0		
その他	44,336		
一般財源	16,111		
計	67,557		
備考欄			

経032	項目名	広域観光開拓・推進事業費	新規事業
予算書項目	広域観光開拓・推進事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202、2204 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 鳥取県東部・兵庫県北但西部の1市6町による広域観光周遊圏を形成するため、平成30年1月に地域連携DMO「(一社) 麒麟のまち観光局」を設立し、広域観光商品の開発やマーケティング等に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち観光局が取り組む圏域の周遊促進やプロモーション活動・観光DXの推進等を支援することにより、麒麟のまち圏域への誘客と観光消費の拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 麒麟のまち観光局へ負担金を支出し、活動を支援する。 (1) 運営費負担金(事務局体制の強化、運営に係る管理経費) (2) 事業費負担金 ・観光DXの推進による圏域のファンづくり、データ取得 ・山陰海岸ジオパークやローカル鉄道を活かした広域周遊ルートの造成 ・JTRweb(海外向けの販路、誘客システム)を活用した販促プロモーションの実施 ・WEBアンケートの実施、マーケティング分析		
前年度当初予算額	31,260	【事業の実績】 令和3年度 (1) 25,000千円 (2) 4,402千円 令和4年度 (1) 25,000千円 (2) 14,250千円 令和5年度 (1) 25,000千円(見込) (2) 23,060千円(見込)	
本年度要求額	51,762		
総務部長段階査定額	51,762	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	51,762	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	19,858		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	31,904		
計	51,762		
備考欄			

経033	項目名	山陰海岸ジオパーク事業費	新規事業
予算書項目	山陰海岸ジオパーク事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 ジオパーク推進係 0857-30-8293		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	平成22年10月、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定され、その後、4年ごとに再認定審査が行われている。令和4年10月に3回目の再認定に係る現地審査が行われ、2年間の条件付き再認定となった。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	38,887	山陰海岸ジオパークを活かした官民一体による持続的な取組を行うことにより、ジオサイトの保全や教育、観光分野等での活用を図る。	
本年度要求額	36,290	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	36,290	(1) 教育活動の推進（市内小学校等の校外学習支援）、ガイド研修の実施	
市長段階査定額	36,290	(2) 散策モデルコース看板等の設置、修繕	
		(3) 山陰海岸ジオパーク魅力活用総合補助金による活動支援	
		(4) 多鯉ヶ池周辺整備の推進	
		(5) ユネスコ世界ジオパークの再認定審査に向けた取組の推進	
		(6) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への負担金拠出	
		【事業の実績】	
		令和3年度 17,962千円	
		令和4年度 24,712千円	
		令和5年度 39,150千円（見込）	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
備考欄			

経034	項目名	まちなか観光推進事業費	新規事業
予算書項目	まちなか観光推進事業費	ページ	251
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 観光振興係 0857-30-8292		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 観光費	史跡鳥取城跡は復元整備が進み、令和2年の「擬宝珠橋」完成に続き、令和3年には「中ノ御門表門」が完成。現在は、令和6年度中の完成を目前に「中ノ御門渡櫓門」の整備が進められており、復元整備の進展とともに城跡周辺観光の振興を図る必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	26,017	史跡鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光の振興を図ることで、滞在型観光の推進につなげる。	
本年度要求額	16,506	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	16,506	(1) 鳥取城跡ライトアップの開催	
市長段階査定額	16,506	(2) 鳥取城跡ナイトマルシェ（年8回）の開催 （主体：鳥取市観光コンベンション協会）	
		(3) 商店街エリアの魅力化・賑わいの創出	
		(4) ニノ丸三階櫓ARの機能拡充	
		(5) 鳥取城跡周辺駐車場満空システムの管理・運営	
		【事業の実績】	
		令和4年度 31,963千円	
		令和5年度 26,229千円（見込）	
備考欄			

経035	項目名	観光地再生・高付加価値化事業費	新規事業	○
------	-----	-----------------	------	---

予算書項目	まちなか観光推進事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-----	----------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

事業の概要

【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292

【1次総の施策体系】2202

【事業の経過及び背景】
通過型観光から宿泊等を伴う滞在型観光への転換を図るため、昨年12月、観光庁の補助事業採択を受け、鳥取温泉周辺エリアの宿泊事業者や鳥取砂丘・鳥取城跡の観光事業者等と連携し、地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化の取組を進めている。

【事業の目的及び効果】
宿泊施設の改修や鳥取砂丘の廃屋の撤去を進めるとともに、鳥取城跡を観光拠点として磨き上げ、観光案内等の充実を図るための施設整備及び実証実験を行う。

【事業の内容】
(1) 桜寛苑（旧金田家住宅）の土蔵改修支援：5,637千円
(2) 鳥取市観光コンベンション協会への実証事業委託：7,709千円
内容：桜寛苑土蔵でのカフェ、物販販売、観光案内など

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	13,346
--------	--------

総務部長段階査定額	13,346	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	13,346	分担金	0
---------	--------	-----	---

区分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
財源内訳	国・県支出金	2,505							
	地方債	0							
	その他	10,841					10,841		
	一般財源	0							
計	13,346								

備考欄	
-----	--

農001	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	239
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。 また、農業後継者については、地域農業の担い手として位置付けられた農業経営主が、将来その経営を移譲する親族（子）に対して農業技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修について支援を行う。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農業研修生や農業後継者の確保及び円滑な就農のための支援。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①農業体験事業 2人 3,600千円 ②親元就農研修 2人 2,400千円		
前年度当初予算額	16,285	【事業の実績】 令和3年度 11,592千円 親元就農研修5人、農業体験者1人 令和4年度 12,946千円 親元就農研修3人、農業体験者2人 令和5年度 9,125千円（見込） 親元就農研修3人	
本年度要求額	20,040		
総務部長段階査定額	12,617	【事業の内容】 ①農業体験事業 2人 3,600千円 ②親元就農研修 2人 2,400千円	
市長段階査定額	12,617	【事業の実績】 令和3年度 11,592千円 親元就農研修5人、農業体験者1人 令和4年度 12,946千円 親元就農研修3人、農業体験者2人 令和5年度 9,125千円（見込） 親元就農研修3人	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ①農業体験事業 2人 3,600千円 ②親元就農研修 2人 2,400千円	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 11,592千円 親元就農研修5人、農業体験者1人 令和4年度 12,946千円 親元就農研修3人、農業体験者2人 令和5年度 9,125千円（見込） 親元就農研修3人	
国・県支出金	1,600		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	11,017		
計	12,617		
備考欄			

農002	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	239
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の給付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農を目指す青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営に繋げる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①経営開始資金 4人（国10/10） 6,000千円 ②農地賃借料助成金 4人（市10/10） 405千円 ③就農条件整備事業 2人（県1/3・市1/6） 3,444千円 ④経営発展支援事業 1人（国1/2・県1/4） 7,199千円		
前年度当初予算額	28,073	【事業の実績】 令和3年度 15,118千円 令和4年度 18,864千円 令和5年度 10,894千円（見込）	
本年度要求額	20,682		
総務部長段階査定額	20,682	【事業の内容】 ①経営開始資金 4人（国10/10） 6,000千円 ②農地賃借料助成金 4人（市10/10） 405千円 ③就農条件整備事業 2人（県1/3・市1/6） 3,444千円 ④経営発展支援事業 1人（国1/2・県1/4） 7,199千円	
市長段階査定額	20,682	【事業の実績】 令和3年度 15,118千円 令和4年度 18,864千円 令和5年度 10,894千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ①経営開始資金 4人（国10/10） 6,000千円 ②農地賃借料助成金 4人（市10/10） 405千円 ③就農条件整備事業 2人（県1/3・市1/6） 3,444千円 ④経営発展支援事業 1人（国1/2・県1/4） 7,199千円	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 15,118千円 令和4年度 18,864千円 令和5年度 10,894千円（見込）	
国・県支出金	18,744		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,938		
計	20,682		
備考欄			

農003	項目名	農業公社運営事業補助金	新規事業
予算書項目	農業公社運営事業補助金	ページ	239
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市農業公社は、平成20年の国府・鹿野・青谷の公社統合と平成25年の一般財団法人化を経て、高齢化や後継者不足に対応するため、農地保有合理化事業と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与してきた。 農地貸借事業実施団体として、鳥取、福部、国府、鹿野、青谷地域のエリアで農地の流動化や荒廃農地の拡大防止に取り組んでいる。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農地保全及び集積による地域農業の振興と、農村地域の維持発展に寄与することを目的とする農業公社の円滑な運営を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	9,476	①公社事務局事業 4,476千円 ②農地中間管理事業 1,900千円 ③農地保全等事業 3,100千円 補助率：10/10	
本年度要求額	9,476	【事業の実績】 令和3年度 9,476千円 令和4年度 9,476千円 令和5年度 9,476千円（見込）	
総務部長段階査定額	9,476	令和3年度 令和4年度 令和5年度 農地中間管理事業面積 96.8ha 86.0ha 59.7ha（見込） 農作業受託面積 44.6ha 52.1ha 52.0ha（見込）	
市長段階査定額	9,476	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	9,476	財産収入	0
計	9,476	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

農004	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	239
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、近年、生産者の高齢化、後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売を支援することにより、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	22,698	①鳥取梨生産振興事業【県間接】（新甘泉、二十世紀、王秋ほか） 計6事業者 ・新植、果樹棚、かん水、防蟻灯、防風施設等整備 8,644千円（補助率：県1/2～2/3） ・育成促進（奨励金） 1,120千円（補助率：県1/2・市1/2） ・低コスト・体制強化 1,280千円（補助率：県1/3）	
本年度要求額	16,047	②鳥取柿ぶどう等生産振興事業【県間接】（柿・ぶどう） 計5事業者 ・新植、果樹棚、かん水、ハウス等整備等 4,645千円（補助率：県1/2） ・育成促進（奨励金） 168千円（補助率：県1/2・市1/2） ・低コスト・体制強化 154千円（補助率：県1/3）	
総務部長段階査定額	16,047	③果樹振興対策事業【単市】 ・品質向上支援事業（マルチ購入） 36千円（補助率：市1/2）	
市長段階査定額	16,047	【事業の実績】 令和3年度 16,692千円 令和4年度 14,721千円 令和5年度 13,779千円（見込）	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	15,367	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	680	財産収入	0
計	16,047	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

農005	項目名	新嘗祭献穀米事業費		新規事業	○
予算書項目	特別栽培農産物生産振興事業費	ページ	241	所属名	農林水産部 農政企画課
年度	R6				
会計名					
一般会計					
款	農林水産業費				
項	農業費				
目	農業振興費				
(単位：千円)					
前年度当初予算額	0				
本年度要求額	1,300				
総務部長段階査定額	1,300	その他財源の内訳			
市長段階査定額	1,300	分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収金	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳					
国・県支出金	0				
地方債	0				
その他	0				
一般財源	1,300				
計	1,300				
備考欄					
事業の概要 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 【1次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 新嘗祭献穀事業は、県の各総合事務所農林局の輪番で行われており、令和6年度は東部農林事務所管内が行うこととなっている。 東部農林事務所管内では、平成25年度に鳥取市（用瀬町）で行って以降、平成28年度智頭町、平成30年度岩美町、令和3年度八頭町で実施しており、令和6年度は鳥取市で実施することとなった。 【事業の目的及び効果】 日本古来の伝統行事である新嘗祭の献穀に奉仕する者を支援することにより、本市の農業振興を図る。 【事業の内容】 事業実施主体：新嘗祭献穀米実行委員会（奉仕者、地元自治会、県、市） 事業概要：播種式、田植式、抜穂式、献納式の実施 実施場所：気高町下坂本地内 事業費：1,450千円（市1,300千円、JA150千円）					

農006	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費		新規事業	
予算書項目	みんなでやらいや農業支援事業費	ページ	241	所属名	農林水産部 農政企画課
年度	R6				
会計名					
一般会計					
款	農林水産業費				
項	農業費				
目	農業振興費				
(単位：千円)					
前年度当初予算額	20,749				
本年度要求額	22,759				
総務部長段階査定額	8,885	その他財源の内訳			
市長段階査定額	8,885	分担金	0		
		負担金	0		
		使用料	0		
		手数料	0		
		財産収入	0		
		寄付金	0		
		繰入金	0		
		贈収金	0		
		その他	0		
区分	本年度予算額				
財源内訳					
国・県支出金	5,923				
地方債	0				
その他	0				
一般財源	2,962				
計	8,885				
備考欄					
事業の概要 【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305 【1次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。 【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取り組みに対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。 【事業の内容】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 （補助率）ソフト：県1/2・市1/6、ハード：県1/3・市1/6 （補助上限額）個人：4,500千円、法人等：10,500千円 ○令和6年度実施予定 がんばる農家プラン事業費補助金 鳥取（継続1件・新規1件）コンバイン、ハンマーナイフモア 国府（継続1件）玄米保管庫 【事業の実績】 令和3年度 6,245千円 令和4年度 23,430千円 令和5年度 17,895千円（見込）					

農007	項目名	産地主体型就農支援モデル確立事業費	新規事業
予算書項目	産地主体型就農支援モデル確立事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 産地の維持・発展に必要な新規就農者の確保、定着をより円滑に進めるためには、地域ぐるみでの受入体制の構築が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 産地が主体的に後継者を育成・確保する仕組みとして、産地の将来ビジョンに基づき、新規就農希望者に対する技術習得研修、継承すべき優良農地の維持管理、研修や営農開始に必要な機械・施設整備等を先行して進め、パッケージで支援する体制づくりを支援し、受入体制の構築を進める。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○新規就農者の確保育成に必要な活動に要する経費 1件 202千円 補助率：10/10 (県1/2・市1/2) ○新規就農者等が賃借するまでの間、生産者グループ等が行う優良園を維持管理する経費 1件 3,520千円 (梨園88a) 補助率：10/10 (県1/2・市1/2)、補助額 (梨園)：400千円/10a		
前年度当初予算額	2,146	【事業の実績】 令和3年度 146千円 令和4年度 2,000千円 令和5年度 2,145千円 (見込)	
本年度要求額	3,722		
総務部長段階査定額	3,722	【事業の内容】 ○新規就農者の確保育成に必要な活動に要する経費 1件 202千円 補助率：10/10 (県1/2・市1/2) ○新規就農者等が賃借するまでの間、生産者グループ等が行う優良園を維持管理する経費 1件 3,520千円 (梨園88a) 補助率：10/10 (県1/2・市1/2)、補助額 (梨園)：400千円/10a	
市長段階査定額	3,722	【事業の実績】 令和3年度 146千円 令和4年度 2,000千円 令和5年度 2,145千円 (見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ○新規就農者の確保育成に必要な活動に要する経費 1件 202千円 補助率：10/10 (県1/2・市1/2) ○新規就農者等が賃借するまでの間、生産者グループ等が行う優良園を維持管理する経費 1件 3,520千円 (梨園88a) 補助率：10/10 (県1/2・市1/2)、補助額 (梨園)：400千円/10a	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 146千円 令和4年度 2,000千円 令和5年度 2,145千円 (見込)	
国・県支出金	1,861		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,861		
計	3,722		
備考欄			

農008	項目名	農産物販路拡大支援事業費	新規事業
予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められる中、本市及び麒麟のまち圏域の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝、商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきたが、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給量の確保が困難な事や、流通コスト高により取引単価が見合わないなどの理由により、直接取引に繋がらないケースが多い現状がある。その課題を解決するためには、産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流・商流の一本化などの取り組みを推進していく必要がある。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏においてマルシェの開催や商談を通して広域的なPR活動を行い、麒麟のまち圏域の農林水産物等の知名度アップを図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①とっとり旬菜マルシェ等開催業務 ②麒麟のまち特産品商談業務 ③米の流通及び消費拡大業務 ④麒麟のまち賑わい創出事業		
前年度当初予算額	891	○令和6年度実施予定 マルシェ 30回 (大阪25回・兵庫2回・東京1回・広島1回・岡山1回) 商談事業 44回 (現地商談4回・訪問商談30回・リモート商談10回)	
本年度要求額	9,968	【事業の実績】 令和3年度 8,165千円 令和4年度 4,030千円 (コロナ交付金事業分除く) 令和5年度 891千円 (コロナ交付金事業分除く) (見込)	
総務部長段階査定額	8,274		
市長段階査定額	8,274		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	8,274		
計	8,274		
備考欄			

農009	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①梨実証事業のデータ公開用HP運営業務 ②JGAP普及業務		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 8,762千円 令和4年度 2,330千円 令和5年度 2,000千円(見込)	
本年度要求額	1,165		
総務部長段階査定額	965	【事業の内容】	
市長段階査定額	965	①梨実証事業のデータ公開用HP運営業務 ②JGAP普及業務	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和3年度 8,762千円 令和4年度 2,330千円 令和5年度 2,000千円(見込)	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	965		
計	965		
備考欄			

農010	項目名	スマート農業実装加速化促進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備(スマート農機)や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率：1/2(県：1/3・市：1/6) 補助上限額 ※共同利用で上限額の嵩上げあり ・個人：4,500千円(共同利用：9,000千円) ・法人等：10,500千円(共同利用：21,000千円)		
前年度当初予算額	23,804	○令和6年度実施予定 河原(1件)自動操舵付きトラクター、直進アシスト付き田植機、 トラクター用後付け自動操舵装置 鳥取(1件)収量センサー付きコンバイン	
本年度要求額	12,575	【事業の実績】 令和3年度 13,022千円 令和4年度 22,182千円 令和5年度 22,018千円(見込)	
総務部長段階査定額	12,575		
市長段階査定額	12,575		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	8,382		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,193		
計	12,575		
備考欄			

農011	項目名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	新規事業
予算書項目	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農林水産物の価格が低迷傾向にある中、6次産業化（農商工連携）の取組は農林漁業者の所得確保の手段のひとつとして有効である。農林漁業者の主体的な6次産業化への取組には新たな加工機械導入への大きな投資が必要であることから、こうした取組に対する支援が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組む6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携を推進することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①6次産業型・補助率1/2（県1/3・市1/6） ・賀露（継続1件）：干し芋用蒸し器・乾燥機 ②農商工連携型・補助率1/3（県1/3） ・福部（新規1件）：どら焼き機		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 14,118千円（※県返還金353千円含む） 令和4年度 9,801千円 令和5年度 0千円	
本年度要求額	5,483		
総務部長段階査定額	5,483	【事業の内容】	
市長段階査定額	5,483	①6次産業型・補助率1/2（県1/3・市1/6） ・賀露（継続1件）：干し芋用蒸し器・乾燥機 ②農商工連携型・補助率1/3（県1/3） ・福部（新規1件）：どら焼き機	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	5,178	令和3年度 14,118千円（※県返還金353千円含む） 令和4年度 9,801千円 令和5年度 0千円	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	305		
計	5,483		
備考欄			

農012	項目名	鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業費	新規事業
予算書項目	鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の生産現場では、産地競争力の強化が求められており、より高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組が急務となっており、その中において、イチゴは生食用の需要の増加による高価格での取引が増加するなど、有望な品目となっている。 平成30年10月に県オリジナル品種のイチゴ「とっておき」が品種登録されたことから、「とっておき」を核としたイチゴ産地化を強力に推進し、農業生産額並びに農業所得の拡大を図る。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取県の戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業を活用し、高設栽培設備等の施設整備を支援することで、生産基盤の強化を図り、「とっておき」の安定供給と産地化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 生産・技術向上支援事業 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限：525千円 ①光合成促進機の導入（六反田） 219千円 ②炭酸ガス局所施用機の導入（賀露） 525千円		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 11,119千円 令和4年度 1,073千円 令和5年度 684千円（見込）	
本年度要求額	744		
総務部長段階査定額	744	【事業の内容】	
市長段階査定額	744	生産・技術向上支援事業 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限：525千円 ①光合成促進機の導入（六反田） 219千円 ②炭酸ガス局所施用機の導入（賀露） 525千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	496	令和3年度 11,119千円 令和4年度 1,073千円 令和5年度 684千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	248		
計	744		
備考欄			

農013	項目名	鳥の農場文化交流創造事業費		新規事業
予算書項目	鳥の農場文化交流創造事業費		ページ	241
年度	R6		所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、「鳥の演劇祭」を毎年開催し、本市の文化芸術の振興や、劇場を中心とした賑わい創出に寄与している。 本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、舞台芸術を活用した地域の活性化を推進している。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また県内外における公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にPRし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大につなげる。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	3,000	①鳥の農場舞台公演委託事業 農政課題（みどり戦略：有機農業）をテーマとしたワークショップ及び舞台公演一式 1,000千円		
本年度要求額	3,000	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 公演にあわせてマルシェ及び食材提供含む農産物販促等一式 1,000千円		
総務部長段階査定額	3,000	③鳥の6次化新商品開発支援 地域の特産品で新商品を開発、キャストを通じて広く新商品PRの実施一式 1,000千円		
市長段階査定額	3,000	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳		①鳥の農場舞台公演委託事業 農政課題（みどり戦略：有機農業）をテーマとしたワークショップ及び舞台公演一式 1,000千円		
国・県支出金	1,500	②鳥の農場舞台マルシェ委託事業 公演にあわせてマルシェ及び食材提供含む農産物販促等一式 1,000千円		
地方債	0	③鳥の6次化新商品開発支援 地域の特産品で新商品を開発、キャストを通じて広く新商品PRの実施一式 1,000千円		
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 3,000千円（見込）		
一般財源	1,500			
計	3,000			
備考欄				

農014	項目名	畑地化促進支援事業費		新規事業
予算書項目	畑地化促進支援事業費		ページ	241
年度	R6		所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 主食用米の生産調整により、水稲以外の品目として主に麦・大豆・ソバや多収品種の飼料用米等への作付転換を定着させていくため、主に中山間地域において畑作物の産地づくりや農地利用の団地化により生産性を高めるとともに、5年水張ルールにより水田・畑地など維持用途によっては令和9年度以降減額見込みの水活直交付金に頼ることなく農地の維持・管理と生産者の所得の向上を図る必要がある。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 畑作物の産地づくりに取組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整する会議を構築し、交付対象水田若しくは畑地化として維持するのを見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全についてモデル的に実証する。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	0	①団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整		
本年度要求額	3,000	②団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査		
総務部長段階査定額	3,000	③畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析		
市長段階査定額	3,000	④体系構築のための実証栽培 （対象者）地域農業再生協議会（市内中山間地域2～3地区） （補助率）定額 10/10 （補助上限）3,000千円 ※畑地化促進事業補助金を充当		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
財源内訳		①団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整		
国・県支出金	3,000	②団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査		
地方債	0	③畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析		
その他	0	④体系構築のための実証栽培 （対象者）地域農業再生協議会（市内中山間地域2～3地区） （補助率）定額 10/10 （補助上限）3,000千円 ※畑地化促進事業補助金を充当		
一般財源	0			
計	3,000			
備考欄				

農015	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 TPPや日EU・EPA（日EU経済連携協定）の影響が懸念される畜産業において、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援が求められている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	4,100	(1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。	
本年度要求額	4,882	(2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。	
総務部長段階査定額	4,882	(3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。	
市長段階査定額	4,882	【事業の実績】 令和3年度 3,292千円 令和4年度 4,092千円 令和5年度 4,100千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。	
国・県支出金	0	【事業の内容】	
地方債	0	(1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。	
その他	0	(2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。	
一般財源	4,882	(3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。	
計	4,882	【事業の実績】 令和3年度 3,292千円 令和4年度 4,092千円 令和5年度 4,100千円（見込）	
備考欄			

農016	項目名	和牛再生促進事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 現在、鳥取和牛のブランド化・生産拡大を図ろうと農家の繁殖雌牛の増頭を進め、和子牛の生産及び肉牛の出荷頭数の増加に取り組んでいる。令和2年度には「鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例」が制定され、生産から流通及び販売までを「和牛産業」に位置づけたことを受け、さらに和牛を本市の基幹産業として基盤強化する必要がある。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 畜産を取巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図り、鳥取和牛の販路拡大につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	2,982	繁殖雌牛導入に伴う助成支援 R6事業費 5,384千円（外部導入4頭、自家保留4頭） 国：1,400千円、県：861千円、市：431千円 ※国加速化奨励金を活用	
本年度要求額	1,292	【事業の実績】 令和3年度 4,457千円 令和4年度 3,133千円 令和5年度 1,475千円（見込）	
総務部長段階査定額	1,292	【事業の目的及び効果】 畜産を取巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図り、鳥取和牛の販路拡大につなげる。	
市長段階査定額	1,292	【事業の内容】	
区分	本年度予算額	(1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成する。	
国・県支出金	861	(2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成する。	
地方債	0	(3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり、当該年度の輸入原料平均価格と直近3ヶ年度の輸入原料平均価格との差額を補填する。	
その他	0	【事業の実績】 令和3年度 4,457千円 令和4年度 3,133千円 令和5年度 1,475千円（見込）	
一般財源	431	【事業の目的及び効果】 畜産を取巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図り、鳥取和牛の販路拡大につなげる。	
計	1,292	【事業の内容】	
備考欄			

農017	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 畜産業費	「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から高い評価を得ていたものの生産・食鳥処理・販売を行ってきた(株)ふるさと鹿野での事業継続が困難となり、その後、平成30年12月に設立された(株)鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、新体制のもとで出荷・販売を行っている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	5,940	地どり事業の実施に必要な食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。	
本年度要求額	2,302	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	2,302	・啓発宣伝支援 ・食鳥処理技術向上支援（講習会の受講、外部講師招聘経費支援）	
市長段階査定額	2,302	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 2,784千円 令和4年度 2,023千円 令和5年度 5,940千円（見込）	
財源内訳		その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	2,302	手数料	0
計	2,302	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

農018	項目名	農地集積等対策事業費	新規事業
予算書項目	地域農政推進対策事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農業構造改善事業費	平成24年度から市内の各集落を対象として、将来の農業の在り方を示した「人・農地プラン」を作成していたが、令和5年度の法改正により「地域計画」の作成へと移行した。また、平成26年度から国の農地中間管理事業が開始され、農地集積・集約化が進められている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	12,312	「地域計画」を活用して合意形成を図りつつ、農地中間管理機構への農地の貸付、担い手への転貸を行うことで、地域の担い手への農地の利用調整を推進する。	
本年度要求額	15,577	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	14,077	①地域計画策定推進緊急対策事業 地域連携推進事務員活動費 人件費（会計年度任用職員1名）及び事務費	
市長段階査定額	14,077	②農地集積・集約化対策事業 機構集積協力金 2,200千円（集積に協力する面積22ha）	
区分	本年度予算額	③農地中間管理事業 農地中間管理事業推進員活動費 人件費（会計年度任用職員2名）及び事務費	
財源内訳		④農地流動化推進事業費補助金 補助金 5,000千円（一定期間の賃借権設定を行った認定農業者へ補助）	
国・県支出金	3,140	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 8,788千円 令和4年度 8,857千円 令和5年度 12,312千円（見込）	
その他	5,158	※その他財源の諸収入は、中間管理事業事務受託収入	
一般財源	5,779		
計	14,077		
備考欄			

農019	項目名	中山間地域を支える水田農業支援事業補助金	新規事業
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	243
年度	R6	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 中山間地域では、認定農業者等ではないが小規模な集落単位等で地域の水田農業を支えている農業者が数多いため、地域の水田農業を支える農業者を育成するとともに、地域の水田農業の維持・発展を図っている。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 認定農業者、集落営農組織、集落営農組織の構成員又は認定新規就農者以外の農業者で地域の水田農業の維持・発展を図るために必要な機械導入を支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和5年台風第7号により流失被害を受けた農業用機械の再取得に必要な経費を支援する。 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限額3,000千円		
前年度当初予算額	2,709	令和6年度実施予定 河原（1件） 3,000千円	
本年度要求額	8,500	【事業の実績】 令和3年度 0千円 令和4年度 0千円 令和5年度 0千円（見込）	
総務部長段階査定額	3,000	【事業の内容】 令和5年台風第7号により流失被害を受けた農業用機械の再取得に必要な経費を支援する。 補助率1/2（県1/3・市1/6） 補助上限額3,000千円	
市長段階査定額	3,000	令和6年度実施予定 河原（1件） 3,000千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 0千円 令和4年度 0千円 令和5年度 0千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金 2,000	令和3年度 0千円 令和4年度 0千円 令和5年度 0千円（見込）	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,000		
	計 3,000		
備考欄			

農020	項目名	大規模飼料作経営基盤強化対策事業費	新規事業
予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	243
年度	R6	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-30-8302		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 湖山池の水質浄化に向けた塩分導入の開始に伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持する取組として、湖山池の水を利用しない飼料作物（牧草）が導入されている。 牧草地は、地力劣化や雑草混入等による収穫量減少や品質低下を防ぐため、5年に1度の周期で農地の更新（除草・耕耘・施肥・播種）を行っている。令和4～5年度にかけ4地区（瀬、西桂見、三津、福井）で農地の更新を実施した。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 湖山池周辺の牧草営農組合が牧草の収穫量・品質維持のために行う農地の更新及び新規造成の取組を支援する。これにより湖山池周辺における営農の継続、耕作放棄地の発生防止、自然環境の保全等に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 牧草営農組合が実施する土壌改善及び多年生牧草の播種に要する経費を補助する。 事業主体：各地区牧草営農組合（三津・福井） 事業費：1,300千円（県1/2、市1/2） 対象面積：2.0ha（三津、福井ほ場）		
前年度当初予算額	7,954	令和3年度 0千円 令和4年度 7,112千円 令和5年度 7,954千円（見込）	
本年度要求額	1,300	瀬15.0ha 西桂見2.9ha 三津3.6ha 福井1ha	
総務部長段階査定額	1,300	【事業の実績】 令和3年度 0千円 令和4年度 7,112千円 令和5年度 7,954千円（見込）	
市長段階査定額	1,300	瀬15.0ha 西桂見2.9ha 三津3.6ha 福井1ha	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 0千円 令和4年度 7,112千円 令和5年度 7,954千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金 650	瀬15.0ha 西桂見2.9ha 三津3.6ha 福井1ha	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 650		
	計 1,300		
備考欄			

農021	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある。また、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者が高齢化により減少している。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	105,703	①有害鳥獣駆除実施事業費 負担割合：県1/3、市2/3 銃器、わな等による有害鳥獣（イノシシ、カラス等）駆除	
本年度要求額	138,651	②侵入防止施設整備事業費 負担割合：県1/3、市1/3（地元1/3） ※非農家 市1/2（地元1/2） イノシシ侵入防止柵（ワイヤーメッシュ・電気柵）	
総務部長段階査定額	114,090	③イノシシ等捕獲奨励金 負担割合：県1/2、市1/2	
市長段階査定額	114,090	④イノシシ・シカ捕獲奨励金（緊急捕獲）（6,200頭 国定額 市補填1,503千円）	
区分	本年度予算額	⑤免許取得促進事業 負担割合：県1/3、市2/3	
財源内訳	72,200	⑥鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合：市1/3（国1/2、地元1/6） 侵入防止柵整備（捕獲器49基ほか）	
国・県支出金	0	⑦イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合：市10/10 需用費（燃料費、光熱水費、消耗品費）	
地方債	0	⑧新規銃砲取得者の育成、捕獲技術の向上対策事業 県1/3、市2/3	
その他	0	⑨捕獲確認を適切且つ迅速に対応するため会計年度任用職員を雇用する。	
一般財源	41,890	⑩鳥獣害対策システム整備事業 市10/10	
計	114,090	【事業の実績】 令和3年度 95,554千円 令和4年度 79,716千円 令和5年度 105,885千円（見込）	
備考欄			

農022	項目名	減容化施設管理運営費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある中、捕獲による個体数削減に取り組んでいる。捕獲後の個体は、埋設・焼却・食用の方法により処理してきたが、令和4年度より、焼却に代わり減容化処理を行うこととし、令和3年度に減容化処理施設を旧国府町クリーンセンター内に整備し、令和4年4月より稼働させている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 減容化施設を運営することで、捕獲個体の処理に係る労力を軽減させ、不法投棄を防止し、環境面への配慮を図るとともに、捕獲効率の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	19,065	減容化処理施設 減容化処理設備2基稼働（人件費、需用費等） ※1日当りの処理能力 約240kg（イノシシ、シカで約10頭分）	
本年度要求額	24,731	【事業の実績】 令和4年度 16,639千円 持込頭数 イノシシ639頭 シカ1,315頭 その他306頭 令和5年度 20,717千円（見込） 持込頭数 イノシシ695頭 シカ1,311頭 その他213頭	
総務部長段階査定額	21,557	【事業の内容】	
市長段階査定額	21,557	減容化処理施設 減容化処理設備2基稼働（人件費、需用費等） ※1日当りの処理能力 約240kg（イノシシ、シカで約10頭分）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	0	令和4年度 16,639千円 持込頭数 イノシシ639頭 シカ1,315頭 その他306頭	
国・県支出金	0	令和5年度 20,717千円（見込） 持込頭数 イノシシ695頭 シカ1,311頭 その他213頭	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	21,557		
計	21,557		
備考欄			

農023	項目名	射撃場管理運営費	新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による農作物被害の軽減を図る。 また、旧射撃場の鉛弾により汚染された周辺山林部分の汚染土の除去を行い、環境改善を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 施設概要 ・敷地面積：11,240㎡ ・トラップ射場、スキート射場：各1面（鉛弾飛散防止ネット設置） ・管理棟：1棟		
前年度当初予算額	18,789	【事業の実績】 令和3年度 181,371千円 延利用者数 1,041名 令和4年度 10,701千円 延利用者数 1,081名 令和5年度（見込） 15,086千円 延利用者数 815名	
本年度要求額	53,968	※その他財源の負担金は、東部4町負担金 ※その他財源の使用料は、クレー射撃場使用料、自動販売機設置による行政財産使用料 ※その他財源の手数料は、教習射撃受講料 ※その他財源の諸収入は、鳥取クレー射撃場自動販売機電気代	
総務部長段階査定額	51,232	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	51,232	分担金	0
		負担金	3,467
		使用料	2,710
		手数料	416
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	14
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	6,607		
一般財源	44,625		
計	51,232		
備考欄			

農024	項目名	市行造林維持管理費	新規事業
予算書項目	市行造林維持管理費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理が必要のため。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画（令和5年～令和9年度）に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①森林国営保険料（359.40ha） 2,230千円 ②委託料 ・用瀬川中市行造林（間伐搬出 4.59ha） 8,286千円 ・佐治栃原市行造林（間伐搬出 5.42ha） 19,207千円 ・鹿野河内市有林（間伐搬出 6.41ha・間伐切捨 1.14ha） 5,244千円 ・青谷澄水市行造林（間伐切捨 9.07ha） 4,977千円 ・青谷桑原市行造林（間伐搬出 6.57ha） 8,181千円 ※その他の事業費は事務費等		
前年度当初予算額	34,097	【事業の実績】 令和3年度 3,857千円 令和4年度 27,755千円 令和5年度 3,999千円（見込）	
本年度要求額	48,142	※その他財源の財産収入は、立木売払収入 ※その他財源の繰入金は、市行造林基金繰入金	
総務部長段階査定額	48,142	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	48,142	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	10,896
		寄付金	0
		繰入金	7,116
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	23,013		
地方債	0		
その他	18,012		
一般財源	7,117		
計	48,142		
備考欄			

農025	項目名	林業労働者確保育成対策事業負担金		新規事業
予算書項目	林業労働者確保育成対策事業費	ページ	245	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、林業の発展に資することを目的として林業労働者に対する共済事業を行うため、鳥取県林業担い手育成財団が設立され、鳥取県、市町村が助成をしながら林業労働者の共済事業を行っているもの。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（公財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する森林整備担い手育成総合対策事業（林業労働者の共済年金掛金等の一部助成）に要する経費を助成する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円			
前年度当初予算額	1,712	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）		
本年度要求額	1,580	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額	1,580	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円		
市長段階査定額	1,580	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円		
財源内訳	国・県支出金 0	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）		
	地方債 0	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
	その他 1,580	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円		
	一般財源 0	【事業の実績】 令和3年度 1,554千円 令和4年度 1,401千円 令和5年度 1,712千円（見込）		
	計 1,580	【事業の内容】 事業主体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団 事業費：1,580千円		
備考欄				

農026	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費		新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	245	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。			
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2			
前年度当初予算額	6,174	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人		
本年度要求額	6,454	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
総務部長段階査定額	6,454	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人		
市長段階査定額	6,454	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人		
財源内訳	国・県支出金 3,226	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
	地方債 0	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人		
	その他 0	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
	一般財源 3,228	【事業の実績】 令和3年度 5,052千円 26人 令和4年度 4,703千円 28人 令和5年度 6,174千円（見込） 26人		
	計 6,454	【事業の内容】 概要 健康保険・農林年金に係る負担補助 事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、株式会社樹林業ほか 補助対象：29人 事業費：12,908千円 負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
備考欄				

農027	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。新規就業者を一人前の現場技能者として育成するには少なくとも5年程度必要とされているが、育成に係る費用は事業体にとっては負担が大きいため、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に高上げをすることで、林業事業体が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目の研修生に対し、道具や装備の購入にかかる費用を高上げ助成する。 補助率：2/3 補助対象：5名 研修準備費（道具購入費）、資材費（装備購入費）		
前年度当初予算額	534	【事業の実績】 令和3年度 222千円 3名分 令和4年度 189千円 3名分 令和5年度 534千円（見込） 5名分	
本年度要求額	334	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	334	その他財源の内訳	
市長段階査定額	334	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	334	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	334	繰入金	334
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

農028	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認、経営管理権集積計画(案)の作成を実施。 ①森林境界候補図作成 1地区（用瀬町） ②森林境界明確化 3地区（用瀬町、青谷町） ③意向調査 1地区（佐治町） ④集積計画 2地区（佐治町） ⑤市町村管理 1地区（青谷町）		
前年度当初予算額	79,025	【事業の実績】 令和3年度 4,474千円 令和4年度 46,279千円 令和5年度 47,241千円（見込）	
本年度要求額	73,512	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	73,512	その他財源の内訳	
市長段階査定額	73,512	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	73,512	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	73,512	繰入金	73,512
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

農029	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	23,760	○林道橋梁修繕調査設計 3,400千円 (小畑谷線1号基ほか1基)	
本年度要求額	19,660	○林道毛無山線測量設計 L=100m(改良) 16,000千円	
総務部長段階査定額	19,660	【事業の実績】	
市長段階査定額	19,660	令和3年度 43,509千円 令和4年度 6,281千円 令和5年度 28,260千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	19,660	令和3年度 43,509千円 令和4年度 6,281千円 令和5年度 28,260千円(見込)	
国・県支出金	10,500	令和3年度 43,509千円	
地方債	9,100	令和4年度 6,281千円	
その他	0	令和5年度 28,260千円(見込)	
一般財源	60		
計	19,660		
備考欄			

農030	項目名	造林事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林経営・管理がいきとどいていない森林が増加している。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	27,960	○事業費	
本年度要求額	45,458	間伐・竹林林種転換・クヌギ造林補助 19,229千円 花粉発生源対策 14,986千円 シカ進入防護柵設置(17,820m) 7,159千円 シカ防護柵の点検(74.828km) 4,084千円	
総務部長段階査定額	45,458	○補助率	
市長段階査定額	45,458	間伐：(普通林)10%、(保安林)5%、※地元負担15% センダン・カラマツ・コウヨウザン造林：10% ※地元負担5% クヌギ造林：10%、花粉発生源対策促進事業：9% シカ進入防護柵設置：10% シカ防護柵の点検・維持管理経費：定額15,000円/km	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	45,458	令和3年度 13,699千円 間伐・竹林林種転換他 241.25ha 令和4年度 28,382千円 間伐・竹林林種転換他 293.03ha 令和5年度 35,217千円(見込) 間伐・クヌギ造林他 369.70ha	
国・県支出金	2,722	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
地方債	13,100		
その他	29,636		
一般財源	0		
計	45,458		
備考欄			

農031	項目名	間伐搬出支援事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 間伐材搬出支援（1立米あたり500円を補助） 搬出量37,925立米×500円＝18,963千円		
前年度当初予算額	19,635	【事業の実績】	
本年度要求額	18,963	令和3年度 17,008千円 令和4年度 16,646千円 令和5年度 21,975千円（見込）	
総務部長段階査定額	18,963	【事業の内訳】	
市長段階査定額	18,963	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 18,963 計 18,963		

農032	項目名	豊かな森づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	245
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 負担区分 鳥取県竹林整備事業費補助金（豊かな森づくり協働税を活用） 補助率 県 80% 市 5% 抜き伐り、搬出 10.4ha 55,071千円（内訳：県44,158千円 市2,757千円）		
前年度当初予算額	28,465	【事業の実績】	
本年度要求額	46,915	令和3年度 18,360千円 5.66ha（抜き伐り） 令和4年度 17,742千円 4.80ha（抜き伐り、搬出） 令和5年度 17,673千円（見込） 4.46ha（抜き伐り、搬出）	
総務部長段階査定額	46,915	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
市長段階査定額	46,915	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 2,757 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳	国・県支出金 44,158 地方債 0 その他 2,757 一般財源 0 計 46,915		

農033	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費		新規事業
予算書項目	治山事業費	ページ	245	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	25,800	鳥取市金沢地区 4,500千円 鳥取市国府町神垣地区 6,000千円（測量設計業務） 鳥取市青谷町蔵内地区 4,500千円（測量設計業務） 鳥取市福部町海士地区 5,000千円（測量設計業務）		
本年度要求額	20,000	【事業の実績】		
総務部長段階査定額	20,000	令和3年度 9,033千円 令和4年度 13,647千円 令和5年度 23,238千円（見込）		
市長段階査定額	20,000	※その他財源の負担金は、地元負担金		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
国・県支出金	9,000	分担金	0	
地方債	8,900	負担金	2,000	
その他	2,000	使用料	0	
一般財源	100	手数料	0	
計	20,000	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農034	項目名	森づくり作業道整備事業費		新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	245	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	18,216	①造林作業道整備の補助金 作業道整備（普通林） 28,600m 作業道整備（保安林） 26,300m 合計 54,900m		
本年度要求額	16,659	②林業専用道整備の補助金 林業専用道整備 2,450m		
総務部長段階査定額	16,659	【事業の実績】		
市長段階査定額	16,659	令和3年度 16,776千円 67路線 45,763m 林業専用道1路線 600m 令和4年度 11,415千円 58路線 47,082m、林業専用道3路線 1,093m 令和5年度 12,660千円（見込）		
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
国・県支出金	0	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	2,412	使用料	0	
一般財源	14,247	手数料	0	
計	16,659	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	2,412	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農035	項目名	林業・木材産業強化総合対策事業費		新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費	ページ	247	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのため、意欲と能力のある林業経営体を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するための高性能林業機械の導入支援等を行う必要がある。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲と能力のある林業経営体に対し、原木を低コストで安定的に供給するための高性能林業機械の導入に対し支援を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・高性能林業機械の整備 フォワーダ 1台 27,170千円×1/2 =12,350千円 (補助率1/2) フェラーバンチャー 1台 22,300千円×1/3 = 7,434千円 (補助率1/3) ・林業機械リース支援 フォワーダ 1台 18,500千円×1/3 = 6,166千円 (補助率1/3)			
前年度当初予算額	29,200	【事業の実績】 令和3年度 156,409千円 令和4年度 24,070千円 令和5年度 31,750千円(見込)		
本年度要求額	25,950	その他の内訳		
総務部長段階査定額	25,950	分担金	0	
市長段階査定額	25,950	負担金	0	
区分	本年度予算額	使用料	0	
国・県支出金	25,950	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	0	繰入金	0	
計	25,950	贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農036	項目名	森林産業イノベーション推進事業費		新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費	ページ	247	所属名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのためには、ICTやレーザ測量技術等の先進技術の林業への導入を進め、生産性の向上を図る必要がある。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 ICT等の先進技術を活用して、森林資源や森林境界情報の情報共有化とオープン化を進め、併せて新しい木材流通・販売の仕組みづくりを行うことで林業の成長産業化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 高性能ドローン(3台)の導入、操作研修や操縦資格取得支援			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和4年度 2,747千円 電子寸検システム、原木市場Web入札システムの導入支援 令和5年度 1,500千円(見込) 画像解析共有ソフト導入支援		
本年度要求額	10,000	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額	10,000	その他の内訳		
市長段階査定額	10,000	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	10,000	財産収入	0	
一般財源	0	寄付金	0	
計	10,000	繰入金	10,000	
		贈収入	0	
		その他	0	
備考欄				

農037	項目名	危険木等事前伐採推進事業費	新規事業	○
予算書項目	危険木等事前伐採推進事業費	ページ	247	所 属 名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 令和5年1月の大雪により倒木による孤立集落が発生した。 倒木に起因する孤立集落を発生を未然に防止するため、手入れの行き届いていない森林の適正な管理の促進を図る必要がある。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 災害、枯損、過度な成長等による倒伏等の危険性が高い樹木であり、かつ、倒伏等により孤立集落発生など住民生活へ大きな影響を及ぼす恐れのある危険木を予め伐採する経費を支援することにより、倒木に起因する集落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及び森林所有者等による森林の適正な管理の推進を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取県等との現地確認において、事前伐採等が必要とされた危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者等に対し、県の補助事業を活用し支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1箇所あたり1,000千円)			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和5年度 550千円(見込) 伐倒1箇所		
本年度要求額	5,500	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
総務部長段階査定額	5,500	【事業の内容】 鳥取県等との現地確認において、事前伐採等が必要とされた危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者等に対し、県の補助事業を活用し支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1箇所あたり1,000千円)		
市長段階査定額	5,500	【事業の実績】 令和5年度 550千円(見込) 伐倒1箇所		
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
国・県支出金	2,500	【事業の内容】 鳥取県等との現地確認において、事前伐採等が必要とされた危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者等に対し、県の補助事業を活用し支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1箇所あたり1,000千円)		
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 550千円(見込) 伐倒1箇所		
その他	3,000	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金		
一般財源	0	【事業の内容】 鳥取県等との現地確認において、事前伐採等が必要とされた危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者等に対し、県の補助事業を活用し支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採推進事業補助金 補助率1/2、限度額1箇所あたり1,000千円)		
計	5,500	【事業の実績】 令和5年度 550千円(見込) 伐倒1箇所		
備考欄				

農038	項目名	水産資源維持増殖事業費	新規事業	
予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	247	所 属 名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖を図る放流事業等に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 11,740千円 ふれあい放流事業 30千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円			
前年度当初予算額	12,270	【事業の実績】		
本年度要求額	12,170	(千代川流域) (湖山池流域)		
総務部長段階査定額	12,170	令和3年度 11,550千円 3.73 t シジミ産卵場整備 一式		
市長段階査定額	12,170	令和4年度 11,610千円 3.73 t シジミ産卵場整備 一式		
区分	本年度予算額	令和5年度 11,630千円(見込) 3.73 t シジミ産卵場整備 一式		
国・県支出金	0	※その他財源の諸収入は、水道局負担金及び鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金		
地方債	0	【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖を図る放流事業等に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 11,740千円 ふれあい放流事業 30千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円		
その他	5,685	【事業の実績】		
一般財源	6,485	(千代川流域) (湖山池流域)		
計	12,170	令和3年度 11,550千円 3.73 t シジミ産卵場整備 一式		
備考欄				

農039	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金	新規事業
予算書項目	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 市民はもとより県内外の方々に、賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 「鳥取かにフェスタ」開催経費への助成。 主催団体：鳥取かにフェスタ実行委員会 実施予定：令和6年11月 実施場所：鳥取港西浜地区 マリンピア賀露		
前年度当初予算額	600	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染症流行を受け中止 令和5年度 600千円（見込）	
本年度要求額	600		
総務部長段階査定額	600	【事業の内訳】	
市長段階査定額	600	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	600		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	600		
計	600		
備考欄			

農040	項目名	漁港施設維持管理事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等）一式 ・福部地域 6,322千円 ・気高地域 23,429千円 ・青谷地域 18,222千円		
前年度当初予算額	52,253	【事業の実績】 令和3年度 57,241千円 令和4年度 50,275千円 令和5年度 51,442千円（見込）	
本年度要求額	47,973	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料	
総務部長段階査定額	47,973	【事業の内訳】	
市長段階査定額	47,973	分担金 0 負担金 0 使用料 3,413 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	47,973		
国・県支出金	5,015		
地方債	0		
その他	3,413		
一般財源	39,545		
計	47,973		
備考欄			

農041	項目名	栽培漁業推進支援事業費	新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、種苗放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ○種苗放流等 事業費 1,202千円 (内市助成額536千円) アワビ23,100個、サザエ46,000個、キジハタ9,760尾		
前年度当初予算額	1,122	【事業の実績】 ○種苗放流等 令和3年度 1,094千円 令和4年度 1,109千円 令和5年度 1,122千円 (見込) ○イワガキ岩盤清掃 令和3年度 646千円 1地区	
本年度要求額	1,202		
総務部長段階査定額	1,202	【事業の実績】 令和3年度 646千円 1地区	
市長段階査定額	1,202		
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 646千円 1地区	
国・県支出金	666		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	536		
計	1,202		
備考欄			

農042	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港(福部町)、酒津漁港・船磯漁港(気高町)、夏泊漁港・長和瀬漁港(青谷町)の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事を実施する。 酒津・船磯漁港機能保全工事(水域施設) 84,600千円 夏泊漁港機能保全工事(水域施設) 4,500千円		
前年度当初予算額	85,700	【事業の実績】 令和3年度 80,794千円(現年 37,117千円 繰越 43,677千円) 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和4年度 139,738千円(現年 50,210千円 繰越 89,528千円) 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、酒津漁港機能増進工事 令和5年度 111,803千円(現年 85,700千円 繰越 26,103千円) (見込) 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 酒津漁港機能保全計画見直し業務	
本年度要求額	89,440		
総務部長段階査定額	89,440		
市長段階査定額	89,440		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	48,795		
地方債	40,600		
その他	0		
一般財源	45		
計	89,440		
備考欄			

農043	項目名	港整備推進事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市の第1種漁港は、近年、漁港施設の老朽化や航路泊地の埋塞による出漁機会の減少により、水産物の安定的な生産・流通に支障が生じ、地元市場や飲食店、道の駅等への影響が懸念されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市漁港及び近隣港湾・漁港（鳥取県・岩美町）を一体的に整備することにより、水産物の安定的な生産・流通及び利用者の利便性向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地方創生港整備推進交付金地域再生計画に定めた対策工事を実施する。 酒津漁港照明施設改修工事ほか 11,600千円		
前年度当初予算額 5,920	【事業の実績】 令和5年度 5,920千円（見込） 酒津漁港照明施設改修工事		
本年度要求額 11,650			
総務部長段階査定額 11,650	その他財源の内訳		
市長段階査定額 11,650	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収金 0		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 5,800			
地方債 5,200			
その他 0			
一般財源 650			
計 11,650			
備考欄			

農044	項目名	漁業研修事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	247
年度	R6	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。 事業実施主体：漁業経営体、漁協等 研修者：4名（雇用型3名、独立型1名／新規2名、継続2名） 事業費：7,379千円（県 6,468千円、市 911千円）		
前年度当初予算額 13,913	【事業の実績】 令和3年度 20,149千円 7名 令和4年度 14,974千円 9名 令和5年度 10,676千円（見込） 7名		
本年度要求額 7,379			
総務部長段階査定額 7,379	その他財源の内訳		
市長段階査定額 7,379	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収金 0		
	その他 0		
区分 本年度予算額			
財源内訳 国・県支出金 6,468			
地方債 0			
その他 0			
一般財源 911			
計 7,379			
備考欄			

農045	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301	所 属 名
年度	R6	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 林務係 0857-30-8311			
款 災害復旧費	【1 1次総の施策体系】 2104			
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。			
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 被災した林道に対し災害復旧事業を行う。			
前年度当初予算額	0	●林道鳥取中央線（鳥取市松上地内） 路体復旧工事 50,000千円		
本年度要求額	243,645	●林道鳥取中央線（鳥取市双六原地内） 路肩復旧工事 20,000千円		
総務部長段階査定額	243,645	●林道毛無山線（鳥取市矢矯地内） 路肩復旧工事 25,000千円		
市長段階査定額	243,645	●林道佐谷小畑線（鳥取市鹿野町河内地内） 路肩復旧工事 11,000千円		
区分	本年度予算額	●林道福地荒船線（鳥取市国府町荒舟地内） 法面復旧、路肩復旧工事 35,000千円		
国・県支出金	144,514	●林道若桜江府線ほか計7路線 測量設計業務 99,825千円		
地方債	98,700			
その他	0			
一般財源	431			
計	243,645			
備考欄				

農046	項目名	水道事業会計へ繰出		新規事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	235	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316			
款 衛生費	【1 1次総の施策体系】 2401			
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づくもの及び簡易水道事業統合後の負担に関する繰出。			
目 水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 一般会計からの繰出により鳥取市水道局の行う事業の下支えを図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 水道事業会計への繰出金 繰出金 1,053,522千円			
前年度当初予算額	1,114,752	【事業の実績】 令和3年度 944,622千円		
本年度要求額	1,053,522	令和4年度 1,120,618千円		
総務部長段階査定額	1,053,522	令和5年度 1,114,752千円(見込)		
市長段階査定額	1,053,522			
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	61,900			
その他	0			
一般財源	991,622			
計	1,053,522			
備考欄				

農047	項目名	環境保全型農業直接支払交付金		新規事業
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金	ページ	241	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため事業を実施。			
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援することで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。 ・鳥取市環境保全型農業直接支払交付金 対 象：12組織(8,956a) 交付額：6,633千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費			
前年度当初予算額	7,356	【事業の実績】 令和3年度 6,590千円 令和4年度 6,827千円 令和5年度 5,604千円(見込)		
本年度要求額	6,743			
総務部長段階査定額	6,743	【事業の内訳】		
市長段階査定額	6,743	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0		
区 分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 5,084			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1,659			
	計 6,743			
備考欄				

農048	項目名	農道舗装補修等事業費		新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	241	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保安全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 老朽化した農業用施設全般の整備及び補修を行う。 対象施設：農業用排水施設、農道、暗渠排水ほか 負担区分：県42.5%、市42.5%、地元15%			
前年度当初予算額	41,870	【事業の実績】 令和3年度 31,560千円 令和4年度 39,581千円 令和5年度 41,870千円(見込)		
本年度要求額	45,701	※その他財源の負担金は、地元負担金		
総務部長段階査定額	39,157	分担金 0 負担金 3,331 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0		
市長段階査定額	39,157			
区 分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金 17,912			
	地方債 0			
	その他 3,331			
	一般財源 17,914			
	計 39,157			
備考欄				

農049	項目名	県営事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取県主体で土地改良事業が行われている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 事業費の一部を負担することで、事業の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 県営土地改良事業に対する一部負担		
前年度当初予算額	90,924		・ 県営ため池総合整備事業 41,580千円
本年度要求額	86,760		・ 県営特定農業用管路等特別対策事業 11,233千円
総務部長段階査定額	81,613	その他財源の内訳	・ 県営農業用河川工作物応急対策事業 9,200千円
市長段階査定額	81,613	分担金	・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 19,600千円
区分	本年度予算額	負担金	【事業の実績】
財源内訳		使用料	令和3年度 18,925千円
国・県支出金	0	手数料	令和4年度 32,857千円
地方債	81,500	財産収入	令和5年度 90,924千円(見込)
その他	0	寄付金	
一般財源	113	繰入金	
計	81,613	贈収金	
		その他	
備考欄			

農050	項目名	排水機場維持管理費	新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 洪水時の千代川下流域の水位上昇による農地冠水被害を防止するため、ポンプによる排水を行い農地の安全を図る。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 適切な排水施設の管理を行うことで、受益地の効率的な営農活動を支援する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 服部排水機場及び西円通寺排水機場の維持管理。		
前年度当初予算額	17,030		・ 通水時の操作点検及び水位監視
本年度要求額	13,978		・ 洪水時、常駐による運転操作等の委託
総務部長段階査定額	13,881	その他財源の内訳	・ 施設の維持管理費、修繕費
市長段階査定額	13,881	分担金	【事業の実績】
区分	本年度予算額	負担金	令和3年度 16,253千円
財源内訳		使用料	令和4年度 13,579千円
国・県支出金	649	手数料	令和5年度 17,030千円(見込)
地方債	0	財産収入	
その他	0	寄付金	
一般財源	13,232	繰入金	
計	13,881	贈収金	
		その他	
備考欄			

農051	項目名	農業競争力強化基盤整備事業促進事業費		新規事業
予算書項目	県営事業促進事業費		ページ	241
年度	R6		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	15,066			
総務部長段階査定額	15,066	その他財源の内訳		
市長段階査定額	15,066	分担金	0	
区 分	本年度予算額	負担金	0	
		使用料	0	
財源内訳	国・県支出金	15,066	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	0	寄付金	0
	一般財源	0	繰入金	0
	計	15,066	贈収金	0
			その他	0
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】総務係 0857-30-8316 【1次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 鳥取市の中山間地域では農家の高齢化・後継者不足が深刻であり、農地の耕作者が減少してきている。この地域に存する農地は、ほ場整備が未だなされておらず、農地の耕作放棄化が進行してしまうのではと懸念している。このため農業の合理化、効率化を図るために県営ではほ場整備が進められている。一定の農地の集積が図られる場合、国と県から補助金が交付される担い手農地集積促進事業がある。本市はこの補助金を活用し、地元に対して補助金を交付することで地元負担の軽減を図る。 【事業の目的及び効果】 対象となる地域で集落営農を立ち上げ集団的な農業に取り組むことを検討しているが、農地が狭小・不整形な場所については大規模機械等による効率的な営農が難しい。ほ場整備が現在、進められているが一定の農地の集積を行うことで国と県より補助金が交付される担い手農地集積促進事業を活用し、本市は地元で補助金を交付することで地元負担の軽減を図るとともに農地集積を積極的に推進する。 【事業の内容】 県営事業にて実施した土地改良区事業に伴う地元負担金を軽減するため、一部補助を実施する。 ・鳥取市農業経営高度化支援事業 対 象：青谷町山根地区 交付額：15,066千円（国55%、県45%） 【事業の実績】 令和3年度 4,941千円 令和4年度 563千円 令和5年度 実績なし				

農052	項目名	多面的機能支払交付金		新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費		ページ	241
年度	R6		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	218,387			
本年度要求額	218,749			
総務部長段階査定額	218,749	その他財源の内訳		
市長段階査定額	218,749	分担金	0	
区 分	本年度予算額	負担金	79	
		使用料	0	
財源内訳	国・県支出金	164,914	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	79	寄付金	0
	一般財源	53,756	繰入金	0
	計	218,749	贈収金	0
			その他	0
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】総務係 0857-30-8316 【1次総の施策体系】2104 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。 【事業の目的及び効果】 地域で行う農地維持や農業用施設の点検等の共同活動に対して支援し、農村の有する多面的機能の発揮を促進する。 【事業の内容】 ・多面的機能支払交付金補助金事業 補助対象：138組織（290,186a） 交 付 額：215,305千円 （国50%、県25%、市25%） ・事業推進事務費（人件費、事務費） 【事業の実績】 令和3年度 181,107千円 令和4年度 196,637千円 令和5年度 218,387千円（見込） ※その他財源の負担金は、多面的機能支払交付金町負担金				

農053	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		新規事業
予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		ページ	241
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】総務係 0857-30-8316	
款	農林水産業費		【1次総の施策体系】2104	
項	農業費		【事業の経過及び背景】 集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきた地域が増加しており、閉塞感も高まっている。	
目	農地費		【事業の目的及び効果】 集落・地域と自治会・企業等との協働による地域振興活動に対し、補助金を交付することで、農業・農村の保全意識を高める。	
(単位：千円)			【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3	
前年度当初予算額	1,200		【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）	
本年度要求額	2,010			
総務部長段階査定額	1,800		【事業の内容】 鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿、上段 交付額：600千円/年 財源：県2/3、市1/3	
市長段階査定額	1,800			
区分			【事業の実績】 令和3年度 682千円 令和4年度 420千円 令和5年度 1,200千円（見込）	
財源内訳	国・県支出金	1,200	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	600	手数料	0
	計	1,800	財産収入	0
備考欄			寄付金 0	
			繰入金 0	
			贈収入 0	
			その他 0	

農054	項目名	農業水利施設保全高度化事業費		新規事業
予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費		ページ	243
年度	R6		所 属 名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名			事業の概要	
一般会計			【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317	
款	農林水産業費		【1次総の施策体系】2104	
項	農業費		【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。	
目	農地費		【事業の目的及び効果】 長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。	
(単位：千円)			【事業の内容】 ・上段地区水路改修工事測量設計業務 事業費：5,000千円（国55%、県14%、市21%、地元10%） ・大口堰土地改良区揚岸用水堰新設工事 事業費：4,580千円（国50%、県14%、市21%、地元15%） ・服部排水機場ポンプ設備分解整備 事業費：100,000千円（国50%、県25%、市25%） ・西円通寺排水機場ゲート設備分解整備 事業費：15,000千円（国50%、県25%、市25%） ・三谷池樋門整備工事 事業費：8,000千円（国50%、県14%、市21%、地元15%）	
前年度当初予算額	13,779		【事業の実績】 令和3年度 9,292千円 令和4年度 3,784千円 令和5年度 13,779千円（見込）	
本年度要求額	132,580		※その他財源の負担金は、地元負担金	
総務部長段階査定額	132,580			
市長段階査定額	132,580			
区分			分担金 0	
財源内訳	国・県支出金	97,911	負担金	2,387
	地方債	32,100	使用料	0
	その他	2,387	手数料	0
	一般財源	182	財産収入	0
	計	132,580	寄付金	0
備考欄			繰入金 0	
			贈収入 0	
			その他 0	

農055	項目名	土地改良施設維持管理適正化事業費	新規事業
予算書項目	土地改良施設維持管理適正化事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 土地改良施設の定期的な整備補修に対する支援を通じて、当該施設の機能を耐用年数まで全うさせるとともに、土地改良区等施設管理者の管理意識の高揚を図る。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 土地改良区等が土地改良施設を適切に整備補修するための拠出金の一部を補助することで、施設の老朽化による維持管理の負担増を軽減する。 (本事業の仕組み) ①造成資金90%(国補助金30%+県補助金30%+土地改良区30%[うち2/3市補助金]) ②自己資金10%(土地改良区) 土地改良区は①と②を財源に適正化事業を実施する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 土地改良区が拠出する拠出金への補助 ・大井手土地改良 事業内容 朝月・下味野水路転落防止柵整備補修、水路改修 ・大口堰土地改良区 事業内容 樋門電気設備整備補修 3か所(数津用水堰・叶用水・の場用水)		
前年度当初予算額	428	【事業の実績】 令和3年度 428千円 令和4年度 428千円 令和5年度 428千円(見込)	
本年度要求額	548		
総務部長段階査定額	548	【事業の内容】 土地改良区が拠出する拠出金への補助 ・大井手土地改良 事業内容 朝月・下味野水路転落防止柵整備補修、水路改修 ・大口堰土地改良区 事業内容 樋門電気設備整備補修 3か所(数津用水堰・叶用水・の場用水)	
市長段階査定額	548	【事業の実績】 令和3年度 428千円 令和4年度 428千円 令和5年度 428千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 土地改良区が拠出する拠出金への補助 ・大井手土地改良 事業内容 朝月・下味野水路転落防止柵整備補修、水路改修 ・大口堰土地改良区 事業内容 樋門電気設備整備補修 3か所(数津用水堰・叶用水・の場用水)	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 428千円 令和4年度 428千円 令和5年度 428千円(見込)	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	548		
計	548		
備考欄			

農056	項目名	危険ため池廃止事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 防災重点農業用ため池のうち未利用のため池について、地元から要望のあるものを廃止する。 ・ため池廃止事業測量設計業務 3,500千円 (菖蒲谷池、報徳1) ・ため池廃止工事 6,000千円 (宮ノ谷堤)		
前年度当初予算額	1,200	【事業の実績】 令和3年度 5千円 令和4年度 11,589千円 令和5年度 9,200千円(見込)	
本年度要求額	9,500		
総務部長段階査定額	9,500	【事業の内容】 防災重点農業用ため池のうち未利用のため池について、地元から要望のあるものを廃止する。 ・ため池廃止事業測量設計業務 3,500千円 (菖蒲谷池、報徳1) ・ため池廃止工事 6,000千円 (宮ノ谷堤)	
市長段階査定額	9,500	【事業の実績】 令和3年度 5千円 令和4年度 11,589千円 令和5年度 9,200千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 防災重点農業用ため池のうち未利用のため池について、地元から要望のあるものを廃止する。 ・ため池廃止事業測量設計業務 3,500千円 (菖蒲谷池、報徳1) ・ため池廃止工事 6,000千円 (宮ノ谷堤)	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 5千円 令和4年度 11,589千円 令和5年度 9,200千円(見込)	
国・県支出金	9,500		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	9,500		
備考欄			

農057	項目名	ため池ハザードマップ作成事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、ため池ハザードマップの作成が急務となっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ハザードマップの作成（1か所予定） 大石 800千円		
前年度当初予算額	1,400	【事業の実績】 令和3年度 2,657千円 令和4年度 1,705千円 令和5年度 1,400千円（見込）	
本年度要求額	800		
総務部長段階査定額	800	【事業の内訳】	
市長段階査定額	800	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 800		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 0		
	計 800		
備考欄			

農058	項目名	ため池改修事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243
年度	R6	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 近年、豪雨等によりため池等の決壊による被害が相次いでいる。平成26年のため池一斉点検調査において、豪雨耐性等が不足しているため池について対策整備を行う。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 該当ため池を防災工事することにより、災害時での危険を未然に防止する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ため池の改修工事 実施箇所：湯谷池（倭文地区） 実施期間：令和6年～令和8年度 総事業費：90,000千円 令和6年度：測量設計業務 24,000千円（国55%、県25%、市20%）		
前年度当初予算額	15,000	【事業の実績】 令和5年度 15,000千円（見込）	
本年度要求額	24,000		
総務部長段階査定額	24,000	【事業の内訳】	
市長段階査定額	24,000	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 19,200		
	地方債 4,300		
	その他 0		
	一般財源 500		
	計 24,000		
備考欄			

農059	項目名	ため池監視システム管理費		新規 事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	243	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●明るい未来プラン			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 ため池の下流域では、豪雨時の浸水リスクが高く、決壊した際の被害も甚大なため、早急な避難が求められる。また、農業用ため池の管理は殆どが地元によって行われている実情があり、雨中での作業は大変危険なものとなっている。			
目 農地費	【事業の目的及び効果】 遠隔でため池の情報を得ることができる監視システムを導入することで、災害時の迅速な対応を行える。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ため池監視システムの維持経費 令和5年度：3箇所（新城寺池、神谷奥池、奥谷口池） 令和6年度：13箇所（矢中溜池ほか） 各59,994円/年 負担区分：県50%、市50%			
前年度当初予算額	180	【事業の実績】 令和5年度 180千円（見込）		
本年度要求額	960	その他の内訳		
総務部長段階査定額	960	分担金	0	
市長段階査定額	960	負担金	0	
区分	本年度予算額	使用料	0	
財源内訳		手数料	0	
国・県支出金	480	財産収入	0	
地方債	0	寄付金	0	
その他	0	繰入金	0	
一般財源	480	贈収金	0	
計	960	その他	0	
備考欄				

農060	項目名	中山間地域等直接支払交付金		新規 事業
予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	243	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 総務係 0857-30-8316			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている。			
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 農業の生産条件が不利な地域において、農業生産に必要な水路や農道の維持管理等に關する活動を支援することで、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・中山間地域等直接支払交付金 補助対象：117組織（79,517a） 交 付 額：104,828千円 負担区分：国50%、県25%、市25%（三法地域） 国33%、県33%、市34%（特認地域） ・事業推進事務費（人件費、事務費）			
前年度当初予算額	102,769	【事業の実績】 令和3年度 98,840千円 令和4年度 102,746千円 令和5年度 102,769千円（見込）		
本年度要求額	105,844	その他の内訳		
総務部長段階査定額	105,844	分担金	0	
市長段階査定額	105,844	負担金	0	
区分	本年度予算額	使用料	0	
財源内訳		手数料	0	
国・県支出金	78,564	財産収入	0	
地方債	0	寄付金	0	
その他	0	繰入金	0	
一般財源	27,280	贈収金	0	
計	105,844	その他	0	
備考欄				

農061	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		新規 事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301	所 属 名
年度	R6	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317			
款	災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災を受けた。		
項	災害復旧費	【事業の目的及び効果】 農業経営への影響を最小限に留めるため、災害からの復旧を図る。		
目	農林水産業施設災害復旧費	【事業の内容】 補助災害復旧事業 1,134,355千円		
(単位：千円)		【事業の実績】 令和3年度 48,412千円 令和4年度 2,420千円 令和5年度 15,000千円（見込）		
前年度当初予算額	0	※その他財源の負担金は、地元負担金		
本年度要求額	1,134,355			
総務部長段階査定額	1,134,355	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,134,355	分担金	0	
		負担金	11,229	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	992,853		
	地方債	130,100		
	その他	11,229		
	一般財源	173		
	計	1,134,355		
備考欄				

都001	項目名	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金		新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	253	所 属 名
年度	R6	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】			
目 土木総務費	鳥取豊岡宮津自動車道（山陰近畿自動車道）は、平成6年に地域高規格道路として計画された。全長約120kmのうち、事業化されていない区間があり全線開通の目的が立っていない。関西圏を含めた広域観光の振興のためにも、1日も早い全線開通が待ち望まれている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	190	鳥取市から兵庫県豊岡市の間における地域高規格道路の早期建設を図ることを目的とする。		
本年度要求額	122	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	122	鳥取・豊岡間地域高規格道路の建設推進について関係機関へ陳情要望等を行う。		
市長段階査定額	122	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 190千円		
国・県支出金	0	令和4年度 190千円		
地方債	0	令和5年度 122千円		
その他	0			
一般財源	122			
計	122			
備考欄				

都002	項目名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金		新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	253	所 属 名
年度	R6	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2404 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】			
目 土木総務費	平成25年6月、山陰を縦貫し北陸に接続するとともに山陰から京都、大阪などの京阪神を直接結ぶリニア方式を含めた新幹線の建設を目指し、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」が設立された。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	50	山陰新幹線の整備計画路線への格上げ、新幹線整備に係る予算拡大の実現等を目的とする。		
本年度要求額	50	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	50	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議の運営に要する経費を負担。		
市長段階査定額	50	(1) 国及び関係機関・団体への要望、広域的・全国的な啓発等に関する事業		
区分	本年度予算額	(2) 整備推進のための調査・研究、情報収集・交換等		
国・県支出金	0	会 員 7府県（山口、島根、鳥取、兵庫、京都、福井）の市町村長		
地方債	0	会 長：鳥取市長、事務局長：京丹後市長		
その他	0	負担金 鳥取市：50千円		
一般財源	50	【事業の実績】		
計	50	令和3年度 50千円		
		令和4年度 50千円		
		令和5年度 50千円		
備考欄				

都003	項目名	要望活動事務費	新規事業
予算書項目	要望活動費	ページ	253
年度	R6	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 道路整備・治水対策等について、各期成同盟会での要望活動を行っているが、未だ整備の進んでいない部分が多く見受けられる。 また、高速鉄道についても、山陰新幹線は昭和48年に基本計画路線として閣議決定された後計画が進展しておらず、太平洋側に比べて日本海側の新幹線整備は取り残されている状況である。		
目 土木総務費	【事業の目的及び効果】 各期成会同盟会の要望活動により事業のさらなる推進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 中国治水期成同盟会連合会、鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会、道路整備促進期成同盟会、山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議等における要望活動費及び市長随行員費用等。		
前年度当初予算額	1,085	【事業の実績】 令和3年度 82千円 令和4年度 437千円 令和5年度 1,000千円（見込）	
本年度要求額	1,861	※その他財源の諸収入は、津ノ井バイパス整備負担金	
総務部長段階査定額	1,861	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	1,861	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	38	財産収入	0
一般財源	1,823	寄付金	0
計	1,861	繰入金	0
		贈収入	38
		その他	0
備考欄			

都004	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	新規事業
予算書項目	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	ページ	261
年度	R6	所属名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 河川費	【事業の経過及び背景】 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。		
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、急傾斜地対策事業の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費を負担。 ・事業箇所 梶掛地区など43件 ・急傾斜地崩壊対策事業負担金の負担率 5%、10%又は20%		
前年度当初予算額	81,550	【事業の実績】 令和3年度 29,396千円 令和4年度 32,799千円 令和5年度 17,769千円（見込）	
本年度要求額	78,250		
総務部長段階査定額	78,250	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	78,250	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	78,200	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	50	寄付金	0
計	78,250	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

都005	項目名	景観計画策定費	新規事業	○
予算書項目	景観形成推進費	ページ	263	所 属 名
年度	R6	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-30-8342			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成20年3月に策定した鳥取市景観計画に基づき地域の特性を活かした良好な景観の保全・創出を推進してきたが、計画策定から15年が経過し、この間に市の方針、策定時想定していなかった新たな工作物設置の増加など景観行政をとりまく環境も大きく変化しており、社会情勢の変化に対応する必要が生じた。			
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取市景観計画を改定することで、地域の特性を活かした良好な景観の保全・創出を推進する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取市景観計画に、新技術等に対応した行為の制限や眺望景観形成の方針を新たに示すことで、自然景観等の保全を推進するために策定するもの。 ・鳥取市景観計画改定業務			
前年度当初予算額	0	分担金 0		
本年度要求額	6,600	負担金 0		
総務部長段階査定額	6,600	使用料 0		
市長段階査定額	6,600	手数料 0		
区分	本年度予算額	財産収入 0		
国・県支出金	3,300	寄付金 0		
地方債	0	繰入金 0		
その他	0	贈収 0		
一般財源	3,300	その他 0		
計	6,600			
備考欄				

都006	項目名	移動等円滑化促進事業費	新規事業	
予算書項目	移動等円滑化促進事業費	ページ	263	所 属 名
年度	R6	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-30-8323			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成14年1月より「鳥取市交通バリアフリー基本構想（目標年度：平成22年度）」を策定し、鳥取駅を中心とした公共交通、道路、交通安全に関する整備事業を実施。 平成30年5月に「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」が改正され、移動等円滑化促進方針（マスタープラン）、基本構想の作成に市町村が取り組む必要が生じた。			
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 本市における高齢者・障がい者等の日常生活及び社会生活が確保された安全安心なまちづくりを推進するためには、全市的な移動等円滑化促進方針（マスタープラン）、基本構想を策定し、ハード・ソフト両面から一体的なバリアフリー化の推進を図る必要がある。			
(単位：千円)	【事業の内容】 バリアフリー基本構想は、重点整備地区における公共交通機関、建築物、道路等の具体的な事業（特定事業）を位置づけ、バリアフリー化を重点的・一体的に推進するために、策定するもの。 ・鳥取市バリアフリー基本構想策定業務 ・鳥取市移動等円滑化協議会の開催			
前年度当初予算額	16,473	【事業の実績】 令和3年度 5,853千円 令和4年度 5,495千円 令和5年度 9,220千円（見込）		
本年度要求額	11,386	分担金 0		
総務部長段階査定額	11,386	負担金 0		
市長段階査定額	11,386	使用料 0		
区分	本年度予算額	手数料 0		
国・県支出金	5,000	財産収入 0		
地方債	0	寄付金 0		
その他	0	繰入金 0		
一般財源	6,386	贈収 0		
計	11,386	その他 0		
備考欄				

都007	項目名	県営街路事業負担金		新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	265	所属名
年度	R6	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 事業調整係 0857-30-8322			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 県営街路事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。			
目 街路事業費	【事業の目的及び効果】 県が実施する市域内の県道街路事業に要する経費の一部を市が負担することにより、幹線道路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。また、豊かで活力ある地域社会の形成や安心して暮らせる社会構築に大きな役割を果たす。			
(単位：千円)	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%			
前年度当初予算額	39,585	【事業の実績】 令和3年度 17,212千円 令和4年度 12,123千円 令和5年度 13,887千円（見込）		
本年度要求額	32,450			
総務部長段階査定額	32,450	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%		
市長段階査定額	32,450	【事業の実績】 令和3年度 17,212千円 令和4年度 12,123千円 令和5年度 13,887千円（見込）		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%		
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 17,212千円 令和4年度 12,123千円 令和5年度 13,887千円（見込）		
国・県支出金	0	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%		
地方債	32,400	【事業の実績】 令和3年度 17,212千円 令和4年度 12,123千円 令和5年度 13,887千円（見込）		
その他	0	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%		
一般財源	50	【事業の実績】 令和3年度 17,212千円 令和4年度 12,123千円 令和5年度 13,887千円（見込）		
計	32,450	【事業の内容】 県が実施する街路事業に要する経費の一部を負担。 ・事業箇所 一般県道八坂鳥取停車場線（大工町土居叶線 宮長工区）など3件 ・県営街路事業負担金の負担率 6.7%又は10%		
備考欄				

都008	項目名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金		新規事業
予算書項目	運輸交通関係負担金等	ページ	175	所属名
年度	R6	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2404 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会」は、JR山陰本線等における鉄道の利用促進を図るとともに、鉄道利用者や地域住民に対するサービス向上と沿線地域の発展に寄与することを目的に、平成23年3月に鳥取県、鳥取市、岩美町、商工会議所、JR西日本等で設立された。			
目 企画費	人口減少や自家用車中心の生活スタイルの拡大により、公共交通の利用が減少する中、本市の生活交通の重要な役割を担う鉄道路線の確保維持を図るため、更なる利便性の向上と利用促進が求められている。			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 鉄道の利便性向上及び利用促進を図ることで、地域経済産業の振興及び地域の持続的発展に寄与する。			
前年度当初予算額	800	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
本年度要求額	800	【事業の実績】 市負担金額 令和3年度 800千円 令和4年度 800千円 令和5年度 800千円		
総務部長段階査定額	800	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
市長段階査定額	800	【事業の実績】 市負担金額 令和3年度 800千円 令和4年度 800千円 令和5年度 800千円		
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
財源内訳		【事業の実績】 市負担金額 令和3年度 800千円 令和4年度 800千円 令和5年度 800千円		
国・県支出金	0	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
地方債	0	【事業の実績】 市負担金額 令和3年度 800千円 令和4年度 800千円 令和5年度 800千円		
その他	0	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
一般財源	800	【事業の実績】 市負担金額 令和3年度 800千円 令和4年度 800千円 令和5年度 800千円		
計	800	【事業の内容】 ・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整（駅へのアクセスの利便性向上の検討・各事業者への働きかけ）		
備考欄				

都009	項目名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金	新規事業
予算書項目	空港利用促進費	ページ	175
年度	R6	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【1次総の施策体系】2404 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	「鳥取空港の利用を促進する懇話会」は、鳥取空港の利用促進と利便性の向上を図るため、昭和61年11月6日に鳥取県及び県東・中部地区、兵庫県但馬地区の自治体、民間企業、鳥取商工会議所等の経済団体で設立された。国土交通省による羽田発着枠政策コンテストによる5便化を実現し、平成27年3月1日に「鳥取砂丘コナン空港」と愛称化。5便化の継続に向けた利用促進、また、訪日外国人等の新たな利用拡大を図るため国際線の定期便化が求められている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	12,510	鳥取空港の利用促進を図ることで、地域経済産業の振興及び住民の生活向上に寄与する。	
本年度要求額	12,510	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	12,510	事務局：鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所	
市長段階査定額	12,510	・鳥取東京便の利用率向上への取組	
		・鳥取東京便の5便安定化への取組	
		・国際線の定期便化への取組	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	市負担金額	
地方債	0	令和3年度 7,255千円	
その他	0	令和4年度 7,255千円	
一般財源	12,510	令和5年度 9,657千円（見込）	
計	12,510		
備考欄			

都010	項目名	地方バス路線維持対策補助金	新規事業
予算書項目	地方バス路線維持対策費	ページ	177
年度	R6	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【1次総の施策体系】2404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 交通対策費	路線バスは、もっとも身近な公共交通手段であり、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化の進展や自家用車の普及などにより、バス利用者は減少傾向にあり、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	260,486	高齢者や児童、生徒などの移動手段を確保するため、バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持する。	
本年度要求額	242,332	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	242,332	＜地方創生臨時交付金活用事業＞	
市長段階査定額	242,332	令和5年10月1日から令和6年9月30日までの不採算路線について、バス事業者（日本交通、日ノ丸自動車）に対して補助を行う。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	187,032	地方バス路線維持対策補助金実績	
地方債	55,300	令和3年度 247,540千円	
その他	0	令和4年度 263,270千円	
一般財源	0	令和5年度 153,922千円（見込）	
計	242,332	【今後の取組】	
		住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。	
備考欄			

都011	項目名	バス代替タクシー運賃補助金	新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【1次総の施策体系】2404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 バス路線の再編・減便・廃止に伴う代替交通として、タクシー事業者と連携し乗合タクシーを運行している。		
目 交通対策費	平成13年10月 湖南地区（吉岡洞谷線） 平成22年1月 米里地区（米里線） 平成24年10月 河原町（西郷線） 平成28年4月 国府町（雨滝上地線） 令和5年4月 神戸地区（神戸線）		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 乗合タクシーの運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
前年度当初予算額	33,579	【事業の内容】 乗合タクシーを運行する事業者に対し運行経費から運賃を差し引いた金額を補助する。	
本年度要求額	31,035	【運行地域】 [路線名] [運行事業者] 湖南地区 吉岡洞谷線 日ノ丸ハイヤー(株) 米里地区 米里線 日本交通(株) 河原町 西郷線 日ノ丸ハイヤー(株) 国府町 雨滝上地線 日ノ丸ハイヤー(株) 神戸地区 神戸線 日ノ丸ハイヤー(株)	
総務部長段階査定額	31,035	【事業の実績】	
市長段階査定額	31,035	[利用者数] [市負担金額] 令和3年度 15,435人 19,351千円 令和4年度 14,859人 23,112千円 令和5年度 20,000人 40,889千円(見込)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 5,000	令和3年度 15,435人 19,351千円	
	地方債 11,900	令和4年度 14,859人 23,112千円	
	その他 0	令和5年度 20,000人 40,889千円(見込)	
	一般財源 14,135		
	計 31,035		
備考欄			

都012	項目名	市町村有償運送事業費	新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 総務費	【1次総の施策体系】2404		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 路線バスや乗合タクシーの減便や廃止等に伴う代替交通として、市有償バスを運行している。		
目 交通対策費	平成18年7月 気高町、鹿野町（気高循環バス） 平成23年4月 青谷町（絹見バス） 令和6年4月 青谷地域（青谷バス）予定		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 市有償バスの運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
前年度当初予算額	27,808	【事業の内容】 市有償バスの運行	
本年度要求額	53,045	【運行地域】 [路線バス名] [運行事業者] 気高町、鹿野 気高循環バス (株)翼運輸 青谷地域 青谷バス (株)翼運輸、(有)ニュー青谷タクシー	
総務部長段階査定額	53,045	【事業の実績】	
市長段階査定額	53,045	[利用者数] [事業費] 令和3年度 20,896人 39,959千円 令和4年度 14,909人 28,005千円 令和5年度 15,000人 58,382千円(見込)	
区分	本年度予算額	※その他財源の使用料は、市有償バス使用料	
財源内訳	国・県支出金 8,000		
	地方債 29,100		
	その他 6,376		
	一般財源 9,569		
	計 53,045		
備考欄			

都013	項目名	地域主体型生活交通確保支援事業費	新規事業																				
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	177																				
年度	R6	所 属 名	都市整備部 交通政策課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326																						
款 総務費	【1次総の施策体系】2404 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 運転者不足が深刻化し、路線バスや乗合タクシー、市有バスの廃止や減便が続いている。また、公共交通空白地域での自家用車を運転できない高齢者や学生の移動手段の確保が課題となっている。このような中、NPO法人等が運行主体となる自家用有償旅客運送（共助交通）を全市的に推進している。 ・NPO法人OMUなど7団体																						
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 共助交通の運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ○NPO法人やまちづくり協議会などが取り組む共助交通に関する事業費を支援する。 補助率：10/10 補助対象経費 運行経費（人件費、燃料代、保険料等） ○共助交通の運行管理業務をサポートする。 専門事業者に運転手の体調確認、運行記録の作成等、運行管理業務を委託。																						
前年度当初予算額	38,839	【事業の実績】																					
本年度要求額	49,104	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[利用者数]</td> <td>[市補助金額]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>11,702人</td> <td>23,782千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>21,297人</td> <td>27,576千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>22,000人</td> <td>38,769千円（見込）</td> </tr> </table>			[利用者数]	[市補助金額]	令和3年度	11,702人	23,782千円	令和4年度	21,297人	27,576千円	令和5年度	22,000人	38,769千円（見込）								
	[利用者数]	[市補助金額]																					
令和3年度	11,702人	23,782千円																					
令和4年度	21,297人	27,576千円																					
令和5年度	22,000人	38,769千円（見込）																					
総務部長段階査定額	47,321	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	47,321	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>20,070</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>23,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,051</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>47,321</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	20,070	地方債	23,200	その他	0	一般財源	4,051	計	47,321								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	20,070																						
地方債	23,200																						
その他	0																						
一般財源	4,051																						
計	47,321																						
備考欄																							

都014	項目名	共創型交通モデル事業費	新規事業																				
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	177																				
年度	R6	所 属 名	都市整備部 交通政策課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326																						
款 総務費	【1次総の施策体系】2404 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 自家用車に過度に依存した生活スタイルの拡大や運転手の高齢化、人材不足の深刻化により、交通事業者は厳しい経営状況に陥っている。一方で、脱炭素社会の実現やライフスタイルの多様化などにより、地域交通の果たす役割や価値について改めて捉え直すことが求められている。 こうした問題意識のもと、交通を地域のくらしと一体として捉え、地域交通の維持・活性化を目的として、交通に携わる様々な主体が、各事業者の垣根、交通モードの垣根を超えた「共創」での新たな交通モデルにより地域交通の持続可能性を高めていくことが重要になっている。																						
目 交通対策費	【事業の目的及び効果】 「共創」による新たな交通モデルの構築を目指した取組を推進することにより、将来にわたり持続可能な地域交通の確保を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 交通、商業、医療、行政などの各事業者等で構成するととり共創型交通協議会において、「共創」による新たな交通モデルの構築に向けた社会実験を行う。 ○配車アプリを活用したAIオンデマンド乗合交通の実証運行 ・実施時期：令和6年4月～令和7年3月（予定） ・実施場所：鳥取駅南エリア ・事業費：30,228千円（国1/2・県1/4・市1/4） システム使用料、運行経費等																						
前年度当初予算額	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
本年度要求額	30,228	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>22,671</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,557</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,228</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	22,671	地方債	0	その他	0	一般財源	7,557	計	30,228								
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	22,671																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	7,557																						
計	30,228																						
総務部長段階査定額	30,228																						
市長段階査定額	30,228																						
備考欄																							

都015	項目名	鳥取港振興会対策費	新規事業
予算書項目	鳥取港振興対策費	ページ	263
年度	R6	所属名	都市整備部 交通政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326		
款 土木費	【1次総の施策体系】2404 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 港湾費	【事業の経過及び背景】 鳥取港振興会は、官民一体となって、鳥取港の施設整備及び利用促進に取り組み、地域経済産業の発展に寄与することを目的として、昭和59年12月5日に設立。市、県、商工会議所及び民間団体が構成され、会員数は55団体。（令和5年度総会時点）		
目 港湾総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取港振興会の活動を支援することで、地域産業の振興と地域経済の活性化に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取港振興会活動費の補助 ※対象経費の1/2（県市折半） ・ボートセールス活動 ・外国貿易促進事業 ・クルーズ船誘致事業 ・港湾振興に関する情報収集・調査・分析 ・港湾施設の整備に係る要望活動		
前年度当初予算額	7,154	【事業の実績】	
本年度要求額	7,135	貨物取扱量 市補助金額	
総務部長段階査定額	7,135	令和3年度 48万トン 1,620千円	
市長段階査定額	7,135	令和4年度 50万トン 4,229千円	
		令和5年度 50万トン 6,600千円（見込）	
区分	本年度予算額	事業の実績	
財源内訳		令和3年度 48万トン 1,620千円	
国・県支出金	0	令和4年度 50万トン 4,229千円	
地方債	0	令和5年度 50万トン 6,600千円（見込）	
その他	0		
一般財源	7,135		
計	7,135		
備考欄			

都016	項目名	街なか居住推進事業費	新規事業
予算書項目	都心居住推進事業費	ページ	177
年度	R6	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331		
款 総務費	【1次総の施策体系】2402 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 歴史・文化が蓄積し、病院・交通・公共機関などの都市機能が集積している中心市街地は、子育て世帯から高齢者まで多くの人にとって、便利で豊かな生活を実現し得る地域であるにもかかわらず、近年、空き家や空地などが増加している。 第4期中心市街地活性化基本計画では、「若者世代のまちなか暮らしの促進」を基本方針とし、既存ストックの利活用を促進するとともに若者世代の転入施策を強化することにより、新規居住者の増加をめざすことにしている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 住まいに関する総合的な相談窓口の設置やまちなか居住に関する情報発信、空き家を活用した居住に関する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 住まいに関する総合相談窓口の設置 ・住まいの情報ネットワーク運営事業 まちなか居住推進のための公的支援の実施 ・鳥取市まちなか空き家改修支援事業 ・鳥取市まちなか空き家等残置物処分事業 ・空き家の担い手育成事業 まちなか居住体験施設整備運営事業の実施 ・空き家借上げ、運営費		
前年度当初予算額	10,164	【事業の実績】	
本年度要求額	10,156	令和3年度 6,682千円	
総務部長段階査定額	9,556	令和4年度 7,074千円	
市長段階査定額	9,556	令和5年度 7,079千円（見込）	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
財源内訳			
国・県支出金	1,666		
地方債	0		
その他	2,000		
一般財源	5,890		
計	9,556		
備考欄			

都017	項目名	遊休不動産利活用推進事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	遊休不動産利活用推進事業費	ページ	177
-------	---------------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
-----	--------------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

事業の概要

【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331

【1次総の施策体系】2402 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
 中心市街地では、居住や消費の郊外化、少子高齢化の進展、事業所数の減少などにより、魅力や賑わいが失われつつあるとともに、空き家・空き店舗などの遊休不動産は高止まりの状況にある。
 本市では、平成29年3月に策定した「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、これらの遊休不動産を資源として、今の時代に適した新しい機能を加え再生することで、新たな産業、雇用、居住空間などを生み出し、中心市街地の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めている。

【事業の目的及び効果】
 官民連携により一定のエリアで集中した事業化に取り組み、エリア価値を高めるとともにその効果を中心市街地全体に波及させることを目指す。また、まちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりを行うことで、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。

【事業の内容】
 ・鳥取市まちなか遊休不動産活用マッチング制度の活用の促進
 ・リノベーションまちづくり会議の定期開催
 ・空き家会議（啓発イベント）の開催
 ・ワークショッププログラムの実施
 ・リノベーション事業化推進補助金の交付

【事業の実績】
 令和3年度 151千円
 令和4年度 2,403千円
 令和5年度 3,800千円（見込）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

前年度当初予算額	4,035
----------	-------

本年度要求額	3,599
--------	-------

総務部長段階査定額	3,599	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,599	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,000
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,000
一般財源	2,599
計	3,599

備考欄	
-----	--

都018	項目名	中心市街地活性化助成事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	249
-------	---------------	-----	-----

年度	R6
----	----

所属名	都市整備部 まちなか未来創造課
-----	--------------------

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

事業の概要

【問合せ先】まちなか未来創造課 0857-30-8331

【1次総の施策体系】2402 ●実施計画 ●創生総合戦略

【事業の経過及び背景】
 中心市街地では、車社会の進展に伴う都市機能や居住の郊外化等により、少子高齢化や歩行者通行量の減少、空き地・空き店舗の増加が進展しており、魅力と賑わいの創出による再生への取り組みが求められている。

【事業の目的及び効果】
 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援し、中心市街地の集客と賑わい創出を図るほか、中心市街地の活性化に取り組む人材育成につなげる。

【事業の内容】
 ・鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金の交付
 中心市街地区域内で公募型集客イベント等を実施する者に対するイベント経費の助成

【事業の実績】

	[補助件数]	[参加者数]
令和3年度	5件	7,640人
令和4年度	7件	8,219人
令和5年度	8件（見込）	15,000人（見込）

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

前年度当初予算額	2,000
----------	-------

本年度要求額	2,000
--------	-------

総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	1,000
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,000
一般財源	1,000
計	2,000

備考欄	
-----	--

都019	項目名	中心市街地活性化推進事業費		新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費		ページ	249
年度	R6		所 属 名 都市整備部 まちなか未来創造課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 まちなか未来創造課 0857-30-8331			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2402 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 令和5年度より、第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき中心市街地活性化のための事業推進を図っている。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 中心市街地活性化基本計画に掲載する事業を推進し、中心市街地の活性化を図る。具体的には、中心市街地に関する市民への情報発信として、エリア情報誌「わっか」の作成や、来街者の回遊性を高めるためのルートマップ「まちなかマップ」の発行、デジタルサイネージの活用等を行う。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・基本計画及び事業実施（計画）に関する情報の発信 ・中心市街地エリア情報誌「わっか」の発行 ・Web版「わっか」の運用 ・まちなかデジタルサイネージの運用 ・中心市街地回遊ルートマップ「まちなかマップ」の発行・活用			
前年度当初予算額	3,628	【事業の実績】 令和3年度 2,729千円 令和4年度 3,552千円 令和5年度 3,628千円（見込）		
本年度要求額	3,418	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	3,418	その他財源の内訳	分担金 0	
市長段階査定額	3,418	負担金 0	使用料 0	
区分	本年度予算額	手数料 0	財産収入 0	
財源内訳	国・県支出金 0	寄付金 0	繰入金 0	
地方債 0	その他 0	贈収入 0	その他 0	
一般財源 3,418	計 3,418			
備考欄				

都020	項目名	まち歩き推進事業費		新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費		ページ	249
年度	R6		所 属 名 都市整備部 まちなか未来創造課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 まちなか未来創造課 0857-30-8331			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2402 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、中心市街地区域内に「まち歩き推進ゾーン」を設定し、ウオーカブルな環境を創出することで居心地が良く歩きたくなるまちなかを推進することとしている。			
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 XR技術を活用し、まちなかでARコンテンツをスマートフォンに表示させ、普段のまち歩きをもっと楽しくする取組を行い、中心市街地全体への回遊性・滞留性の向上を促進し、まちなかの賑わいを創出していく。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ARを活用したまちなか周遊促進事業			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和5年度 13,013千円（見込）		
本年度要求額	4,100	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	4,100	その他財源の内訳	分担金 0	
市長段階査定額	4,100	負担金 0	使用料 0	
区分	本年度予算額	手数料 0	財産収入 0	
財源内訳	国・県支出金 0	寄付金 0	繰入金 2,000	
地方債 0	その他 2,000	贈収入 0	その他 0	
一般財源 2,100	計 4,100			
備考欄				

都021	項目名	鳥取駅前太平洋線再生プロジェクト事業費	新規事業																				
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	263																				
年度	R6	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 まちなか未来創造課 0857-30-8331																						
款 土木費	【1次総の施策体系】 2402 ●実施計画 ●創生総合戦略																						
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成20、21年度の実証事業で、交通量の減少により余裕の出来た道路空間を活用することで、人が集まる魅力的な空間を生み出せることが実証されたため、基本計画を策定し、市道駅前太平洋線の整備を行った。																						
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 市道駅前太平洋線「バード・ハット」の活用に関する運営業務を地元商店街に委託することで、鳥取駅周辺への集客による賑わい創出を図る。 また、太平洋線再生プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、バード・ハットでのイベント開催を補助し、駅周辺エリアへ来街者を呼び込むことで活性化を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ イベント開催に係る募集、相談、連絡調整、企画運営、広報業務等を新鳥取駅前地区商店街振興組合に委託 ・ バード・ハットで開催されるイベントの経費助成																						
前年度当初予算額	7,017	【事業の実績】																					
本年度要求額	6,171	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>イベント件数</td> <td>集客数</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>13件</td> <td>14,720人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>18件</td> <td>24,855人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>18件(見込)</td> <td>28,000人(見込)</td> </tr> </table>			イベント件数	集客数	令和3年度	13件	14,720人	令和4年度	18件	24,855人	令和5年度	18件(見込)	28,000人(見込)								
	イベント件数	集客数																					
令和3年度	13件	14,720人																					
令和4年度	18件	24,855人																					
令和5年度	18件(見込)	28,000人(見込)																					
総務部長段階査定額	6,171	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
市長段階査定額	6,171	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>2,845</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	2,845	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	2,845																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額	備考欄																					
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	2,845																						
一般財源	3,326																						
計	6,171																						

都022	項目名	鳥取駅周辺再整備推進事業費	新規事業																				
予算書項目	鳥取駅周辺再整備推進事業費	ページ	265																				
年度	R6	所属名	都市整備部 まちなか未来創造課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】 まちなか未来創造課 0857-30-8331																						
款 土木費	【1次総の施策体系】 2402 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 人口減少社会において、麒麟のまち圏域の中心市として、持続可能なまちづくりを牽引していく役割がますます高まる中で、本圏域の交通・交流の中心拠点である鳥取駅周辺の再生が求められている。 令和3年3月に、「鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)」を策定し、令和5年度から、官民連携による「鳥取駅周辺リ・デザイン会議」を発足し、本構想に基づく「鳥取駅周辺再生基本計画」の策定を進めている。																						
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 令和6年6月に策定予定の「鳥取駅周辺再生基本計画」をもとに、鳥取駅周辺の交通量調査やサウンディング調査などを実施し、交通ターミナルや複合施設の規模や配置、整備手法など、再整備に関する詳細な内容を示す「鳥取駅周辺再生整備計画」の策定(令和7年度中)を目指す。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ 鳥取駅周辺リ・デザイン会議の開催 ・ 鳥取駅周辺再生整備計画策定業務 ・ 整備手法検討調査業務 ・ 住民調査業務 ・ 市民フォーラムの開催																						
前年度当初予算額	0	※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金																					
本年度要求額	52,191	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>49,057</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	49,057	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	49,057																						
贈収入	0																						
その他	0																						
総務部長段階査定額	52,191																						
市長段階査定額	52,191																						
区分	本年度予算額	備考欄																					
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	49,057																						
一般財源	3,134																						
計	52,191																						

都023	項目名	治水対策事業費	新規事業
予算書項目	治水対策事業費	ページ	261
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-30-8343		
款 土木費	【1次総の施策体系】3101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 河川費	【事業の経過及び背景】 台風や大雨に伴う河川氾濫により宅地の浸水被害等が発生していることから、大雨等発生時の緊急対応や浸水対策を行う必要がある。		
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 台風や大雨時に既存ポンプ施設等が円滑に稼働するよう、点検及び修繕を行う。また、過去に浸水被害が発生した地域について、浸水対策を行い、市民生活の安心・安全を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 既存ポンプ施設等の点検及び修繕、緊急排水ポンプ設置業務、浸水対策工事など ・浸水対策工事：小沢見ポンプ場整備工事、青谷町青谷地内内水排水施設整備工事 ・補償費：国府町系谷川浸水対策工事に伴う物件移転補償		
前年度当初予算額	178,174	【事業の実績】 令和3年度 79,216千円 令和4年度 81,611千円 令和5年度 58,756千円（見込）	
本年度要求額	126,955		
総務部長段階査定額	116,600	【事業の実績】 令和3年度 79,216千円 令和4年度 81,611千円 令和5年度 58,756千円（見込）	
市長段階査定額	116,600	【事業の実績】 令和3年度 79,216千円 令和4年度 81,611千円 令和5年度 58,756千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 79,216千円 令和4年度 81,611千円 令和5年度 58,756千円（見込）	
国・県支出金	1,079		
地方債	97,700		
その他	0		
一般財源	17,821		
計	116,600		
備考欄			

都024	項目名	小規模急傾斜地崩壊対策事業費	新規事業
予算書項目	急傾斜地崩壊対策事業費	ページ	261
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-30-8343		
款 土木費	【1次総の施策体系】3101		
項 河川費	【事業の経過及び背景】 土砂災害（がけ崩れ）の起こるおそれのある急傾斜地のうち、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の対象とされていない保全家5戸未満の急傾斜地において、小規模急傾斜地崩壊対策事業を行う。		
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 保全家5戸未満の急傾斜地において、早期に対策が必要な箇所の対策事業を行い、市民生活の安心・安全を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 小規模急傾斜地崩壊対策に係る工事など ・小規模急傾斜地崩壊対策工事：夏泊地区（青谷町青谷） ・小規模急傾斜地崩壊対策工事に伴う測量設計業務：中湯棚地区（中砂見） ・補償費：夏泊地区小規模急傾斜地崩壊対策工事に伴う物件移転補償		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和3年度 25,283千円 令和4年度 41,235千円 令和5年度 32,100千円（見込）	
本年度要求額	95,700		
総務部長段階査定額	95,700	【事業の実績】 令和3年度 25,283千円 令和4年度 41,235千円 令和5年度 32,100千円（見込）	
市長段階査定額	95,700	【事業の実績】 令和3年度 25,283千円 令和4年度 41,235千円 令和5年度 32,100千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 25,283千円 令和4年度 41,235千円 令和5年度 32,100千円（見込）	
国・県支出金	47,500		
地方債	48,200		
その他	0		
一般財源	0		
計	95,700		
備考欄			

都025	項目名	緑化推進事業費	新規事業
予算書項目	緑化推進事業費	ページ	263
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成25年の全国都市緑化フェア開催を契機として、市民の緑化知識の定着、緑化意識の高揚を図る。また、湖山池公園を中心に緑化施策を展開し、緑豊かなガーデンシティ鳥取市として、住みやすい街づくりを推進する。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 市内の学校や街区公園などの身近なスポットへ、花壇の設置やボランティアの育成支援を行うことで、市民の緑化意識の高揚を図るとともに、さらなる緑化活動を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ナチュラルガーデン関連業務（花壇設置、ボランティア育成支援など） 緑化推進業務（緑化PRなど）		
前年度当初予算額	3,783	【事業の実績】 令和3年度 4,727千円 令和4年度 4,393千円 令和5年度 3,383千円（見込）	
本年度要求額	3,280		
総務部長段階査定額	3,280	【事業の内容】 ナチュラルガーデン関連業務（花壇設置、ボランティア育成支援など） 緑化推進業務（緑化PRなど）	
市長段階査定額	3,280	【事業の実績】 令和3年度 4,727千円 令和4年度 4,393千円 令和5年度 3,383千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 ナチュラルガーデン関連業務（花壇設置、ボランティア育成支援など） 緑化推進業務（緑化PRなど）	
国・県支出金	50	【事業の実績】 令和3年度 4,727千円 令和4年度 4,393千円 令和5年度 3,383千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,230		
計	3,280		
備考欄			

都026	項目名	公園整備事業費	新規事業
予算書項目	公園整備費	ページ	265
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 都市公園等において、市民が集う憩いの場、良好な景観、豊かな地域づくりに資する空間の形成を推進する。		
目 都市公園整備費	【事業の目的及び効果】 市民が集う都市公園及び公共空地の整備を進めることにより、安心・安全に利用できる公園づくりを推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公園施設の更新など ・公園施設更新工事：美保球場（スコアボード解体工事） 榊公園（防護柵更新工事）など 7箇所 ・県河川災害復旧工事に伴う安蔵公園水道施設等移設工事		
前年度当初予算額	13,518	【事業の実績】 令和3年度 85,869千円 令和4年度 34,976千円 令和5年度 12,000千円（見込）	
本年度要求額	187,905	※その他財源の諸収入は、県河川災害復旧工事に伴う安蔵公園水道施設等移設工事に係る県補償費	
総務部長段階査定額	164,859		
市長段階査定額	164,859		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	72,000		
地方債	83,400		
その他	7,260		
一般財源	2,199		
計	164,859		
備考欄			

都027	項目名	公園芝生化推進事業費	新規事業
予算書項目	芝生化推進事業費	ページ	265
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】		
目 公園管理費	「はだして遊べる公園づくり」として、地域の方々との協働により公園・広場の芝生化を推進する。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	18,618	公園、公共空道を芝生化することにより、安全で快適な遊び場の提供、環境保全、景観の向上を図る。また、市民が直接事業に参加することにより「協働」意識の高揚を図る。	
本年度要求額	20,961	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	19,657	芝生維持管理業務、芝刈機購入	
市長段階査定額	19,657	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 12,228千円	
国・県支出金	0	令和4年度 16,157千円	
地方債	0	令和5年度 18,532千円（見込）	
その他	19,657	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般財源	0		
計	19,657		
備考欄			

都028	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-30-8343		
款 災害復旧費	【1次総の施策体系】2401		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】		
目 公共土木災害復旧費	令和5年台風第7号の影響により、河川が被災したため復旧する。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	0	適切な施設機能を確保するため災害復旧工事を実施する。	
本年度要求額	366,971	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	366,971	災害復旧工事：鰐谷川など 19箇所（13河川）	
市長段階査定額	366,971	補償費：カンゴウ谷川災害復旧工事に伴う物件移転補償	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	242,700	令和3年度 75,495千円	
地方債	124,200	令和4年度 0千円	
その他	0	令和5年度 95,553千円（見込）	
一般財源	71		
計	366,971		
備考欄			

都029	項目名	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301	所 属 名
年度	R6	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 河川係 0857-30-8343			
款	災害復旧費	【1次総の施策体系】 2401		
項	災害復旧費	【事業の経過及び背景】		
目	公共土木災害復旧費	令和5年台風第7号の影響により、河川が被災したため復旧する。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	適切な施設機能を確保するため災害復旧工事を実施する。		
本年度要求額	292,100	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	292,100	災害復旧工事：曳田川など 9箇所（9河川）		
市長段階査定額	292,100	災害復旧工事に伴う測量設計業務：上地川など 5箇所（5河川）		
		災害復旧業務：大石川など 3箇所（3河川）		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
国・県支出金	0	令和3年度 22,272千円		
地方債	292,100	令和4年度 7,400千円		
その他	0	令和5年度 58,800千円（見込）		
一般財源	0			
計	292,100			
備考欄				

都030	項目名	道路管理費		新規事業
予算書項目	道路管理費	ページ	257	所 属 名
年度	R6	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 管理係、保全係、維持係 0857-30-8351			
款	土木費	【1次総の施策体系】 2401 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項	道路橋梁費	【事業の経過及び背景】		
目	道路維持費	管理すべき市道延長の増加、道路施設の増加、老朽化により一定規模の管理費・維持補修費が必要である。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	319,096	道路及び道路施設等の維持作業、損傷箇所の修繕を行い、もって市道を適切に管理する。		
本年度要求額	394,007	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	347,050	定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、関連施設（鳥取駅広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者等委託、資材支給等により実施する。		
市長段階査定額	347,050	【事業の実績】		
		令和3年度 303,426千円		
		令和4年度 311,775千円		
		令和5年度 344,738千円（見込）		
区分	本年度予算額	※その他財源の使用料は、道路占用料		
国・県支出金	0	※その他財源の手数料は、証明手数料		
地方債	0	※その他財源の諸収入は、自動車損害賠償保険料		
その他	60,950			
一般財源	286,100			
計	347,050			
備考欄				

都031	項目名	一般道補修費	新規事業
予算書項目	一般道補修費	ページ	257
年度	R6	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保全係、維持係、改良係 0857-30-8351		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を維持する。		
目 道路維持費	【事業の目的及び効果】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・地区要望（側溝改良、歩道改良、法面補修など）による道路工事を実施する。 ・道路施設長寿命化事業（舗装・道路照明）		
前年度当初予算額	223,439	【事業の実績】 令和3年度 194,948千円 令和4年度 185,009千円 令和5年度 212,789千円（見込）	
本年度要求額	196,657	※その他財源の諸収入は、道路工事に伴う下水マンホール蓋調整に係る負担金	
総務部長段階査定額	190,661	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	190,661	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
	計	繰入金	0
		贈収入	1,650
		その他	0
備考欄			

都032	項目名	除雪費	新規事業
予算書項目	除雪関係費	ページ	257
年度	R6	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8351		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401、3101 ●実施計画		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 冬季の生活路線の円滑な交通を確保する。		
目 道路維持費	【事業の目的及び効果】 幹線道路、バス路線を主とした市道の除雪を行い冬季の生活道路の円滑な交通を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 町内会へ小型除雪機貸与のため小型除雪機の点検および修繕、冬季へ備えて消雪パイプの修繕、積雪観測システムの保守業務、除雪機械運転育成支援事業補助等。		
前年度当初予算額	13,110	【事業の実績】 令和3年度 693,214千円 令和4年度 466,736千円 令和5年度 358,912千円（見込）	
本年度要求額	20,408	【その他財源の内訳】	
総務部長段階査定額	15,406	分担金	0
市長段階査定額	15,406	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳	国・県支出金	手数料	0
	地方債	財産収入	0
	その他	寄付金	0
	一般財源	繰入金	0
	計	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

都033	項目名	社会資本整備総合交付金事業費		新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	259	所属名
年度	R6	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】改良係 0857-30-8531			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401			
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 社会資本整備総合交付金による市道整備を推進する。			
目 道路新設改良費	【事業の目的及び効果】 市道の新設・拡幅や橋梁架替などを行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整える。			
(単位：千円)	【事業の内容】 社会資本整備総合交付金（道路局）（交付率50%） 上砂見5号線など3路線。			
前年度当初予算額	104,386	【事業の実績】 令和3年度 84,090千円 令和4年度 39,180千円 令和5年度 89,265千円（見込）		
本年度要求額	78,573			
総務部長段階査定額	78,573	【事業の内訳】		
市長段階査定額	78,573	令和3年度 84,090千円 令和4年度 39,180千円 令和5年度 89,265千円（見込）		
区分	本年度予算額	分担金 0		
財源内訳		負担金 0		
国・県支出金	38,000	使用料 0		
地方債	40,500	手数料 0		
その他	0	財産収入 0		
一般財源	73	寄付金 0		
計	78,573	繰入金 0		
		贈収金 0		
		その他 0		
備考欄				

都034	項目名	防災・安全交付金事業費		新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	259	所属名
年度	R6	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】管理係、保全係、維持係、改良係 0857-30-8351			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画			
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 防災・安全交付金による市道整備を推進する。			
目 道路新設改良費	【事業の目的及び効果】 道路施設の長寿命化対策、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、道路上の安全・安心を確保する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 防災・安全交付金（交付率50%、55%） 通学路個別補助（補助率55%） 道路メンテナンス個別補助（補助率55%） 無電柱化個別補助（補助率55%） などの国庫補助金（道路局所管）を活用し、古海高住線など14路線において、長寿命化対策（橋梁・トンネル）、道路改良（道路拡幅・法面対策・歩道整備）を実施する。			
前年度当初予算額	597,465	【事業の実績】 令和3年度 452,820千円 令和4年度 371,251千円 令和5年度 540,328千円（見込）		
本年度要求額	761,959			
総務部長段階査定額	741,959	【事業の内訳】		
市長段階査定額	741,959	令和3年度 452,820千円 令和4年度 371,251千円 令和5年度 540,328千円（見込）		
区分	本年度予算額	分担金 0		
財源内訳		負担金 0		
国・県支出金	366,003	使用料 0		
地方債	333,700	手数料 0		
その他	0	財産収入 0		
一般財源	42,256	寄付金 0		
計	741,959	繰入金 0		
		贈収金 0		
		その他 0		
備考欄				

都035	項目名	交通安全施設事業工事費	新規事業
予算書項目	交通安全施設事業費	ページ	261
年度	R6	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】維持係 0857-30-8351		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 交通安全施設を配置することで事故を防止する。		
目 交通安全施設事業費	【事業の目的及び効果】 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。		
前年度当初予算額	21,061	【事業の実績】 令和3年度 19,548千円 令和4年度 21,061千円 令和5年度 19,761千円（見込）	
本年度要求額	19,043		
総務部長段階査定額	19,043	その他財源の内訳	
市長段階査定額	19,043	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	19,043		
計	19,043		
備考欄			

都036	項目名	補助災害復旧費	新規事業
予算書項目	現年発生災害復旧費	ページ	301
年度	R6	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係、保全係、維持係、改良係 0857-30-8351		
款 災害復旧費	【1次総の施策体系】2401		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和3年7月8日～10日の梅雨前線、及び令和3年8月12日の秋雨前線などにより被災した市道を公共土木施設災害復旧事業（地すべり対策）により復旧する。		
目 公共土木災害復旧費	【事業の目的及び効果】 早期の復旧により速やかに適切な開放を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和3年7月8日～10日の梅雨前線、及び令和3年8月12日の秋雨前線などにより地すべりが要因で被災した路線の復旧。		
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	182,250		
総務部長段階査定額	182,250	その他財源の内訳	
市長段階査定額	182,250	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	110,055		
地方債	72,100		
その他	0		
一般財源	95		
計	182,250		
備考欄			

都037	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	301	所 属 名
年度	R6	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 管理係、保全係、維持係、改良係 0857-30-8351			
款	災害復旧費	【1次総の施策体系】 2401		
項	災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号により被災した市道を公共土木施設災害復旧事業により復旧する。		
目	公共土木災害復旧費	【事業の目的及び効果】 早期の復旧により速やかに適切な開放を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和5年台風第7号により被災した路線の復旧			
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	1,166,990			
総務部長段階査定額	1,166,990	その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,166,990	分担金	0	
区 分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	766,823	手数料	0	
地方債	400,100	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	67	繰入金	0	
計	1,166,990	贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

都038	項目名	福祉のまちづくり推進事業費		新規事業
予算書項目	福祉のまちづくり推進事業費	ページ	255	所 属 名
年度	R6	都市整備部 建築指導課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362			
款	土木費	【1次総の施策体系】 2401 ●実施計画		
項	土木管理費	【事業の経過及び背景】 高齢者、障がい者等を取り巻く様々な障壁を除去することによって、生きがいを持ちながら生活できる社会を実現する。		
目	建築指導費	【事業の目的及び効果】 バリアフリー法及び福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う民間の特定建築物の建築主に対し、整備に要する費用の一部を交付することにより、福祉のまちづくりを推進していく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 民間の特別特定建築物・特定建築物のバリアフリー整備に係る費用の一部助成の実施 ・特別特定建築物、特定建築物の既存のトイレ改修、玄関の改修、エレベーター設置、オストメイト設置、車いす駐車場の整備など ・特別特定建築物の洋便器等の整備、手すりの整備、点字ブロックの整備など ・当該年度計画：4件程度の助成			
前年度当初予算額	5,500	【事業の実績】 令和3年度：6件 令和4年度：3件 令和5年度：4件（見込）		
本年度要求額	5,500	財源内訳 特別特定建築物 国：1/3、県：1/6、市：1/6 特定建築物 国：1/4、県：1/8、市：1/8		
総務部長段階査定額	5,500	その他財源の内訳		
市長段階査定額	5,500	分担金	0	
区 分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	4,124	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	1,376	繰入金	0	
計	5,500	贈収金	0	
		その他	0	
備考欄				

都039	項目名	石綿改修支援事業費	新規事業
予算書項目	石綿改修支援事業費	ページ	255
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築指導課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362		
款 土木費	【11次総の施策体系】 3101		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 アスベストによる健康被害が社会問題となっていることから、吹付けアスベスト等が使用されている建築物に対して飛散防止措置を施す必要がある。		
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 健康に大きな被害を及ぼす吹付けアスベスト等を使用している建築物の所有者に対して、国の交付金事業、県の補助事業を活用して吹付けアスベスト等の飛散防止措置に係る調査及び除却費用等の一部を助成し、市民の健康被害の防止及び生活環境の保全に資することを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 吹付けアスベスト等の含有調査及び除去等の工事に対して助成を行う。 1 対象建築物：吹付けアスベスト又はアスベスト含有吹付けロックウールが施工された建築物（国の他の助成を受けていない建築物） 2 対象工事：除去、封じ込め、囲い込み		
前年度当初予算額	10,501	【事業の実績】 ・アスベスト含有調査 令和3年度：10件 令和4年度：5件 令和5年度：4件（見込）	
本年度要求額	22,501	・アスベスト除去 令和3年度：1件 令和4年度：2件 令和5年度：2件（見込）	
総務部長段階査定額	22,501	※補助率 ①アスベスト除去：国：1/3、県：1/4、市：1/12 ②アスベスト調査：国：10/10	
市長段階査定額	22,501	【事業の備考欄】	
区分	本年度予算額	【事業の備考欄】	
国・県支出金	19,999	【事業の備考欄】	
地方債	0	【事業の備考欄】	
その他	0	【事業の備考欄】	
一般財源	2,502	【事業の備考欄】	
計	22,501	【事業の備考欄】	

都040	項目名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	新規事業
予算書項目	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	ページ	255
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築指導課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362		
款 土木費	【11次総の施策体系】 3101 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため「鳥取市耐震改修促進計画」を令和5年2月に見直しし、令和7年度までに住宅の耐震化率を93%とする目標を掲げている。この目標を達成するため「鳥取市震災に強いまちづくり促進事業」を創設して耐震化事業に取り組んでいる。		
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため、国の交付金と県の補助事業を活用して耐震診断、補強設計、耐震改修を行う建築物の所有者に対して助成を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①助成対象者 ・昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及び一般建築物などの所有者（木造一戸建て住宅は、平成12年5月31日以前に建築されたもの） ・道路に面した危険なブロック塀の所有者 ②事業内容 耐震診断：一戸建て住宅、一般建築物、共同住宅 補強設計：一戸建て住宅、共同住宅、大規模建築物 耐震改修：一戸建て住宅、共同住宅、大規模建築物、危険なブロック塀の除却・改修 屋根瓦耐風対策 除却：一戸建ての住宅（新規）		
前年度当初予算額	40,888	③当該年度計画 ・木造住宅無料耐震診断 60件 ・耐震診断の助成 一戸建て住宅5件 ・補強設計の助成 一戸建て住宅15件 ・耐震改修の助成 一戸建て住宅15件 ・除却 一戸建て住宅5件 ・屋根瓦耐風対策の助成 5件 ・危険なブロック塀除却・改修の助成 除却(避難路) 15件 除却後の改修(避難路) 10件 除却(避難路以外) 4件 除却後の改修(避難路以外) 2件 ・大規模建築物耐震改修 1件	
本年度要求額	134,669	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	134,669	耐震診断 補強設計 耐震改修 屋根瓦 ブロック塀除却・改修 令和3年度： 52件 8件 6件 - 22件・12件 令和4年度： 73件 12件 13件 - 19件・10件 令和5年度： 60件 13件 12件 3件 20件・8件（見込）	
市長段階査定額	134,669	【事業の備考欄】	
区分	本年度予算額	【事業の備考欄】	
国・県支出金	110,462	【事業の備考欄】	
地方債	0	【事業の備考欄】	
その他	0	【事業の備考欄】	
一般財源	24,207	【事業の備考欄】	
計	134,669	【事業の備考欄】	

都041	項目名	土砂災害特別区域内住宅建替等事業費	新規事業
予算書項目	土砂災害特別区域内住宅建替等事業費	ページ	255
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築指導課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362		
款 土木費	【1次総の施策体系】 3101		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 土砂災害防止法に基づき、鳥取県が土砂災害特別警戒区域（レッド区域）の指定を年次的に行っている。レッド区域の多くは中山間地域に存在し、この地域の持続的発展は重要な施策の一つとなっている。		
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 土砂災害特別警戒区域（レッド区域）内に居住する者の定住を支援することを目的に、住宅の建替えや増改築を行う建築主に対して予算の範囲内で補助する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 土砂災害等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域において、住宅の新築や増改築工事を行う者に対して補助する。		
前年度当初予算額	0	1. 補助対象者 レッド区域内で建築基準法の構造規制を満たす住宅・集会所の建替、増改築を行う建築主	
本年度要求額	2,584	2. 事業内容 レッド区域内における住宅・集会所の建替等を行う際の、建物の構造を強化する工事	
総務部長段階査定額	2,584	【事業の実績】 令和3年度：0件 令和4年度：0件 令和5年度：0件（見込）	
市長段階査定額	2,584	財源内訳 県：1/2、市：1/2	
区分	本年度予算額	財源内訳	
国・県支出金	1,291	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	1,293	手数料	0
計	2,584	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

都042	項目名	空家対策事業費	新規事業
予算書項目	空家対策事業費	ページ	255
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築指導課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362		
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401 ●実施計画		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 近年、管理されないまま放置され老朽化した空き家が増えつつある。このような老朽化した空き家等は、市民の暮らしの安全・安心を阻害しかねないものとなっている。		
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 空き家の所有者等に対し、必要な指導又は協力の要請を行い、空き家等による災害を未然に防止するとともに良好な景観及び生活環境の創生に寄与することを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 1. 鳥取市空家等対策協議会を開催し、行政措置の審議等を行う。		
前年度当初予算額	29,087	①空家等対策協議会委員（8名） 市長、学識経験を有する者（法律・建築・不動産・文化）、鳥取市景観形成審議会の委員、民間団体に属する者、公募による者	
本年度要求額	19,547	②事務局 建築指導課 ③開催 年3回を予定	
総務部長段階査定額	19,448	2. 管理不全な状態を解消するため、解体費用に対して補助を行う。	
市長段階査定額	19,448	①対象住戸：特定空家等に認定され、当課より必要な措置を講じるよう指導・勧告された戸建て住宅（解体費用の1/2かつ限度額600千円（残置物処分を含む場合は200千円を上乗せ）） ②当該年度計画 15件	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 除却補助件数 令和3年度：9件 令和4年度：10件 令和5年度：15件（見込）	
国・県支出金	10,050	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	4,038	使用料	0
一般財源	5,360	手数料	2,210
計	19,448	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	1,828
		その他	0
備考欄	※その他財源の手数料は、建築確認申請手数料 ※その他財源の諸収入は、緊急安全措置等に対する自己負担金等		

都043	項目名	定期借地権付土地分譲事業費	新規事業
予算書項目	財産管理費	ページ	173
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築住宅課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅係 0857-30-8371		
款 総務費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野町湯川団地及び青谷町望町団地（所有：鳥取市土地開発公社）では、分譲を促進するため、「土地の所有から利用へ」という形態が可能となる「定期借地権付土地制度」を平成24年度から導入している。令和2年度は、定期借地権賃料を引き下げ、制度利用の向上を図った。		
目 財産管理費	●定期借地条件 用途：借受人が移住する専用又は店舗併用住宅 借地期間：51年（借地期間50年＋建物撤去期間1年） 借地保証料：100万円 （建物撤去後、土地を返還又は購入の場合は無利息で全額返還）		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 鹿野町湯川団地及び青谷町望町団地において、令和元年度開通した鳥取西道路による利便性の向上等を踏まえ、更なる分譲を推進するため、定期借地権付土地制度の利用のメリットなど積極的な広報・PRを行う。		
前年度当初予算額	35,265	【事業の内容】 ・定期借地権付土地制度の利用促進（土地購入費計上） ・テレビCM、PRチラシの製作、新聞広告、環境整備等PR・広報を実施	
本年度要求額	33,118	【事業の実績】 分譲実績（うち定期借地権付分譲実績） 令和3年度 3件（2件 湯川団地） 令和4年度 4件（2件 湯川団地、1件 望町団地） 令和5年度 5件（2件 湯川団地、2件 望町団地） ※定借全体：湯川団地8件 望町団地6件	
総務部長段階査定額	33,118	※その他財源の財産収入は、定期借地権付土地貸付料等収入	
市長段階査定額	33,118	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	1,954	財産収入	1,954
一般財源	31,164	寄付金	0
計	33,118	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

都044	項目名	住宅セーフティネット事業費	新規事業
予算書項目	住宅セーフティネット事業費	ページ	267
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築住宅課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅係 0857-30-8371		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画		
項 住宅費	【事業の経過及び背景】 国は、高齢者・低額所得者等の住宅確保要配慮者（以下「住宅要配慮者」という。）に対し、民間の空家・空室を活用した住宅供給を促進するため、①住宅要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅の登録、②登録住宅の改修や住宅要配慮者の入居に対する経済的支援、③住宅要配慮者の居住支援の3点を柱とする「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法）」の改正を平成29年10月に行い、本市は国に呼応し、平成30年度に住宅セーフティネット補助制度を創設した。		
目 住宅管理費	【事業の目的及び効果】 住宅要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅の供給を促進するため、入居者への経済的支援を行い、高齢者、障がい者、子育て世代等の住宅要配慮者の居住の確保を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①登録住宅の改修への補助 1件 ○補助率2/3（限度額200万円/戸）（国1/3、県1/6、市1/6） ②登録住宅入居の低額所得者に対する家賃・家賃債務保証料の低廉化支援 ア 家賃低廉化への補助 4件 ○補助率10/10（限度額4万円/月・戸）（国1/2、県1/4、市1/4） イ 家賃債務保証料低廉化への補助 2件 ○補助率10/10（限度額6万円/戸）（国1/2、県1/4、市1/4）		
前年度当初予算額	10,352	【事業の実績】 令和3年度 家賃低廉化補助件数11件 令和4年度 家賃低廉化補助件数15件 令和5年度 家賃低廉化補助件数22件（見込）	
本年度要求額	13,280		
総務部長段階査定額	12,800	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	12,800	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	9,600	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	3,200	繰入金	0
計	12,800	贈収入	0
		その他	0
備考欄			

都045	項目名	市営住宅長寿命化対策費	新規事業
予算書項目	公営住宅等長寿命化対策費	ページ	269
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築住宅課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅建設係 0857-30-8372		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401 ●実施計画		
項 住宅費	【事業の経過及び背景】 本市が管理している市営住宅の維持管理について、令和3年度に鳥取市営住宅長寿命化計画を改定し、計画的な整備と適正な維持管理を行っている。 老朽化した市営住宅ストックの効率かつ円滑な更新を行うため、市営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげる。		
目 公営住宅建設費	【事業の目的及び効果】 施設の更新が必要となっている市営住宅大森団地（相生町三丁目）の長寿命化を図るため、ストック総合改善事業を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・大森団地R G 2棟改修工事（R5～R6債務負担行為） ①建築 151,243千円×0.6=90,746千円 ②電気 31,218千円×0.6=18,731千円 ③機械 38,262千円×0.6=22,957千円 ①～③合計 132,435千円 ・大森団地改修工事に伴う移転補償 23世帯 3,358千円 ・水道経口別負担金等 1,092千円		
前年度当初予算額	88,290	【事業の実績】 令和2年度：大森団地R G 1棟実施設計 令和3年度：大森団地R G 1棟改修工事 大森団地R G 2棟実施設計 令和4年度：大森団地R G 3棟実施設計 令和5年度：大森団地R G 2棟改修工事（R5～R6）	
本年度要求額	136,885	備考欄	
総務部長段階査定額	136,885	【事業の内訳】	
市長段階査定額	136,885	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 67,896	令和2年度：大森団地R G 1棟実施設計 令和3年度：大森団地R G 1棟改修工事 大森団地R G 2棟実施設計 令和4年度：大森団地R G 3棟実施設計 令和5年度：大森団地R G 2棟改修工事（R5～R6）	
	地方債 68,900		
	その他 0		
	一般財源 89		
	計 136,885		

都046	項目名	市営住宅屋根改修事業費	新規事業
予算書項目	市営住宅屋根改修事業費	ページ	269
年度	R6	所 属 名	都市整備部 建築住宅課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅建設係 0857-30-8372		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 住宅費	【事業の経過及び背景】 市営住宅屋根改修事業は、平成30年度に市営住宅賀露団地で発生した屋根葺き材の剥離落下を受け、同様の屋根葺き材で施工されている賀露団地・旭町団地・材木団地等の屋根改修を令和元年度から実施している。		
目 公営住宅建設費	【事業の目的及び効果】 強風により屋根材の落下を未然に防ぎ、大事故につなげないために継続して屋根改修を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 湖山団地2棟、旭町団地10棟		
前年度当初予算額	63,554	【事業の実績】 令和3年度 賀露団地4棟、旭町団地9棟、湯所団地1棟 令和4年度 賀露団地8棟、旭町団地4棟、湖山団地3棟 令和5年度 賀露団地7棟、材木団地2棟	
本年度要求額	121,193	備考欄	
総務部長段階査定額	86,210	【事業の内訳】	
市長段階査定額	86,210	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	国・県支出金 0	令和3年度 賀露団地4棟、旭町団地9棟、湯所団地1棟 令和4年度 賀露団地8棟、旭町団地4棟、湖山団地3棟 令和5年度 賀露団地7棟、材木団地2棟	
	地方債 86,200		
	その他 0		
	一般財源 10		
	計 86,210		

下001	項目名	下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業)		新規事業
予算書項目	下水道等事業会計へ繰出	ページ	249	所属名
年度	R6	下水道部 下水道企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】財務係 0857-30-8383			
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2401			
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(集落排水事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出する。			
目 下水道等事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(集落排水事業)の適正な運営を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 下水道等事業会計(集落排水事業)に対する一般会計繰出金。			
前年度当初予算額	1,441,424	【事業の実績】 令和3年度 1,427,449千円 令和4年度 1,404,757千円 令和5年度 1,397,253千円(見込)		
本年度要求額	1,438,810	※その他財源の繰入金は、下水道等事業推進基金繰入金		
総務部長段階査定額	1,438,810	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	1,438,810	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	50,000	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	50,000			
一般財源	1,388,810			
計	1,438,810			
備考欄				

下002	項目名	下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業)		新規事業
予算書項目	下水道等事業会計へ繰出	ページ	271	所属名
年度	R6	下水道部 下水道企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】財務係 0857-30-8383			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401			
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づき、下水道等事業会計(公共下水道事業)に対し一般会計が負担する経費を繰出金として支出する。			
目 下水道等事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)の適正な運営を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 下水道等事業会計(公共下水道事業)に対する一般会計繰出金。			
前年度当初予算額	2,244,435	【事業の実績】 令和3年度 2,664,972千円 令和4年度 2,612,940千円 令和5年度 2,538,921千円(見込)		
本年度要求額	2,202,428	【その他財源の内訳】		
総務部長段階査定額	2,202,428	分担金	0	
市長段階査定額	2,202,428	負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,202,428			
計	2,202,428			
備考欄				

教001	項目名	鳥取市グローバル人材育成事業費	新規事業
予算書項目	国際理解教育推進事業費	ページ	277
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 教育総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 校区審議室 0875-30-8405		
款 教育費	【1 1次総の施策体系】 1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 本市の第2期創生総合戦略や第1 1次総合計画では、グローバル化に対応した外国語活動・外国語教育の充実を重要課題として掲げており、さらなる外国語教育を推進するため、次代を担う中学生を海外に派遣し、異文化に触れる機会を提供することで、国際感覚の優れた人材の育成を図る。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 本市の中学生を海外に派遣し、互いの国の言語や文化・歴史の理解を深めることで国際感覚の優れた人材の育成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 英語圏であるオーストラリアに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間（5日程度）研修を行う。		
前年度当初予算額	0	【スケジュール】 (1) 令和6年 4～7月 事前研修実施 (2) 8月 オーストラリア（ケアンズ）派遣、派遣報告会	
本年度要求額	10,143	【その他】 ・参加者 20名 ・随 行 学校教諭2名、教育委員会3名 ・内 容 現地学校訪問、ホームステイ、施設見学など	
総務部長段階査定額	10,143	【事業の実績】 平成28年度～平成30年度 市内中学生20名シンガポールへ派遣 令和元年度 市内中学生20名オーストラリアへ派遣 令和2年度～令和5年度 中止	
市長段階査定額	10,143	※その他財源の諸収入は、参加者負担金【9万円/人（渡航費用の1/4程度）】	
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	1,800		
一般財源	8,343		
計	10,143		

教002	項目名	鳥取市立学校区再編推進事業費	新規事業
予算書項目	教育改革推進事業費	ページ	277
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 教育総務課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 校区審議室 0857-30-8405		
款 教育費	【1 1次総の施策体系】 1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 第14期鳥取市校区審議会より、「早急に議論が必要な学校区のあり方」と「鳥取市全域の中長期的な学校区のあり方」について答申があった。答申ではおおむね20年後の姿を想定し、多くの市民を巻き込んで議論する必要は高まっているとしている。		
目 教育振興費	その答申を受け、令和3年3月に、本市では初めて学校の適正規模・適正配置について示した「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」を策定した。今後は保護者や地域住民の学校に対する思いに配慮しながら議論を進め、性急に学校の配置等を検討するのではなく、教育上の課題やまちづくりも含めた将来ビジョンを共有しながら、十分な議論の上学校のあり方を検討していく。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地域協議を前提とすることを基本として、おおむね20年後の学校の適正規模・適正配置について検討を進める。		
前年度当初予算額	1,378	【事業の内容】 ・地域の学校のあり方を考える検討組織による先進地視察：市内2回実施予定 ・市内中学校区単位等での説明会に係る開催経費：17中学校・義務教育学校区単位等 ・気高中学校区4小学校の交流のための経費：52回実施予定	
本年度要求額	1,356	【事業の実績】 市内中学校区単位等での説明会開催結果 令和3年度：14回 令和4年度：30回 令和5年度：37回（見込）	
総務部長段階査定額	1,356	備考欄	
市長段階査定額	1,356		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,356		
計	1,356		

教003	項目名	放課後児童対策事業費	新規事業
予算書項目	放課後児童対策事業費	ページ	207
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-30-8411		
款 民生費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 児童福祉費	【事業の経過及び背景】 合併前の鳥取地域の児童クラブは保護者会への委託方式、合併地域の児童クラブは直営方式でそれぞれ運営していたが、平成18年度から全てのクラブを委託方式に移行し現在に至る。児童クラブのニーズは高く、入級児童数は増加傾向にある。		
目 児童福祉総務費	【事業の目的及び効果】 保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、遊びや生活の支援を行い、児童の心身共に健全な育成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 放課後児童クラブの運営 既設 : 76クラブ (前年度からの継続分) 新設予定 : 2クラブ (岩倉、湖山) 計78クラブ		
前年度当初予算額	593,640	【事業の実績】 令和3年度：74クラブ 2,990人 令和4年度：76クラブ 3,051人 令和5年度：76クラブ 3,156人	
本年度要求額	627,369	※その他財源の使用料は、施設使用料	
総務部長段階査定額	627,369	【事業の内容】 放課後児童クラブの運営 既設 : 76クラブ (前年度からの継続分) 新設予定 : 2クラブ (岩倉、湖山) 計78クラブ	
市長段階査定額	627,369	【事業の実績】 令和3年度：74クラブ 2,990人 令和4年度：76クラブ 3,051人 令和5年度：76クラブ 3,156人	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	417,645	負担金	0
地方債	1,800	使用料	6
その他	6	手数料	0
一般財源	207,918	財産収入	0
計	627,369	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

教004	項目名	語学指導等外国青年招致事業費	新規事業
予算書項目	語学指導等外国青年招致事業費	ページ	277
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 外国の言語や文化に対する理解を深め、外国語でコミュニケーションを図る積極的な態度や能力を育成するために、各中学校区に外国青年を外国語指導助手（ALT）として配置・派遣し、児童生徒が生の英語に触れる機会の充実に取組んできた。学習指導要領の改訂に伴い、中学校においては授業を英語で行うこととなり、小学校では3・4年生から外国語活動が導入され、5・6年生では外国語が教科となり、自分の考えを英語で発信する力やコミュニケーション能力の育成が求められている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 ALTが外国語科や外国語活動の授業の補助等にあたることで、外国語教育・国際理解教育の充実を図る。また、オンライン英会話授業を実施することで、生徒の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ALT等の配置（ALT：11名、ALTコーディネーター：1名） ・英語によるコミュニケーション能力の育成に向けたオンライン英会話授業の実施		
前年度当初予算額	53,241	【事業の実績】 令和3年度：ALT10名、臨時指導助手5名、ALTコーディネーター1名配置 令和4年度：ALT10名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（モデル校3校：高草中、湖東中、気高中） 令和5年度：ALT10名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（中学校13校、義務教育学校後期4校）	
本年度要求額	68,411	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	68,096	【事業の内容】 ・ALT等の配置（ALT：11名、ALTコーディネーター：1名） ・英語によるコミュニケーション能力の育成に向けたオンライン英会話授業の実施	
市長段階査定額	68,096	【事業の実績】 令和3年度：ALT10名、臨時指導助手5名、ALTコーディネーター1名配置 令和4年度：ALT10名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（モデル校3校：高草中、湖東中、気高中） 令和5年度：ALT10名、ALTコーディネーター1名配置 オンライン英会話授業の実施（中学校13校、義務教育学校後期4校）	
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	2,157	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	7,832	手数料	0
一般財源	58,107	財産収入	0
計	68,096	寄付金	0
		繰入金	7,832
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

教005	項目名	小学校外国語教育支援事業費		新規 事業
予算書項目	国際理解教育推進事業費	ページ	277	所 属 名
年度	R6	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 本市の小学校外国語活動・外国語科では、令和2年度の新学期指導要領完全実施に向けた取組を平成30年度より先行実施してきたことで、3・4年生の外国語活動（年間35時間）、5・6年生の外国語科（年間70時間）の円滑な移行が行われた。今後も、外国語教育におけるコミュニケーション能力の育成を図るために、学校現場に対する支援を継続していく必要がある。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 小学校外国語活動・外国語科では、担任主導の学習展開を基本とするが、外国語や外国の文化に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるために、外国語に堪能な地域人材やネイティブスピーカーと触れ合うことが効果的である。			
(単位：千円)	【事業の内容】 5・6年生の各学級年間14回、3・4年生の各学級年間10回の授業において、各学校が確保した外国語活動支援員を活用し、担任の指導を補助する。			
前年度当初予算額	2,028	【事業の実績】 令和3年度：26校 1,619回 令和4年度：31校 1,175回 令和5年度：30校 974回（見込）		
本年度要求額	1,430	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	1,430	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	1,430	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	1,430	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	1,430			
一般財源	0			
計	1,430			
備考欄				

教006	項目名	外国人等児童生徒編入学支援事業費		新規 事業
予算書項目	外国人等児童生徒編入学支援事業費	ページ	277	所 属 名
年度	R6	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412			
款 教育費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 近年、外国から入国してきた児童生徒が増加しており、初めて市内小・中学校へ就学する児童生徒や、編入後に日本語を用いたコミュニケーション等に課題がある児童生徒に対する個々の日本語能力に応じた特別な支援が必要となっている。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 市内小・中学校へ就学する児童生徒のうち、日本語を用いたコミュニケーション等に課題がある者を対象に、生活指導や初期的な日本語指導及び母国語通訳のできる人材を教育活動支援員として該当校へ派遣したり翻訳ソフトを活用したりすることで、該当児童生徒が安心して学び、生活できるよう支援する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・教育活動支援員による日本語指導等の実施 ・連絡協議会の開催			
前年度当初予算額	1,896	【事業の実績】 (1) 教育活動支援員による日本語指導 令和3年度：821時間 令和4年度：1,086時間 令和5年度：1,600時間（見込） (2) 音声翻訳機等による支援 (3) 教育活動支援員との連絡調整会議		
本年度要求額	3,056			
総務部長段階査定額	2,657	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	2,657	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	1,770			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	887			
計	2,657			
備考欄				

教007	項目名	特別支援教育推進事業費	新規事業
予算書項目	特別支援教育推進事業費	ページ	277
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】特別支援教育係 0857-30-8562		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた支援を行うため、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難に対し適切な指導や必要な支援を行う必要がある。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行うことで、障がいのある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を養う。障がいのある児童生徒が落ち着いた学校生活を送ることはもとより、学級経営の円滑な運営を図るため、各学校へ特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導の補助を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育支援員の配置		
前年度当初予算額	127,210	【事業の実績】 (1) 教育支援委員会の開催(年3回) (2) 特別支援教育支援員の配置 令和3年度：週30時間・45人／週19時間・22人 令和4年度：週30時間・46人／週19時間・21人 令和5年度：週30時間・46人／週19時間・21人	
本年度要求額	143,032	※その他財源の繰入金は、特別支援学級教育振興基金繰入金、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、教育支援委員会事務受託収入	
総務部長段階査定額	143,007	【事業の内容】 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育支援員の配置	
市長段階査定額	143,007	【事業の実績】 (1) 教育支援委員会の開催(年3回) (2) 特別支援教育支援員の配置 令和3年度：週30時間・45人／週19時間・22人 令和4年度：週30時間・46人／週19時間・21人 令和5年度：週30時間・46人／週19時間・21人	
区分	本年度予算額	【その他財源の内訳】	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	32,504	手数料	0
一般財源	110,503	財産収入	0
計	143,007	寄付金	0
		繰入金	32,464
		諸収入	40
		その他	0
備考欄			

教008	項目名	児童生徒交流体験事業費	新規事業
予算書項目	児童生徒交流体験事業費	ページ	277
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総合教育センター 児童生徒支援係 0857-25-3060		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 教育基本法や学校教育法を受け、児童生徒が「生きる力」をしっかりと身に付けるために、姉妹都市提携を結んだ県外の子どもたちとの交流事業や、地域に出かける自然文化体験事業、職業体験事業などの社会体験活動を実施している。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 姉妹都市・地域との交流や、自然文化体験、職業体験等を通して、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や、自ら課題を見つけ解決していこうする意欲、態度を育成する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・姫路市鳥取市中学生交流事業 ・郡山市鳥取市小学生交流事業 ・地域で学ぶ職場体験活動事業 ・中山間地域ふるさと体験活動支援事業		
前年度当初予算額	10,019	【事業の実績】 (1) 姫路市鳥取市中学生交流事業(オンライン交流) (2) 郡山市鳥取市小学生交流事業(オンライン交流) 令和3年度 交流担当校：美保、若葉台、明德 令和4年度 交流担当校：浜坂、津ノ井、倉田 令和5年度 交流担当校：鹿野学園、江山学園、美保南	
本年度要求額	9,248	(3) 地域で学ぶ職場体験活動事業 令和3年度：1,483人 令和4年度：1,425人 令和5年度：1,443人 (4) 中山間地域ふるさと体験活動支援事業 令和3年度：12校 令和4年度：11校 令和5年度：13校	
総務部長段階査定額	9,248	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	9,248	【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	7,000	手数料	0
その他	2,248	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	9,248	繰入金	2,248
		諸収入	0
		その他	0
備考欄			

教009	項目名	児童生徒支援事業費	新規事業
予算書項目	児童生徒支援事業費	ページ	277
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総合教育センター 児童生徒支援係 0857-25-3060		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 不登校や問題行動、児童虐待・貧困等に悩む児童生徒が増加する中、学校に児童生徒相談員を配置し、教育相談及び自立支援の充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカー（SSW）が支援の必要な児童生徒の環境調整を学校と協働して行う。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 不登校対策専門委員会やアドバイザー派遣を通じて、不登校の未然防止や児童生徒支援の在り方等を検討し、学校等の取組支援を行う。相談室やサポートルーム等での個に応じた支援や学びの場の提供、SSWによる環境調整などによって、児童生徒の自立や学校復帰等につながることを期待される。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・不登校対策専門委員会の開催 ・児童生徒相談員及びSSWの配置 ・不登校児童生徒への教育支援 ・こころの相談電話 ・サポートルームの運営		
前年度当初予算額	72,691	【事業の実績】 (1) 不登校対策専門委員会(年2回)の開催及びアドバイザーの派遣 (2) 児童生徒相談員の配置 令和3年度：14校 令和4年度：14校 令和5年度：14校 (3) SSWの配置 令和3年度：8名 令和4年度：8名 令和5年度：8名 (4) フリースクール利用料助成事業 令和3年度：17人/1,519千円 令和4年度：19人/1,771千円 令和5年度見込：25人/1,832千円	
本年度要求額	90,409	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、学校補助教材費徴収金	
総務部長段階査定額	90,409	【事業の内容】 ・不登校対策専門委員会の開催 ・児童生徒相談員及びSSWの配置 ・不登校児童生徒への教育支援 ・こころの相談電話 ・サポートルームの運営	
市長段階査定額	90,409	【事業の実績】 (1) 不登校対策専門委員会(年2回)の開催及びアドバイザーの派遣 (2) 児童生徒相談員の配置 令和3年度：14校 令和4年度：14校 令和5年度：14校 (3) SSWの配置 令和3年度：8名 令和4年度：8名 令和5年度：8名 (4) フリースクール利用料助成事業 令和3年度：17人/1,519千円 令和4年度：19人/1,771千円 令和5年度見込：25人/1,832千円	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、学校補助教材費徴収金	
国・県支出金	9,663	【事業の内容】 ・不登校対策専門委員会の開催 ・児童生徒相談員及びSSWの配置 ・不登校児童生徒への教育支援 ・こころの相談電話 ・サポートルームの運営	
地方債	0	【事業の実績】 (1) 不登校対策専門委員会(年2回)の開催及びアドバイザーの派遣 (2) 児童生徒相談員の配置 令和3年度：14校 令和4年度：14校 令和5年度：14校 (3) SSWの配置 令和3年度：8名 令和4年度：8名 令和5年度：8名 (4) フリースクール利用料助成事業 令和3年度：17人/1,519千円 令和4年度：19人/1,771千円 令和5年度見込：25人/1,832千円	
その他	2,298	【事業の内容】 ・不登校対策専門委員会の開催 ・児童生徒相談員及びSSWの配置 ・不登校児童生徒への教育支援 ・こころの相談電話 ・サポートルームの運営	
一般財源	78,448	【事業の実績】 (1) 不登校対策専門委員会(年2回)の開催及びアドバイザーの派遣 (2) 児童生徒相談員の配置 令和3年度：14校 令和4年度：14校 令和5年度：14校 (3) SSWの配置 令和3年度：8名 令和4年度：8名 令和5年度：8名 (4) フリースクール利用料助成事業 令和3年度：17人/1,519千円 令和4年度：19人/1,771千円 令和5年度見込：25人/1,832千円	
計	90,409	【事業の内容】 ・不登校対策専門委員会の開催 ・児童生徒相談員及びSSWの配置 ・不登校児童生徒への教育支援 ・こころの相談電話 ・サポートルームの運営	
備考欄			

教010	項目名	魅力と徹底の学力向上推進事業費	新規事業
予算書項目	魅力と徹底の学力向上推進事業費	ページ	277
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 児童生徒個々の学力の分布状況や課題を分析すると、基礎学力の定着が不十分な児童生徒が多く、児童生徒の学力保障・進路保障のためにも、具体的な学力支援が必要となっている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 基礎学力定着と学力向上に向けた施策を実施することにより、児童生徒個々が確かな学力を身につけることを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 基礎学力定着支援事業の実施		
前年度当初予算額	7,585	【事業の実績】 令和3年度 基礎学力定着支援者数139名 実施回数2,183回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数46回 令和4年度 基礎学力定着支援者数138名 実施回数2,369回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数18回 令和5年度 基礎学力定着支援者数153名 実施回数2,275回 (予定) 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数50回	
本年度要求額	3,088	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,088	【事業の内容】 基礎学力定着支援事業の実施	
市長段階査定額	3,088	【事業の実績】 令和3年度 基礎学力定着支援者数139名 実施回数2,183回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数46回 令和4年度 基礎学力定着支援者数138名 実施回数2,369回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数18回 令和5年度 基礎学力定着支援者数153名 実施回数2,275回 (予定) 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数50回	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
国・県支出金	0	【事業の内容】 基礎学力定着支援事業の実施	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 基礎学力定着支援者数139名 実施回数2,183回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数46回 令和4年度 基礎学力定着支援者数138名 実施回数2,369回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数18回 令和5年度 基礎学力定着支援者数153名 実施回数2,275回 (予定) 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数50回	
その他	3,088	【事業の内容】 基礎学力定着支援事業の実施	
一般財源	0	【事業の実績】 令和3年度 基礎学力定着支援者数139名 実施回数2,183回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数46回 令和4年度 基礎学力定着支援者数138名 実施回数2,369回 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数18回 令和5年度 基礎学力定着支援者数153名 実施回数2,275回 (予定) 外国人等児童生徒対象基礎学力定着支援者数2名 実施回数50回	
計	3,088	【事業の内容】 基礎学力定着支援事業の実施	
備考欄			

教011	項目名	学校安全推進事業費	新規事業
予算書項目	学校安全推進事業費	ページ	277
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 近年、自然災害が全国的に頻発しており、災害安全に係る学校安全推進体制の強化・充実が求められている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 拠点校及びモデル地域に指定されることを契機として、自校の学校安全推進体制を見直すとともに、モデル地域内の学校同士の連携、地域防災担当者や外部の専門家等との連携を進めることができる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 本事業は、文部科学省「学校安全総合支援事業」の再委託事業である(国10/10)。地域防災担当者との連携や学校防災アドバイザー等の外部の専門家の活用により、拠点校を中心とするモデル地域において災害安全に係る学校安全推進体制の強化・充実を図る。令和6年度においても、市総合防災訓練会場校から拠点校を選出し、当該校が所在する中学校区をモデル地域に指定して事業を実施する。		
前年度当初予算額	1,002	【事業の実績】 令和3年度：拠点校：浜村小学校 モデル地域：気高中学校区 令和4年度：拠点校：用瀬小学校 モデル地域：千代南中学校区 令和5年度：拠点校：国府東小学校 モデル地域：国府中学校区	
本年度要求額	1,002		
総務部長段階査定額	1,002	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,002	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	1,002		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	1,002		
備考欄			

教012	項目名	学校働き方改革推進事業費	新規事業
予算書項目	学校働き方改革推進事業費	ページ	277
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 平成31年1月に中央教育審議会から提出された答申では、「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう学校における働き方改革が必要である」とされており、各自治体においてもその推進を求められている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 学校や教師の膨大な業務範囲を整理し、限られた時間の中でも教師の専門性を活かした授業改善を行ったり、児童生徒に接したりする時間を確保するための勤務環境整備を行うことで、子どもたちが将来に亘って質の高い教育を受けられるよう取組を展開する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 デジタル採点システムの活用(中学校・義務教育学校(後期課程)17校) これに加え、引き続き学校における働き方改革の各種取組を実施する。		
前年度当初予算額	26,698	【事業の実績】 (1)校務支援システムの運用 令和3年度：11,230千円 令和4年度：17,182千円 令和5年度：19,792千円(見込) (2)鳥取市働き方改革推進委員会の開催 (3)スクールサポートスタッフの配置 令和3年度：5名 令和4年度：5名 令和5年度：5名 (4)共同学校事務室の設置：令和4年度～ (5)中・義務教育学校後期課程へのデジタル採点システムの導入：令和4年度～	
本年度要求額	27,061		
総務部長段階査定額	27,061	その他財源の内訳	
市長段階査定額	27,061	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	27,061		
計	27,061		
備考欄			

教013	項目名	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費		新規事業
予算書項目	自立と創造の学校・学園づくり推進事業費		ページ	277
年度	R6		所属名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。加えて、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、中学校区が一体となって小中一貫教育を推進し、特色ある取組を校区一体で行うことも重要である。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 学校の創意工夫や自主的な取組を行い、地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、学校長裁量の予算を措置する。また、本市が推進する「小中一貫の教育」を枠組として、学力向上と自己有用感の育成を図るとともに、自治力のある集団づくりを目指し、各中学校区・義務教育学校で児童生徒の実態を踏まえた取組を推進する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・学園づくり推進事業の実施：13中学校区、4義務教育学校区 ・コミュニティー・スクールの設置：56校 ・魅力ある算数・数学等実践推進事業に係る実践研究の推進：5中学校区 ・笑顔あふれる自治力育成研究事業に係る実践研究の推進：3中学校区			
前年度当初予算額	24,904	【事業の実績】 (1) 自立と創造の学校・学園づくり推進事業 令和3年度：22,089千円 令和4年度：22,114千円 令和5年度：23,728千円（見込） (2) コミュニティ・スクール推進事業（学校運営協議会委員） 令和3年度：566名 令和4年度：554名 令和5年度：562名（見込）		
本年度要求額	26,736	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	24,636	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	24,636	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	24,636	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額	備考欄		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	24,636			
一般財源	0			
計	24,636			

教014	項目名	GIGAスクール構想事業費		新規事業
予算書項目	GIGAスクール構想事業費		ページ	277
年度	R6		所属名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総合教育センター 研修企画係 0857-36-6060			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 社会のあらゆる場所・場面でICTが日常的に活用されているが、子どもたちが社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げるため、学校においてもこれからの学習を支えるICT環境を積極的に整備していく必要がある。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 ICTの効果的な活用によって学習の充実を図るとともに、多様な子どもたち一人ひとりのニーズに対応しながら学習を進め、知識や技能の習得を図る。また、1人1台端末を学習ツールとして積極的に活用することで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが期待される。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・GIGAスクール推進委員会 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 ・児童生徒1人1台端末及び大型提示装置リース ・湖東中学校校舎長寿命化改良工事に伴うネットワーク整備 ・クラウド型セキュリティサービスのライセンスに係る賃借料			
前年度当初予算額	84,352	【事業の実績】 ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 令和3年度（設立準備）1,243千円 令和4年度 15,840千円 令和5年度 15,840千円 ・「授業目的公衆送信保証金制度」による著作権に係る補償金 令和3年度 2,085千円 令和4年度 2,029千円 令和5年度 1,990千円		
本年度要求額	94,271	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	94,271	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	94,271	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	13,448	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額	備考欄		
財源内訳				
国・県支出金	5,412			
地方債	0			
その他	13,448			
一般財源	75,411			
計	94,271			

教015	項目名	小学校少人数学級実施事業費		新規事業
予算書項目	小学校少人数学級実施事業費	ページ	281	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 小学校費	【事業の経過及び背景】 本市では、小学校1・2年生を対象に義務教育への導入時における学校生活への適応の円滑化、基本的な生活習慣の習得、基礎学力の定着を図るなど様々な教育課題を解決するため、平成14年度から30人学級を実施している。 また、平成24年度から新たに小学校3～6年生を対象に県へ協力を要し、35人学級を実施している。なお、令和5年度は小学校3・4年生に対して30人学級を実施しており、令和6年度からはさらに小学校5年生においても30人学級を実施する。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導により、児童の生活指導及び基礎学力の定着が図られる。			
(単位：千円)	【事業の内容】 県へ協力を要し、教員を加配することで児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う(教員1人当たり2,000千円を県へ拠出する方式)。			
前年度当初予算額	70,000	【事業の実績】 令和3年度：23人(16校) 令和4年度：25人(17校) 令和5年度：36人(19校)		
本年度要求額	76,000	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	76,000	その他財源の内訳		
市長段階査定額	76,000	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	10,000	
		贈収	0	
		その他	0	
		計	76,000	
備考欄				

教016	項目名	部活動推進事業費		新規事業
予算書項目	部活動推進事業費	ページ	283	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン			
項 中学校費	【事業の経過及び背景】 中学校及び義務教育学校の部活動において、競技についての専門的な指導力を有する指導者の不足は切実な課題である。また、専門的な指導ができる顧問の減少や生徒・保護者のニーズ多様化に対して十分に答えることが困難となっている。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 地域の専門的指導者等を部活動に派遣することにより、地域社会との連携を深めるとともに部活動の活性化を図り、教員の多忙化を解消する。令和5年度より、学校や地域の実情に応じながら部活動の地域移行を円滑に進めることを目的として、地域移行コーディネーターを市(学校教育課)及び各中学校へ配置している。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・部活動指導員(単独指導・引率可)及び外部指導者の配置 ・地域移行コーディネーターの配置 統括コーディネーター：2名 地域移行コーディネーター：17名			
前年度当初予算額	26,560	【事業の実績】 (1)部活動指導員配置事業 令和3年度：16校68名 令和4年度：17校79名 令和5年度：17校87名 (2)部活動外部指導者派遣事業 令和3年度：7校10名 令和4年度：3校4名 令和5年度：4校5名 (3)鳥取市部活動改革委員会 令和3年度：2回開催 令和4年度：3回開催 令和5年度：3回開催(予定) (4)地域移行コーディネーター配置事業 令和5年度：統括コーディネーター：1名 地域移行コーディネーター：17名		
本年度要求額	35,479	その他財源の内訳		
総務部長段階査定額	34,680	分担金	0	
市長段階査定額	34,680	負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収	0	
		その他	0	
		計	34,680	
備考欄				

教017	項目名	中学校少人数学級実施事業費	新規事業
予算書項目	中学校少人数学級実施事業費	ページ	283
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-30-8412		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【事業の経過及び背景】 中学校1年生に対するきめ細かな指導環境を整備する必要から、平成15年から33人学級を実施している。(平成15年度は、南中1校のみでモデル実施。) 平成24年度から新たに中学校2・3年生を対象に協力金方式で35人学級を実施することとなった。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導により、中学校生活への円滑な移行、不登校等の未然防止、基礎学力の定着、学力の向上などが図られる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 県へ協力金を拠出し、教員を加配することで生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行う(教員1人当たり2,000千円を県へ拠出する方式)。		
前年度当初予算額	24,000	【事業の実績】 令和3年度：11人(7校) 令和4年度：8人(6校) 令和5年度：10人(5校)	
本年度要求額	24,000	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	24,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	24,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	10,000
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	4,000		
その他	10,000		
一般財源	10,000		
計	24,000		
備考欄			

教018	項目名	放課後子ども教室推進事業費	新規事業
予算書項目	放課後子ども教室推進事業費	ページ	285
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学務係 0857-30-8411		
款 教育費	【1次総の施策体系】1101 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 平成19年度より実施している事業であり、平成20年度までは、美保・美保南校区といった大規模校区で、児童クラブの補完的役割を期待して実施した。平成21年度以降は、中山間地域の小規模校区で、児童クラブのない校区において実施している。また、平成30年度からは児童クラブのある久松小学校でも実施を開始している。		
目 社会教育活動費	【事業の目的及び効果】 放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の参画も得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 放課後子ども教室の運営：4教室		
前年度当初予算額	8,155	【事業の実績】 令和3年度：明治29人、東郷27人、久松42人 令和4年度：明治29人、東郷27人、久松35人、逢坂21人 令和5年度：明治25人、東郷27人、久松38人、逢坂17人	
本年度要求額	8,352	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	8,352	分担金	0
市長段階査定額	8,352	負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	2,378		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,974		
計	8,352		
備考欄			

教019	項目名	人権教育推進事業費	新規事業
予算書項目	人権教育推進事業費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校教育課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総合教育センター 児童生徒支援係 0857-25-3060		
款 教育費	【1次総の施策体系】1401		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 人権教育費	いじめ防止・情報モラル教育推進事業においては、鳥取市いじめ防止対策推進委員会の助言を受け、児童生徒の自治力を育みながら、学校・保護者・地域が連携していじめ防止教育を推進している。また、児童生徒・保護者・職員を対象とした専門家による授業や講演を行うことで、情報モラル教育推進の一助としている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	567	いじめ防止・情報モラル教育推進事業を通じて子どもたちの自治力を育み、いじめを許さない風土をつくるとともに、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことで、いじめの未然防止や早期発見・対応につなげる。	
本年度要求額	540	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	540	いじめ防止・情報モラル教育推進事業	
市長段階査定額	540	(1) Smileプロジェクトの推進	
区分	本年度予算額	(2) いじめ防止リーフレットの作成	
国・県支出金	0	(3) いじめ防止対策推進委員会の開催(年2回)	
地方債	0	(4) いじめ防止対策研修会の開催	
その他	0	(5) 情報モラル研修会の開催(各学校及び中学校区)	
一般財源	540	(6) 鳥取市人権教育基本方針改訂検討委員会	
計	540	【事業の実績】	
備考欄		いじめ防止・情報モラル教育推進事業	
		(1) Smileプロジェクトの推進	
		令和3年度 82千円 令和4年度 95千円 令和5年度 80千円	
		(2) 情報モラル研修会の開催	
		令和3年度 18校21回 令和4年度 16校20回 令和5年度見込 28校29回	

教020	項目名	遠距離通学費補助金(小学校)	新規事業
予算書項目	遠距離通学費補助金	ページ	277
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】		
目 教育振興費	平成21年度まで、合併以前の各地域の制度のまま実施されていた遠距離通学費補助制度は、平成22年度から全市統一の制度に移行し、実施している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	13,526	遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する児童の保護者に対し補助金を交付し、経済的負担の軽減を図る。	
本年度要求額	13,550	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	13,550	①バス定期券の購入又は自家用車等での送迎により通学にかかる経費のうち、自己負担額(1月あたり2,430円)を控除した金額を補助する。	
市長段階査定額	13,550	②高校生から数えて、第2子は1/2、第3子以降は全額、保護者の自己負担額を免除する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	90	令和3年度：支給者477人 14,443千円	
地方債	6,400	令和4年度：支給者469人 13,501千円	
その他	0	令和5年度：支給者404人 13,526千円(見込)	
一般財源	7,060		
計	13,550		
備考欄			

教021	項目名	遠距離通学費補助金(中学校)		新規事業		
予算書項目	遠距離通学費補助金		ページ	277		
年度	R6		所 属 名	教育委員会事務局 学校保健給食課		
会計名	一般会計					
款	教育費					
項	教育総務費					
目	教育振興費					
(単位：千円)						
前年度当初予算額	8,552					
本年度要求額	7,165					
総務部長段階査定額	7,165	その他財源の内訳				
市長段階査定額	7,165	分担金	0			
区分	本年度予算額	負担金	0			
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
		寄付金	0			
		繰入金	0			
		贈収入	0			
		その他	0			
		計	7,165			
		備考欄				
事業の概要 【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416 【1次総の施策体系】1102 【事業の経過及び背景】 平成21年度まで、合併以前の各地域の制度のまま実施されていた遠距離通学費補助制度は、平成22年度から全市統一の制度に移行し、実施している。 【事業の目的及び効果】 遠距離、地勢的危険等の条件を有する地域から通学する生徒の保護者に対し補助金を交付し、経済的負担の軽減を図る。 【事業の内容】 ①バス・JR定期券の購入又は自家用車等での送迎により通学にかかる経費のうち、自己負担額（1月あたり4,860円）を控除した金額を補助する。 ②高校生から数えて、第2子は1/2、第3子以降は全額、保護者の自己負担額を免除する。 【事業の実績】 令和3年度：支給者120人 8,783千円 令和4年度：支給者107人 7,413千円 令和5年度：支給者91人 8,552千円（見込）						

教022	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)		新規事業		
予算書項目	要保護・準要保護児童就学援助費		ページ	277		
年度	R6		所 属 名	教育委員会事務局 学校保健給食課		
会計名	一般会計					
款	教育費					
項	教育総務費					
目	教育振興費					
(単位：千円)						
前年度当初予算額	43,912					
本年度要求額	38,582					
総務部長段階査定額	38,582	その他財源の内訳				
市長段階査定額	38,582	分担金	0			
区分	本年度予算額	負担金	0			
		使用料	0			
		手数料	0			
		財産収入	0			
		寄付金	0			
		繰入金	0			
		贈収入	0			
		その他	0			
		計	38,582			
		備考欄				
事業の概要 【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416 【1次総の施策体系】1102 【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に要する経費を支給している。準要保護世帯への援助に関しては、平成17年度より税源移譲が行われた上で国庫補助が廃止されている。 また、平成30年度新入児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。 【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。 【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のため必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。 【事業の実績】 令和3年度：対象者 1,108人 28,149千円 令和4年度：対象者 1,142人 33,770千円 令和5年度：対象者 1,066人 43,912千円（見込）						

教023	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)		新規 事業
予算書項目	要保護・準要保護児童就学援助費		ページ	277
年度	R6		所 属 名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条に基づき、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給している。準要保護世帯への援助に関しては、平成17年度より税源移譲が行われた上で国庫補助が廃止されている。 また、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に資する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 経済的な理由により教育費に困っている保護者に対し、就学のために必要な学用品費、修学旅行費等の一部を援助する。			
前年度当初予算額	53,412	【事業の実績】 令和3年度：対象者 664人 34,771千円 令和4年度：対象者 680人 44,861千円 令和5年度：対象者 627人 53,412千円（見込）		
本年度要求額	49,870			
総務部長段階査定額	49,870	その他財源の内訳		
市長段階査定額	49,870	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	578			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	49,292			
計	49,870			
備考欄				

教024	項目名	特別支援学級教育就学奨励費(小学校)		新規 事業
予算書項目	特別支援学級教育就学奨励費		ページ	277
年度	R6		所 属 名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 特別支援学校への就学奨励に関する法律により、特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を支給している。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 特別支援学級に就学する児童の保護者に対して経済的負担の軽減を図り、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 特別支援学級への就学奨励のため、必要な学用品等の支援を行う。			
前年度当初予算額	9,230	【事業の実績】 令和3年度：対象者 206人 5,400千円 令和4年度：対象者 244人 7,441千円 令和5年度：対象者 264人 9,736千円（見込）		
本年度要求額	9,740			
総務部長段階査定額	9,740	その他財源の内訳		
市長段階査定額	9,740	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	4,870			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	4,870			
計	9,740			
備考欄				

教025	項目名	特別支援学級教育就学奨励費(中学校)		新規事業
予算書項目	特別支援学級教育就学奨励費	ページ	277	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 学校保健給食課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校保健・支援係 0857-30-8416			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 特別支援学校への就学奨励に関する法律により、特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の一部を支給している。			
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して経済的負担の軽減を図り、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 特別支援学級への就学奨励のため、必要な学用品等の支援を行う。			
前年度当初予算額	6,268	【事業の実績】 令和3年度：対象者 112人 4,385千円 令和4年度：対象者 119人 5,149千円 令和5年度：対象者 101人 6,615千円(見込)		
本年度要求額	8,127			
総務部長段階査定額	8,127	【事業の内訳】		
市長段階査定額	8,127	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
国・県支出金	4,063			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	4,064			
計	8,127			
備考欄				

教026	項目名	準要保護児童・生徒給食扶助費(小学校)		新規事業
予算書項目	準要保護児童・生徒給食扶助費	ページ	295	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 学校保健給食課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417			
款 教育費	【1次総の施策体系】1102			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条により、経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して、学校給食費の一部を援助している。			
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 経済的な生活困窮家庭の児童の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 児童の学校給食費の一部を援助する。 援助単価：学校給食単価の70%			
前年度当初予算額	39,838	【事業の実績】 令和3年度：対象者 1,027人 37,459千円 令和4年度：対象者 1,077人 36,562千円 令和5年度：対象者 1,064人 39,838千円(見込)		
本年度要求額	39,740			
総務部長段階査定額	39,740	【事業の内訳】		
市長段階査定額	39,740	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	39,740			
計	39,740			
備考欄				

教027	項目名	準要保護児童・生徒給食扶助費(中学校)	新規事業
予算書項目	準要保護児童・生徒給食扶助費	ページ	295
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条により、経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して、学校給食費の一部を援助している。		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 経済的な生活困窮家庭の生徒の学校給食費の一部を援助することにより、家庭の負担を軽減する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 生徒の学校給食費の一部を援助する。 援助単価：学校給食単価の70%		
前年度当初予算額	25,956	【事業の実績】 令和3年度：対象者 623人 24,018千円 令和4年度：対象者 600人 22,612千円 令和5年度：対象者 626人 25,956千円(見込)	
本年度要求額	27,191		
総務部長段階査定額	27,191	【事業の内訳】	
市長段階査定額	27,191	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 59		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 27,132		
	計 27,191		
備考欄			

教028	項目名	学校給食センター整備費	新規事業
予算書項目	給食センター整備費	ページ	295
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 本市の学校給食センター(8センター)は、いずれも建設から年数が経ち、施設の老朽化や設備の陳腐化が進んでいる。このため本市では、学校給食を取り巻く状況や新たな諸課題に対応するために「鳥取市の学校給食の基本構想」を改訂し、また、その上で学校給食センターの再整備を行うための計画を策定した。 令和2年3月「鳥取市の学校給食の基本構想」改訂 令和4年12月「鳥取市学校給食センター整備基本計画」策定 令和5年10月「第一期鳥取市学校給食センター整備計画」策定		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 安全・安心な学校給食を継続的かつ安定的に供給するため、施設の老朽化、設備の陳腐化が進む学校給食センター(8センター)について、効率的かつ持続可能な運営となるよう、段階的な再整備を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 特に老朽化が進む第一、湖東学校給食センターの機能を包含する新たな学校給食センターについて、「千代水スポーツ広場(北側)」を建設予定地とし、事業手法を従来方式とする第一期整備を行う。 令和5～7年度 設計(予定) 令和7～9年度 建築(予定)		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和5年度 3,058千円(見込)	
本年度要求額	26,137	※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金	
総務部長段階査定額	26,137	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 19,537 贈収入 0 その他 0	
市長段階査定額	26,137		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 3,300		
	その他 19,537		
	一般財源 3,300		
	計 26,137		
備考欄			

教029	項目名	学校給食運営事業費	新規事業
予算書項目	学校給食運営事業費	ページ	295
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-30-8417・校務支援係 0857-30-8418		
款 教育費	【1次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校給食費は、平成30年度から公会計へ移行。従来学校で集金し、学校給食センターが納入業者等への支払いを行っていたものを、市の予算に組み込むことにより、市が集金し、食材費等の支払い業務も市が担うこととなった。		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 学校給食費の公会計化により、学校現場の多忙化解消や会計処理の透明性の向上などを図る。また、児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 食材を始めとする学校給食に必要な物資の購入、学校給食費の賦課、徴収に関する事務等。		
前年度当初予算額	902,467	【事業の実績】 令和3年度 881,531千円 令和4年度 870,872千円 令和5年度 902,624千円（見込）	
本年度要求額	908,588	※その他財源の諸収入は、学校給食実費負担金等	
総務部長段階査定額	908,588	その他財源の内訳	
市長段階査定額	908,588	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	0	使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	868,196	寄付金	0
一般財源	40,392	繰入金	0
計	908,588	贈収入	868,196
		その他	0
備考欄			

教030	項目名	重要文化財仁風閣保存整備事業費	新規事業
予算書項目	重要文化財仁風閣保存整備事業費	ページ	287
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 文化財課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-30-8422		
款 教育費	【1次総の施策体系】2302 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 重要文化財仁風閣は、明治40年に大正天皇(当時皇太子)の山陰行啓に際し、当地の宿舎として旧鳥取藩主池田氏が城跡に建てたもので、山陰地方における数少ない明治洋風建築の遺構として貴重であることから、鳥取市に譲与されたのち昭和48年6月に国の重要文化財に指定された。		
目 文化財保護費	近年、雨漏りや壁面の剥落など経年劣化が著しく、指定文化財として保存修理を要する状況にあることから、修理計画を策定し、耐震補強及び保存修理並びに活用整備を実施する。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 本事業の実施により市民の誇りである重要文化財仁風閣を将来にわたって伝えていく。		
前年度当初予算額	20,094	【事業の内容】	
本年度要求額	84,414	【スケジュール】	
総務部長段階査定額	84,414	・令和2年 保存修理計画策定	
市長段階査定額	84,414	・令和3年 検討委員会組織、委員会開催	
区分	本年度予算額	・令和4～5年 現状調査、耐震診断、補強設計、委員会開催	
財源内訳	55,844	・令和6～9年 保存修理工事及び耐震補強、委員会開催	
国・県支出金	55,844	【事業の実績】	
地方債	28,500	令和3年度 193千円	
その他	0	令和4年度 25,179千円	
一般財源	70	令和5年度 20,094千円（見込）	
計	84,414		
備考欄			

教031	項目名	鳥取城跡保存修理事業費	新規事業
予算書項目	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 文化財課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-30-8422		
款 教育費	【1次総の施策体系】2302 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」（平成18年度策定）に基づき、大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、平成20年度から復元の資料を得るための発掘調査を補助事業で実施している。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 1. 復元等整備事業 中ノ御門渡櫓復元工事・設計監理業務（債務負担行為4年間・4年目） 中ノ御門石垣修理工事等 2. 管理活用事業 (1) 史跡の保存・活用に係る環境整備（除草・説明板設置等） (2) 学術調査の実施 (3) 鳥取城調査研究年報・資料集の刊行 (4) 鳥取城フォーラムなど教育普及事業の実施		
前年度当初予算額	238,752	【事業の実績】 令和3年度 350,978千円 令和4年度 186,225千円 令和5年度 238,752千円（見込）	
本年度要求額	431,512		
総務部長段階査定額	426,446	その他財源の内訳	
市長段階査定額	426,446	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	253,249		
地方債	162,300		
その他	0		
一般財源	10,897		
計	426,446		
備考欄			

教032	項目名	上寺地遺跡管理事業費	新規事業
予算書項目	青谷上寺地遺跡管理費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 文化財課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421		
款 教育費	【1次総の施策体系】2302 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土している貴重な遺跡であり、平成20年3月28日に国史跡に指定された。その後も追加指定され、現在の指定面積は146,652.66平方メートルである。 県及び市による史跡地内の土地の公有地化が概ね完了したことから、管理団体である鳥取県が事業主体となって平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計を行った。 令和6年3月にはガイダンス施設と整備が完了した公園の一部をオープンし、指定管理者が公園の管理・活用を行う。 史跡の保存活用推進のため、平成22年度に鳥取県と鳥取市を事務局とする青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会を設立し、史跡指定地内での田んぼアート、古代米栽培や料理講座、キャラクター募集等の活動を行っている。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 青谷上寺地遺跡公園の遺跡保護と景観の保全管理に努める。 史跡保存活用協議会の円滑な事業運営に努める。 鳥取県と協力して青谷上寺地遺跡の整備を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 史跡保存活用協議会の管理運営事業に対して経費を半額負担する。 鳥取県が主体となって実施する青谷上寺地遺跡の整備費の一部を負担する。 青谷かみじち史跡公園の指定管理料の一部を負担する。		
前年度当初予算額	101,533	【事業の実績】 令和3年度 13,080千円 令和4年度 28,041千円 令和5年度 101,533千円（見込）	
本年度要求額	44,096		
総務部長段階査定額	44,096	その他財源の内訳	
市長段階査定額	44,096	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	5,900		
その他	0		
一般財源	38,196		
計	44,096		
備考欄			

教033	項目名	埋蔵文化財体験・活用事業費	新規事業
予算書項目	埋蔵文化財体験・活用事業費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 文化財課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421		
款 教育費	【11次総の施策体系】2302 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 これまでに多くの発掘調査が行われ、各地域の歴史が明らかにされてきたが、市民が出土物に直接触れる機会は少なく、出土品が活用されていなかった。また近年学校ではふるさとキャリア教育が行われ、地域の歴史を紐解く教材の一つとして埋蔵文化財の利活用が進められている。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらうために埋蔵文化財を活用し、文化財愛護の精神の醸成を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・小学生を対象に「こども考古学教室」を実施し、本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動を行う。また教材として土器パズルを作成する。 (R2：31校、R3：35校、R4：35校 R5：34校) ・発掘調査によって出土した遺物を多くの市民に見てもらうために展示会を行う。 ・史跡梶山古墳壁画の一般公開及び祈本廃寺跡の公開を行う。(R5：218名参加) ・これまでの発掘調査で記録した写真類の整理作業を行う。		
前年度当初予算額	7,335	【事業の実績】 令和3年度 3,866千円 令和4年度 4,051千円 令和5年度 7,335千円(見込)	
本年度要求額	7,851		
総務部長段階査定額	7,851	【事業の内容】	
市長段階査定額	7,851	・小学生を対象に「こども考古学教室」を実施し、本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動を行う。また教材として土器パズルを作成する。 (R2：31校、R3：35校、R4：35校 R5：34校) ・発掘調査によって出土した遺物を多くの市民に見てもらうために展示会を行う。 ・史跡梶山古墳壁画の一般公開及び祈本廃寺跡の公開を行う。(R5：218名参加) ・これまでの発掘調査で記録した写真類の整理作業を行う。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 3,866千円 令和4年度 4,051千円 令和5年度 7,335千円(見込)	
財源内訳			
国・県支出金	2,817		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,034		
計	7,851		
備考欄			

教034	項目名	歴史博物館管理費	新規事業
予算書項目	歴史博物館管理費	ページ	289
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 文化財課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421		
款 教育費	【11次総の施策体系】2302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市歴史博物館は、市民が気軽に文化財に触れ、生涯にわたり愛護精神や郷土愛を培いながら、鳥取の歴史や文化を体系的に学べる学習施設として、平成12年7月に開館した。令和3年には常設展示室をリニューアルオープンし、実物資料中心の展示を行い、本市の歴史文化を情報発信するセンター館として管理運営を行っている。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を実施するとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図る。施設の老朽化に対応した修繕を計画的に行い、施設の長寿命化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・施設管理運営 ○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団(令和3年度から5年間) ○業務の範囲：博物館の利用に関する業務 施設設備の維持管理 企画展示等に関する業務 ・第2駐車場警備委託 ・特別展等委託		
前年度当初予算額	139,678	【事業の実績】 令和3年度 136,938千円 令和4年度 146,357千円 令和5年度 139,678千円(見込)	
本年度要求額	147,238	※その他財源の諸収入は、光熱水費使用料	
総務部長段階査定額	140,494		
市長段階査定額	140,494		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	1,100		
その他	81		
一般財源	139,313		
計	140,494		
備考欄			

教035	項目名	生涯学習推進事業費	新規事業
------	-----	-----------	------

予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	283
-------	-----------	-----	-----

年度	R6
----	----

所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
-------	------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426
 【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略
 【事業の経過及び背景】
 (1)本市では、子どもの読書環境を整備する施策を総合的かつ計画的に実施するため、令和2年度に第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画（計画期間：令和3～7年度）を策定し、子どもの読書活動の推進に努めている。
 (2)各地区公民館や各総合支所地域分室が生涯学習事業を開催し、地域における学習の場を提供することにより、学びの成果を生かした住民主体のまちづくりにつなげる。
 【事業の目的及び効果】
 (1)第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画の推進のため、推進委員会を開催し、計画の進捗管理を行い、関係機関と連携して子どもの読書環境の充実を図る。
 (2)社会問題等の現代課題や地域課題、自己の生きがいづくり等、様々な学習機会を提供することで、学んだ成果を地域で生かし、地域活性化に寄与する。
 【事業の内容】
 (1)鳥取市子どもの読書活動推進委員会
 委員：13人 任期：2年（令和5年7月1日～令和7年6月30日）
 (2)生涯学習事業の開催
 ①各分室が行う生涯学習事業
 高齢者学級、成人向け講座、青少年育成事業、図書関係行事等
 ②各地区公民館が行う生涯学習事業（委託料）48館（内分館1館）
 大人と子供のふれあい事業・特色ある公民館事業・地域の仲間づくり事業・人権啓発推進事業
 ③生涯学習事業とまちづくり推進事業の一体的推進（補助金）
 14地区（令和6年度 新規1地区）
 【事業の実績】
 (1)会議開催実績
 令和3年度 3回 令和4年度 3回 令和5年度 3回（見込）
 (2)①参加者数実績
 令和3年度 5,501人 令和4年度 9,577人 令和5年度 9,000人（見込）
 ②参加者数実績
 令和3年度 37,979人 令和4年度 43,762人 令和5年度 45,000人（見込）
 ③実施地区
 令和3年度 7地区 令和4年度 11地区 令和5年度 13地区

前年度当初予算額	31,923
----------	--------

本年度要求額	31,872
--------	--------

総務部長段階査定額	31,872	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	31,872
---------	--------

区分	本年度予算額
国・県支出金	1,350
地方債	0
その他	0
一般財源	30,522
計	31,872

備考欄	
-----	--

教036	項目名	地域学校協働活動推進事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	283
-------	-----------	-----	-----

年度	R6
----	----

所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
-------	------------------------

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育総務費

事業の概要

【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426
 【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略
 【事業の経過及び背景】
 ○平成27年中教審答申による提言、平成28年文部科学省策定の「次世代の学校・地域」創成プラン等において「地域学校協働活動」を全国的に進めていくことが示された。
 ○平成29年3月の社会教育法改正で、「地域学校協働活動」「地域学校協働活動推進員」に関する規定が整備された。（社会教育法第9条の7）
 ○本市ではコミュニティスクールをすべての小・中・義務教育学校に導入し、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む体制づくりを進めている。
 【事業の目的及び効果】
 国が推奨している「地域学校協働本部」の設置に向け地域学校協働活動実施地区を設定し、地域社会と学校が協働する体制の整備、地域課題に即した社会教育活動の実施に取り組む。今後主体的に取り組む地区を増やし、学校を核にした地域づくりを全市的に展開、本市の社会教育推進体制の充実をや学校課題、地域課題の解決に寄与する。
 【事業の内容】
 「地域学校協働活動推進員」を配置し、以下の①、②、③、④の役割を担う。
 ①学校と連携・協働するためのコーディネートを行う
 ②学校と地域の共有の目標に基づく、地域住民等の参画による事業の企画・実施
 ③各地域の人材・支援ネットワークの持続可能な仕組みの構築
 ④学校運営協議会への参画（地教法第47条の5に規定）
 加えて、各推進員間の連絡調整や人材育成、未実施地域の取組推進を担う統括推進員を生涯学習・スポーツ課に置く。

統括推進員	推進員	実施地区数
令和6年度	2人	23人 23地区（見込）

 【事業の実績】

統括推進員	推進員	実施地区数
令和4年度	2人	13人 13地区
令和5年度	2人	17人 17地区

前年度当初予算額	4,793
----------	-------

本年度要求額	6,134
--------	-------

総務部長段階査定額	5,110	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	5,110
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	1,398
地方債	0
その他	0
一般財源	3,712
計	5,110

備考欄	
-----	--

教037	項目名	鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費	新規事業
予算書項目	鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費	ページ	283
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 社会教育総務費	本市では、豊かな人生、豊かな社会を築く生涯学習の推進のため、概ね60歳以上を対象とした「尚徳大学」、成人を対象とした「教養コース・技能コース」、子どもから専門家まで自由なものづくりを行う「ファブラボとっとり」など多様な学習機会を提供している。		
(単位：千円)	令和3年度より、「尚徳大学」、「教養コース・技能コース」の参加対象を、麒麟のまち圏域に広げて受入を行う「麒麟のまちアカデミー」の運営を開始している。		
前年度当初予算額	14,712	【事業の内容】	
本年度要求額	14,712	(1) 尚徳大学 概ね60歳以上を対象とし、8つの専門コース(書道、彫刻、貢献、民芸、絵画、社会、健康、郷土)を開講。	
総務部長段階査定額	14,712	(2) 教養コース・技能コース 成人を対象とし、教養コース・技能コースの講座を開講。	
市長段階査定額	14,712	(3) ファブラボと通りの運営 デジタルファブリケーション機器(3Dプリンタ等)を活用したものづくり講座の開催や機器の貸出。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	(1) 延べ出席者数 令和3年度 令和4年度 令和5年度	
地方債	0	1,851人 1,499人 1,500人(見込)	
その他	14,712	(2) 延べ出席者数 令和3年度 令和4年度 令和5年度	
一般財源	0	984人 1,175人 1,100人(見込)	
計	14,712	(3) 延べ利用者数 令和3年度 令和4年度 令和5年度	
		868人 1,045人 1,000人(見込)	
備考欄		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

教038	項目名	子育てネットワーク推進事業費	新規事業
予算書項目	家庭教育支援基盤形成事業費	ページ	285
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 社会教育活動費	家庭教育はすべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣やルール・マナーを身につけさせるなど、子どもの人格形成に大きな役割を担っている一方で、地域において子育ての悩みや不安を気軽に相談できない保護者が増加する傾向にある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	2,164	家庭教育に関する学習を通じて保護者同士のつながりを深め、家庭教育力の向上を図るとともに、安心して子育てできる環境づくりを進める。	
本年度要求額	2,246	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	2,138	市内の小学校・幼稚園・地区公民館等地域において、「子育て・親育ち講座」を通じて地域における家庭教育支援ネットワークの構築を支援する。	
市長段階査定額	2,138	・新小学1年生(入学前)のための子育て・親育ち講座 *就学時検診時に実施 ・幼児期の子育て・親育ち講座 ・鳥取子育て・親育ちプログラムを活用した家庭教育支援講座	
区分	本年度予算額	(講座内容)	
国・県支出金	662	基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的な倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げるとともに、保護者同士のつながりを深め、家庭教育について学びあう仲間づくりを進める。	
地方債	0	【事業の実績】	
その他	0	令和3年度 幼児期講座 0回、小学校入学前講座 36回	
一般財源	1,476	令和4年度 幼児期講座 0回、小学校入学前講座 43回	
計	2,138	令和5年度 幼児期講座 3回、小学校入学前講座 43回(見込)	
備考欄			

教039	項目名	若者応援プロジェクト事業費	新規事業
予算書項目	成人祝賀イベント事業費	ページ	285
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 令和4年4月から成年年齢18歳に引き下げられたことに伴い、20歳の門出を祝い、大人として自覚と責任を促す機会として実施してきた成人式の名称を、「鳥取市はたちのつどい」に変更した。また、新成人に対しては、決意やメッセージとともに「あなたが伝えた「とっとり」の魅力」をテーマとした画像を募集する。		
目 社会教育活動費	【事業の目的及び効果】 20歳の節目に、久しぶりに同級生と会い、話すことで互いを励まし合い、また成長の一步につなげる機会とする。また、県外に出られた20歳の方々が、ふるさとを思い返すきっかけとする。また、新成人応援プロジェクトにおいて、応募された画像をもとにフォトアートを作成し、新成人に鳥取市の魅力を再確認していただく。また同時に成人としての心構えを周知し、社会の担い手としての自覚を持っていただく機会とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 【はたちのつどい】 式典と実行委員会イベント 【新成人応援プロジェクト】 フォトアート事業と新成人になられた方向けの啓発事業		
前年度当初予算額	3,661	【事業の実績】 【はたちのつどい】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 参加者人数 1,232人 1,195人 1,515人	
本年度要求額	4,618	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、広告収入	
総務部長段階査定額	4,563	【事業の概要】	
市長段階査定額	4,563	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】	
地方債	0	令和4年4月から成年年齢18歳に引き下げられたことに伴い、20歳の門出を祝い、大人として自覚と責任を促す機会として実施してきた成人式の名称を、「鳥取市はたちのつどい」に変更した。また、新成人に対しては、決意やメッセージとともに「あなたが伝えた「とっとり」の魅力」をテーマとした画像を募集する。	
その他	4,563	【事業の目的及び効果】	
一般財源	0	20歳の節目に、久しぶりに同級生と会い、話すことで互いを励まし合い、また成長の一步につなげる機会とする。また、県外に出られた20歳の方々が、ふるさとを思い返すきっかけとする。また、新成人応援プロジェクトにおいて、応募された画像をもとにフォトアートを作成し、新成人に鳥取市の魅力を再確認していただく。また同時に成人としての心構えを周知し、社会の担い手としての自覚を持っていただく機会とする。	
計	4,563	【事業の内容】	
		【はたちのつどい】 式典と実行委員会イベント 【新成人応援プロジェクト】 フォトアート事業と新成人になられた方向けの啓発事業	
		【事業の実績】 【はたちのつどい】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 参加者人数 1,232人 1,195人 1,515人	
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、広告収入	
備考欄			

教040	項目名	集会所管理費	新規事業
予算書項目	社会教育施設管理費	ページ	291
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426、施設係 0857-30-8428		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 公民館以外に生涯学習・スポーツ課所管施設として、地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的として集会所が設置されている。		
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 施設の利用環境を良好に保つ。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ◎各集会所の維持管理 佐治町平成会館、佐治町西佐治会館、佐治町地域活性化センター、尾瀬コミュニティセンター、ロッジ緑の郷、勝谷地区コミュニティ施設（体育館部分）、小鷲河地区コミュニティ施設、旧成器小学校、旧大茅小学校、基幹公民館から移行したコミュニティセンター（国府町・河原町・用瀬町・佐治町・気高町・青谷町）の施設維持及び管理。 ◎指定管理施設 1) 国府町コミュニティセンター（令和3年度～令和7年度） 2) 佐治町コミュニティセンター（令和6年度～令和10年度） ◎施設改修等 1) 河原町コミュニティセンター基本設計業務 16,488千円 2) 国府町コミュニティセンターホール天井等改修設計業務 13,338千円		
前年度当初予算額	132,287	【事業の実績】 令和3年度 66,313千円 令和4年度 72,645千円 令和5年度 132,790千円（見込）	
本年度要求額	120,315	※その他財源の使用料は、施設使用料収入 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、その他雑入等	
総務部長段階査定額	111,123	【事業の概要】	
市長段階査定額	111,123	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426、施設係 0857-30-8428	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】1103	
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】	
地方債	27,400	公民館以外に生涯学習・スポーツ課所管施設として、地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的として集会所が設置されている。	
その他	24,940	【事業の目的及び効果】	
一般財源	58,783	施設の利用環境を良好に保つ。	
計	111,123	【事業の内容】	
		◎各集会所の維持管理 佐治町平成会館、佐治町西佐治会館、佐治町地域活性化センター、尾瀬コミュニティセンター、ロッジ緑の郷、勝谷地区コミュニティ施設（体育館部分）、小鷲河地区コミュニティ施設、旧成器小学校、旧大茅小学校、基幹公民館から移行したコミュニティセンター（国府町・河原町・用瀬町・佐治町・気高町・青谷町）の施設維持及び管理。 ◎指定管理施設 1) 国府町コミュニティセンター（令和3年度～令和7年度） 2) 佐治町コミュニティセンター（令和6年度～令和10年度） ◎施設改修等 1) 河原町コミュニティセンター基本設計業務 16,488千円 2) 国府町コミュニティセンターホール天井等改修設計業務 13,338千円	
		【事業の実績】 令和3年度 66,313千円 令和4年度 72,645千円 令和5年度 132,790千円（見込）	
		※その他財源の使用料は、施設使用料収入 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、その他雑入等	
備考欄			

教041	項目名	さじアストロパーク企画イベント等事業費	新規事業
予算書項目	さじアストロパーク企画イベント等事業費	ページ	291
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 平成6年に開園したさじアストロパークの活動・運営の充実を図るため、さじアストロパーク3大祭り（星、宙の駅まつり、雪）を行う。またプラネタリウム開催番組を毎年更新することにより、リピーターを増やし来館者の安定的な確保に努める。 日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金を交付する。		
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 星や宇宙について考えることにより、地球の大切さについて理解を深める。 郷土の自然と文化等を学ぶ場を提供することにより、市民の学習意識・意欲の高揚と心豊かで健全な育成を図る。 市民、児童生徒、施設利用者に対し、天文学習の支援や教材等の提供を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・さじアストロパーク3大祭り等（星、宙の駅まつり、雪）開催 ・プラネタリウム独自開発番組の作成 ・日本宇宙少年団鳥取アストロ分団補助金交付		
前年度当初予算額	2,768	【事業の実績】 令和3年度 2,768千円 令和4年度 2,768千円 令和5年度 2,768千円（見込）	
本年度要求額	2,548		
総務部長段階査定額	2,548	【事業の内容】	
市長段階査定額	2,548	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 2,768千円 令和4年度 2,768千円 令和5年度 2,768千円（見込）	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	2,500		
その他	0		
一般財源	48		
計	2,548		
備考欄			

教042	項目名	さじアストロパーク30周年記念事業費	新規事業	○
予算書項目	さじアストロパーク企画イベント等事業費	ページ	291	
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-30-8426			
款 教育費	【1次総の施策体系】1103			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 平成6年の開園から令和6年で30周年という節目を迎える。市民の関心が高まるのに合わせてイベントを実施することで、さじアストロパークの集客を図るとともに、小惑星の命名や天文関係の展示など、広く市民を巻き込む取り組みを行うことで、さじアストロパークのPRや宇宙や科学への興味・関心の向上を図る。			
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 星や宇宙について考えることにより、地球の大切さについて理解を深める。 郷土の自然と文化等を学ぶ場を提供することにより、市民の学習意識・意欲の高揚と心豊かで健全な育成を図る。 また新型コロナウイルス感染症の影響で低迷した来館者数の増加を狙うとともに、令和5年台風第7号からの佐治町の復興を後押しする。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・さじアストロパークで発見した小惑星の命名 ・記念講演会の開催 ・期間展示「さじアストロパーク30年の歩み」の実施 ・記念誌「さじアストロパーク30年の歩み」の発行 ・30周年記念プラネタリウム番組の制作 ・さじアストロパーク30周年記念事業をまとめたチラシの作成			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】		
本年度要求額	2,965			
総務部長段階査定額	2,823	【事業の内容】		
市長段階査定額	2,823	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 2,768千円 令和4年度 2,768千円 令和5年度 2,768千円（見込）		
財源内訳				
国・県支出金	500			
地方債	2,300			
その他	0			
一般財源	23			
計	2,823			
備考欄				

教043	項目名	スポーツ推進委員活動費		新規事業
予算書項目	スポーツ推進委員活動費		ページ	295
年度	R6		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 スポーツ推進委員は、スポーツ基本法第32条第1項の規定に基づき、教育委員会が委嘱する非常勤の体育指導者である。（任期：2年）			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 スポーツの実技指導はもとよりスポーツをするための環境の整備やスポーツマンシップなどの精神面の指導・助言、その他地域におけるスポーツ振興を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・研修会3回/年 90人 ・県研究大会1回/年 40人 ・中国地区大会1回/年 10人 ・スポーツイベント支援 延べ250人			
前年度当初予算額	4,014	【事業の実績】 スポーツ推進委員活動実績 令和3年度 116人 3,830千円 令和4年度 116人 3,803千円 令和5年度 116人 4,014千円（見込） （報酬額の推移） 平成2年～ 21,300円 平成4年～ 24,500円 平成8年～ 27,500円		
本年度要求額	4,004			
総務部長段階査定額	4,004	【事業の内訳】		
市長段階査定額	4,004	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	4,004			
計	4,004			
備考欄				

教044	項目名	市民総スポーツ運動費		新規事業
予算書項目	市民総スポーツ運動費		ページ	295
年度	R6		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 本市においては、スポーツ推進計画の基本方針の一つに「生涯スポーツ社会の実現」を掲げ、すべての市民が関心や適性に応じ、生涯にわたってスポーツ活動を行うことができるまちを目指している。より多くの市民がスポーツ活動を実践できるよう「鳥取市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則」の規定に従い学校体育施設を開放する。 また、高齢者や障がい者へのスポーツ活動（「する」スポーツや「みる」スポーツ）の機会の提供に努める。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 学校体育施設を地域に開放する（以下、「学校施設開放」という。）ことにより、より多くの市民がスポーツ活動を行える環境を整備するため予約及び鍵の管理をシステム化し、利便性の向上を図る。地区体育会では学校施設開放事業を積極的に活用し地域の体育活動を推進するため、地区ごとの体育行事活動支援を実施する。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ・学校施設の一般開放によるスポーツ振興 対象施設：59校（小・中・義務教育学校体育施設） ・巡回ラジオ体操の実施			
前年度当初予算額	8,968	【事業の実績】 令和3年度 13,619千円（学校開放利用者数：308,000人） 令和4年度 8,363千円（学校開放利用者数：438,624人） 令和5年度 8,968千円（学校開放利用者数：500,000人）（見込）		
本年度要求額	10,944			
総務部長段階査定額	9,917	【事業の内訳】		
市長段階査定額	9,917	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収金 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	9,917			
計	9,917			
備考欄				

教045	項目名	市民体育祭開催費	新規事業
予算書項目	市民体育祭開催費	ページ	295
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市民体育祭は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まり、毎年4月中旬の予選から、10月中旬まで約6か月間にわたって44の小学校区ごとに21種目の競技を行っている。		
目 体育振興費	各校区で得点を競い合うもので、選手・役員・応援などに多くの市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 鳥取市スポーツ推進計画の基本方針の一つである「生涯スポーツ社会の実現」に向けて、市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小学校区対抗とすることで、地域の一体感をつくり上げるほか、他地域との交流の場となっている。		
前年度当初予算額	2,617	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。 ・競技数 21種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者予定 延べ2万5千人	
本年度要求額	2,411	【事業の実績】 令和3年度 1,171千円 参加人数：5,340人 *オープン開催 令和4年度 2,325千円 参加人数：7,137人 令和5年度 2,617千円（見込） 参加人数：12,567人	
総務部長段階査定額	2,411	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。 ・競技数 21種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者予定 延べ2万5千人	
市長段階査定額	2,411	【事業の実績】 令和3年度 1,171千円 参加人数：5,340人 *オープン開催 令和4年度 2,325千円 参加人数：7,137人 令和5年度 2,617千円（見込） 参加人数：12,567人	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。 ・競技数 21種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者予定 延べ2万5千人	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和3年度 1,171千円 参加人数：5,340人 *オープン開催 令和4年度 2,325千円 参加人数：7,137人 令和5年度 2,617千円（見込） 参加人数：12,567人	
地方債	0	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。 ・競技数 21種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者予定 延べ2万5千人	
その他	0	【事業の実績】 令和3年度 1,171千円 参加人数：5,340人 *オープン開催 令和4年度 2,325千円 参加人数：7,137人 令和5年度 2,617千円（見込） 参加人数：12,567人	
一般財源	2,411	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。 ・競技数 21種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者予定 延べ2万5千人	
計	2,411	【事業の実績】 令和3年度 1,171千円 参加人数：5,340人 *オープン開催 令和4年度 2,325千円 参加人数：7,137人 令和5年度 2,617千円（見込） 参加人数：12,567人	
備考欄			

教046	項目名	スポレク祭開催費	新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	295
年度	R6	所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市スポーツ・レクリエーション祭は、生涯スポーツの普及に伴い、それまで行っていた壮年テニス大会等を統合して平成2年度から始まった大会である。校区別に競技スポーツで勝敗を競う市民体育祭とは異なり、市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催している。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 多くの市民が気軽に参加できるスポーツイベントとして、生涯スポーツの普及や振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。		
前年度当初予算額	908	【事業の実績】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実施日： 9月4日 9月3日 9月2日～24日 参加人数： 675人 667人 755人 チーム数： 96チーム 123チーム 149チーム 総事業費： 792千円 792千円 908千円（見込）	
本年度要求額	908	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。	
総務部長段階査定額	908	【事業の実績】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実施日： 9月4日 9月3日 9月2日～24日 参加人数： 675人 667人 755人 チーム数： 96チーム 123チーム 149チーム 総事業費： 792千円 792千円 908千円（見込）	
市長段階査定額	908	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実施日： 9月4日 9月3日 9月2日～24日 参加人数： 675人 667人 755人 チーム数： 96チーム 123チーム 149チーム 総事業費： 792千円 792千円 908千円（見込）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。	
地方債	0	【事業の実績】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実施日： 9月4日 9月3日 9月2日～24日 参加人数： 675人 667人 755人 チーム数： 96チーム 123チーム 149チーム 総事業費： 792千円 792千円 908千円（見込）	
その他	0	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。	
一般財源	908	【事業の実績】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実施日： 9月4日 9月3日 9月2日～24日 参加人数： 675人 667人 755人 チーム数： 96チーム 123チーム 149チーム 総事業費： 792千円 792千円 908千円（見込）	
計	908	【事業の内容】 競技運営を各種目協会に委託し実施。	
備考欄			

教047	項目名	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費		新規事業
予算書項目	体育大会費	ページ	295	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 麒麟のまち圏域の一体感を醸成し、住民の体力向上と健康増進を図るスポーツ機会は少ない。従来からの自治体主導のイベントではなく、住民が主体となり多種多様なニーズに対応するスポーツイベントを推進し、圏域内でのスポーツ人口の増加とスポーツ機運を醸成を目指す。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 中核市移行に伴い、連携中枢都市圏域全体が一体となって取り組むスポーツ大会の開催を支援することで、生涯スポーツの振興を図るとともに、麒麟のまち圏域内の交流を促進し、地域の活力向上を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 民間の競技団体や実行委員会が主体となり開催するスポーツ大会等の運営について、参加人数や自治体数に応じて開催支援を行う。			
前年度当初予算額	3,500	【事業の実績】 令和3年度 1,500千円 採択2件 令和4年度 3,500千円 採択3件 令和5年度 2,700千円 採択3件(見込)		
本年度要求額	2,000	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0		
総務部長段階査定額	2,000	国・県支出金 400 地方債 0 その他 0 一般財源 1,600 計 2,000		
市長段階査定額	2,000	備考欄		

教048	項目名	ガイナール鳥取力向上事業費		新規事業
予算書項目	ガイナール鳥取力向上事業費	ページ	297	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 ガイナール鳥取がJリーグに昇格し、本市では「ガイナール効果による鳥取力向上チーム」を発足させ、市民の応援機運の盛り上げやガイナール鳥取を最大限に活用した経済活性化や地域振興に取り組んでいる。平成25年3月にガイナール鳥取を活かした鳥取力向上戦略方針を策定し、4月にはガイナール鳥取と包括連携協定を締結した。 平成26年からJ3での戦いとなったが、県外から訪れるサポーターに対し、ホームタウンである鳥取市をPRし、交流人口の増加に努めている。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 ホームゲーム及びYBCルヴァンカップでの観客満足度を最大限に高めるよう、観光、交通、地域振興等の活性化施策を調査・検討し、地域経済により大きな波及効果と雇用創出をもたらす。また、アウェイゲームでは、鳥取市をPRし、交流人口の増加を目指す。			
(単位：千円)	【事業の内容】 「ガイナール鳥取」を活かした賑わい創出 ・ホームゲーム及びYBCルヴァンカップ時の総合的な交通対策 ・市の情報発信 ・飲食ブースの出店支援			
前年度当初予算額	3,131	【事業の実績】 平均観客動員数 令和3年度 1,124名 令和4年度 1,745名 令和5年度 2,272名(見込)		
本年度要求額	3,481	※その他財源の寄付金は、社会教育費寄附金 ※その他財源の諸収入は、パードスタジアム広告料		
総務部長段階査定額	3,481	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 100 繰入金 0 贈入金 3,381 その他 0		
市長段階査定額	3,481	国・県支出金 0 地方債 0 その他 3,481 一般財源 0 計 3,481		
備考欄	備考欄			

教049	項目名	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費		新規事業
予算書項目	子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	ページ	297	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 スポーツや文化、芸術の分野でトップレベルを極めた著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生を対象に「夢の教室」を実施。平成22年度よりスタートし、年々希望校が増加している。平成26年度から中学2年生も対象としている。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 仲間を思いやることや仲間と協力すること、夢を持つことの大切さなどを「夢先生」自らの体験を通して児童生徒たちに伝える。			
(単位：千円)	【事業の内容】 様々な分野でトップを極めた人たちが、「夢先生」として体験談等話し、それをもとに「相手を思いやるこころ」、「夢を持つこと」などに気付いてもらい、児童生徒に自分の夢を考えてもらう。 公益財団法人日本サッカー協会に委託し、26クラスで実施。			
前年度当初予算額	4,317	【事業の実績】 令和3年度 1,561千円（小学校9校13クラス、中学校2校7クラスで実施） 令和4年度 1,650千円（小学校9校18クラス、中学校2校4クラスで実施） 令和5年度 3,506千円（小学校13校20クラス）（見込） ※令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施令和5年度より対面		
本年度要求額	4,467	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	4,467	その他財源の内訳		
市長段階査定額	4,467	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	4,467	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	4,467			
一般財源	0			
計	4,467			
備考欄				

教050	項目名	インターハイ運営事業費		新規事業
予算書項目	インターハイ運営事業費	ページ	297	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427			
款 教育費	【1次総の施策体系】 1301			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 令和7年度に広島県を主会場として、全国高校総体（インターハイ）が開催される。本市では相撲、ホッケー（ホッケーは八頭町と共催）が開催されることとなっている。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 高等学校教育の一環として高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 令和6年度は鳥取市実行委員会を設立し、派遣教員2名を受け入れるとともに、令和6年北部九州総体の視察、先催県との事務引継などを予定している。 令和7年度は、大会を開催する。			
前年度当初予算額	0	その他財源の内訳		
本年度要求額	1,405	分担金	0	
総務部長段階査定額	1,405	負担金	0	
市長段階査定額	1,405	使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,405			
計	1,405			
備考欄				

教051	項目名	東京オリ・パラレガシー継承事業費	新規事業
予算書項目	オリンピック関連事業費	ページ	297
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 東京2020オリ・パラ大会における本市での事前キャンプ等の実施は取りやめとなったものの、引き続き国内外からのスポーツキャンプ・合宿、交流事業等の誘致、受け入れやオリンピック・パラピアン等の招聘等に取り組む。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 キャンプ等の誘致や受け入れ準備で得られたこれまでの経験およびノウハウ等のレガシーを継承し、国内外トップチームのキャンプ・合宿等を受け入れたり、オリンピック等を本市の各種大会に招聘することにより、競技の普及やスポーツを通じた交流の促進、地域の活性化、経済の好循環等を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 パラピアンの大会への招聘（2大会、延べ4人）によるパラスポーツ体験、交流等		
前年度当初予算額	777	【事業の実績】 令和3年度～5年度 事業実績なし	
本年度要求額	776		
総務部長段階査定額	776	【事業の内容】 パラピアンの大会への招聘（2大会、延べ4人）によるパラスポーツ体験、交流等	
市長段階査定額	776	【事業の実績】 令和3年度～5年度 事業実績なし	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 パラピアンの大会への招聘（2大会、延べ4人）によるパラスポーツ体験、交流等	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和3年度～5年度 事業実績なし	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	776		
計	776		
備考欄			

教052	項目名	スポーツ指導者バンク支援事業費	新規事業
予算書項目	スポーツ指導者バンク支援事業費	ページ	297
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-30-8427		
款 教育費	【1次総の施策体系】 1303		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 スポーツ庁は令和5年度から、学校の働き方改革を踏まえ、段階的に休日の部活動を地域住民に任せるいわゆる「部活動の地域移行」の考え方を示している。「部活動の地域移行」を推進するためには、指導者人材を確保する必要がある。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 本市におけるスポーツに関する専門的な知識や経験、技能等を有している指導者を発掘し、その情報を提供することにより、本市中学校部活動の地域連携や地域クラブ活動の取組はもとより市民のスポーツ活動の普及・振興を図り、もって豊かな地域社会に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 「部活動の地域移行」を推進するため指導者人材を確保する取組を支援する。 ①スポーツ指導者バンク支援事業 ②登録者研修会開催事業 3回		
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	300		
総務部長段階査定額	300	【事業の内容】 「部活動の地域移行」を推進するため指導者人材を確保する取組を支援する。 ①スポーツ指導者バンク支援事業 ②登録者研修会開催事業 3回	
市長段階査定額	300	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 「部活動の地域移行」を推進するため指導者人材を確保する取組を支援する。 ①スポーツ指導者バンク支援事業 ②登録者研修会開催事業 3回	
国・県支出金	0	【事業の実績】	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	300		
計	300		
備考欄			

教053	項目名	体育施設管理費	新規事業	○
予算書項目	体育施設管理費	ページ	297	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-30-8428			
款 教育費	【1次総の施策体系】1303			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 平成18年度より主要な体育施設に指定管理者制度を導入し、民間事業者の経営感覚、ノウハウ等を取り入れた施設管理を実施している。			
目 体育施設費	【事業の目的及び効果】 施設の利用環境を良好に保つ。			
(単位：千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	263,983	◎指定管理施設		
本年度要求額	270,620	1) 鳥取市武道館・千代テニスコート・城北テニスコート(令和3年度～令和7年度)		
総務部長段階査定額	266,360	2) 鳥取市宮サッカースタジアム(令和6年度～令和10年度)		
市長段階査定額	266,360	3) 鳥取市B&G海洋センター(令和6年度～令和10年度)		
		4) 鳥取市弓道場(令和3年度～令和7年度)		
		5) 鳥取市若葉台スポーツセンター(令和3年度～令和7年度)		
		6) 河原町総合体育館ほか1施設(令和3年度～令和7年度)		
		7) 佐治町B&G海洋センターほか1施設(令和3年度～令和7年度)		
		8) 気高町勤労者体育センターほか12施設(令和3年度～令和7年度)		
		◎施設改修等		
		1) 鳥取市武道館空調設置調査業務 484千円		
		2) 鹿野町農業者トレーニングセンター空調等改修設計業務 8,971千円		
		3) パードスタジアム屋外照明交換業務(第4期：最終) 27,081千円		
		【事業の実績】		
		令和3年度 219,774千円		
		令和4年度 236,390千円		
		令和5年度 269,456千円(見込)		
		※その他財源の使用料は、施設使用料収入		
		※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金		
		※その他財源の諸収入は、パードスタジアム広告料		
備考欄				

教054	項目名	市民体育館管理費	新規事業	
予算書項目	体育施設管理費	ページ	297	所属名
年度	R6	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-30-8428			
款 教育費	【1次総の施策体系】1303 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 旧市民体育館の老朽化に伴い、市民体育館等あり方検討委員会や市民政策コメント等の結果を経て「鳥取市民体育館再整備基本計画」を策定し、PFI方式により整備を進め、令和2年度より再整備事業に着手、令和5年6月にリニューアルオープンした。			
目 体育施設費	・令和元年12月 事業者選定 ・令和2年3月 事業契約議決 ・令和5年3月 施設引渡し ・令和5年6月 リニューアルオープン			
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 民間事業者のノウハウに基づく管理・運営により、本市のスポーツ振興の拠点施設として市民の健康寿命の増進等を図る。			
前年度当初予算額	326,742	【事業の内容】		
本年度要求額	321,342	令和2年度から令和4年度 設計・建設業務(3年間)及びモニタリング支援業務		
総務部長段階査定額	321,342	令和5年度から令和19年度 維持管理・運営業務(15年間)		
市長段階査定額	321,342	【事業の実績】		
		令和5年度利用人数 124,950人(見込み) 事業費 337,299千円		
		※その他財源の諸収入は、市民体育館広告料		
		【その他財源の内訳】		
		分担金 0		
		負担金 0		
		使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		諸収入 3,850		
		その他 0		
備考欄				

教055	項目名	地域社会教育活動総合事業費	新規事業
予算書項目	地域社会教育活動総合事業費	ページ	289
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 市立図書館
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 市民図書館費	①子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月制定） ②文字・活字文化振興法（平成17年7月制定） ③「鳥取市子どもの読書活動推進計画」（令和3年度に第4次計画策定） ④「鳥取市図書館振興計画」（令和3年3月に第2期計画策定）		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	741	幅広い世代の市民が本に親しむ機会を得ることで、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て自己実現を図り、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るとともに、地域文化の発展に寄与する。	
本年度要求額	714	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	666	読書活動の推進のため、主に下記の事業を行う。	
市長段階査定額	666	①各図書館で毎週定期的に「おはなし会」など子ども対象の事業を実施 ②絵本の読み聞かせボランティア養成講座等を実施 ③健康こども部が行うブックスタート事業に協力 ④一般向けとして、文字・活字文化の日講演会、音読教室等の実施 ⑤子育て支援として、講座等の開催時に託児を実施（H29～） ⑥子ども食堂支援団体として、子ども食堂へ団体貸出を実施（H30～）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	令和3年度 557千円 令和4年度 557千円 令和5年度 741千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	666		
計	666		
備考欄			

教056	項目名	図書館情報管理システム処理費	新規事業
予算書項目	図書館情報管理システム処理費	ページ	289
年度	R6	所 属 名	教育委員会事務局 市立図書館
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182		
款 教育費	【1次総の施策体系】1103 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 市民図書館費	①平成18年度、3館6室館の図書館電算システムを統合（合併特例債112,500千円を活用） ②平成24年度、プロポーザル方式により業者選定を行いシステム更新、運用 ③平成26年度、市立病院図書にシステム適用 ④平成31年3月、図書館情報管理システムの更新 ⑤令和6年3月、図書館情報管理システムの更新		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	34,905	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。	
本年度要求額	29,992	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	28,830	図書館情報管理システムの運用（3館（移動図書館車含）、6室、市立病院）	
市長段階査定額	28,830	①貸借借料 ②電算関係消耗品費 ③インターネット回線使用料 ④機器及びソフトの保守業務 ⑤図書データ作成委託費 ⑥新聞データベース記事・紙面検索サービス費	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	2,694	令和3年度 26,166千円 令和4年度 25,857千円 令和5年度 28,440千円（見込）	
地方債	0	※その他財源の諸収入は、図書館電算システム使用料	
その他	66		
一般財源	26,070		
計	28,830		
備考欄			

各種001	項目名	議会報発刊費	新規事業
予算書項目	議会報発刊費	ページ	167
年度	R6	所 属 名	市議会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 調査係 0857-30-8443		
款 議会費	【1次総の施策体系】 0001		
項 議会費	【事業の経過及び背景】		
目 議会費	昭和47年5月に鳥取市議会だより第1号を発行。以来、市民に読んでいただける紙面構成に努めており、定例会ごとに16ページで発行している。平成14年度から、表紙及び裏表紙カラー印刷・他の頁2色印刷とし、現在に至っている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	8,174	議会だよりは、定例会の一般質問と答弁の要旨、議案に対する議員ごとの賛否、視察報告など様々な議会情報を掲載しており、これにより、市民に議会への理解を深めていただくことを目的としている。	
本年度要求額	6,752	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	6,752	年4回、63,930部発刊、各世帯配布予定	
市長段階査定額	6,752	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	6,752	令和3年度 年4回、64,800部発刊、各世帯配布 6,386,688円	
市長段階査定額	6,752	令和4年度 年4回、64,500部発刊、各世帯配布 6,811,200円	
総務部長段階査定額	6,752	令和5年度 年4回、63,930部発刊、各世帯配布 4,687,000円(見込)	
市長段階査定額	6,752	【事業の内訳】	
区 分	本年度予算額	分担金 0	
国・県支出金	0	負担金 0	
地方債	0	使用料 0	
その他	0	手数料 0	
一般財源	6,752	財産収入 0	
計	6,752	寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収 0	
		その他 0	
備考欄			

各種002	項目名	運営経費(市議会運営)	新規事業
予算書項目	運営経費	ページ	167
年度	R6	所 属 名	市議会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8442		
款 議会費	【1次総の施策体系】 0001		
項 議会費	【事業の経過及び背景】		
目 議会費	議会運営を円滑に行うための各種経費を経費節減に努めながら計上しており、現在に至っている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	8,600	議会運営経費を計上することにより、議会運営が円滑に行われることを目的とする。	
本年度要求額	8,543	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	8,304	議会図書・例規集	
市長段階査定額	8,304	各種資料	
総務部長段階査定額	8,304	視察対応経費	
市長段階査定額	8,304	姉妹都市交流事業(姫路市議会との相互訪問など)	
総務部長段階査定額	8,304	議場管理(音声、映像、記録等)	
市長段階査定額	8,304	タブレット端末、ペーパーレス会議システム(通信料、使用料等)	
総務部長段階査定額	8,304	議長車維持管理 等	
市長段階査定額	8,304	【事業の実績】	
区 分	本年度予算額	令和3年度 6,990,768円	
国・県支出金	0	令和4年度 7,469,130円	
地方債	0	令和5年度 10,256,000円(見込)	
その他	1,075	※その他財源の諸収入は、タブレット通信料議員負担金等	
一般財源	7,229	分担金 0	
計	8,304	負担金 0	
		使用料 0	
		手数料 0	
		財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収 1,075	
		その他 0	
備考欄			

各種003	項目名	議会中継・放映費	新規事業
予算書項目	運営経費	ページ	167
年度	R6	所属名	市議会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】調査係 0857-30-8443		
款 議会費	【1次総の施策体系】0001		
項 議会費	【事業の経過及び背景】		
目 議会費	「開かれた議会」には、より積極的な情報発信が必要との認識のもと、従来は一般質問と当初予算の提案説明に限られていた定例会の放送対象を平成26年度から本会議の全日程に拡大した。併せて、CATVに加えインターネットでも放送視聴できるよう、(株)鳥取テレビアに議会中継放映を委託した。		
(単位：千円)	さらに、令和3年12月には議会改革検討委員会から議長に手話通訳・字幕導入の提言がなされ、令和4年2月・6月定例会での試行を経て9月定例会から本格導入に至った。		
前年度当初予算額	12,348	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	13,223	市民への情報発信力が充実し、「開かれた議会」の実現につながる。	
総務部長段階査定額	13,021	【事業の内容】	
市長段階査定額	13,021	○本会議（定例会、臨時会）の全日程のCATV放送及びインターネット放送	
区分	本年度予算額	・定例会：ライブ中継（CATV、インターネット）手話通訳・字幕付き	
国・県支出金	0	録画放送（CATV、インターネット）手話通訳・字幕（一部）付き	
地方債	0	・臨時会：録画放送（CATV、インターネット）手話通訳・字幕（一部）付き	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	13,021	令和3年度 8,747,200円（年35日分の会議について放送）	
計	13,021	令和4年度 12,729,200円（年34日分の会議について放送）	
備考欄		令和5年度 12,117,000円（年31日分の会議について放送・見込）	
		※平成29年度からスマートフォン・タブレットでもインターネット放送が視聴可能。	
		※手話通訳・字幕は令和4年2月・6月定例会での試行を経て9月定例会から本格導入。	

各種004	項目名	政務活動費交付金	新規事業
予算書項目	政務活動費交付金	ページ	167
年度	R6	所属名	市議会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】調査係 0857-30-8443		
款 議会費	【1次総の施策体系】0001		
項 議会費	【事業の経過及び背景】		
目 議会費	昭和53年4月から鳥取市議会政務調査費交付要綱により実施していたが、地方自治法の改正に伴い、平成13年4月から条例を定めて政務調査費を交付していた。平成24年の地方自治法改正により政務活動費と改められた。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	11,520	市議会議員の調査研究に資するための必要な経費の一部を交付することにより、政策立案・調査活動基盤等の充実を図り、地方議会の活性化や審議能力の強化をしていくことが期待できる。	
本年度要求額	11,520	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	11,520	会派または会派に属さない議員に対して所属議員数に月額30,000円を乗じた額を政務活動費として交付し、その収支報告書や証拠書類は翌年度の4月30日までに議長に提出しなければならない。また、その使途基準は条例で定まっており、その基準に沿って支出されているとともに、残余が生じた場合は市に返還しなければならない。	
市長段階査定額	11,520	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 7,799,583円	
国・県支出金	0	令和4年度 5,922,075円	
地方債	0	令和5年度 11,520,000円（見込）	
その他	0		
一般財源	11,520		
計	11,520		
備考欄			

各種005	項目名	出納事務費	新規事業
予算書項目	出納事務費	ページ	173
年度	R6	所属名	出納室
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】出納係 0857-30-8436		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 会計事務について適正な事務処理を実施している。		
目 会計管理費	【事業の目的及び効果】 全庁的な会計事務について、正確性を確保しながら、効率化を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 収納・支払に係る各種事務処理を実施する。 ・ペイジー口座振替受付サービス 国民健康保険料、市税、介護保険料、後期高齢者保険料、保育料、市住家賃他 ・口座振込・振替データの伝送 AnswerDATAPORTのシステムにより口座振込・振替データを伝送 ・証明書手数料等のキャッシュレス決済 市民の利便性向上のため、手数料等をキャッシュレス決済により収納 (総合支所へキャッシュレス端末各1台導入)		
前年度当初予算額	28,334	【事業の実績】	
本年度要求額	36,752	平成18～25年度 公共料金の口座振替払、コンビニ収納開始、ファームバンキングによる口座振込・振替データの送受信、ペイジー口座振替受付の開始	
総務部長段階査定額	27,743	令和元～4年度 支出命令等の電子決済、スマホアプリによる公金収納、証明書手数料等のキャッシュレス決済の開始	
市長段階査定額	27,743	令和5年度 新データ伝送システムAnswerDATAPORT利用開始	
区分	本年度予算額	・支払予定通知発送件数 令和3年度：58,407通 令和4年度：63,750通 令和5年度：58,935通(見込)	
国・県支出金	599	・公金収納件数 [口座振替] [窓口収納] [郵便振替] [コンビニ・スマホ] 令和3年度 618,317 279,077 61,400 255,968 令和4年度 613,225 265,623 57,321 274,556 令和5年度 602,226 191,153 29,529 266,828(見込)	
地方債	0	※その他財源の諸収入は、支所集金業務手数料負担金(下水道事業会計、水道局)	
その他	230		
一般財源	26,914		
計	27,743		
備考欄			

各種006	項目名	監査費	新規事業
予算書項目	事務費	ページ	193
年度	R6	所属名	監査委員事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】監査委員事務局 0857-30-8472		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 監査委員費	【事業の経過及び背景】 地方自治法の規定に基づく監査委員に係る経費		
目 監査委員費	【事業の目的及び効果】 本市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するため、財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理について、監査委員が監査等を適切かつ有効に行うための経費。 (法令等図書購入費、報告書等印刷費、文書共有システム利用料など)		
(単位：千円)	【事業の内容】 財務監査(定期監査)、行政監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、健全化判断比率等審査、併任監査等(東部広域行政管理組合)		
前年度当初予算額	1,735	【事業の実績】 令和3年度 1,164千円 令和4年度 1,398千円 令和5年度 1,395千円(見込)	
本年度要求額	1,735		
総務部長段階査定額	1,735		
市長段階査定額	1,735		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,735		
計	1,735		
備考欄			

各種007	項目名	選挙啓発推進費	新規事業
予算書項目	選挙啓発推進費	ページ	189
年度	R6	所属名	選挙管理委員会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】選挙係 0857-30-8477		
款 総務費	【1次総の施策体系】0003		
項 選挙費	【事業の経過及び背景】 有権者の政治意識の高揚、投票率の低下等、選挙に関する諸問題に対し常時啓発を行うため、鳥取市明るい選挙推進協議会と連携して活動している。		
目 選挙啓発費	【事業の目的及び効果】 主権者への啓発により投票率の向上、公正な選挙を執行する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公職選挙法第6条に基づく選挙啓発を鳥取市明るい選挙推進協議会と連携し、実施するもの。		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】 令和3年度 638千円 令和4年度 697千円 令和5年度 950千円（見込）	
本年度要求額	1,000	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
総務部長段階査定額	1,000	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
市長段階査定額	1,000	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
区分	本年度予算額	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
国・県支出金	0	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
地方債	0	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
その他	0	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
一般財源	1,000	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
計	1,000	令和5年度実績（見込） 話し合い事業（5回開催） 参加者数 150人 ソフトバレーボール大会 参加者数 115人（16チーム） 啓発ポスター募集事業 応募点数 159作品 新有権者へ啓発葉書を送付 配布部数 2,000部 中学校3年生に啓発教材を配布 配布部数 1,775部	
備考欄			

各種008	項目名	機構集積支援事業費	新規事業
予算書項目	農地管理費	ページ	237
年度	R6	所属名	農業委員会事務局
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農地係 0857-30-8481		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農地の生産性を高め、競争力を強化していくためには担い手への農地集積・集約化を加速し、生産コストを削減していくことが重要であることから、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が平成26年度に設立され、農地の集積・集約化に取り組むこととされた。		
目 農業委員会費	【事業の目的及び効果】 農地中間管理機構が担い手への農地集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が管内の農地の状況を的確に把握することを目的とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・市内すべての農地の現地調査（利用状況調査）を実施 ・現地調査の結果、遊休農地と判定された農地の所有者等に利用意向調査を実施 ・農業委員等の資質向上を図るため各種研修への参加		
前年度当初予算額	2,323	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
本年度要求額	2,652	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
総務部長段階査定額	2,652	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
市長段階査定額	2,652	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
国・県支出金	724	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
地方債	0	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
その他	0	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
一般財源	1,928	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
計	2,652	【事業の実績】 利用意向調査の実績 対象人数 対象面積 令和3年度 900人 面積130.0ha 令和4年度 680人 面積104.3ha 令和5年度 720人 面積102.0ha（見込）	
備考欄			

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177	所 属 名
年度	R6	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652			
款 総務費	【1次総の施策体系】2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 新地域の活性化を図ることを目的として策定された「新地域振興ビジョン」に基づき、市民と総合支所との協働事業の実施による、国府地域の活性化と振興を図る。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携しながら、環境保全や地域活性化に取り組むことで、安全で安心な住みやすいまち「万葉のふるさと こくふ」を目指す。			
(単位：千円)	【事業の内容】 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業			
前年度当初予算額	838	【事業の実績】 令和3年度 511千円 令和4年度 488千円 令和5年度 838千円		
本年度要求額	2,383			
総務部長段階査定額	469	【事業の内訳】		
市長段階査定額	469	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	469			
計	469			
備考欄				

支所002	項目名	地域おこし協力隊事業費		新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177	所 属 名
年度	R6	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652			
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 全国的に人口減少や高齢化が進行している中、国府地域においても過疎化や地域活力の低下が顕著になっており、移住・定住者の確保によるコミュニティの維持や新たな賑わいづくりが課題となっている。 しかしながら、国府地域には「UJターン支援窓口」となる団体がなく、空き家等に関する情報が集約できないなど、積極的な人材誘致ができていない状況にある。そのため、地域おこし協力隊の制度を活用した新たなUJターン受入の窓口となる体制を本格的に構築することで、当地域への移住者の受け入れを強力に進めていく。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 国府地域で6次産業化やこどもの医療・福祉分野で事業を展開し、移住者雇用を強化している民間企業を中心に協議会を設立し、国府版UJターンの支援窓口を設置する。 その協議会と地域おこし協力隊事業を連携させることにより、官民一体となったUJターンの受入体制を新たに構築し、新たな担い手確保と持続的な地域活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 民間企業に地域おこし協力隊事業を一括して委託（隊員募集・雇用） 令和6年度予算 3,404千円（協力隊員1名分の人件費及び活動経費） ・国府版UJターン支援窓口の体制の確立 ・空き家情報の集約、集落のニーズ調査の実施 ・お試し住宅の確保、移住先としての魅力づくりや情報発信 ・まちづくり活動や農業従事など幅広い支援活動の実施			
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 過去3年間 配置なし		
本年度要求額	4,800			
総務部長段階査定額	3,404	【事業の内訳】		
市長段階査定額	3,404	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳	0			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	3,404			
計	3,404			
備考欄				

支所003	項目名	国府フィッシングフェスタ補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251	所属名
年度	R6	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所産業建設課 0857-30-8656			
款 商工費	【1次総の施策体系】2202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】			
目 観光費	「マスつりフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとしてスタートして以来、本市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する体験型観光イベントとして定着してきた。			
(単位：千円)	令和元年度からは、ニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称を「フィッシングフェスタ」に改称して継続開催している。			
前年度当初予算額	2,220	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	2,113	本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用したイベントによる地域の新たな賑わいづくりを目的として実施するものである。		
総務部長段階査定額	1,995	【事業の内容】		
市長段階査定額	1,995	主 催：国府フィッシングフェスタ実行委員会		
区分	本年度予算額	時 期：令和6年5月26日（日） ※予定		
国・県支出金	0	場 所：袋川（国府町楠城地内）		
地方債	0	・ヤマメつり大会		
その他	303	・ヤマメ、マスのつかみどり（こども対象）		
一般財源	1,692	・地域各種団体による特産品の販売等		
計	1,995	・連携イベント（殿ダム）		
備考欄		【事業の実績】		
		令和元年度 2,376千円（参加者約1,200人）		
		令和2年度 44千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）		
		令和3～5年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）		
		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

支所004	項目名	万葉フェスティバル開催事業費		新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287	所属名
年度	R6	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652			
款 教育費	【1次総の施策体系】2302			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】			
目 文化振興費	国府地域では、万葉歌人大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりを推進してきた。			
(単位：千円)	「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。			
前年度当初予算額	3,600	万葉集終焉から1,250年を記念した平成21年開催の「全国万葉フェスティバルin鳥取」を契機に、翌22年からは、大伴家持大賞短歌募集事業と万葉集朗唱の会をあわせて行い、本市が重要な万葉故地であることを発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。		
本年度要求額	14,141	【事業の目的及び効果】		
総務部長段階査定額	6,507	万葉集や大伴家持にちなんだ短歌募集を全国規模で行うことで、万葉のふるさと鳥取市国府町を広く情報発信し、万葉をキーワードとしたまちづくりを持続的に推進する。		
市長段階査定額	6,507	【事業の内容】		
区分	本年度予算額	共 催：新日本海新聞社		
国・県支出金	654	時期：令和6年11月3日（日） ※予定		
地方債	0	場所：国府町コミュニティセンター		
その他	300	内容：短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式を行う。		
一般財源	5,553	小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。		
計	6,507	大伴家持大賞30周年を記念し、記念誌刊行及び記念事業を実施する。		
備考欄		【事業の実績】		
		令和3年度 3,300千円 応募数4,487首（一般2,024首、児童生徒の部2,463首）		
		令和4年度 3,300千円 応募数4,037首（一般1,841首、児童生徒の部2,196首）		
		令和5年度 3,300千円 応募数3,730首（一般2,086首、児童生徒の部1,644首）		
		300千円 大伴家持大賞30周年記念事業準備委員会		
		※その他財源の諸収入は、記念誌販売収入		

支所005	項目名	こくふまつり開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	国府町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所地域振興課 0857-30-8652		
款 教育費	【1次総の施策体系】2302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国府地域では昭和44年から「国府町文化祭」として、地域の功労者の表彰や著名人の講演会、作品展示等の多彩な内容のイベントを開催してきた。その後、わかとり国体を契機に名称を「万葉のふる里こくふまつり 国府町文化祭」とし、現在は「万葉のふる里こくふまつり」として、継続的に開催している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 商工団体やボランティア団体等と連携したイベントを実施することで、地域の持続的な賑わいづくりと活性化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時期：令和6年11月3日（日）（文化の日） ※予定 場所：国府町コミュニティセンター周辺 内容：こどもまつり、地域の特産物バザー		
前年度当初予算額	1,700	【事業の実績】 令和3年度 409千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小） 令和4年度 465千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小） 令和5年度 1,700千円	
本年度要求額	1,350		
総務部長段階査定額	1,160	【事業の内容】	
市長段階査定額	1,160	主催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会 時期：令和6年11月3日（日）（文化の日） ※予定 場所：国府町コミュニティセンター周辺 内容：こどもまつり、地域の特産物バザー	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	232	令和3年度 409千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小） 令和4年度 465千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業縮小） 令和5年度 1,700千円	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	928		
計	1,160		
備考欄			

支所006	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	297
年度	R6	所 属 名	福部町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】福部町総合支所地域振興課 0857-30-8662		
款 教育費	【1次総の施策体系】1303、2403		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 本大会は、令和6年度で38回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。平成28年度より実行委員会運営方式とした。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 本市の花であるらっきょうの花が咲く中、さわやかな汗を流し、体づくり励んでもらうとともに、山陰海岸ジオパークや「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」の素晴らしさをさらに発信していく場とする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日（予定）にマラソン大会を開催する。		
前年度当初予算額	3,216	【事業の実績】 令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2～4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） 令和5年度 3,216千円 参加者 783人	
本年度要求額	3,216	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,216	【事業の内容】	
市長段階査定額	3,216	らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日（予定）にマラソン大会を開催する。	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	令和元年度 3,216千円 参加者1,421人 令和2～4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） 令和5年度 3,216千円 参加者 783人	
地方債	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
その他	88		
一般財源	3,128		
計	3,216		
備考欄			

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業費	新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	241
年度	R6	所属名	福部町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所産業建設課 0857-30-8666		
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】 2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成4年度から令和元年度まで毎年開催されており、令和2年度から令和4年度は休止していたが、令和5年度に再開した。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」は、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録されている。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 らっきょう生産に一層の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
(単位：千円)	【事業の内容】 らっきょう生産振興大会の補助（補助率1/2、予算範囲内）		
前年度当初予算額	171	【事業の実績】 令和元年度 171千円（令和元年10月28日開催・120名参加） 令和2～4年度 0千円（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） 令和5年度 171千円（令和5年10月28日開催・100名参加）	
本年度要求額	185		
総務部長段階査定額	168	【事業の内訳】	
市長段階査定額	168	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	168		
計	168		
備考欄			

支所008	項目名	地域プロジェクトマネージャー事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所属名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 少子高齢化及び核家族化、空き家の増加が顕著に進行し、地域活動や経済活動が低迷しつつある河原地域では、地域の活性化や定住促進を図るため、さまざまなアイデアやスキルを有する有能な人材のサポートを必要としている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 有能な人材を地域プロジェクトマネージャーとして委嘱することにより、河原地域の空き家対策の推進及び「いなば西郷工芸の郷」のブランド力の向上、新たな工芸作家等の参画などにより、文化振興・移住定住促進を進め、もって地域の活性化を図り、将来にわたり安心して暮らしていけるまちづくりにつなげていく。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域プロジェクトマネージャー1名を配置 ・地域づくりの推進体制の構築 西郷工芸祭りをはじめとしたイベントのサポート、民藝夏季学校の誘致、SNS等を活用した地域情報の発信及び推進体制の効率化・充実を図る。 ・河原地域の空き家対策の推進 地区公民館やまちづくり協議会及び地域住民と連携を取りながら、空き家の詳細な実態を把握するとともに、地域ぐるみで空き家対策に取り組む機運を醸成し、空き家を工芸作家や移住者の住居及び店舗などに利活用する仕組みづくりを構築していく。		
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	3,249		
総務部長段階査定額	3,249	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
市長段階査定額	3,249		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,249		
計	3,249		
備考欄			

支所009	項目名	河原城イベント企画事業費		新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	251	所属名
年度	R6	河原町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所地域振興課 0858-71-1722			
款 商工費	【1次総の施策体系】2403			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 お城山展望台河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとして様々な事業を展開してきたことで地域に親しまれているとともに、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、河原城の魅力アップを一層図るとともに、地域の活性化及びまちおこしにつなげていく。			
(単位：千円)	【事業の内容】 河原城でのイベント開催（主催：㈱風土資産研究会）			
前年度当初予算額	1,432	①春フェス 内容：お茶会及びステージイベント等 時期：令和6年5月 参加者：1,000人（予定）		
本年度要求額	1,432	②月見会 内容：バザー（ぜんざいなど）、天体観測、ステージイベント等 時期：令和6年9月 参加者：1,000人（予定）		
総務部長段階査定額	1,355	【事業の実績】		
市長段階査定額	1,355	[春フェス(春の茶会)] [月見会]		
区分	本年度予算額	令和元年度 1,184人 中止(台風のため)		
国・県支出金	0	令和2～4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
地方債	0	令和5年度 100人 70人		
その他	0			
一般財源	1,355			
計	1,355			
備考欄				

支所010	項目名	あゆ祭補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251	所属名
年度	R6	河原町総合支所 産業建設課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所産業建設課 0858-71-1726			
款 商工費	【1次総の施策体系】2202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原地域は、古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催している。また、夏の風物詩として定着している。令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかったが、令和5年度は4年ぶりの開催を行い、多くの参加者があり成功裏に終わった。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域住民と行政が連携し、大規模イベントを開催し、多くの来場者を呼び込むことにより、河原地域の魅力アップと地域及び経済の活性化を図る。また、帰省客に対しても改めて故郷の良さを再認識していただき、故郷を愛する心を醸成することにもつなげていく。			
(単位：千円)	【事業の内容】 第42回あゆ祭（主催：あゆ祭企画実行委員会） あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等			
前年度当初予算額	5,145	【事業の実績】		
本年度要求額	6,000	令和元年度 補助金 5,144千円 入込客数 25,000人		
総務部長段階査定額	5,145	令和2、4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
市長段階査定額	5,145	令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
区分	本年度予算額	令和5年度 補助金 5,145千円 入込客数 20,000人		
国・県支出金	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
地方債	0			
その他	570			
一般財源	4,575			
計	5,145			
備考欄				

支所011	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所属名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬地域においても人口減少と少子高齢化の進行により、地域の活性化や民俗文化継承の危機的状況と、増加した空き家の未活用の状況が進行している。 毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、担い手不足や高齢化により、棧俵作りの技術継承等が困難になっていること、観光資源としての特性を活かしたPR活動が十分にできているとは言い難い現状にある。「流しびな」を観光資源として、技術の継承や観光客誘致を持続可能な取り組みとして積極的に推進する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 伝統文化を資源として担い手育成による技術継承に努め、さらに観光資源としての活用資するとともに空き家の利活用等により魅力あるまちづくりを推進し、地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊1名の配置 任用期間：令和6年10月1日～令和9年9月30日（予定） 棧俵制作技術の継承、活用の企画等、空き家利活用、移住定住の推進、関係人口の増加		
前年度当初予算額	205	【事業の実績】 令和3年度 3,810千円 1名配置（令和元年10月から継続配置） 令和4年度 1,845千円 1名配置（継続配置、任期：令和4年9月まで） 令和5年度 205千円（見込） おためし地域おこし協力隊体験1名参加	
本年度要求額	2,450		
総務部長段階査定額	2,359	【事業の概要】	
市長段階査定額	2,359	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】	
地方債	0	用瀬地域においても人口減少と少子高齢化の進行により、地域の活性化や民俗文化継承の危機的状況と、増加した空き家の未活用の状況が進行している。	
その他	0	毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、担い手不足や高齢化により、棧俵作りの技術継承等が困難になっていること、観光資源としての特性を活かしたPR活動が十分にできているとは言い難い現状にある。「流しびな」を観光資源として、技術の継承や観光客誘致を持続可能な取り組みとして積極的に推進する。	
一般財源	2,359	【事業の目的及び効果】	
計	2,359	伝統文化を資源として担い手育成による技術継承に努め、さらに観光資源としての活用資するとともに空き家の利活用等により魅力あるまちづくりを推進し、地域活性化へつなげる。	
備考欄		【事業の内容】	
		地域おこし協力隊1名の配置 任用期間：令和6年10月1日～令和9年9月30日（予定） 棧俵制作技術の継承、活用の企画等、空き家利活用、移住定住の推進、関係人口の増加	
		【事業の実績】	
		令和3年度 3,810千円 1名配置（令和元年10月から継続配置） 令和4年度 1,845千円 1名配置（継続配置、任期：令和4年9月まで） 令和5年度 205千円（見込） おためし地域おこし協力隊体験1名参加	

支所012	項目名	ジゲおこし事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R6	所属名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所地域振興課 0858-71-1892		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 「用瀬町ジゲおこし事業」は、昭和63年度から流しびなの里もちがせの地域活性化を目的に、ボランティアで構成する用瀬町ジゲおこし実行委員会が、流しびなの里のイメージを内外に広めながら、地域の観光資源を活用して実施している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 千代川や用瀬山系等を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 用瀬町ジゲおこし事業（4事業） ①ふれあいフェスティバル（8月） ②用瀬山系トレイル交流大会（春、秋） ③川遊びフェスティバル（春、秋） ④用瀬宿横丁さんぼ市（11月） 主催団体：用瀬町ジゲおこし実行委員会 実施場所：用瀬地域内		
前年度当初予算額	1,654	【事業の実績】	
本年度要求額	1,654	【参加者数(全体)】 [補助金(全体)]	
総務部長段階査定額	1,654	令和3年度 366人 421千円	
市長段階査定額	1,654	令和4年度 570人 430千円	
区分	本年度予算額	令和5年度 2,586人 1,654千円（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,654		
計	1,654		
備考欄			

支所013	項目名	用瀬流しびな行事	新規事業																				
予算書項目	観光活動費	ページ	251																				
年度	R6	所 属 名 用瀬町総合支所 産業建設課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所産業建設課 0858-71-1896																						
款 商工費	【1次総の施策体系】2202																						
項 商工費	【事業の経過及び背景】 毎年旧暦3月3日に男女一対の紙雛を棧俵に乗せ、無病息災を願って千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事。「用瀬のひな送り」は県無形民俗文化財に指定されており、また、「用瀬の流しびな」は国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択無形民俗文化財）」に選定されている。																						
目 観光費	【事業の目的及び効果】 イベントを含めた行事を実施することにより、用瀬地域の活性化と情報発信を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 もちがせ流しびな行事 主 催：流しびな実行委員会 実施日：令和6年4月11日(木) 令和7年3月31日(月) ※令和6年度は旧暦3月3日が2回 場 所：千代川河川敷(流しびなの館対岸)及びその周辺																						
前年度当初予算額	2,303	【事業の実績】 令和3年度 令和3年4月14日 無観客開催 補助金 702千円 令和4年度 令和4年4月3日 イベント開催なし 補助金 914千円 令和5年度 令和5年4月22日 入込客4,000人 補助金2,303千円 ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観光イベントは行わず、時間を指定しないかたちでの行事開催や環境整備等を実施 ※令和5年度は4年ぶりに観光イベントを含めた通常の流しびな行事を実施																					
本年度要求額	4,096																						
総務部長段階査定額	4,096	【事業の内訳】																					
市長段階査定額	4,096	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	819																						
地方債	0																						
其他	0																						
一般財源	3,277																						
計	4,096																						
備考欄																							

支所014	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業																				
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	239																				
年度	R6	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912																						
款 農林水産業費	【1次総の施策体系】2104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「佐治ふるさと祭り」は昭和57年から佐治地域の秋の収穫祭として開催しており、平成27年からは、公民館祭りとして共同開催としている。また、令和元年度からは、小学校の学習発表会も合同で開催している。																						
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 地域の産物や伝統文化を広くPRするとともに、佐治地域内の芸術文化団体の活動の成果発表の場として位置付け生涯学習の推進を図り、地域の絆をより一層深め協働のまちづくりを進める。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 佐治地域の秋の収穫祭として、地元の農産物や加工品の販売、郷土芸能の発表、公民館事業の展示等を中心とした「佐治ふるさと祭り」を毎年開催している。地域の団体が構成する実行委員会が主催。佐治地域内外の多くの人の参加があり、佐治地域の秋のイベントとして定着している。 主催：佐治ふるさと祭り実行委員会																						
前年度当初予算額	1,350	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和5年度 入込客数 800人 補助金 1,350千円																					
本年度要求額	1,350	※其他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																					
総務部長段階査定額	1,350	【事業の内訳】																					
市長段階査定額	1,350	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>1,066</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	1,066	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	1,066																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区 分	本年度予算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
其他	1,066																						
一般財源	284																						
計	1,350																						
備考欄																							

支所015	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名 佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所地域振興課 0858-71-1912		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷ばなし」を保存伝承するため、佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動などを支援している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市指定無形民俗文化財「佐治谷ばなし」を保存・伝承する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 佐治民話会による保存伝承活動への支援 (補助率1/2)		
前年度当初予算額	25	【事業の実績】 令和3年度 6千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小) 令和4年度 6千円 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業縮小) 令和5年度 6千円 (見込)	
本年度要求額	25		
総務部長段階査定額	25	【事業の内訳】	
市長段階査定額	25	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 5 地方債 0 その他 0 一般財源 20 計 25		
備考欄			

支所016	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 総務費	【1次総の施策体系】2301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に「鳥取市新市域振興ビジョン」を策定し、「芸術のまちづくり」の取組みを進めている。 令和4年度より「浜村温泉湯けむり映画塾実行委員会」が活動主体となり、映画塾やワークショップを企画・運営するとともに気高地域を舞台とした映画の撮影を行い、地域の魅力の発信や活性化に貢献している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「芸術のまちづくり」を通して、地域の魅力発信、地域間交流、観光客や芸術家の誘致など、地域の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 浜村温泉湯けむり映画塾の開催 ①ワークショップ ②作品撮影、上映会の開催 例年3月頃に開催する浜村温泉映画祭で作品を上映するほか、CATVで放送。		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】	
本年度要求額	1,000	令和3年度 連続ミニドラマ「拝啓、砂の国より」 [事業費] 1,000千円 (令和元年度作品の続編) 令和4年度 気高町出身の作家田中古代子とその娘千鳥をモチーフとした作品「幻影～浜村天使殺人事件～」 1,000千円 平成26年度に制作した「ようこそ浜村へ」の10年後を描いた「ようこそ浜村へ、と言いたくて…」 1,000千円(見込)	
総務部長段階査定額	1,000	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
市長段階査定額	1,000		
区 分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,000 計 1,000		
備考欄			

支所017	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域においては人口減少、少子高齢化が進行しており、空き家・空き店舗など遊休不動産の増加や、温泉などの地域内資源の利活用が進まないなどの課題を抱えている。 効果的な遊休不動産や地域内資源の活用、PR活動を進め、交流人口の増加による地域活性化を推進する必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 観光資源である浜村温泉を活かしたまちづくりと活気のある街並みの再生を推進するため、温泉の利活用についての検討や空き家の調査・活用を支援を目的とした「地域おこし協力隊」を委嘱し、魅力ある地域の醸成を図り、さらなる移住・定住の促進や地域活性化へつなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 既存イベントをはじめ、地域の特産品や特性を活かしたイベントの調査研究や、新たな企画立案及び事業提案を実施する。また、インスタグラムなどのSNSを活用した地域の行事や名所などのPR及び情報発信を行う。		
前年度当初予算額	3,678	【事業の実績】	
本年度要求額	4,216	令和3年度 おためし地域おこし協力隊（1名） 30千円	
総務部長段階査定額	4,177	令和4年度 地域おこし協力隊1名配置（令和5年1月から） 1,174千円	
市長段階査定額	4,177	令和5年度 地域おこし協力隊1名配置（継続配置） 3,678千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内訳】	
国・県支出金	0	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	0	使用料 0	
一般財源	4,177	手数料 0	
計	4,177	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

支所018	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	251
年度	R6	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 気高町総合支所地域振興課 0857-30-8672		
款 商工費	【1次総の施策体系】 2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の再生を図るため、平成21年度に貝がら節の郷づくり協議会を組織し「貝がら節のふるさと」気高地域をPRする事業を実施している。平成28年度からは、他団体が実施してきた「気高ときめきまつり」を当協議会が運営し、さらなる活性化に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 「貝がら節」をキーワードに事業を展開し、気高地域への誘客を図り地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・しょうがぼかぼかフェスタ ・気高ときめきまつり ・貝がら節保存・伝承事業ほか		
前年度当初予算額	1,868	【事業の実績】	
本年度要求額	3,422	【ぼかぼかフェスタ】 【ときめきまつり】 【事業費】	
総務部長段階査定額	2,213	令和3年度 中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため） 53千円	
市長段階査定額	2,213	令和4年度 延べ1,200人 延べ1,000人 1,868千円	
区分	本年度予算額	令和5年度 R6.3.3開催 延べ2,000人 1,868千円（見込）	
国・県支出金	442	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	0	使用料 0	
一般財源	1,771	手数料 0	
計	2,213	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収金 0	
		その他 0	
備考欄			

支所019	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鹿野地域では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者があり空き家も増加しているにもかかわらず、空き家の確保が不十分でニーズに応えきれていない。 また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進しており、約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築等の事業の伸展、継続にかかわる部分の補強が必要となっている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域おこし協力隊を1名配置 ①空き家・空き地対策 空き家で発生する古材や古民具等を「地域活性化につながる資源」に変え、新たな魅力として地域に人を呼び込む仕組みづくり ②耕作放棄地対策 果樹の里山産物の販売ルート構築等 委託先：特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会		
前年度当初予算額	3,302	【事業の実績】 令和5年度 2,920千円 地域おこし協力隊の募集 地域おこし協力隊1名配置(令和6年1月～) 活動内容：空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決への取組み 果樹の里山産物の販売ルート構築	
本年度要求額	4,376		
総務部長段階査定額	4,059	【事業の概要】	
市長段階査定額	4,059	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン	
国・県支出金	0	【事業の経過及び背景】	
地方債	0	鹿野地域では空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決に取り組んでいるが、移住希望者があり空き家も増加しているにもかかわらず、空き家の確保が不十分でニーズに応えきれていない。	
その他	0	また河内地区では耕作放棄地対策として鹿野町河内果樹の里山プロジェクトを推進しており、約4.5haに計850本の果樹を植え、大学生等の協力も得て、都市との交流、果樹を利用した商品化に取り組んでいるが、後継者育成・商品開発・販売ネットワーク構築等の事業の伸展、継続にかかわる部分の補強が必要となっている。	
一般財源	4,059	【事業の目的及び効果】	
計	4,059	鹿野地域の空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決・資源化に、地域おこし協力隊の新たな知恵と行動を加え地域の活性化につなげる。	
備考欄	【事業の内容】		
		地域おこし協力隊を1名配置 ①空き家・空き地対策 空き家で発生する古材や古民具等を「地域活性化につながる資源」に変え、新たな魅力として地域に人を呼び込む仕組みづくり ②耕作放棄地対策 果樹の里山産物の販売ルート構築等 委託先：特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会	
		【事業の実績】	
		令和5年度 2,920千円 地域おこし協力隊の募集 地域おこし協力隊1名配置(令和6年1月～) 活動内容：空き地・空き家・耕作放棄地の課題解決への取組み 果樹の里山産物の販売ルート構築	

支所020	項目名	文化交流拠点周辺整備事業費	新規事業
予算書項目	文化交流拠点周辺整備事業費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 総務費	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 旧鹿野小学校跡地はコミュニティ施設として利用されていたが、平成18年から鳥の劇場が演劇公演を中心に地域と一体となった幅広い活動を展開し、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与してきた。 しかし、施設の老朽化等により活動に支障をきたし、令和3年度から地域振興会議や地域住民で組織する検討委員会を立ち上げ、地域住民の拠りどころや文化芸術の振興はもとより、産業の振興交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化を目的とするため、利活用・整備計画を策定した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 旧校舎については、NPO法人鳥の劇場が文化交流拠点として整備する。 本事業において、旧グラウンド部分を、劇場と一体的に多目的に利用できる広場や駐車スペースや通路などの環境整備を行うことで、地域一帯を、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。		
(単位：千円)	【事業の内容】 令和6年度 敷地測量・実施設計 整備内容(予定) 駐車場、場内通路幅員、広場整備、管理資材倉庫		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】	
本年度要求額	9,936	令和5年度 敷地測量・実施設計 整備内容(予定) 駐車場、場内通路幅員、広場整備、管理資材倉庫	
総務部長段階査定額	9,263	【事業の概要】	
市長段階査定額	9,263	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682	
区分	本年度予算額	【1次総の施策体系】2403 ●実施計画 ●創生総合戦略	
国・県支出金	4,631	【事業の経過及び背景】	
地方債	0	旧鹿野小学校跡地はコミュニティ施設として利用されていたが、平成18年から鳥の劇場が演劇公演を中心に地域と一体となった幅広い活動を展開し、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与してきた。	
その他	0	しかし、施設の老朽化等により活動に支障をきたし、令和3年度から地域振興会議や地域住民で組織する検討委員会を立ち上げ、地域住民の拠りどころや文化芸術の振興はもとより、産業の振興交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化を目的とするため、利活用・整備計画を策定した。	
一般財源	4,632	【事業の目的及び効果】	
計	9,263	旧校舎については、NPO法人鳥の劇場が文化交流拠点として整備する。 本事業において、旧グラウンド部分を、劇場と一体的に多目的に利用できる広場や駐車スペースや通路などの環境整備を行うことで、地域一帯を、多様な人々が「出会い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。	
備考欄	【事業の内容】		
		令和6年度 敷地測量・実施設計 整備内容(予定) 駐車場、場内通路幅員、広場整備、管理資材倉庫	

支所021	項目名	わたたいな祭事業費	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
年度	R6	所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 商工費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成12年度から行政が主体となって実施してきた「鹿野町わたたいな祭」を令和4年度から地域の活性化を目指し、民間が主体となって企画運営する補助事業として実施。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域の賑わい創出と交流人口の増を目的に、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。		
(単位：千円)	【事業の内容】 秋の地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちなみせ）の主会場となる城下町のまちなかイベントや、特産品及び農産品等即売イベントを開催。 ・城下町並みPR事業：週末だけのまちなかの店（9月の土日） ・農産物・特産物販売促進事業：鹿野ええもん市（5月、10月） ・河内果樹の里山まつり（10月） ・芸能発表、作品展示（9月～10月） ・来場者（見込）5,000人		
前年度当初予算額	1,939	【事業の実績】 令和3年度 来場者 1,564人 事業費 1,075千円 令和4年度 来場者 約4,300人 事業費 1,939千円 令和5年度 来場者 約4,500人 事業費 1,939千円（見込）	
本年度要求額	1,939		
総務部長段階査定額	1,939	【事業の内容】	
市長段階査定額	1,939	秋の地元行事（鳥の演劇祭、週末だけのまちなみせ）の主会場となる城下町のまちなかイベントや、特産品及び農産品等即売イベントを開催。	
区分	本年度予算額	・城下町並みPR事業：週末だけのまちなかの店（9月の土日）	
財源内訳		・農産物・特産物販売促進事業：鹿野ええもん市（5月、10月）	
国・県支出金	969	・河内果樹の里山まつり（10月）	
地方債	0	・芸能発表、作品展示（9月～10月）	
その他	0	・来場者（見込）5,000人	
一般財源	970		
計	1,939		
備考欄			

支所022	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	287
年度	R6	所属名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所地域振興課 0857-30-8682		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催する「鹿野ふるさとミュージカル」は、昭和62年にはじまり、多数住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。		
目 文化振興費	活動着手以来38周年を迎え、令和6年度は、次世代の育成・すそ野の拡大、各種地域団体と連携し地域活性化を促進、ウィズコロナ時代に即した公演のあり方の提案を柱にして、活動の活発化を目指す。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、継続した活動補助を行う。 ミュージカルの制作期間は約半年間に渡り、この間に展開される広い年齢層の市民交流は、良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献している。		
前年度当初予算額	3,200	【事業の内容】 第38回鹿野ふるさとミュージカル「鹿野にはかっぱやまどりくもの糸」 ・時期：令和6年11月～令和7年2月（調整中） ・会場：鳥取市民会館 ・主催：鹿野町民音楽祭実行委員会	
本年度要求額	3,200	【事業の実績】 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止 令和4年度 2,031千円 鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）に参加。縮小再編集制作上演。 令和5年度 3,200千円「音楽劇さくら姫物語」会場：鳥取市民会館 入場者（見込）640人（令和6年2月開催）	
総務部長段階査定額	3,200	【事業の内容】	
市長段階査定額	3,200	第38回鹿野ふるさとミュージカル「鹿野にはかっぱやまどりくもの糸」	
区分	本年度予算額	・時期：令和6年11月～令和7年2月（調整中）	
財源内訳		・会場：鳥取市民会館	
国・県支出金	1,600	・主催：鹿野町民音楽祭実行委員会	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,600		
計	3,200		
備考欄			

支所023	項目名	鹿野城跡公園管理費	新規事業
予算書項目	公園管理費	ページ	241
年度	R6	所 属 名	鹿野町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鹿野町総合支所産業建設課 0857-30-8686		
款 土木費	【11次総の施策体系】 2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】		
目 公園管理費	戦国時代末期から栄えた鹿野城の城郭遺構が鳥取市指定史跡に指定されている鹿野城跡は、平成7年度に鹿野城跡公園として整備し、「市民の憩いの場」「観光レクリエーションの場」「歴史文化教育の場」として位置付けている。天守跡のある城山、鹿野学園として活用されている山麓の本丸や二の丸、豊かな水をたたえる内堀・外堀・薬研堀とその周囲からなる3.6haの区域面積の公園となっており、春には堀端の約500本もの桜が咲き誇り、多くの花見客が訪れる県内有数の桜の名所として知られるほか、秋には城山で紅葉の彩りを楽しむことができ市民や観光客に親しまれている。		
(単位：千円)	地元住民の関心も高く、自治会、まちづくり協議会、任意団体等による除草や清掃などのボランティア活動も活発に行われている。		
前年度当初予算額	4,116	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	5,700	鹿野城跡公園の環境整備及び適正な維持管理を行うことにより、市民及び観光客に安心・安全な憩いの場を提供し、賑わいあふれるまちづくりと生活環境の充実を図る。	
総務部長段階査定額	5,302	【事業の内容】	
市長段階査定額	5,302	鹿野城跡公園管理業務	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	0	令和3年度 3,683千円	
地方債	0	令和4年度 4,988千円	
その他	346	令和5年度 4,116千円（見込）	
一般財源	4,956	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
計	5,302		
備考欄			

支所024	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692		
款 総務費	【11次総の施策体系】 2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々のまちづくり団体等の活動を青谷地域全体の取組とするため、活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。		
(単位：千円)	また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介するPR事業を行う。		
前年度当初予算額	1,187	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	1,187	青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。 また、和紙工芸グループの協力による因州和紙の作品展示を実施する。	
総務部長段階査定額	1,187	【事業の内容】	
市長段階査定額	1,187	・青谷地域づくり連絡協議会事業	
区分	本年度予算額	①因州和紙活用活動 ②美化活動	
国・県支出金	0	③鳴り砂保全活動 ④青谷上寺地遺跡学習活動	
地方債	0	⑤青谷町物産販売促進活動 ⑥青谷の魅力発掘活動	
その他	0	⑦観光促進活動	
一般財源	1,187	・因州和紙PR事業	
計	1,187	和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介	
備考欄	【事業の実績】		
		令和3年度 808千円	
		令和4年度 1,130千円	
		令和5年度 1,187千円（見込）	

支所025	項目名	青谷上寺地遺跡地域活用運営事業費		新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177	所属名
年度	R6	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡は、全国、世界に誇る歴史的な発掘により、関係者のみならず歴史愛好家や一般観光客にも注目が高まっている。 青谷地域では、貴重な歴史遺産を活かした地域づくりを進めるべく、地元の小中学校、並びに県立青谷高等学校の学習カリキュラムに歴史学習を積極的に取り入れ、一貫した歴史学の拠点としての魅力を高めていく取組を行っている。 特に、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新たなカリキュラムを創設し、1年次生から3年次生に至るまで、継続的に青谷上寺地遺跡を素材とした学習体制を整えるなど、近隣他県にない専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。			
(単位：千円)	【事業の内容】 青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、本市内に下宿する場合に、生活費の一部を支援する。 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 補助金額 10千円×12か月×2人			
前年度当初予算額	360	【事業の実績】 令和5年度 0千円 (0人)		
本年度要求額	360			
総務部長段階査定額	240	【事業の目的及び効果】 青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。		
市長段階査定額	240	【事業の内容】 青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、本市内に下宿する場合に、生活費の一部を支援する。 青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金 補助金額 10千円×12か月×2人		
総務部長段階査定額	240	【事業の実績】 令和5年度 0千円 (0人)		
市長段階査定額	240			
区分	本年度予算額	備考欄		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	240			
計	240			

支所026	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251	所属名
年度	R6	青谷町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692			
款 商工費	【1次総の施策体系】 2403			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等に取り組んでいる。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の内容】 青谷地域にぎわい創出実行委員会に対する補助 ①青谷因州和紙産地強化事業 因州和紙市場開拓・情報発信事業 地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業 ②青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業 あおいち年3回、あおいちギャラリー、あおいちイルミネーション ③青谷上寺地遺跡活用推進事業 とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、青谷かみじち史跡公園オープンによるまちのにぎわいづくりを進めるついで			
前年度当初予算額	2,850	【事業の実績】 令和3年度 888千円 令和4年度 1,969千円 令和5年度 2,850千円（見込）		
本年度要求額	2,850	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額	2,850			
市長段階査定額	2,850			
区分	本年度予算額	備考欄		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	410			
一般財源	2,440			
計	2,850			

一 般 会 計

(債務負担概要)

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
青谷町総合支所整備事業費	財産経営課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
333,600	令和7年度			333,600		

【事業の目的】

災害対策支部として地域防災の拠点としての機能を果たすため、総合支所庁舎の防災機能等の向上及び長寿命化、バリアフリー改修を行う。

【事業の内容】

- 青谷町総合支所大規模改修工事
- ・庁舎（H5年築、RC造2階、2,571.77㎡）の長寿命化、バリアフリー改修
 - ・非常用発電設備、受水槽の72時間対応化
（全体事業費556,000千円のうち、令和6年度に前払金相当額：222,400千円を予算計上。）

【これまでの関連する取組】

平成27年5月～平成28年3月 各総合支所基本調査業務
 平成28年～令和2年 旧耐震基準の総合支所を順次耐震改修
 令和4年3月～令和5年3月 青谷町総合支所大規模改修実施設計業務

【今後の取組】

令和6年5月～ 公告、入札、仮契約
 令和6年9月 建設工事契約議決
 令和6年10月～令和7年11月（予定） 改修工事

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取市公共施設包括管理委託事業費	資産活用推進課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
2,398,940	令和6年度～11年度					2,398,940

<p>【事業の目的】</p> <p>老朽化が進む公共施設の効率的で質の高い管理に向け、庁舎（支所含む）、学校、保育園といった複数の公共施設の管理業務を包括して契約する「包括管理委託」を事業化します。包括管理委託は、複数施設・複数業務の契約を一つにまとめ、管理会社（マネジメント担当事業者）と契約することで、民間事業者のビル管理ノウハウを活かし管理品質の向上を図るとともに、市職員の事務負担を軽減するものです。建物管理を受託事業者が実施することで、市職員はコア業務に集中することができます。</p>
<p>【事業の内容】</p> <p>【対象施設】 本庁舎、駅南庁舎、総合支所、学校、保育園（若草学園含む）の計89施設を対象とします。</p> <p>【業務内容】 維持管理業務（清掃、消防点検、空調点検、建築基準法12条点検など）に加え、130万円以下の小修繕業務も含まれます。 ※各施設で清掃などの業務を行っている既存事業者には影響を及ぼさないように考えています。各施設で委託を請け負っている事業者を纏めるのではなく、新たにマネジメント担当事業者を設けるものです。</p> <p>【包括管理委託のメリット】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 民間技師の巡回点検による建物の安全・品質の向上（不具合の早期発見と迅速かつ適切な対応） ② 施設担当者の施設管理業務が軽減され、通常業務に集中できる ③ 契約や支払等の事務を一本化することによる事務コストの削減 ④ 民間の発案による、より効率的で質の高い施設の管理・運営 <p>【事業費】 2,398,940千円 （内訳：マネジメントフィー 288,663千円、維持管理業務費 1,635,277千円、小修繕費 475,000千円）</p> <p>【業務期間】 令和7年4月～令和12年3月（5年間）</p>
<p>【これまでの関連する取組】</p> <p>令和5年7月 先進自治体の視察（明石市、高砂市） 令和5年7月 サウンディング型市場調査（SD）の募集 令和5年8月 SD参加者との対話 9者（市内事業者 7者、市外事業者 2者）</p>
<p>【今後の取組】</p> <p>当初予算（2月議会）で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおりです。</p> <p>令和6年5月 募集開始 令和6年9月 優先交渉権者の決定 令和6年9月～ 契約内容に関する詳細協議、および契約の締結 令和7年4月～ 業務開始（5年間）</p>

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
人権交流プラザ内部改修工事費	人権推進課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
119,739	令和7年度	22,518		93,400		3,821

【事業の目的】

人権交流プラザは、人権啓発を推進し市民の交流を促進する重要な拠点施設として役割を果たしている。建築後40年以上経過した施設のため、施設の老朽化や時代の経過とともに変化する市民ニーズに対応できなくなっている。内部改修を行い、プライバシーが確保できる相談スペースをはじめ、トイレ、エアコンを整備し利便性の向上を図る。

【事業の内容】

- 人権交流プラザの内部改修を行う。
- ・トイレ、エアコンの改修等
 - ・間仕切り変更及び劣化部分改修等

【これまでの関連する取組】

平成30年度 屋上防水改修実施設計及び工事
 令和元年度 外壁改修実施設計
 令和2年度 外壁改修工事
 令和5年度 内部改修実施設計

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。

令和6年5月～	公告、入札、仮契約
令和6年6月	建設工事契約議決
令和6年8月～令和7年7月（予定）	内部改修工事

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
第12次鳥取市総合計画策定支援業務費	政策企画課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,500	令和7年度					1,500

【事業の目的】

第11次鳥取市総合計画を令和3年3月に策定し、本市のめざす将来像の実現に向け、各施策を展開してきたが、令和7年度で計画期間を満了するため、令和8年度を始期とする第12次鳥取市総合計画の策定に取り組む。

【事業の内容】

令和6年度：13,493千円

第12次鳥取市総合計画の策定に向け、各種アンケート調査、都市特性分析、ワークショップ開催及び必要な各種データの収集・分析等、計画の策定支援

令和7年度：1,500千円

計画の策定支援

【これまでの関連する取り組み】

令和3年4月 第11次鳥取市総合計画施行

【今後の取り組み】

令和6年4月～ 第12次鳥取市総合計画策定作業

令和8年3月 第12次鳥取市総合計画策定

令和8年4月 第12次鳥取市総合計画施行

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取世界おもちゃ館の管理運営費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
21,664	令和7年度～10年度					21,664

【事業の目的】

利用者のニーズに対応した管理運営サービスの向上、民間手法の導入による管理運営費節減を図るため、平成18年度に導入した指定管理者制度による施設の管理委託等について、現指定管理者の指定期間が満了する令和6年度以降、指定管理者に業務を委託することを目的として、令和5年度債務負担行為を行ったところであるが、令和6年度当初予算において、大幅な人件費、物価の上昇（3%超）がみられるため、人件費、その他事業費（修繕費含む）について再算定し増額を行う。

【事業の内容】

- (1) 指定期間 5年
- (2) 指定方法 指名指定
- (3) 業務内容

①施設設備の維持管理②施設の運営と利用促進③利用料金の徴収④おもちゃをテーマとした事業の実施

<令和5年度債務負担額（R6～R10）>

- ・おもちゃ館指定管理料 359,635千円

<令和6年度追加債務負担額（R7～10）> ※R6増額分は当初予算において計上

- ・おもちゃ館指定管理料 21,664千円

※人事院勧告による非常勤職員の人件費の増額及び物価上昇に伴う人件費以外の事業費の増額分（光熱費は除く）

【これまでの関連する取組】

平成31年度～令和5年度に引き続き、指定管理者制度による施設管理委託を行う。

- ・現指定管理者：公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館（指名指定）
 - ・前回債務負担額：平成31年度～令和5年度 380,967千円
 - ・指定管理料：H31 75,639千円 R2 76,332千円 R3 76,332千円 R4 76,332千円
R5 76,332千円（予定） 計 380,967千円
- ※光熱費価格高騰による経費増加に対する支援分R5:2,083千円

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。

令和6年4月 指定管理開始

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取世界おもちゃ館の中央熱源機器改修工事委託費	文化交流課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
105,661	令和7年度			95,000		10,661

【事業の目的】

利用者が安心して利用できる施設とするため、共同設置者である鳥取県と連携して空調設備中央熱源の改修工事を行う。

【事業の内容】

- | | |
|----------|--|
| (1) 期間 | 令和6年度～令和7年度 |
| (2) 業務内容 | 令和6年度 工事契約及び工事資材等調達
令和7年度 改修工事（令和7年4月～6月末までを予定） |
| (3) 所要経費 | 令和6年度 合計 72,075千円（工事費139,574千円×1/2、監理業務4,576千円×1/2）
令和7年度 合計105,661千円（工事費209,361千円×1/2、監理業務1,961千円×1/2） |

【これまでの関連する取組】

令和5年度空調用熱源機器改修工事（設計）
 合計4,451千円（内訳）当初 2,794千円（5,587千円×1/2）
 9月補正 1,658千円（3,315千円×1/2）（熱源機器選定費用追加）

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。

1. R6～R7 空調設備中央熱源の改修工事

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
佐治用瀬一般廃棄物処理施設施工監理・解体工事費	生活環境課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
230,299	令和7年度			207,200		23,099

【事業の目的】

本事業は、廃焼却施設解体計画に基づき、優先順位に沿って解体を実施しているものである。計画では、市内廃焼却施設の5施設を令和5年度から令和31年度にかけて順次解体することとしており、第1番目の施設である佐治用瀬一般廃棄物処理施設の解体工事に着手する。

本施設は、用瀬町及び佐治町から排出された可燃ごみの焼却施設として建設され、昭和55年3月から平成13年3月まで21年間稼働した。施設廃止から期間が経過する中で、老朽化に伴う煙突の倒壊が懸念されることから、早期に解体工事に着工する必要があるため、令和5年度に事前調査及び発注仕様書等の作成に取りかかり、令和6年度から令和7年度にかけて解体工事を実施する。

【事業の内容】

一般廃棄物処理施設の性質上、解体工事には施設内の汚染物質の調査・除染等をはじめとした特殊な施工が必要となることから、専門的な知識・経験を有する事業者に対し、設計・施工監理業務とそれを踏まえて実施される解体工事業務を委託する。

- 設計・施工監理業務（入札参加資格確認業務を含む）（令和6年4月～令和7年9月）
7,831千円
- 解体工事業務（令和6年7月～令和7年9月）
379,571千円

【これまでの関連する取組】

- 平成13年3月 施設稼働停止
- 令和3年9月 廃止施設の危険度を診断した結果、ランク「D」大地震時に倒壊の危険性が高いと判定
- 令和4年8月 施設の危険度判定の結果と建設年度を勘案し廃焼却施設解体計画を作成
廃焼却施設全5施設の中で最初に解体することを決定
- 令和5年5月 佐治用瀬一般廃棄物処理施設解体工事に伴う調査計画設計等業務の契約を締結

【今後の取組】

- 調査計画設計等業務は、令和6年3月完了予定。
- 調査計画設計等業務が完了後、令和6年7月より解体工事を開始し、令和7年9月に解体完了予定。

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
神谷清掃工場調査設計業務費	生活環境課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
11,088	令和7年度	3,696				7,392

【事業の目的】

本業務は、廃焼却施設解体計画に基づき、優先順位に沿って解体を実施しているものである。計画では、市内廃焼却施設の5施設を令和5年度から令和31年度にかけて順次解体することとしており、第2番目の施設である神谷清掃工場の解体工事を行うため、事前調査と発注仕様書等を作成する本業務を委託する。

なお、神谷清掃工場は焼却能力270t/日であり、近県においても大型施設に分類される。この規模の施設は通常であれば調査設計業務に3カ年程度を要するが、本工事では同時進行できる業務を精査し、2カ年に短縮して業務完了を目指す。

【事業の内容】

施設内のダイオキシン類等の事前調査を行い、解体工事作業における保護具の選定のための基礎資料を得る。また、本施設の解体は性能発注方式による工事発注を予定していることから、性能発注方式を前提とした発注仕様書の作成を行う。

【これまでの関連する取組】

令和4年3月 施設稼働停止
 令和4年6月 施設再稼働
 令和4年12月 可燃ごみの最終搬入を完了
 令和5年3月 リンピアいなばの竣工により施設を廃止

【今後の取組】

令和8年3月 神谷清掃工場の解体工事着工予定

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
社会福祉施設改修事業費	長寿社会課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
106,915	令和7年度			96,200		10,715

【事業の目的】

経年劣化した高齢者福祉センターの屋上防水や外壁の安全面、維持管理面等を考慮し、外部改修工事を行う。

【事業の内容】

高齢者福祉センターSRC造2階建2, 151.39㎡の外部改修工事。

【これまでの関連する取組】

平成2年竣工以来30年以上経過し、経年劣化による外壁のひび割れ等がみられるようになった。
令和2年実施の12条点検においても外壁タイルのひび割れ、タイル目地シーリングの劣化などが確認されている。

【今後の取組】

令和6年9月 入札
令和6年10月～ 外部改修工事
令和7年10月 完了予定

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	企業立地・支援課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
鳥取市土地開発公社が、若葉台地内新工業用地(若葉台北工業用地)・つのいニュータウン工業用地(新都市工業用地)・三津工業用地・新津ノ井工業用地・河原インター山手工業団地用地・鳥取市河原町布袋工業団地用地を取得造成し管理するために金融機関等から借り入れた資金及び市町村合併に伴い解散する河原町土地開発公社が保有する資産を取得するために金融機関等から借り入れた資金6,367,302千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和6年度					用地取得費、造成費、管理費 6,367,302千円と利子に相当する額

<p>[事業の目的]</p> <p>企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる工業用地を取得整備することにより、企業誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。</p>
<p>[事業の内容]</p> <p>鳥取市土地開発公社が、工業用地を取得造成し管理するために金融機関等から借り入れた資金及び河原町土地開発公社が保有する資産を取得するために金融機関から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。</p>
<p>[これまでの関連する取組]</p> <p><若葉台地内新工業用地(若葉台北工業用地)> 株式会社JCBエクセ事務所用地、株式会社円山菓寮工場用地として整備し、当該企業への賃貸を行っている。</p> <p><つのいニュータウン工業用地(新都市工業用地)・三津工業用地・新津ノ井工業用地> 平成16年度より分譲を行っている。</p> <p><河原町土地開発公社からの取得資産> 工業用地として整備し、賃貸型工場としての貸付や企業への分譲を行っている。</p> <p><河原インター山手工業団地用地> 平成27年度より分譲を行っている。</p> <p><鳥取市河原町布袋工業団地用地> 平成28年度から分譲を行っている。</p>
<p>[今後の取組]</p> <p>鳥取市土地開発公社において事業を推進し、当該工業用地への企業誘致を積極的に推進する。</p>

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
射撃場管理運営費	農政企画課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,379,898	令和7年度～30年度					1,379,898

<p>[事業の目的]</p> <p>鳥取クレ射撃場周辺の山林に蓄積した旧射撃場設置による鉛弾を含む汚染された表土を除去処分し環境改善を行い、山林周辺及び、近隣住宅地や農地への健康被害リスクを排除することを目的とする。</p>
<p>[事業の内容]</p> <p>旧射撃場の鉛弾で汚染された鳥取クレ射撃場周辺の山林の表土を除去・処分する。</p> <p>除去作業対象区域（3.2ha）を9ブロックに分けて、1ブロックごとに除去及び処分作業を行う（3年行程）。</p> <p>1年度目は森林伐採・汚染土除去 2年度3年度目は除去済の汚染土を処分する。 最終年度（令和30年度）は、0.15haの森林伐採・汚染土除去・汚染土処分をまとめて行う。</p>
<p>[これまでの関連する取組]</p> <p>野生鳥獣対策を担う銃猟者を養成するため、平成28年9月に開場した鳥取クレ射撃場は、その再開にあたり、地元の覚寺地区（覚寺生産森林組合）と、山林や近接するため池に蓄積した鉛弾の除去を行うことを条件として覚書を締結し、令和2年度、3年度にはため池部分の鉛弾除去を実施した。山林部分の鉛弾除去方法について、令和5年度に地元と調査・協議を行った結果、山林を所有する覚寺生産森林組合に令和6年度から令和30年度（25年間）にかけて本事業を委託することとした。</p>
<p>[今後の取組]</p> <p>令和6年2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月 覚寺生産森林組合と事業委託の仮契約を締結 ・令和6年6月 議会に契約議案を提出 ・令和6年7月 議案可決後、本契約の締結及び事業着手 ・令和30年度 事業完了 <p>令和31年度以降に対象区域周辺の土壌の汚染状況を調査し、追加除去を検討する。</p>

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
指定管理者制度に基づき指定管理者に委託する鳥取市出合いの森公園の管理運営費	林務水産課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
1,272	令和7年度～10年度					1,272

【事業の目的】

地方自治法第244条の2第3項、鳥取市出合いの森公園の設置及び管理に関する条例及び鳥取市公の施設に係る指定管理者の指定の手續きに関する条例の規定に基づき指定管理者制度を導入することで、民間事業者等の創意と工夫に基づいた鳥取市出合いの森公園の運営における質的向上と効率化を図るため、現指定管理者の指定期間が満了する令和6年度以降、指定管理者に業務を委託することを目的として、令和5年度債務負担行為を行ったところであるが、令和6年度当初予算において、大幅な人件費、物価の上昇（3%超）がみられるため、人件費、その他事業費（修繕費含む）について再算定し増額を行う。

【事業の内容】

指定管理者に以下の業務を委託する。
 ○施設、設備の維持管理に関する業務（施設の清掃、保安警備、保守管理等）
 ○鳥取市出合いの森公園の森利用制限に関する業務（適正な管理に必要な利用者への措置命令）
 ○その他施設の管理運営に必要な業務（施設設備の利用指導及び利用者へのサービス提供並びに利用促進）
 ○鳥取市出合いの森公園を利用した、森林に対する理解を深めるための事業に関する業務（施設内でのイベント等を通じて森林に対する理解を深める。）
 鳥取県と合同で所管する「とっとり出合いの森」の指定管理料（指定期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間）について、急激な人件費・物価高騰等への対応のため追加の債務負担行為を設定するものです。
 <令和5年度債務負担額（R6～R10）>
 ・鳥取市出合いの森公園指定管理料 50,760千円
 <令和6年度追加債務負担額（R7～10）※R6増額分は当初予算において計上
 ・鳥取市出合いの森公園指定管理料 1,272千円
 ※人事院勧告による人件費の増額及び物価上昇に伴う人件費以外の事業費の増額分（光熱費は除く）

【これまでの関連する取組】

平成18年度から指定管理者制度を導入。（鳥取県・鳥取市・指定管理者の3者協定）施設の維持管理、運営を委託し、管理者の自主事業を展開している。
 平成31年度 108,013人、令和2年度 91,182人、令和3年度 100,160人、令和4年度 106,064人の利用者に森林とふれあう場を提供した。

指定管理者 株式会社谷尾樹楽園
 指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

【今後の取組】

2月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。
 令和6年4月 指定管理開始

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
土地改良施設維持管理適正化事業費	農村整備課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
480	令和7年度～10年度					480

[事業の目的]

土地改良区等が土地改良施設を適切に整備補修するための拠出金の一部を補助することで、施設の老朽化による維持管理の負担増を軽減し、農業生産基盤の継続的な有効利用を図る。

[事業の内容]

〈本事業の仕組み〉

- ・改良区は総事業費の30%を5年間均等に拠出し、国補助金30%と県補助金30%を合わせた90%を全国土地改良事業団体連合会が土地改良施設維持管理適正化資金として造成する。
- ・この適正化資金と改良区が総事業費の10%を自己負担し事業実施する。

実施主体 大井手土地改良区

事業年度 令和6年～令和10年度

総事業費 3,000千円（5年間）

事業内容 倭文水路 水路補修、水路フェンス整備補修 L=300m

本年度事業費 土地改良区拠出金900千円/5年×市補助率2/3=120千円

[これまでの関連する取組]

なし

[今後の取組]

土地改良区が総事業費の30%を令和6年度から5年均等で全国土地改良事業団体連合会に拠出するため、その額の2/3を5年均等で補助する。

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
市営住宅水道料金各戸計量・徴収事業費	建築住宅課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
14,606	令和7年度～9年度				14,606	

【事業の目的】

受水槽方式の市営住宅の上下水道料金について、水道管理人に代わり、水道局が各戸計量・徴収を行う制度をモデル的に実施していたが、モデル事業の終了に伴い、民間事業者による上下水道料金の各戸計量・徴収を行うことで、入居者の負担を軽減する。

【事業の内容】

受水槽方式の市営住宅（16団地1,612戸）上下水道料金について、順次、民間事業者による各戸計量・徴収方式に移行する。

【これまでの関連する取組】

令和元年度 1 団地移行（湯所 1 棟）
 令和2年度 3 団地移行（円通寺C、青谷あさひ、グリーンハイツあおや）
 令和3年度 9 団地移行（湯所 2 棟、賀露、大森R G 3, 4 棟、田島、西品治北、材木、玄好、馬場、旭町）
 令和4年度 4 団地移行（湖山、吉成、駅南、徳吉）
 ※1つの団地で棟を分かれて移行する団地があるため、移行する延べ団地数は17団地となる。

【今後の取組】

令和4年度で延べ17団地1,540戸について民間事業者による上下水道料金各戸計量・徴収方式に移行しており、複数年契約とすることで、入居者の口座振込依頼の手続きなどの負担を軽減する。

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	建築住宅課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
鳥取市土地開発公社が、湯川住宅団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金171,455千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和6年度					用地取得費171,455千円と利子に相当する額

[事業の目的]

住宅団地を整備することにより、住民の定住化と持家促進を図る。

[事業の内容]

鳥取市土地開発公社が、湯川住宅団地用地を取得するために金融機関から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

[これまでの関連する取組]

平成16年度 分譲開始

[今後の取組]

鳥取市土地開発公社において事業を推進し、早期の完売を目指す。

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
鳥取市土地開発公社借入金の損失補償	建築住宅課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
鳥取市土地開発公社が、望町団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金44,226千円並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。	令和6年度					用地取得費44,226千円と利子に相当する額

【事業の目的】

住宅団地を整備することにより、住民の定住化と持家促進を図る。

【事業の内容】

鳥取市土地開発公社が、望町団地用地を取得するために金融機関等から借り入れた資金並びに当該借入資金に対する利子相当額の合計額を限度として補償する。

【これまでの関連する取組】

平成14年度 分譲開始

【今後の取組】

鳥取市土地開発公社において事業を推進し、早期の完売を目指す。

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金	青谷町総合支所 地域振興課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
240	令和7年度					240

【事業の目的】

青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間中の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。

【事業の内容】

青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から鳥取県立青谷高等学校へ入学した生徒に対して、鳥取市内に下宿する場合に生活費の一部を支援する。

【補助金の額】

令和7年度入学生 240千円 (10千円×12か月×2人)

【これまでの関連する取組】

鳥取県立青谷高等学校の生徒をはじめ地元の小中学生が青谷上寺地遺跡をテーマとした歴史学習を積極的に取り入れ、青谷地域のにぎわい、活性化につなげる取り組みを行っている。

令和5年度入学生 実績なし

【今後の取組】

鳥取県立青谷高等学校の生徒募集に対しこの制度を周知し、まちづくりを推進する。

特 別 会 計

(予算事業別概要)

区001	項目名	保留地処分事務費	新規事業
予算書項目	保留地処分事務費	ページ	339
年度	R6	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
土地区画整理費特別会計	【問合せ先】 管理係 0857-30-8341		
款 区画整理費	【1次総の施策体系】 2401		
項 千代水第二土地区画整理費	【事業の経過及び背景】		
目 区画整理事業費	都市計画決定 平成8年3月15日（告示の日） 事業計画決定 平成8年12月6日（公告の日） 換地処分 平成25年2月26日（公告の日） 施行区域面積 80.3ha 全体事業費 4,867,391千円		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 6,696	当地区は中心市街地及び港湾、空港等に近接し、広域的な交通条件に恵まれていることから、流通業務拠点地区として位置づけられている。当地区の立地条件を活かして保留地の売却を進めながら、早期の事業完了を図るとともに、より健全で良好な市街地の発展を図る。		
本年度要求額 9,202	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 6,691	保留地管理業務など		
市長段階査定額 6,691	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和3年度 295千円 令和4年度 303千円 令和5年度 885千円	
国・県支出金 0	分担金 0	※その他財源の諸収入は、千代水第二地区保留地払下収入	
地方債 0	負担金 0		
その他 6,691	使用料 0		
一般財源 0	手数料 0		
計 6,691	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 6,691		
	その他 0		
備考欄			

公001	項目名	業務委託費	新規事業
予算書項目	管理運営費等	ページ	347
年度	R6	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
公設地方卸売市場事業費特別会計	【問合せ先】 市場開拓係 0857-30-8283		
款 市場費	【1次総の施策体系】 2103		
項 市場管理費	【事業の経過及び背景】		
目 市場管理費	平成17年度まで、市の直営であったが、平成18年度から行財政改革の推進という観点から、全庁的に指定管理者制度の導入に取り組んだ結果、鳥取市場においても指定管理者制度に移行した。 なお、市場事情に精通している現管理者を指名し、指定している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額 27,505	鳥取市場の運営業務を指定管理者に委託することにより、民間活力の活用による効果的かつ効率的な施設運営を行い、もって市民生活の安定に資する事を目的とする。 ※施設管理業務委託（委託先：協同組合鳥取総合食品卸売市場）		
本年度要求額 28,119	【事業の内容】		
総務部長段階査定額 28,119	令和3年度から5か年間の指定管理期間が開始されており、コロナ禍においても、市民生活の安定に資するため、休場等は行わず、安定的な運営を行っている。		
市長段階査定額 28,119	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	(指定管理料)	(場内除雪委託)
国・県支出金 0	分担金 0	令和3年度 27,426千円	2,088千円
地方債 0	負担金 0	令和4年度 27,978千円	898千円
その他 28,119	使用料 28,119	令和5年度 30,341千円	372千円（見込み）
一般財源 0	手数料 0	(その他) 468千円（PCB除去）	
計 28,119	財産収入 0	-	
	寄付金 0	-	
	繰入金 0	-	
	贈収入 0	-	
	その他 0	-	
備考欄	※その他財源の使用料は、卸売業者取扱高使用料及び卸売業者等土地建物使用料		

国001	項目名	ジェネリック医薬品利用促進事業費		新規事業
予算書項目	事務費	ページ	367	所属名
年度	R6	福祉部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	総務費	【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-30-8227		
項	総務管理費	【1次総の施策体系】1201 ●実施計画		
目	一般管理費	【事業の経過及び背景】 医療の高度化に伴い、家計に占める医療費の割合や国民健康保険財政の厳しさが続く中で、ジェネリック医薬品の利用を促し、被保険者の治療に係る費用負担を軽減するとともに国民健康保険運営の安定化を図ることが求められている。		
(単位：千円)		【事業の目的及び効果】 先発医薬品に比べて安価で品質、安全性及び有効性が変わらないジェネリック医薬品の利用促進により、被保険者の医療費負担の軽減及び国保事業会計の安定化を図る。		
前年度当初予算額	817	【事業の内容】 先発医薬品とジェネリック医薬品に切り替えた場合との差額通知(年3回)		
本年度要求額	817	【事業の実績】		
総務部長段階査定額	817	[令和3年度] [令和4年度] [令和5年度(見込)]		
市長段階査定額	817	ジェネリック医薬品普及率 80.6% 81.8% 83.0% (厚労省発表数値)		
区分	本年度予算額	ジェネリック医薬品差額通知 3,237通 2,502通 2,030通		
財源内訳	国・県支出金 531			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 286			
計	817			
備考欄				

国002	項目名	一般被保険者療養給付費		新規事業
予算書項目	一般被保険者療養給付費	ページ	371	所属名
年度	R6	福祉部 保険年金課		
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)			
款	保険給付費	【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222		
項	療養諸費	【1次総の施策体系】1201		
目	一般被保険者療養給付費	【事業の経過及び背景】 国民健康保険は、被用者保険等の他の医療保険等に加入していない者を被保険者とし、万一のけがや病気になった場合に、加入者が保険料を出し合い、医療費をまかなう相互扶助の医療保険制度。		
(単位：千円)		【事業の目的及び効果】 保険医療機関等からけがや病気の治療を受けた際、法定割合により現物給付を行うものであり、被保険者は一部負担金を負担するのみで療養が可能となり、医療の機会均等を確保するもの。		
前年度当初予算額	11,229,523	【事業の内容】 国民健康保険の一般被保険者がけがや病気により保険医療機関で必要な医療を受けた際の医療費に対し、法定の給付割合により現物給付を行うもの。		
本年度要求額	11,281,190	【事業の実績】		
総務部長段階査定額	11,281,190	令和3年度 11,092,518千円		
市長段階査定額	11,281,190	令和4年度 11,089,398千円		
区分	本年度予算額	令和5年度(見込) 11,463,692千円		
財源内訳	国・県支出金 11,281,190			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 0			
計	11,281,190			
備考欄				

国003	項目名	一般被保険者高額療養費	新規事業
予算書項目	一般被保険者高額療養費	ページ	371
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保険給付費		
項	高額療養費		
目	一般被保険者高額療養費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	1,711,792		
本年度要求額	1,920,753		
総務部長段階査定額	1,920,753	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,920,753	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	1,920,753		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	1,920,753		
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222 【1次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 近年、医療水準の向上に伴い、治療方法等が飛躍的に発達しつつあるが、一方ではその医療費が極端に高額化する傾向が見られる。このような場合、その一部負担金は被保険者の支払い能力に関係なく増大するため、自己負担額は高額なものとなり、その支払いは被保険者にとって過重な負担となる結果を招いていた。こうした過重な自己負担の軽減を図り、医療保険の機能をより有効に働かせるために、この制度が創設されたもの。 【事業の目的及び効果】 一部負担金として負担する額の限度額が定められることにより、多額の医療費がかかる治療を受けた場合においても、一定の負担で安心して医療を受けられるようになるもの。 【事業の内容】 被保険者の一部負担金が一定額を超える場合にその超える部分を支給するもの。 【事業の実績】 令和3年度 1,694,640千円 令和4年度 1,689,357千円 令和5年度(見込) 1,876,236千円			

国004	項目名	出産育児一時金	新規事業
予算書項目	出産育児一時金	ページ	373
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保険給付費		
項	出産育児諸費		
目	出産育児一時金		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	36,500		
本年度要求額	36,000		
総務部長段階査定額	36,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	36,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	12,000
区 分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	12,000		
一般財源	24,000		
計	36,000		
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】国民健康保険係 0857-30-8222 【1次総の施策体系】1201 【事業の経過及び背景】 国民健康保険法第58条第1項により、条例の定めるところにより出産育児一時金の支給を行うもの。 【事業の目的及び効果】 被保険者が出産したとき、当該被保険者の属する世帯の世帯主に対し支給するもの。 【事業の内容】 令和5年4月1日より1件あたり500千円(産科医療補償制度加入分娩機関での分娩の場合。その他の場合は1件488千円。) 【事業の実績】 令和3年度 66件 令和4年度 66件 令和5年度(見込) 73件 ※その他財源のその他は、国民健康保険料			

国005	項目名	一般被保険者医療給付費分	新規事業
予算書項目	一般被保険者医療給付費分	ページ	377
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	事業の概要		
国民健康保険費特別会計(事業勘定)	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221		
款 国民健康保険事業費納付金	【1次総の施策体系】 1302		
項 医療給付費分	【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。		
目 一般被保険者医療給付費分	【事業の目的及び効果】 全県下の医療給付を賄うため給付費総額から国等からの公費を除いた額を各市町村の医療費水準や所得水準等に応じて県があらかじめ納付金として算定し、市町村はこれを納付する。 これにより、当該年度の給付に必要な額を県が全額交付金として賄うこととなり、財政リスクが解消される。		
(単位：千円)	【事業の内容】 一般被保険者医療給付費納付金		
前年度当初予算額 2,940,454	【事業の実績】		
本年度要求額 2,362,741	令和3年度 3,014,582千円 令和4年度 3,031,461千円 令和5年度(見込) 2,940,454千円		
総務部長段階査定額 2,362,741	※その他財源の負担金は、被保険者一部負担金 ※その他財源の手数料は、督促手数料 ※その他財源の諸収入は、延滞金等 ※その他財源のその他は、国民健康保険料		
市長段階査定額 2,362,741	【事業の内容】 一般被保険者医療給付費納付金		
区分 本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳	令和3年度 3,014,582千円 令和4年度 3,031,461千円 令和5年度(見込) 2,940,454千円		
国・県支出金 50,892	※その他財源の負担金は、被保険者一部負担金		
地方債 0	※その他財源の手数料は、督促手数料		
その他 1,441,569	※その他財源の諸収入は、延滞金等		
一般財源 870,280	※その他財源のその他は、国民健康保険料		
計 2,362,741	【事業の内容】 一般被保険者医療給付費納付金		
備考欄	【事業の実績】		
	令和3年度 3,014,582千円 令和4年度 3,031,461千円 令和5年度(見込) 2,940,454千円		

国006	項目名	一般被保険者後期高齢者支援金等分	新規事業
予算書項目	一般被保険者後期高齢者支援金等分	ページ	379
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	事業の概要		
国民健康保険費特別会計(事業勘定)	【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221		
款 国民健康保険事業費納付金	【1次総の施策体系】 1302		
項 後期高齢者支援金等分	【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。		
目 一般被保険者後期高齢者支援金等分	【事業の目的及び効果】 全県下の後期高齢者医療制度に係る国保負担分を賄うため総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 一般被保険者後期高齢者支援金納付金		
前年度当初予算額 1,100,060	【事業の実績】		
本年度要求額 1,097,026	令和3年度 1,035,105千円 令和4年度 1,005,278千円 令和5年度(見込) 1,100,060千円		
総務部長段階査定額 1,097,026	※その他財源のその他は、国民健康保険料		
市長段階査定額 1,097,026	【事業の内容】 一般被保険者後期高齢者支援金納付金		
区分 本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳	令和3年度 1,035,105千円 令和4年度 1,005,278千円 令和5年度(見込) 1,100,060千円		
国・県支出金 0	※その他財源のその他は、国民健康保険料		
地方債 0	【事業の内容】 一般被保険者後期高齢者支援金納付金		
その他 844,318	【事業の実績】		
一般財源 252,708	令和3年度 1,035,105千円 令和4年度 1,005,278千円 令和5年度(見込) 1,100,060千円		
計 1,097,026	※その他財源のその他は、国民健康保険料		
備考欄	【事業の内容】 一般被保険者後期高齢者支援金納付金		
	【事業の実績】		
	令和3年度 1,035,105千円 令和4年度 1,005,278千円 令和5年度(見込) 1,100,060千円		

国007	項目名	介護納付金分	新規事業
予算書項目	介護納付金分	ページ	379
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	国民健康保険事業費納付金		
項	介護納付金分		
目	介護納付金分		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	319,276		
本年度要求額	319,963		
総務部長段階査定額	319,963		
市長段階査定額	319,963		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	251,422	使用料	0
一般財源	68,541	手数料	0
計	319,963	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	251,422
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】 庶務係 0857-30-8221 【1次総の施策体系】 1302 【事業の経過及び背景】 国保制度の構造的課題を解消するため、平成30年度より国保の財政責任を都道府県が担うことを含む新しい国保制度が施行されることとなった。 【事業の目的及び効果】 全県下の介護保険第2号被保険者に係る国保分の介護納付金総額を賄うため納付金総額から国等の公費を除いた額を各市町村の所得水準等に応じて県があらかじめ算定した納付金を市町村が納付する。 【事業の内容】 介護納付金 【事業の実績】 令和3年度 320,792千円 令和4年度 314,124千円 令和5年度(見込) 319,276千円 ※その他財源のその他は、国民健康保険料			

国008	項目名	糖尿病性腎症重症化予防事業費	新規事業
予算書項目	糖尿病性腎症重症化予防事業費	ページ	379
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保健事業費		
項	保健事業費		
目	保健衛生普及費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	7,177		
本年度要求額	6,695		
総務部長段階査定額	6,695		
市長段階査定額	6,695		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	6,695	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	6,695	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】 医療費適正化推進室 0857-30-8227 【1次総の施策体系】 1301 【事業の経過及び背景】 生活習慣及び社会環境の変化による糖尿病患者数の増加は、医療費の増大をもたらし、国民負担の増加の大きな要因となっている。糖尿病は放置すると網膜症や腎症などの重症化を伴う合併症を引き起こし、患者の生活の質を低下させることから、糖尿病の重症化予防は、国の喫緊の課題となっている。 【事業の目的及び効果】 ハイリスクの糖尿病患者に対する効果的な保健指導プログラムを実施するとともに、専任の看護師・管理栄養士による本市独自のフォローアップにより、セルフマネジメント力の維持・向上を図り、より一層の予防・健康管理の推進を強化する。 【事業の内容】 糖尿病性腎症等ハイリスクの糖尿病患者に対し、主治医の指導の下、透析移行の防止、糖尿病の重症化予防を図るため、6か月間の保健指導を実施。 【事業の実績】 保健指導プログラム参加人数 令和3年度 18人(内6か月終了16人) 令和4年度 19人(内6か月終了17人) 令和5年度(見込) 13人(内6か月終了13人)			

国009	項目名	医療費適正化強化推進事業費	新規事業
予算書項目	医療費適正化強化推進事業費	ページ	379
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保健事業費		
項	保健事業費		
目	保健衛生普及費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	14,651		
本年度要求額	14,293		
総務部長段階査定額	14,293		
市長段階査定額	14,293		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	14,293	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	14,293	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】医療費適正化推進室 0857-30-8227 【1次総の施策体系】1301 【事業の経過及び背景】 被保険者の高齢化や医療費の増加により国民健康保険財政の厳しさが続く中で、将来にわたって安定的な制度運営を堅持していくために、健康・医療のデータを活用してPDC Aサイクルによる効果的かつ効率的な保健事業を実施し、医療費適正化に取り組むことが求められている。 【事業の目的及び効果】 第3期データヘルス計画(令和6年度～令和11年度)に基づき、健康・医療データ分析による効果的な糖尿病やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)予防などの生活習慣病対策を実施し、被保険者の生涯にわたる健康づくりの推進、医療費の抑制等による国民健康保険財政等の安定化を図る。 【事業の内容】 第3期データヘルス計画に定める生活習慣病重症化予防等に関する訪問指導業務及び予防啓発事業、医療費・健康状況分析、保健事業企画等。 【事業の実績】 [治療中断者訪問指導(うち治療再開)] [生活習慣病栄養指導] 令和3年度 81人(25人) 37人 令和4年度 71人(22人) 33人 令和5年度(見込) 90人(30人) 40人 [生活習慣病予防啓発事業] 令和3年度 335人 令和4年度 463人 令和5年度(見込) 776人			

国010	項目名	特定健康診査等事業費	新規事業
予算書項目	特定健康診査等事業費	ページ	381
年度	R6	所 属 名	健康子ども部鳥取市保健所 健康・子育て推進課
会計名	国民健康保険費特別会計(事業勘定)		
款	保健事業費		
項	特定健康診査等事業費		
目	特定健康診査等事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	68,009		
本年度要求額	80,487		
総務部長段階査定額	80,487		
市長段階査定額	80,487		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	67,549	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	12,938	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	80,487	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	12,938
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】健診推進室 0857-20-0320 【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン 【事業の経過及び背景】 医療制度改革に伴い、平成20年4月から40歳以上の被保険者に対し、生活習慣病に着目した特定健診・特定保健指導の実施が保険者に義務付けられた。 【事業の目的及び効果】 本市の国民健康保険被保険者を対象に特定健診・特定保健指導を実施することで、生活習慣病の発症や重症化を防ぎ、市民の健康増進を図るとともに、中長期的な医療費の適正化につなげる。 【事業の内容】 各健診機関への委託により連携体制のもと事業に取り組むほか、受診率向上のため、特定健診の未受診者に対し通知や訪問等により受診勧奨を行っている。 ・特定健診の実施(期間：令和6年6月から令和7年2月末まで) ・健診結果に基づく特定保健指導の実施 ・年間を通じ未受診者勧奨(通知、訪問等)を実施 【事業の実績】 受診者数等 [特定健診(受診率)] [特定保健指導(実施率)] 令和3年度 8,998人(33.8%) 283人(31.3%) 令和4年度 8,737人(34.5%) 276人(30.6%) 令和5年度(見込) 8,600人(33.9%) 290人(32.9%) 未受診者勧奨(令和4年度) 特定健診受診勧奨ダイレクトメール：年間5,000通 特定健診未受診者勧奨訪問：年間271件 ※その他財源のその他は、国民健康保険料			

国011	項目名	医科運営費	新規事業
予算書項目	運営費	ページ	395
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	総務費		
項	医科施設管理費		
目	一般管理費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	39,190		
本年度要求額	43,652		
総務部長段階査定額	43,652		
市長段階査定額	43,652		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	43,551	使用料	120
一般財源	101	手数料	0
計	43,652	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	6,831
		その他	36,600
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914

【1次総の施策体系】1302 ●実施計画

【事業の経過及び背景】
平成元年当時の旧佐治村は、村営の歯科診療所のほか、隣町・用瀬町の医院による3つの出張診療所があったものの、十分な医療設備もなく、医師の診療時間は短時間なうえ、夜間になれば全く無医村状態にあった。その中、地域住民の健康・福祉の維持増進を図るため、平成2年4月、国庫補助金と調整交付金を受けて、医科診療所を開設した。
診療 内科、小児科
職員 医師1名、看護師2名、事務1名

【事業の目的及び効果】
地域医療の確保・充実を目指して医療・保健・福祉の連携が取れた保健医療体制の確立に重点をおきながら、予防対策を積極的に推進し住民の健康づくりに努める。

【事業の内容】
佐治診療所(医科)の運営

【事業の実績】

	[令和3年度]	[令和4年度]	[令和5年度(見込)]
年間診療日数	213日	213日	210日
年間件数	7,064件	6,460件	6,300件
1日平均	33.2件	30.3件	30件
診療報酬収入	60,772千円	56,512千円	58,000千円
その他雑入	11,691千円	15,559千円	11,500千円

※その他財源の使用料は、庁舎使用料
※その他財源の諸収入は、健診委託料等
※その他財源のその他は、診療報酬等

国012	項目名	医科保健事業費	新規事業
予算書項目	保健事業費	ページ	395
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)		
款	総務費		
項	医科施設管理費		
目	一般管理費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	5,588		
本年度要求額	5,534		
総務部長段階査定額	5,534		
市長段階査定額	5,534		
区 分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	3,320	使用料	0
一般財源	2,214	手数料	0
計	5,534	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	3,320
		贈収入	0
		その他	0
備考欄			

事業の概要

【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914

【1次総の施策体系】1301

【事業の経過及び背景】
直営診療施設は、医療の確保を図ることのほか、国保の保健事業の中核として、医療と疾病予防の一体的運営に資すること、また、国保の被保険者の健康保持増進に寄与するという役割を担っている。

【事業の目的及び効果】
保健・医療福祉の連携を深めながら、健康づくりから疾病の予防、早期発見、治療、リハビリテーションに至る健康事業を幅広く実施し、住民の健康づくりに努める。

【事業の内容】
医科保健事業の実施

【事業の実績】

	[令和3年度]	[令和4年度]	[令和5年度(見込)]
・健康相談			
総合相談窓口事業	22回 115人	22回 95人	22回 100人
地区健康相談	25回 302人	12回 176人	12回 157人
高齢者相談	5回 51人	6回 50人	6回 50人
・健康教育			
糖尿病等健康教室	11回 104人	11回 96人	11回 77人
地区健康教室	15回 185人	14回 80人	14回 80人
高齢者健康教室	9回 64人	7回 45人	7回 50人
禁煙指導数	5人	5人	5人
・訪問指導			
高血圧・健診フォロー等	25人	42人	25人

※その他財源の繰入金は、国保事業勘定繰入金

国015	項目名	長期借入金元金償還金	新規事業												
予算書項目	長期借入金元金償還金	ページ	399												
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課												
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)														
款	公債費														
項	公債費														
目	元金														
(単位：千円)															
前年度当初予算額	1,834														
本年度要求額	1,834														
総務部長段階査定額	1,834														
市長段階査定額	1,834														
区分	本年度予算額	その他財源の内訳													
財源内訳	国・県支出金	分担金	0												
	地方債	負担金	0												
	その他	使用料	0												
	一般財源	手数料	0												
	計	財産収入	0												
		寄付金	0												
		繰入金	0												
		贈収入	550												
		その他	0												
備考欄															
事業の概要	<p>【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914</p> <p>【1次総の施策体系】1302</p> <p>【事業の経過及び背景】 地域医療を確保するため、医療機器等の導入・更新を行う必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 起債を活用し、佐治診療所の運営に必要な医療機器等の導入・更新を行う。</p> <p>【事業の内容】 佐治診療所の施設整備に係る起債の元金償還金</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>起債年度</th> <th>[借入金額]</th> <th>[内容]</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>6,200千円</td> <td>電子内視鏡ビデオシステム</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>800千円</td> <td>画像診断処理システム</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>借入予定なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>※その他財源の諸収入は、健診委託料等</p>			起債年度	[借入金額]	[内容]	令和3年度	6,200千円	電子内視鏡ビデオシステム	令和4年度	800千円	画像診断処理システム	令和5年度(見込)	借入予定なし	
起債年度	[借入金額]	[内容]													
令和3年度	6,200千円	電子内視鏡ビデオシステム													
令和4年度	800千円	画像診断処理システム													
令和5年度(見込)	借入予定なし														

国016	項目名	長期借入金利子償還金	新規事業												
予算書項目	長期借入金利子償還金	ページ	399												
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課												
会計名	国民健康保険費特別会計(直診勘定)														
款	公債費														
項	公債費														
目	利子														
(単位：千円)															
前年度当初予算額	14														
本年度要求額	53														
総務部長段階査定額	53														
市長段階査定額	53														
区分	本年度予算額	その他財源の内訳													
財源内訳	国・県支出金	分担金	0												
	地方債	負担金	0												
	その他	使用料	0												
	一般財源	手数料	0												
	計	財産収入	0												
		寄付金	0												
		繰入金	0												
		贈収入	16												
		その他	0												
備考欄															
事業の概要	<p>【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914</p> <p>【1次総の施策体系】1302</p> <p>【事業の経過及び背景】 地域医療を確保するため、医療機器等の導入・更新を行う必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 起債を活用し、佐治診療所の運営に必要な医療機器等の導入・更新を行う。</p> <p>【事業の内容】 佐治診療所の施設整備に係る起債の利子償還金</p> <p>【事業の実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>起債年度</th> <th>[借入金額]</th> <th>[内容]</th> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>6,200千円</td> <td>電子内視鏡ビデオシステム</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>800千円</td> <td>画像診断処理システム</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>借入予定なし</td> <td></td> </tr> </table> <p>※その他財源の諸収入は、健診委託料等</p>			起債年度	[借入金額]	[内容]	令和3年度	6,200千円	電子内視鏡ビデオシステム	令和4年度	800千円	画像診断処理システム	令和5年度(見込)	借入予定なし	
起債年度	[借入金額]	[内容]													
令和3年度	6,200千円	電子内視鏡ビデオシステム													
令和4年度	800千円	画像診断処理システム													
令和5年度(見込)	借入予定なし														

高障住001	項目名	高齢者住宅整備資金貸付事業費	新規事業
予算書項目	高齢者住宅整備資金貸付事業費	ページ	417
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計		
款	高齢者住宅整備資金貸付事業費		
項	高齢者住宅整備資金貸付事業費		
目	高齢者住宅整備資金貸付事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	2,507		
本年度要求額	2,507		
総務部長段階査定額	2,507		
市長段階査定額	2,507		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	2,500	負担金	0
その他	1	使用料	0
一般財源	6	手数料	0
計	2,507	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	1
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】管理係 0857-30-8211 【1次総の施策体系】1202 【事業の経過及び背景】 経済的な理由で、高齢者の居住環境整備のための増築・改修等を行うことが困難な世帯への支援が必要である。 【事業の目的及び効果】 高齢者の居住環境を改善するため、高齢者の専用居室等を増築または改造するために必要な資金の貸し付けを行うことにより、高齢者と家族との好ましい家族関係の維持に寄与する。 【事業の内容】 ・貸付対象者 市内に居住し、60歳以上の高齢者と同居する60歳未満の家族 ・対象事業 高齢者の専用居室等の増改築（新築は対象外） ・貸付金額 500千円～2,500千円 ・貸付利率 年3.5%以内（財政融資資金の利率により変動） ・償還期間、方法 10年以内 元利均等半年賦償還（6月・12月） 【事業の実績】 平成18年度実績 2,500千円（1件） 平成19年度以降 実績なし 令和5年度見込 実績なし ※その他財源のその他は、前年度繰越金			

高障住002	項目名	障害者住宅整備資金貸付事業費	新規事業
予算書項目	障害者住宅整備資金貸付事業費	ページ	425
年度	R5	所 属 名	福祉部 障がい福祉課
会計名	障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計		
款	障害者住宅整備資金貸付事業費		
項	障害者住宅整備資金貸付事業費		
目	障害者住宅整備資金貸付事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	2,501		
本年度要求額	2,501		
総務部長段階査定額	2,501		
市長段階査定額	2,501		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	2,500	負担金	0
その他	1	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	2,501	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	1
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】障がい福祉係 0857-30-8217 【1次総の施策体系】1203 【事業の経過及び背景】 経済的な理由で、障がい者の居住環境整備のための増築・改修等を行うことが困難な世帯への支援が必要である。 【事業の目的及び効果】 障がいのある方の居住環境を改善するため、障がいのある方の専用居室等を増築又は改造するために必要な資金の貸し付けを行うことにより、障がい者及び同居親族の負担軽減に寄与する。 【事業の内容】 ・貸付対象者 本市に居住する重度の障がい者（身障1級～4級所持者、療育手帳「A」所持者）またはその障がい者と同居する親族 ・対象事業 障がい者の専用居室等の増改築（新築は対象外） ・貸付金額 500千円～2,500千円 ・貸付利率 年3.5%以内（財政融資資金の利率により変動） ・償還期間、方法 10年以内 元利均等半年賦償還（6月・12月） 【事業の実績】 平成14年度実績 2,500千円（1件） 平成15年度以降 実績なし 令和5年度見込 実績なし ※その他財源のその他は、前年度繰越金			

土001	項目名	土地取得費事務費	新規事業												
予算書項目	事務費	ページ	433												
年度	R6	所 属 名	総務部 資産活用推進課												
会計名	土地取得費特別会計														
款	土地取得事業費														
項	土地取得事業費														
目	事務費														
(単位：千円)															
前年度当初予算額	67														
本年度要求額	67														
総務部長段階査定額	67	その他財源の内訳													
市長段階査定額	67	分担金	0												
		負担金	0												
		使用料	0												
		手数料	0												
		財産収入	67												
		寄付金	0												
		繰入金	0												
		贈収金	0												
		その他	0												
区 分	本年度予算額														
財源内訳															
国・県支出金	0														
地方債	0														
その他	67														
一般財源	0														
計	67														
備考欄															
事業の概要 【問合せ先】 資産活用係 0857-30-8135 【1次総の施策体系】 0003 【事業の経過及び背景】 公用または公共用に供する土地、公共の利益のために取得する必要のある土地等をあらかじめ取得することにより事業の円滑な執行を図るため、土地開発基金を設置し、その運用益金の管理を行う。 【事業の目的及び効果】 土地開発基金を、確実かつ効率的な運用に努めるため繰替運用を行い、また、取崩しを行うことにより、基金の有効活用を図る。 基金額（現金） 527,159千円（令和5年度末見込） 土地開発公社貸付金額 1,706,494千円（令和5年度末見込） 【事業の内容】 土地開発基金を繰替運用等により運用を行う。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>うち運用利子</td> <td>基金総額</td> </tr> <tr> <td>令和3年度実績</td> <td>67千円</td> <td>2,233,519千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度実績</td> <td>67千円</td> <td>2,233,586千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度見込</td> <td>67千円</td> <td>2,233,653千円</td> </tr> </table> （基金運用利率：平成30年度～令和2年度0.015%、令和3年度～0.003%） ※その他財源の財産収入は、土地開発基金運用収入					うち運用利子	基金総額	令和3年度実績	67千円	2,233,519千円	令和4年度実績	67千円	2,233,586千円	令和5年度見込	67千円	2,233,653千円
	うち運用利子	基金総額													
令和3年度実績	67千円	2,233,519千円													
令和4年度実績	67千円	2,233,586千円													
令和5年度見込	67千円	2,233,653千円													

墓001	項目名	墓地管理費	新規事業
予算書項目	墓地管理費	ページ	441
年度	R6	所 属 名	市民生活部環境局 生活環境課
会計名	墓苑事業費特別会計		
款	墓苑費		
項	墓苑費		
目	墓苑費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	8,862		
本年度要求額	9,213		
総務部長段階査定額	9,163	その他財源の内訳	
市長段階査定額	9,163	分担金	0
		負担金	0
		使用料	9,163
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区 分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	9,163		
一般財源	0		
計	9,163		
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】 生活衛生係 0857-30-8083 【1次総の施策体系】 3201 【事業の経過及び背景】 鳥取市墓地条例に基づき、鳥取市内に10か所設置している市営墓地の維持管理を行っている。 【事業の目的及び効果】 市営墓地の適正な維持管理を行うことで、墓石等の保護及び参拝者の安全を確保する。 【事業の内容】 参拝者の安全確保のため、適正な維持管理及び現状把握に基づく計画的な修繕を行っている。 【事業の実績】 令和3年度 8,177千円 令和4年度 9,906千円 令和5年度 8,862千円（見込） ※その他財源の使用料は、第二いなば墓苑第三期使用料及びその他墓地使用料			

介001	項目名	介護サービス等諸費	新規事業
予算書項目	介護サービス等諸費	ページ	459
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212		
款 保険給付費	【1次総の施策体系】1201		
項 介護サービス等諸費	【事業の経過及び背景】 介護保険は、加齢による病気等で介護が必要となった人に対して、保健医療サービス・福祉サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念に基づき、平成12年4月に創設された。		
目 介護サービス等諸費	【事業の目的及び効果】 被保険者の要介護状態に応じて必要な保険給付を行うことで、介護を必要とする被保険者が、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 要介護度1から5の被保険者が利用した介護保険サービスに対し、9割（一定以上所得者には8割または7割）を保険給付として支給する。		
前年度当初予算額 18,014,624	【事業の実績】 令和3年度 17,014,292千円 令和4年度 16,919,168千円 令和5年度(見込) 17,607,441千円		
本年度要求額 17,878,566	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金		
総務部長段階査定額 17,878,566	その他財源の内訳		
市長段階査定額 17,878,566	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 7,740		
	贈収入 0		
	その他 8,573,793		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	6,821,800		
地方債	0		
その他	8,581,533		
一般財源	2,475,233		
計	17,878,566		
備考欄			

介002	項目名	介護予防サービス等諸費	新規事業
予算書項目	介護予防サービス等諸費	ページ	461
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212		
款 保険給付費	【1次総の施策体系】1201		
項 介護予防サービス等諸費	【事業の経過及び背景】 介護保険は、加齢による病気等で介護が必要となった人に対して、保健医療サービス・福祉サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念に基づき、平成12年4月に創設された。		
目 介護予防サービス等諸費	【事業の目的及び効果】 被保険者の要介護状態に応じて必要な保険給付を行うことで、介護を必要とする被保険者が、できる限り自立した日常生活を営めるよう支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容】 要支援1から2の被保険者が利用した介護保険サービスに対し、9割（一定以上所得者には8割または7割）を保険給付として支給する。		
前年度当初予算額 454,244	【事業の実績】 令和3年度 437,540千円 令和4年度 434,947千円 令和5年度(見込) 444,108千円		
本年度要求額 450,948	※その他財源の繰入金は、介護給付費等準備基金繰入金 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金		
総務部長段階査定額 450,948	その他財源の内訳		
市長段階査定額 450,948	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 195		
	贈収入 0		
	その他 217,044		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	172,509		
地方債	0		
その他	217,239		
一般財源	61,200		
計	450,948		
備考欄			

介003	項目名	訪問型・通所型サービス事業費	新規事業
予算書項目	訪問型・通所型サービス事業費	ページ	463
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課
会計名	介護保険費特別会計		
款	地域支援事業費		
項	介護予防・日常生活支援総合事業費		
目	介護予防・生活支援サービス事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	391,222		
本年度要求額	404,089		
総務部長段階査定額	391,972		
市長段階査定額	391,972		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	146,989	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	195,985	使用料	0
一般財源	48,998	手数料	0
計	391,972	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	195,985
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】 介護保険係 0857-30-8212 鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【1次総の施策体系】 1301 【事業の経過及び背景】 平成27年度より新たに介護予防・日常生活支援総合事業が創設され、本市では平成29年度より旧介護予防訪問・通所介護相当のサービスを実施、令和元年10月からは、運動中心の短時間の通所サービス及びリハビリテーション専門職が生活機能の回復を目指した個別プログラムを短期間集中的に提供するサービスを導入するなど本市独自の事業に取り組んでいる。 【事業の目的及び効果】 要支援認定者及び基本チェックリストで総合事業の対象者となる基準に該当した人（以下「要支援者等」という。）に対して、要介護状態等となることの予防または要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活を支援する。 【事業の内容】 要支援者等が利用した訪問型サービス（ホームヘルプサービス）及び通所型サービス（デイサービス）のサービス費用に対し、9割（一定以上所得者には8割または7割）を第1号事業支給費として支給する。リハビリテーション専門職による短期集中予防サービスについては、介護事業者に委託し実施する。 【事業の実績】 令和3年度 386,051千円 令和4年度 364,066千円 令和5年度(見込) 391,222千円 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金			

介004	項目名	高齢者健康教室事業費	新規事業																
予算書項目	介護予防普及啓発事業費	ページ	465																
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																
会計名	介護保険費特別会計																		
款	地域支援事業費																		
項	介護予防・日常生活支援総合事業費																		
目	一般介護予防事業費																		
(単位：千円)																			
前年度当初予算額	596																		
本年度要求額	580																		
総務部長段階査定額	580																		
市長段階査定額	580																		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳																	
国・県支出金	217	分担金	0																
地方債	0	負担金	0																
その他	289	使用料	0																
一般財源	74	手数料	0																
計	580	財産収入	0																
		寄付金	0																
		繰入金	0																
		贈収入	0																
		その他	289																
備考欄																			
事業の概要 【問合せ先】 健康・子育て推進課 健康づくり係 0857-30-8581 【1次総の施策体系】 1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン 【事業の経過及び背景】 人口の高齢化により、本市の65歳以上の人口は30.6%（令和5年9月末）となった。更に要介護認定の割合も年々高くなり、高齢者の介護予防の取組はますます重要となっている。 【事業の目的及び効果】 高齢者を対象とした健康教育を実施することで介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、高齢者が介護予防のために自主的な活動ができるように支援する。 【事業の内容】 ・高齢者の保健事業と介護予防を一体的に進め、高齢者の健康長寿の実現に向けて取り組む。 ・高齢者が地域の身近な場所で気軽に交流したり、介護予防活動に参加できる「集いの場」の拡充を図る。 ・高齢者が住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らし続けることができるよう、高齢者の社会参加や生きがい活動を支援する。 ・高齢者の地域での趣味や教養活動、レクリエーション活動等を通じて、楽しく学びながら活動できるよう支援する。 【事業の実績】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[高齢者健康教育]</td> <td>[介護予防測定]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>251千円</td> <td>139回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>312千円</td> <td>153回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>596千円</td> <td>200回</td> <td>10回</td> </tr> </table> ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金					[決算額]	[高齢者健康教育]	[介護予防測定]	令和3年度	251千円	139回	7回	令和4年度	312千円	153回	10回	令和5年度(見込)	596千円	200回	10回
	[決算額]	[高齢者健康教育]	[介護予防測定]																
令和3年度	251千円	139回	7回																
令和4年度	312千円	153回	10回																
令和5年度(見込)	596千円	200回	10回																

介005	項目名	介護予防普及啓発事業費	新規事業
予算書項目	介護予防普及啓発事業費	ページ	465
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	介護保険費特別会計		
款	地域支援事業費		
項	介護予防・日常生活支援総合事業費		
目	一般介護予防事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	7,991		
本年度要求額	5,263		
総務部長段階査定額	5,263		
市長段階査定額	5,263		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	1,972	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	2,631	使用料	0
一般財源	660	手数料	0
計	5,263	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	2,631
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【1次総の施策体系】1301 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 平成27年度の介護保険制度改正により、要支援・要介護認定に関わらず全ての高齢者を対象にして、自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、介護予防に関する知識の普及啓発を推進している。 【事業の目的及び効果】 医療・介護の専門職による地区公民館等での出前講座の開催等を通じて、高齢者に介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図り、地域における高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進する。 保健師が主催し医療・介護の専門職を招いて実施している直営型講座に加え、医療や介護の事業者や専門職個人に委託する委託型講座も実施し、普及啓発活動を更に広く展開することで、介護予防の取組の充実を図る。 【事業の内容】 ・地域の高齢者団体等を対象に地区公民館等で介護予防講座を開催 （運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、閉じこもり予防、認知機能低下予防、うつ予防、ADL・IADLの改善、服薬管理の向上など） ・ふれあいデイサービス事業（佐治・鹿野） 【事業の実績】 [啓発回数（延人数）] 令和3年度 38回（538人） 令和4年度 89回（1186人） 令和5年度（見込） 198回（2970人） ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金			

介006	項目名	おたっしや教室事業費	新規事業
予算書項目	介護予防普及啓発事業費	ページ	465
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	介護保険費特別会計		
款	地域支援事業費		
項	介護予防・日常生活支援総合事業費		
目	一般介護予防事業費		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	34,567		
本年度要求額	35,161		
総務部長段階査定額	35,161		
市長段階査定額	35,161		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	12,217	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	18,869	使用料	0
一般財源	4,075	手数料	2,580
計	35,161	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	16,289
備考欄			
事業の概要 【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【1次総の施策体系】1301 【事業の経過及び背景】 本事業は従来から介護予防事業として、基本チェックリストにより把握した二次予防事業対象者を対象に実施してきたが、平成27年度からの介護保険制度改正により、介護予防・日常生活支援総合事業に位置付けられ、全ての高齢者を対象とする介護予防に関する知識の普及啓発事業とされた。平成29年4月より国の制度改正を踏まえ事業内容の一部を見直し、引き続き高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進することとした。 【事業の目的及び効果】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器、認知機能の維持・向上のための運動の指導や習慣化を図る教室を地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進する。 【事業の内容】 ・週1回（120分）×12週（3か月間） ・運動、認知機能指導、栄養・口腔に関する講話 ・利用料：500円 ・終了後の自発的活動継続を促すため地域の介護予防教室やサロン等を紹介 【事業の実績】 [参加者・教室数] 令和3年度 409名（計57教室） 令和4年度 442名（計58教室） 令和5年度（見込） 477名（計59教室） ※その他財源の手数料は、おたっしや教室手数料 ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金			

介007	項目名	地域リハビリテーション活動支援事業費		新規事業
予算書項目	地域リハビリテーション活動支援事業費	ページ	465	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	介護保険費特別会計			
款	地域支援事業費			
項	介護予防・日常生活支援総合事業費			
目	一般介護予防事業費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	10,047			
本年度要求額	10,719			
総務部長段階査定額	10,719	その他財源の内訳		
市長段階査定額	10,719	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	4,018	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	5,359	財産収入	0	
一般財源	1,342	寄付金	0	
計	10,719	繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	5,359	
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457 【1次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 リハビリテーション専門職等（以下「リハ職」という。）を活かした介護予防・重度化防止に資する取組は、介護予防・日常生活支援総合事業に位置づけられ、介護予防の強化が求められている。 【事業の目的及び効果】 サービス提供事業所や地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハ職の関与の機会を設け、地域における介護予防の取組を推進する。 【事業の内容】 市、医療機関、介護施設等のリハ職が、介護支援専門員のアセスメントやモニタリングをはじめ、地域ケア会議、サービス担当者会議、地域住民の通いの場、サービス提供事業所等で、専門的な知見に基づく技術的な助言を行うことで、要支援者等の生活の質の向上、地域の介護予防力の強化を図る。 【事業の実績】 [決算額] [実施件数] 令和3年度 9,042千円 273件（うち、外部リハ職89件） 令和4年度 9,128千円 193件（うち、外部リハ職41件） 令和5年度（見込） 11,265千円 114件（うち、外部リハ職65件） ※その他財源のその他は、介護保険料及び社会保険診療報酬支払基金交付金				

介008	項目名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)		新規事業
予算書項目	在宅医療・介護連携推進事業費	ページ	465	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	介護保険費特別会計			
款	地域支援事業費			
項	包括的支援事業費			
目	包括的支援事業費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	15,770			
本年度要求額	21,472			
総務部長段階査定額	21,472	その他財源の内訳		
市長段階査定額	21,472	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
国・県支出金	9,855	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	8,331	財産収入	0	
一般財源	3,286	寄付金	0	
計	21,472	繰入金	0	
		贈収金	4,407	
		その他	3,924	
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】 管理係 0857-30-8211 医療介護連携係 0857-54-1970 【1次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 高齢者は、医療と介護の両方を必要とすることが多い状況にあり、高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係団体が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築が求められている。 【事業の目的及び効果】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。 【事業の内容】 県東部圏域の1市4町と鳥取県東部医師会が連携し、次の事業を実施する。 ・東部医師会在宅医療介護連携推進室の共同設置・運営 ・「東部地区在宅医療介護連携推進協議会」の開催と多職種の連携推進 ・医療・介護関係者が参加する多職種研修会の開催、住民啓発の推進 ・患者の入退院情報など医療・介護事業者間の情報連携体制の構築支援 【事業の実績】 [決算額] [研修等回数] 令和3年度 8,452千円 36回 令和4年度 7,727千円 37回 令和5年度（見込） 9,161千円 47回 ※その他財源の諸収入は、東部4町負担金 ※その他財源のその他は、介護保険料				

介009	項目名	認知症地域支援・ケア向上事業費	新規事業
予算書項目	認知症総合支援事業費	ページ	465
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】 鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款 地域支援事業費	【1次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 包括的支援事業費	【事業の経過及び背景】 本市では認知症施策推進大綱に沿って認知症施策を重点的に推進しており、認知症地域支援推進員の配置や認知症カフェの運営促進等に取り組んでいる。		
目 包括的支援事業費	【事業の目的及び効果】 認知症地域支援推進員を中心に、認知症の人の状態に応じた必要な医療・介護等のサービスが効果的に行われるようにするための支援体制を構築するとともに、地域の認知症ケアの向上を図るための取組を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を順次配置し、地域に密着した認知症施策の取組を推進する。		
前年度当初予算額 43,086	①認知症地域支援推進員の配置(11人) ②本人ミーティング、おれんじドアとっりの開催 ③認知症カフェの新規開設促進と運営助成、運営支援 ④認知症ケアパスの作成 ⑤認知症出前講座、認知症フォーラムの開催 ⑥若年性認知症に関する普及・啓発		
本年度要求額 43,662	【事業の実績】		
総務部長段階査定額 43,662	[決算額] [認知症地域支援推進員] [カフェ助成]		
市長段階査定額 43,662	令和3年度 30,006千円 8人 4件 令和4年度 35,523千円 9人 4件 令和5年度(見込) 42,076千円 11人 4件		
区分 本年度予算額	※その他財源のその他は、介護保険料		
国・県支出金 25,213	【その他財源の内訳】		
地方債 0	分担金 0		
その他 10,042	負担金 0		
一般財源 8,407	使用料 0		
計 43,662	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 10,042		
備考欄			

介010	項目名	認知症初期集中支援推進事業費	新規事業
予算書項目	認知症総合支援事業費	ページ	465
年度	R6	所 属 名	福祉部 長寿社会課
会計名	事業の概要		
介護保険費特別会計	【問合せ先】 鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款 地域支援事業費	【1次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 包括的支援事業費	【事業の経過及び背景】 高齢化の進展に伴い、今後も認知症の高齢者は増加が見込まれ、2040年には高齢者の4人に1人が認知症を発症すると推計されており、早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適切な医療・介護等が受けられる体制構築が重要となっている。		
目 包括的支援事業費	【事業の目的及び効果】 認知症が疑われる人や認知症の人の早期診断・早期対応に向けた支援を実施することで自立生活のサポートをする。		
(単位：千円)	【事業の内容】 認知症初期集中支援チームを設置(10チーム)し、医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察、評価、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行う。		
前年度当初予算額 28,069	【事業の実績】 [決算額] [チーム員会議数] [支援ケース数]		
本年度要求額 31,278	令和3年度 12,259千円 24回 31件 令和4年度 16,887千円 42回 24件 令和5年度(見込) 27,719千円 50回 50件		
総務部長段階査定額 31,278	※その他財源のその他は、介護保険料		
市長段階査定額 31,278	【その他財源の内訳】		
区分 本年度予算額	分担金 0		
国・県支出金 18,063	負担金 0		
地方債 0	使用料 0		
その他 7,193	手数料 0		
一般財源 6,022	財産収入 0		
計 31,278	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 7,193		
備考欄			

介011	項目名	介護給付等費用適正化事業費(事業運営費)		新規事業
予算書項目	介護給付等費用適正化事業費	ページ	467	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計		【問合せ先】介護保険係 0857-30-8212		
款	地域支援事業費	【1次総の施策体系】1201 ●実施計画		
項	任意事業費	【事業の経過及び背景】 平成19年度、国は、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するため「介護給付適正化計画に関する指針」を示した。本市は、3年を一期とする介護保険事業計画に位置づけて介護給付等費用適正化の取組を推進している。		
目	介護給付等費用適正化事業費	【事業の目的及び効果】 介護給付費に関する通知やケアプラン点検等により保険給付の適正化を図る。		
(単位：千円)		【事業の内容】 ・認定調査票の点検、更新及び変更認定の訪問調査 ・ケアプラン点検、住宅改修及び福祉用具に関する調査 ・縦覧点検及び医療費突合 ・介護給付費通知		
前年度当初予算額	2,546	【事業の実績】		
本年度要求額	136	[ケアプラン点検] [住宅改修確認] [福祉用具調査]		
総務部長段階査定額	136	令和3年度 348件 6件 3件		
市長段階査定額	136	令和4年度 805件 6件 3件		
区分	本年度予算額	令和5年度(見込) 490件 6件 3件		
国・県支出金	78	※その他財源のその他は、介護保険料		
地方債	0			
その他	31			
一般財源	27			
計	136			
備考欄				

介012	項目名	成年後見人報酬負担金		新規事業
予算書項目	成年後見制度利用支援事業費	ページ	467	所属名
年度	R6	福祉部 長寿社会課		
会計名	事業の概要			
介護保険費特別会計		【問合せ先】鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457		
款	地域支援事業費	【1次総の施策体系】1202 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項	任意事業費	【事業の経過及び背景】 認知症や障がい等により判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行う成年後見制度利用が必要な方が年々増加している。		
目	その他事業費	【事業の目的及び効果】 経済的な理由により本人の財産から後見等報酬を支払うことが困難な方に対し、後見等報酬の全部又は一部を助成することで、成年後見制度の利用を促進する。		
(単位：千円)		【事業の内容】 成年後見制度の利用をされている方で、経済的な理由により本人の財産から後見等報酬を支払うことが困難な方に対し、後見等報酬の全部または一部を助成する。		
前年度当初予算額	26,880	【事業の実績】		
本年度要求額	26,880	[決算額] [助成件数]		
総務部長段階査定額	26,880	令和3年度 21,384千円 91件		
市長段階査定額	26,880	令和4年度 22,086千円 95件		
区分	本年度予算額	令和5年度(見込) 26,880千円 115件		
国・県支出金	15,522	※その他財源のその他は、介護保険料		
地方債	0			
その他	6,182			
一般財源	5,176			
計	26,880			
備考欄				

介013	項目名	介護相談員派遣事業費	新規事業																				
予算書項目	地域自立生活支援事業費	ページ	467																				
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																				
会計名	事業の概要																						
介護保険費特別会計	【問合せ先】 介護保険係 0857-30-8212																						
款 地域支援事業費	【11次総の施策体系】 1201																						
項 任意事業費	【事業の経過及び背景】 平成18年度より地域支援事業の一環として実施																						
目 その他事業費	【事業の目的及び効果】 専門研修を受けた介護相談員が、介護保険施設等を訪問して利用者等の相談に応じる事により、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、事業者の業務改善につなげる事により、サービスの質的向上を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 相談員派遣を受入れた介護保険施設及び在宅介護サービス事業所に訪問して利用者の話を聞き、相談に応じる等の活動を行う。																						
前年度当初予算額 3,874	【事業の実績】																						
本年度要求額 3,581	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[相談員]</td> <td>[訪問事業所]</td> <td>[派遣回数]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>7名</td> <td>6/49事業所</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8名</td> <td>22/49事業所</td> <td>103回</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>8名</td> <td>29/49事業所</td> <td>262回</td> </tr> </table>				[相談員]	[訪問事業所]	[派遣回数]	令和3年度	7名	6/49事業所	11回	令和4年度	8名	22/49事業所	103回	令和5年度(見込)	8名	29/49事業所	262回				
	[相談員]	[訪問事業所]	[派遣回数]																				
令和3年度	7名	6/49事業所	11回																				
令和4年度	8名	22/49事業所	103回																				
令和5年度(見込)	8名	29/49事業所	262回																				
総務部長段階査定額 3,581	※その他財源のその他は、介護保険料																						
市長段階査定額 3,581	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>823</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	823
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	823																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金 2,067																						
	地方債 0																						
	その他 823																						
	一般財源 691																						
	計 3,581																						
備考欄																							

介014	項目名	認知症サポーター等養成事業費	新規事業																
予算書項目	認知症サポーター等養成事業費	ページ	467																
年度	R6	所属名	福祉部 長寿社会課																
会計名	事業の概要																		
介護保険費特別会計	【問合せ先】 鳥取市中央包括支援センター 0857-20-3457																		
款 地域支援事業費	【11次総の施策体系】 1202 ●実施計画 ●創生総合戦略																		
項 任意事業費	【事業の経過及び背景】 今後ますます認知症高齢者の増加が見込まれる中で、認知症と診断されても安心して地域で暮らせるまちづくりを進めるため、認知症に関する正しい知識と理解に基づいた、地域住民の支援体制を確立していくことが求められている。																		
目 その他事業費	【事業の目的及び効果】 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進する。																		
(単位：千円)	【事業の内容】 講師役のキャラバン・メイトが、地域や職場、学校等に出向いて行う「出前型養成講座」と、広く市民を対象とした「公開型養成講座」を開催する。 また、キャラバン・メイト連絡協議会を開催し、認知症キャラバン・メイトの活動を支援する。																		
前年度当初予算額 269	(1) 認知症サポーター養成講座の開催 ①出前型認知症サポーター養成講座 ②一般公開型認知症サポーター養成講座 (2) キャラバン・メイト研修会、連絡会の開催																		
本年度要求額 287	【事業の実績】																		
総務部長段階査定額 287	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[講座回数]</td> <td>[養成員数]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>81千円</td> <td>17回</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>99千円</td> <td>20回</td> <td>293名</td> </tr> <tr> <td>令和5年度(見込)</td> <td>269千円</td> <td>30回</td> <td>400名</td> </tr> </table>				[決算額]	[講座回数]	[養成員数]	令和3年度	81千円	17回	320名	令和4年度	99千円	20回	293名	令和5年度(見込)	269千円	30回	400名
	[決算額]	[講座回数]	[養成員数]																
令和3年度	81千円	17回	320名																
令和4年度	99千円	20回	293名																
令和5年度(見込)	269千円	30回	400名																
市長段階査定額 287	※その他財源のその他は、介護保険料																		
区分	本年度予算額																		
財源内訳	国・県支出金 165																		
	地方債 0																		
	その他 66																		
	一般財源 56																		
	計 287																		
備考欄																			

財001	項目名	一般管理事務費(国府)	新規事業
予算書項目	一般管理事務費	ページ	483
年度	R6	所 属 名	総務部 財産経営課
会計名	事業の概要		
財産区管理事業費特別会計	【問合せ先】 財産政策第二係 0857-30-8132		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2403		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 国府地域では、宇倍野財産区が所有している日ノ丸自動車株券(185,000株)の運用益を活用した、地域内の小・中・高校生の通学定期券購入費の助成による保護者負担の軽減制度を実施している。		
目 一般管理費	【事業の目的及び効果】 遠距離通学の定期券購入費及び修学旅行・校外教育活動の交通費に対し助成をすることにより、国府地域の保護者負担の軽減と福祉の増進に寄与することを目的としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ●バス定期券購入助成事業 <補助率> ①小・中学生 市教委遠距離通学対象地区 保護者負担の30% なお、市教委遠距離通学対象外地区の中学生においては、対象地区の生徒と保護者負担額が同じになるように調整 附属小・中学校 定期券額の30% ②高校生 定期券額の20% ●校外活動費助成事業(新規) 修学旅行及び校外教育活動の交通費(バス等の借上げ)を一部助成		
前年度当初予算額	470	【事業の実績】 令和3年度 148千円 定期券実績40件 令和4年度 243千円 定期券実績59件 令和5年度 370千円 定期券実績75件(見込)	
本年度要求額	745	※その他財源の繰入金は、宇倍野財産区基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、大株主割引料	
総務部長段階査定額	745	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	745	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	726
		諸収入	19
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	745		
一般財源	0		
計	745		
備考欄			

温001	項目名	維持管理費	新規事業
予算書項目	維持管理費	ページ	491
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	事業の概要		
温泉事業費特別会計	【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291		
款 温泉事業費	【1次総の施策体系】 2202		
項 温泉事業費	【事業の経過及び背景】 温泉事業は、浜村温泉及び鹿野温泉の配湯区域内において配湯契約した利用者からの温泉使用料等の収入により運営している。配湯施設の適正な維持管理や改修のための基金積立を行いながら、温泉事業会計の安定的な運営を図る。		
目 温泉管理費	【事業の目的及び効果】 配湯施設等の維持管理を適正に行うことにより、安定的な温泉供給を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1)温泉施設設備の点検、修繕等の維持管理 (2)温泉施設設備に係る光熱水費等の支払い (3)温泉使用料賦課に係る事務費など		
前年度当初予算額	36,799	【事業の実績】 令和3年度 36,423千円 令和4年度 44,442千円 令和5年度 31,182千円(見込)	
本年度要求額	37,307	※その他財源の使用料は、温泉使用料	
総務部長段階査定額	37,307	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	37,307	分担金	0
		負担金	0
		使用料	37,307
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	37,307		
一般財源	0		
計	37,307		
備考欄			

温002	項目名	温泉事業基金積立金	新規事業
予算書項目	温泉事業基金積立金	ページ	491
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	温泉事業費特別会計		
款	積立金	【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291	
項	積立金	【1次総の施策体系】 2202	
目	積立金	【事業の経過及び背景】 温泉事業は、浜村温泉及び鹿野温泉の配湯区域内において配湯契約した利用者からの温泉使用料等の収入により運営している。配湯施設の適正な維持管理や改修のための基金積立を行いながら、温泉事業会計の安定的な運営を図る。	
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 基金積立を計画的に行うことで大規模な施設改修等に備え、適正な施設管理と安定的な温泉供給を図る。		
前年度当初予算額	10,203	【事業の内容】 (1) 温泉事業基金繰替運用で発生する利息を基金積立金に繰入れる。 (2) 歳入から歳出を差し引いた額を積立金に繰入れる。	
本年度要求額	8,314	【事業の実績】 令和3年度 20,180千円 令和4年度 604千円 令和5年度 29,246千円（見込）	
総務部長段階査定額	8,314	【事業の概要】	※その他財源の負担金は、温泉配湯負担金 ※その他財源の使用料は、温泉使用料 ※その他財源の財産収入は、温泉事業基金積立金利子 ※その他財源のその他は、前年度繰越金
市長段階査定額	8,314	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	1,650
地方債	0	使用料	6,649
その他	8,314	手数料	0
一般財源	0	財産収入	5
計	8,314	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	10
備考欄			

観001	項目名	観光施設管理費	新規事業
予算書項目	観光施設管理費	ページ	501
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	観光施設運営事業費特別会計		
款	観光施設費	【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291	
項	観光施設事業費	【1次総の施策体系】 2202	
目	観光施設運営費	【事業の経過及び背景】 遊漁センターは、飲食・宿泊機能を備える施設で、あわせて地域の観光情報や特産品等の発信を行いながら観光振興・地域の活性化を図っている。平成18年度から指定管理者制度へ移行。	
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした管理経費の縮減とサービスの向上を図り、観光振興と地域の活性化を目指す。		
前年度当初予算額	8,462	【事業の内容】 (1) 指定管理者（(有)ティー・ティー・エモーションズ）による管理運営 (2) 施設設備の点検、修繕等の維持管理	
本年度要求額	6,141	【事業の実績】 令和3年度 5,790千円 令和4年度 9,690千円 令和5年度 9,282千円（見込）	
総務部長段階査定額	6,141	【事業の概要】	※その他財源の諸収入は、その他利用料
市長段階査定額	6,141	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	292	手数料	0
一般財源	5,849	財産収入	0
計	6,141	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	292
		その他	0
備考欄			

親002	項目名	温泉施設管理費	新規事業
予算書項目	温泉施設管理費	ページ	501
年度	R6	所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
会計名	観光施設運営事業費特別会計		
款	観光施設費	事業の概要	
項	観光施設事業費	【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291	
目	温泉施設管理費	【1次総の施策体系】 2202	
(単位：千円)		【事業の経過及び背景】 ＜国民宿舎山紫苑＞ 市民の保養と観光の振興に寄与することを目的に昭和47年度に整備された宿泊型温泉施設。平成6年度に新館を整備。平成16年11月から指定管理者制度へ移行。 ＜しかの温泉館＞ 市民の保養と観光の振興に寄与することを目的に平成5年度に整備された日帰り型温泉浴場施設。平成16年11月から指定管理者制度へ移行。 ＜浜村温泉館＞ 施設の老朽化に伴い平成28年3月末から休館。	
前年度当初予算額	14,101	【事業の目的及び効果】 指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした管理経費の縮減とサービスの向上を図り、市民の保養と観光振興に寄与する。	
本年度要求額	10,108	【事業の内容】 (1) 指定管理者（株）ふるさと鹿野による管理運営 (2) 施設設備の点検、修繕等の維持管理	
総務部長段階査定額	10,108	【事業の実績】 令和3年度 30,343千円 令和4年度 18,630千円 令和5年度 19,746千円（見込）	
市長段階査定額	10,108	※その他財源の諸収入は、その他利用料	
区分	本年度予算額	【その他財源の内訳】	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	9,900	負担金	0
その他	208	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	10,108	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	208
		その他	0
備考欄			

後001	項目名	後期高齢者医療広域連合納付金	新規事業
予算書項目	後期高齢者医療広域連合納付金	ページ	515
年度	R6	所 属 名	福祉部 保険年金課
会計名	後期高齢者医療費特別会計		
款	後期高齢者医療広域連合納付金	事業の概要	
項	後期高齢者医療広域連合納付金	【問合せ先】 長寿医療係 0857-30-8225	
目	後期高齢者医療広域連合納付金	【1次総の施策体系】 1201	
(単位：千円)		【事業の経過及び背景】 急速な少子高齢化、医療費の増加など大きな環境変化に対応し、将来にわたり国民皆保険制度を堅持していくため、75歳以上の後期高齢者等を対象に独立した医療制度「後期高齢者医療制度」が平成20年度に創設された。 「後期高齢者医療制度」は、後期高齢者医療広域連合が運営主体（保険者）となり、保険料の決定・医療の給付等を行い、市町村は保険料の徴収・窓口業務等を行う。	
前年度当初予算額	2,385,177	【事業の目的及び効果】 被保険者から徴収した保険料等を鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付することにより制度の円滑な運営に資する。	
本年度要求額	2,972,578	【事業の内容】 被保険者から徴収した保険料等徴収金及び保険料軽減に係る一般会計からの法定繰入金（保険基盤安定分）を鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付する。	
総務部長段階査定額	2,972,578	【事業の実績】	
市長段階査定額	2,972,578	[令和3年度] [令和4年度] [令和5年度(見込)]	
区分	本年度予算額	(1) 保険料等徴収金 1,619,661千円 1,849,145千円 2,045,286千円	
国・県支出金	0	(2) 保険基盤安定分 444,992千円 515,901千円 540,153千円	
地方債	0	※その他財源の諸収入は、延滞金	
その他	2,308,582	※その他財源のその他は、後期高齢者医療保険料	
一般財源	663,996		
計	2,972,578		
備考欄			

電001	項目名	青谷町いかり原維持管理費		新規事業
予算書項目	維持管理費	ページ	527	所属名
年度	R6	市民生活部環境局 生活環境課		
会計名	事業の概要			
電気事業費特別会計		【問合せ先】環境政策係 0857-30-8082		
款	総務費	【1次総の施策体系】3201 ●実施計画		
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 国内では、東日本大震災の原子力発電所の事故を契機に、自然エネルギーを活用した発電に注目が集まっている。平成24年7月1日には「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行され、再生可能エネルギーへの事業参加が促進されている。		
目	維持管理費	【事業の目的及び効果】 本市は、「第3期鳥取市環境基本計画」において再生可能エネルギーの利用を重点項目として位置付けており、エネルギー自給率の向上、地球温暖化防止の観点から、本市における電力の地産地消を推進するため、市有地を有効活用して太陽光発電事業に積極的に取り組んでいる。		
(単位：千円)		【事業の内容】 青谷町いかり原太陽光発電施設に係る維持管理業務を行う。 ・電気代 ・法定点検及び機械警備委託業務 (令和6年度：パワーコンディショナー精密点検 10,737千円) ・公課費(消費税及び地方消費税)等		
前年度当初予算額	5,822	【事業の実績】 令和3年度 5,513千円(売電収入26,606千円) 令和4年度 5,265千円(売電収入27,550千円) 令和5年度 5,452千円(売電収入27,687千円)(見込)		
本年度要求額	15,938	※その他財源の繰入金は、電気事業基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、売電収入		
総務部長段階査定額	15,938	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	15,938	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	11,029	
		諸収入	4,909	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	15,938			
一般財源	0			
計	15,938			
備考欄				

母001	項目名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費		新規事業
予算書項目	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	ページ	535	所属名
年度	R6	健康こども部こども家庭局 こども未来課		
会計名	事業の概要			
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計		【問合せ先】育成係 0857-30-8239		
款	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	【1次総の施策体系】1101		
項	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	【事業の経過及び背景】 中核市への移行に伴い、鳥取県より母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業を引き継いだ。		
目	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	【事業の目的及び効果】 無利子または低利で必要な資金の貸付けを行うことにより、ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図る。 また、扶養している児童等に修学資金、修学のために必要な支度資金等を貸付けすることにより、安定した資金確保のもと修学を継続することが可能となる。		
(単位：千円)		【事業の内容】 ひとり親家庭及び寡婦に、必要な貸付業務を行う。 令和6年度 貸付予定6件		
前年度当初予算額	72,120	【事業の実績】 貸付件数(その内新規) 令和3年度 4件(3件) 令和4年度 5件(3件) 令和5年度 8件(4件)(見込)		
本年度要求額	51,444	※その他財源の諸収入は、母子父子寡婦福祉資金貸付金元利収入 ※その他財源のその他は、前年度繰越金		
総務部長段階査定額	51,444	【その他財源の内訳】		
市長段階査定額	51,444	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		諸収入	17,406	
		その他	4,188	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	0			
地方債	11,600			
その他	21,594			
一般財源	18,250			
計	51,444			
備考欄				

特 別 会 計

(債務負担概要)

令和6年度当初予算債務負担行為の概要

事 業 名	担 当 課
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	こども未来課

[単位:千円]

限 度 額	期 間	財 源 内 訳				
		国	県	起 債	そ の 他	一 般 財 源
19,218	令和7年度～11年度				19,218	

【事業の目的】

(1) 令和6年度貸付決定、令和6年度貸付開始分
 学校入学後にひとり親家庭となった場合、家庭や資金調達の事情の変更があった場合等、学校入学後に貸付けが必要となった場合において随時、相談申請を受け、在学期間中の修学資金の貸付けの決定を行うため。

(2) 令和6年度貸付決定、令和7年度貸付開始分（早期決定分）
 令和7年度の入学決定（令和7年2月～3月）後、修学資金の貸付けに係る相談・申請を受け、速やかに（令和6年度内に）貸付決定を行うため。

【事業の内容】

母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦が現に扶養している児童等が、経済的理由により修学が困難な場合に、高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学及び大学院に修学させるのに直接必要な授業料、書籍代、通学費等として貸付けを行うもの。

【これまでの関連する取組】

平成29年度まで鳥取県で実施。

【今後の取組】

中核市移行に伴い、平成30年度から本市で福祉資金貸付業務を開始した。
 今後も引き続き、貸付業務を行う。

